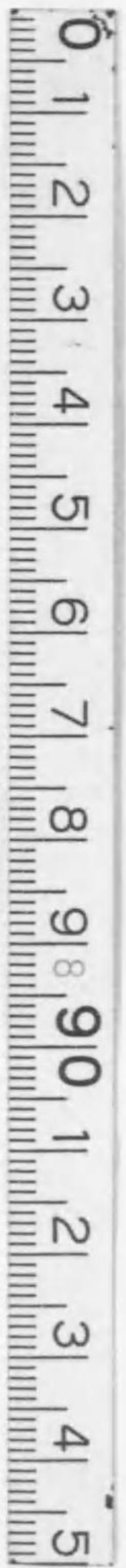


61  
139



始





1-258

2

衛生叢書

第四輯



61-139

凡例

一本叢書編纂ノ趣意ハ第一輯凡例ニ記載スル所ノ如シ其ノ後更ニ  
同様ノモノ十數部ヲ得タルヲ以テ茲ニ之ヲ剞劂ニ附スルコト、

セリ

一本叢書收ムル所印刷央ニ於テ原稿ヲ得タルモノアリ編纂ノ序次  
宜シキヲ得サルモノアルハ實ニ已ムヲ得サルニ出ツ

一本叢書中曩ニ剞劂ニ付シタルモノハ衛生當局者ヲ始メ諸學校教  
師其他府縣郡市町村等ノ實務従事者中希望ノ向意外ニ多カリ

モ多數印刷ヲ爲スヲ得サリシ爲殆ント總テノ申込ヲ謝絶セシカ  
今回モ亦經費ノ都合上多數ノ部數ヲ印刷スルヲ得サルハ深ク遺

憾トスル所ナリ

大正三年十月

内務省衛生局

為

大正 4  
6  
寄贈



衛生叢書 第四輯

目次

- 都市衛生問題
- 巴里市ノ水道
- 國民衛生上ノ問題
- 養老年金制度
- 萬國衛生會議
- 萬國阿片會議報告
- 萬國阿片會議議事錄
- 佛國疫防史
- 北米合衆國海港檢疫法
- 上海港衛生上取締規則

至自 至自 至自 至自 至自 至自 至自 至自 至自 至自  
 五五 五四 四四 四三 三三 三二 二一 一 一  
 七六 六八 八五 五九 九〇 〇一 一〇 〇八 八六 六  
 二一 一五 五五 四六 五六 六八 七九 八六 五五 四一頁



獨逸帝國衛生局  
 四半年報中簡易病院建設ニ關スル件  
 日本ニ於ケル火葬ニ關スル調  
 倫敦、伯林、維也納水道沿革及其現況  
 第二回萬國阿片會議  
 牛乳問題  
 北米合衆國海港檢疫法修正追加

二  
 自五六一四三  
 自六四七  
 自七五五  
 自七七五  
 自七七九  
 自七八〇  
 自八〇〇  
 自八〇九

衛生叢書 第四輯

ホリス、ゴッドフレ一著  
 都市衛生問題

The Health of the City.

By Hollis Godfrey

- 第二章 牛乳問題
- 第三章 食料問題
- 第九章 歐洲諸市の家屋問題

ホストン市

ホートン、ミフリン會社出版



○牛乳問題

若シカノ回々教徒ノ古キ傳説ニ記スカ如ク、死ノ使アズラエルカ燭ノ劍ヲ携ヘテ、ワカ都市ノ門々ニ立チ、  
 『門ヲ開ケヨ、吾レ汝ノ町々ヨリ十人ノ嬰兒ノウチ一人ヲ求ムルナリ』ト叫ヒタランニハ、上ハ玉殿金樓ヨ  
 リ下ハ倭屋茅舎ニ至ル迄、アハレ慟哭悲愁ノ叫ハ疾風ノ如ク戸々ニ亘リテ、忽チ全都ヲ充滿シ終ラン。今



日ノ死ノ使ハ管ニ十分ノ一ヲ奪ヒテ以テ満足セス。吾人カ大都市ニ於テハ、實ニ各十人ニツキ二人ノ嬰兒ノ死亡ヲ見ルナリ。而カモ世人ハ近代世活ノ繁忙ニ惱殺セラレ、コノ恐ルヘキ淘汰ニツキ、一顧ヲタニ與フルハ稀ナリ。

如此ハ決シテ誇張ノ言ニ非ス。生兒千人ニツキ五ケ年末ニハ其五分ノ一ヲ失フハ更ニ疑フ所ナシ。而シテ死亡兒ノ大多數ハ都會ノ狹隘ナル街區ヨリ來リ、其少ナキ都會ニテハ千人ニツキ二百人以下ナレ共、多キハ三百人ヲ超ユ。

古來帝國ヲ建設セントシテ苦闘シ、幾多人壽ヲ亡ホセシ者ト雖モ、其損傷遙カニ之ニ及ハス。

試ニ歴史のナル英國軍隊ノ裂ケ破レタル聯隊旗ニツキ、上ハマルブラケツトヨリ下ハブレリヤニ至ル幾多名譽アル征戰ノ歴史ヲ問ヘ。其陣没ノ數ノ此平和ニ際シ疾病ノ犠牲トナリシ嬰兒ノ數ノ如キモノ、恐ラクハ之レアラサルヘシ。

更ニ一步ヲ進メテ統計表上ノ數字ヲ研究セハ、數個明白ナル事實ノ分明ニ存在セルヲ見ルヘシ。統計ニ由レハ一ケ年中六、七、八ノ三ケ月ハ幼兒死亡數ノ最モ多數ナル月ニシテ、其死亡ノ四割ハ營養器病ニ原因ス。獨リソレノミナラス、他ノ原因ヨリ死亡セシ者モ、又此種ノ營養器病ヲ併發セサルハナシ。是等ヲモ併セ計上スルニ於テハ其數決シテ小少ナラス。以テ此慘事ノ泉源スル所ヲ窺フヘシ。泉深トハ何ソヤ。他ナシ、食物之レナリ。而シテ嬰兒ノ最大多數カ滿一歳ニ至ル迄ノ唯一食物ハ牛乳ナリ。又一歳ヨリ五歳ニ至ル殆トアラユル小兒ノ主要食物ハ牛乳ナリ。ソノ影響ノ及フトコロ知ルヘキノミ

奇トスヘキハ大西洋中ノアゾレス群島ノ一少都ニ於テ、又北伊太利ノ一寒村ニ於テ、吾人ヨリモ更ニ善良ナル材料ヲ以テ其嬰兒ヲ哺育スルコトナリ。此等ノ山村水郭ニ於テハ、小渠ニヨリテ下水ヲ排除シ、墻壁破レ、倉庫壞レ、惡臭鼻ヲ衝クモノアリト雖モ、其一般ニ使用スル獸乳ハ、ワカ米國ノ都市ニ於テ上流ノ間ニ飲用スルモノヨリ遙ニ卓越セリ。牧者ハ朝夕二回其山羊ヲ牽イテ小徑ヲ辿リ、或ハ市街ニ瀾キ、或ハ山村ニ售ル。群羊ハ圍繞セル小兒等ノ間ニ在リテ靜ニ搾乳ヲ待テリ。斯クテ新鮮ニシテ暖キ獸乳ハ動物ヨリ小兒ヘト直接ニ供セラレ、幼キ第二ノ國民ハ、清潔ニシテ健康ナル動物ヨリ取レル純粹新鮮ノ乳ヲ以テ養育セラレ、ナリ。カクノ如キ獸乳ハ殆ト微菌ノ憂ナク、又カクノ如キ方法ニテ其消費者ニ輸送セラレナハ危險尠シモアルコトナシ。然レ共獸乳ノ之ヲ産セシ動物ヨリ分離シテ輸送セラル、コト遠キニ隨ヒ、若シ他ニ周到ノ用意ヲ以テ之ニ備フルニ非サレハ、危險ハ益々増加スルナリ。然リ、然リト雖モ今日ノ狀態ニ於テ吾人ハ上述ノ如キ村侶ノ牧者ト同様ニ此問題ヲ解決スル能ハス。然ラハ即チ吾人ハ先ツ都會ノ牛乳ヲ圍繞セル特殊ノ危險ヲ闡明シ、而シテ後之ニ克服スルノ策ヲ講セサル可ラス。

吾人カ生存ノ一般必需品、例ヘハ空氣、水、牛乳ノ如キハ、ソノアマリニ普遍的ナルカ故ニ、日常多クハ世人ノ觀察以外ニ逸出セル傾向アリ。然レ共牛乳ノ如キ各戸ノ食卓ニ普ク備ヘラレストイフコトナキヲ以テ、疾病ヲ傳染スル一手段トナリ、病源一度之レニ包含セラル。ヤ、廣ク疾病瀰漫ノ媒介トナルコト水ヲ除クノ外他ニ其類ヲ見ス。或一點ヨリイヘハ水ヨリモ更ニ殆シ。蓋シ窒扶斯、虎列刺ノ如キ疫病ハ直ニ魯鈍緩漫ニ慣レタル社會ヲ震撼シ、時ヲ移サスシテ其原因ヲ調査シ、之ヲ排除スルニ力メシム。然レ共腸胃



病其他之ニ類スル疾病ヨリ生スル兒童ノ死亡ニ至リテハ、一般世人ノ上ニ深キ印象ヲ與フル能ハス。且都會ニ於ケル幾十幾百ノ搾乳業者ハ之ヲ整理スルノ困難ナル、水トイフ共通必需品ノ類ニ非サルナリ。尙此兩液體ノ本然ノ性質ニモ相異レル處アリ。水ハ無色透明ナルカ故ニ、若シ其中ニ何物カ沈澱セルモノヲ認ムル時ハ直ニ之ヲ拒絶スルヲ得ヘシ。反之、牛乳ノ白色不透明ナル、適々溶解シ難キ物質ヲ底澱スルノ便ヲ與ヘ、容易ニ埃塵、穢物乃至疾病ノ傳染物ヲ隱匿ス。規律アル檢閲ヲ行フヲ以テ稱セラル、獨逸ノ一報告書ヲ視ルモ、此危險ノ容易ナラサル、察知スルニ難カラス。伯林市ニ於テハソノ完備セル人<sup>ツイタル、スチスリッコス</sup>命統計ニヨリ報告シテ曰ク、『伯林市ノ住民ハ毎日其牛乳ノウチニ搾乳所ノ塵汚三百封度ヲ消費ス』ト特ニ清潔ノ市トシテ稱セラル、伯林ニシテ尙此事アリトセハ、ワカ亞米利加ノ諸都市ニ於テハソノ狀果シテ奈何。單ニ塵埃汚物ヲ運搬スルコトヨリモ更ニ重大ナルハ、牛乳ノ微菌群<sup>ミクティヤ</sup>ヲ宿シ、之ヲ培養スルカヲ有スルコトナリ。此等ノ微菌ハ吾人ノ周圍ニ存在セストイフトコロナク、或ハ戸障子ノ塵埃中ニ潛匿シ、或ハ日光ニ浮游シ、或ハ地上ニ伏在シ、其群居セル數ニ至リテハ一小點域ノ空間ニ於テサヘ、億兆ノ語モ尙之ヲ蔽フニ足ラス。而カモ此肉眼視ル可ラサル無數ノ微菌ハ一度濕氣、溫度及ヒ食物ノ如キ成長ノ必要條件ニ逢着スル時ハ、忽チ大速力ヲ以テ繁殖シ初ムル事寔ニ驚クニ耐ヘタリ。而シテ濕氣トイヒ、溫度トイヒ、又食物トイフ、何レモ皆牛乳ノ具備スル處ナリ。試ニ牛乳罐ノ口ヲ開キタルマ、之ヲ納屋ニ置キ、塵埃ヲ立ツルコト小時ナラシメヨ。床ノ殘廢中ト存在スル無數ノ旋轉セル群集ハ罐内ノ液體ニ浸入スルコト、カノ破滅ヲ事トスルアツチラノ匈奴カ歐洲ヲ侵略セシニモ似タル可シ。

然レ共微菌ヲ以テ悉ク有害ナリト考フ可ラス。其狀恰モカノ綿羊ヲ山羊ヨリ分ツカ如シ。

之ヲ概説スルニ牛乳中ニ存在スヘキバクテリアニ三種アリ。酸化性バクテリア、腐敗性バクテリア及ヒ病原性バクテリア之レナリ。牛乳ノ酸味ヲ帶フルニ至ルハ日常ノ現象ニシテ高熱ハ牛乳ヲ酸敗シ、低熱ハ甘味ヲ保留スルハ主婦ノ皆熟知スルトコロ也。之ヲ科學上ノ術語ニ翻譯スルニ、牛乳ノ酸敗トハ第一種ノ微菌即チ酸化性バクテリアカ、牛乳ノ組成成分中ニ盛ニ活動シテ其一部分ヲ乳酸ニ變化シ、乳酸ハ順次ニ牛乳ヲ酸化セシムルノ謂ヒナリ。此種ノ微菌ハ絶對的ノ效用ナシトスルモ概シテ無害ナリ。寧ロ牛乳ノ酸敗ハ危險ヲ警告スル氣車ノ赤色燈ニ比スヘク、如此キ酸化菌ノ發生スルハ、即チ他ニ疾病醸成ノ憂アル微菌ノ發生スル事ヲ豫告スルモノナリ。

腐敗性バクテリアハ初メヨリ牛乳ニ存在スルモノニ非ス。ソノ是レアルハ必スヤ汚物其他外部ノ殘廢物ヨリ來レルナリ。此種ノバクテリアハ小兒ニ對シテ尤モ危險ナル類ニシテ、其中ニハ小兒ノ消化器病中頗ル恐ル可キモノ、直接原因タルモノ些ナカラス。勿論大人ニ對シテ又甚タ危險ナレ共、小兒ノ纖弱ナル身體ヲ胃スニ及ヒテハ其怖ルヘキコト之ニ幾十倍ス。此微菌ノ一度腹中ニ入ルヤ、直ニ腐敗ヲ起シ、其他重大ル紛擾ヲ併發ス。譬ヘハ小兒急性腸加答兒<sup>コレラ、イシフアンフシヤ</sup>ノ如キ、久シク急性ノ牛乳中毒トシテ知ラル、モノナルカ、皆此恐ルヘキバクテリアヨリ發生ス。而シテ其徵候ハ白砒素中毒<sup>ホワイトアース</sup>ニ類シ、猛烈ナル胃腸病ヲ惹起ス。

加之、此腐敗性バクテリアハ牛乳ノ組織ヲ破壞シ、時ニ危險ナル餘毒ヲ發生スルコトアリ。即チ其成育スルニ伴ヒテ牛乳ノ成分ニ變化ヲ生スルカ故ニ、消毒モサル不潔ノ牛乳ヲ二十四時間放置シ、



之ヲ小兒ニ與フルハ實ハ彼等ニ對シテ毒ヲ供スルニ同一一般ナルニ至ル。而カモ此等ノ極微物體ノ繁殖スルヤ、恰モ野火ノ燃ユルカ如キ勢ヲ以テス。試ニ普通溫度ニ置キタル前夜ノ牛乳ト、新鮮ナル翌朝ノ牛乳トヲ取り検査センニ、一センチメートル(三分三厘)立方内ニ十萬以上ノバクテリアノ一夜内ニ發生セルヲ知リ得ヘシ。

第三種ノ微菌即チ病原的バクテリアノ牛乳中ニ浸入シ來ルハ全然之ヲ防遏スルヲ得ヘシ。

是等ハ傳染的性質ノ微菌ニシテ、チブス、ジフテリア、菌、或ハ是等ヲ誘起スルバチラスナリ。其牛乳中ニ入り來ルハ、カ、ル疾病ノ輕微ナルモノニ羅レル搾乳業者、牛乳取扱人或ハ廣ク斯クノ如キ患者ニ接觸シタル者ヨリ、若シクハ故意ニ又ハ不注意ヨリ、病毒ヲ有スル水ヲ混和スルコトニ由テ牛乳中ニ交リ來ルナリ。

不注意ニシテ危險ナル微菌ノ發生ヲ誘致シタル者ノ責任ヤ言フ俟タスト雖モ、其故意ニ水ヲ加ヘテ收得ノ増加ヲ計リ、或ハ牛皮ヲ擲ヒ取り之ヲ全乳トシテ販賣スルカ如キニ至リテハ、眞ニ言語同斷ト謂ヒツヘキナリ。斯ル不正ノ行爲ヲ爲ス時ハ脂肪ノ分量ハ著シク減少シ、牛乳ノ組織一變シテ、カノ營養ノ目的ニ向テ必要ナルモノ、及ヒ吾人活動ノ要素タル精力ヲ増加スルニ必要ナル部分ヲ悉ク消失セシメ、隨テ病氣ニ對スル抵抗力及ヒ同化ノ能力ヲ直接減少スルニ至ル。搾乳業タルヤ合衆國ノ一大産業ニシテ牛乳幾萬石、バター幾萬斤、チーズ幾萬斤トイフヲ知ラス。斯ノ如キ大産業ニ於テシテ不正ノ收益ヲ計ラントスル傾向アリ。其害洵ニ恐ルヘシ。試ニセント、ルイズ市ニ於ケル一例ヲ見ルニ、同市ニ於テ或一ケ年間ヲ期シ評

價セシ所ニ依レハ、一日ニ取除キタル乳皮ノ量ハ實ニ一千六百ギヤロン(一ギヤロンハ我ガ二升五合)ヲ越シタリトイフ。之レ即チ消費者ニ向テ一年間九十萬弗ノ損失ヲ與ヘタルモノニシテ、貧困ナル者ニ取リテハ非常ナル負擔ト言ハサル可ラス。又數年前紐育市ニ於テハ搾乳業者ノ奸策ニ依リテ失ス所ノモノ一日約一萬弗ニ上レリ。此一萬弗ハ僅カニ二三ノ懷ヲ肥スモノニシテ、其及ホス所ノ影響ハ牛乳本來ノ營養分ヲ減少セシメ、爲メニ一方ニハ疾病ノ傳染ヲ助長シ、他方ニハ人體ノ疾病ニ對スル抵抗力ヲ減少スル結果ヲ生スルナリ。

カルカ故ニ牛乳ヲ管理スル上ニ於テ考慮スヘキ二點アリ。一ハ微菌ノ混入ヲ防遏スルコトニシテ、他ハ混和物ナキ全乳ヲ供給スシムルコトナリ。吾人ハ先ヅ牛乳ノ供給セラル、根源ニ遡リテ搾乳業者ノ狀況ヲ研究シ、而シテ後之カ改良策ヲ講セサル可ラス博士ゼームケ、ツードウエルハ搾乳場ヲ分類シテ下ノ如クセリ。

『第一ハ模範的搾乳場ト呼フヘキモノニシテ、其取扱ノ方法殆ト理想ニ近ク、且ツ決シテ他所ヨリ牛乳ヲ購入セザルモノナリ。第二ハ清潔善良ナルモノニシテ中ニハ舊式ナル者アレト、概ネ注意深キ人々ニヨリテ管理セラレ其範圍内ニ於テ最善ヲ盡サント欲スルモノ。中ニハ二三其附近ノ農場ヨリ牛乳ヲ購入スレ共、其農場ハ監督行キ届キテ清潔ナルモノヲ選ム。

第三ハ自餘ノモノヲ指ス。』

都市人ハ都市ノ生活ト其習慣トニ汚染スル事甚シト雖モ、而カモ田園生活ノ趣味ニ接觸シテ之ニ動カサレ



ナル者ハ稀ナリ。彼等ガ健全ナル市外ノ快味ヲ連想スル時、先ツ其心裏ニ描キ來ルハ舊式ノ牛小屋ナリ。廣キ擺戸ヲ押シ開ケハ馬肥草ノ匂スル牧場ヲ遠ク望ミ屋根部屋ニハ枯草豊カニ積マレ、其上ハ燕ノ飛ヒ交フアリ。牛馬ハ薄暗キ廓櫃ニ倚リ、汚レタル窓ヨリサシ入ル日光ハ末廣カリテ戸口ニ黄金ノ波ヲ漂ハス。是等ハ皆市民ニ空想ノ緒ヲ與ヘテ田園ノ光景ヲ詩化シ終ラシメ、隨テ搾乳所ノ眞ノ狀況ハ動モスレハ全ク觀察以外ニ逸シ去ラン。夫レ斯ノ如キ塵埃浮游セル舊式ノ牧場ハモトヨリ缺點少ナカラスト雖モ、又他方ニ之ヲ償却スルモノナキニシモ非ス。吾人ノ父祖ハンノ所謂「景勝ノ地」ヲ愛シ、常ニ眺望ヨロシキ高處ヲトシテ牧場ヲ作リタリ。

之レ今日東部諸州ヲ旅行スル者ノ容易ク所見スル所ナリ。斯ノ如キ高燥ノ地ハ排水完全ニシテ空氣清新、流通又甚タヨロシク、此地ニ産シタル牛乳ハ其牧場ヲ離ル、ヤ、直ニ善良ナル家婦ノ手中ニテ彼等ガ誇リトシ又喜ヒトスル、純白無垢ノ乳罐ニ入レ、清潔ニシテ冷却セル蓄乳所ニ藏ス。而カノミナラス温キ牛乳ノ之ヲ飲用スル者ノ口ニ至ル時間ハ甚タ短少ナリシカ故ニ、害毒ヲ被ルノ機會モ又比較的僅少ナリキ。斯ノ如クニシテ健全ナル牛乳ヨリ得タル泡立ツ牛乳ハ健康ヲ保チ體力ヲ増スニ於テ、非常ニ有力ナリシナリ。當今大多數ノ搾乳業者ニ於テハ然ラス。其牛乳ノ遠隔ノ地ヨリ輸送セラル、場合ニハ、牧場ヨリノ途上、即チ或ハ路上ニ、或ハ停車場ニ、或ハ汽車中ニ費ス時間幾何ナルヲ知ラス。都會ノ使用者ノ門前ニ來ル時ハ早クシテ十六時間、遅キモノニ至リテハ四十時間ヲ經ルコトアリ。發送ノ初メニ當リ異常ノ注意ヲ以テ清潔ヲ保チ、發送中ニモ斷エス低熱ヲ保ツニ努ムルナクンハ、焉ン億萬ノバクテリア群ノ襲來ヲ防禦ス

ルヲ得ンヤ。若シ又都市附近ノ地ヨリ供給セラル、場合ト雖モ、地所ノ高價ナルタメ牧場ハ屢々低濕ニシテ排水ノ甚タ惡シキ地ニ處在スルコト多シ。

遠近何レノ場合ニ於テモ、牧場ニ雇ハル、勞働者ハ概ネ外國ヨリ新シク移住シ、何等經驗ナキモノ多キカ故ニ新鮮ノ空氣、清潔、及ヒ日光ノ必要ナル如キコトハ容易ハ其心中ニ入ラス。實ニ如斯キ搾乳場ニ於テハ清潔法ノ如キ殆ト行ハレス。搾乳者ノ一舉手一投足ハ即チ無數ノ微菌殖民地ノ種子ヲ蒔クモノト謂フヲ得ヘシ。カノ人口ニ喰炙セルフリーマンノ實驗ハ明カニ之ヲ證シテ餘リアリ。此法ハ先ツ三個ノ培養皿、即チ漂泊セル微菌ニ住所ト食物トヲ供スル寒天様ノモノヲ容レタル淺キ皿ヲ備ヘ、一ハ外面ノ大氣中ニ、一ハ牛小屋ノ前面ニ第三ノモノハ其内部即チ乳牛及ヒ乳桶ノアル所ニ置クコト三分間ナルヘシ。然ル後是等ノ寒天ヲ培養シ、バクテリア發生ニ都合ヨキ状態ニ置ク時ハ、第一ノ皿ハバクテリア群ヲ有スルコト六、第二ハ百十一、第三ハ一千八百ナルヲ知ルヘシ。是レ不潔ナル牛舎ノ害毒ノ恐ルヘキモノアルヲ最モ明白ニ證明セルモノナリ。獨リ牛小屋ノ内部ノミナラス。乳牛自ラモ此微菌ノ仲介者トナルコト少ナカラス何トナレハ乳牛ノ腹部及ヒ乳房ハ槽櫃ノ不潔中ニ横臥スル故ニ多クノ病原的微菌ヲ有ス。而カモ況ンヤカノ尤モ普通ナル病毒傳搬物タル蠅ハ、容易ニ頗ル遠距離ヨリ病毒ヲ運搬スルコトアルヘキヲヤ。且又牛乳ノ成分ヲシテ完全ニ近カラシメント欲セハ、家畜ニ與フルニ善良ニシテ充分ナル食物ヲ以テセサルヘカラス。然ルニ人若シ酒釀場ノ白壁巍然トシテ一廓ヲ構フル處ヲ往復セハ、農車陸續トシテ入り、黑色ナル麥糟ヲ滿載シテ其門ヲ出ツルヲ見ル可シ。之レ乳牛ニ與フル爲ナリ。如斯キ劣等ナル穀物ヲ購入ス



ル乳業者ハ直ニ牛乳ノ成分ヲ害スルモノニシテ、其農車ハ實ニ牧場ニ不都合ナル食物ヲ運搬スルモノト謂ヒツヘシ。是レ僅ニ其一部分ノミ。其他進歩セル方法ヲ採用セスシ、偏ニ暴利ヲ貪ラントシ、又ハ無知ニシテ事ノ理非ヲ知ラサルモノアル時、乳牛ニ及ハス害毒ハ實ニ怖ル可キモノアリ。結核其他ノ疾病ニ罹レル牛ヨリ搾乳スル如キ其一例ナリ。尤モ此等ニ關シテハ吾人ハ牛結核ハ多分人ニ傳染スル事アルヘシトイフニ止ムヘシ。何レニセヨ結核ニ罹リテ其毒素の反應ニヨリ副産物ヲ生スル牛ヨリ、其他諸種ノ病牛ヨリ取リタル不純ノ牛乳ハ恐ク毒分ヲ含有スルコトアルヘシ。然レ其病牛ノ如キハ之ヲ不潔ナル搾乳者、汚レタル器具、塵埃ニ滿テル床ノ常ニ病毒ヲ傳搬スル憂アルニ比スレハ、寧ロ稀ニ起ルノ事ニ屬ス。尙更ニ注意スヘキコトアリ。即チ曉明街頭ヲ注意スルトキハ配達ノ途上、車中ニ於テ牛乳ノ瓶詰セラル、音ヲ聞クコトアリ。既ニ言ヘルカ如ク、搾乳場ハ何レモ完全ナル状態ヨリ甚タ遠キモノナリ。然レ其之ヲ運搬ノ途上消費者ノ戸口ニ於テ瓶詰スルニ比スレハ、尙不潔ナルモノニ接觸スル場合遙ニ少ナシト謂ハサル可カラス。實ニ途上ニ於テ瓶詰スルニ於テハ塵埃蠅虫及ヒ不潔ノ瓶ヨリ害毒ノ傳搬ヲ受クルコト殆ト免カル可ラサルニ似タリ。

近來善良ナル搾乳場ノ數年々増加シ來レルカ如シ。風通シヨク日和ヨキ高地ハ本能的ニ往時ノ農民ノ喜ンテ住スル處ナリシカ、近時ノ農民モ亦排水ニ便ニシテ氣流ノ宜シキ故ヲ以テ之ニ據リテ住居ス。其長ク且低キ牛舎ハ清潔ニシテ、其ノ床ハ灑掃ニ容易ナリ。厩舎槽櫪ハ廣ク開放セラレ、枯草部屋ハ別ニ分離シテ塵埃ヲ飛ハスコト少ナシ。之レ皆進歩セル搾乳業者ノ思慮ニ富ミ、且清淨ヲ旨トスル事ヲ示スモノナリ。カ、リテ、體內ヨリ出テタル暖キ牛乳ヲ華氏四十度又ハ五十度ニ冷却ス。

此冷却セラレタル牛乳ヲ直ニ微菌種子ノ恐レナキ瓶中ニ受ケ、上下左右ヲ氷ニテ覆ヒ、運送中ニモ氷詰トナシテ消費者ニ配達ス。如斯キ農場ニ於テハ謂フ迄モナク水ノ供給充分ニシテ且清淨ナリ。又搾乳ニ使用スル諸道具ハ皆清潔ニシテ接合目ナキモノヲ用フ。

然レ其搾乳業者ヲシテ悉ク、如斯キ理想ノ状態ニ達セシムルニハ幾多難關ノ途上ニ横ハルアリテ、都市ノ牛乳ヲ全然清淨ニスルノ難キハ、猶昔シカノ三千ノ牝牛ヲ有シテ三十年間曾テ掃除セシコトナシトイフオトジャス王ノ厩舎ヲ清潔ニスルカ如ク容易ナラサルノ思アラシム。然リト雖モ若シ人茲ニ一定ノ救済策ナキニシモ非サルヲ知り、清淨ナル牛乳ヲ產出スル搾乳場ノミ初メテ長ク存在シ得ルヲ覺リ、又アル都市ニ於テハ牛乳ノ供給殆ト理ニ近キモノアルヲ聞カハ、其困難モシカク大ナラサルヲ思フ可シ。既ニ完全ナル牛乳ノ供給セラルヘキヲ立證シタル以上ハ、即チ輿論ヲ喝起シテ搾乳業者ヲシテ適當ナル農場ヲ設備セシメ商人ヲシテ其牛乳ヲ健全ニ又清潔ニ保存シ且配達セシム可キナリ。

一定ノ標準ヲ定メ牛乳ヲシテ之ニ則リテ必スヤ一定ノ脂肪ト實質即チ健全ナル乳牛ヨリ得タル牛乳ノ當然



含蓄スヘキ滋養量ヲ保有セシムヘキ事ノ必要ナルハ、稍世人ノ承認スルトコロナレカ如シ。此點ニ關スル難點ハ都市ニ於テ法律規定ヲ設クルノ難キニ非スシテ、寧ロ才幹アリ信賴スルニ足ル當局官吏ヲ登用スルノ容易ナラサル事ナリ。且之ニ要スル費用概ネ不足ニシテ、善良ナル牛乳検査官吏モ尙全體ノ注意ヲ拂フコト能ハス。否、時ニハソノ一部分ニ對シテスラ充分之ヲ至ウスルコト難シトナス。充分ノ費用ナクシテ尙完全ニ行動スヘキ自働規則ハ、長ク求メタレトモマタ發見セラレサルナリ。

牛乳検査ノ新標準トハ、牛乳ノ有害ナル微菌ヲ混有セス、或ハ一定ノ微菌數以上ヲ混有ス可ラサルコトヲ要求スルモノナリ。此標準ニハ一立方センチメートル即チ約一液體オンズノ三十分ノ一ノ極メテ少量ナル牛乳ヲ用フ。蓋シ此小部分ニスラ混有スル微菌ノ數ハ、約一百個弱ヨリ一十萬個ノ多キニ達スルコトアリテ、一立方センチメートル中ノバクテリア群ヲ計算スルハ其効力ノ點ニ於テ一升ノ牛乳ヲ計算スルト相同シキヲ以テナリ。既ニ説ケルカ如ク含有スル微菌數ノ大ナルニ隨テ病毒ヲ發生スルノ機會モ亦大ナリ。サレハ混有スル微菌ノ總額ニヨリテ一標準ヲ定メ、純良ナル牛乳トハ微菌ノ最小額ヲ有スルモノナリトノ斷案ヲ下シ得ルナリ。

サレハ靜肅ナル實驗室ニ於テ、顯微鏡ト培養管トヲ友トセル微菌學者ハ、實ニ死ト小兒トノ中間ニ介在シ往昔惡龍ヲ退治セシトイフ聖ヂョーヂノ臣下ノ如ク、疫病ト死亡トヲ退治スルモノナリ。吾人ハ若シ都市ニ法令ヲ設ケテ牛乳ニ混有スヘキ微菌ノ額ヲ規定シ、検査官ヲ置キテ之ヲ勵行スルコトタニセハ、輒チ都市保護ノ責ヲ舉ケテ此科學者ニ一任シテ大過ナカルヘシ。彼ノ實驗室ニハ車上ヨリ、又農場ヨリ收集シタ

ル牛乳ノ標本アリテ、各各細カニ番號ヲ記シ、適宜ニ之ヲ稀薄ニシタル後、無菌ノ液體ヲ有スル皿ニ注入シ、熱ト濕氣ト空氣トヲ與ヘテ微菌ノ成長ヲ容易ナラシム。如斯キ狀態ニアルコト數時間ノ後皿中ニ一個微細ナル黑點ヲ生シ、次第ニ増大スルヲ見ル。コレ此極微有機體ノ殖民地ニシテ一時間ニ幾百幾千ノ律ヲ以テ繁殖ス。此個々ノ殖民地ハ即チ最初只一個ノ微菌ナリシモノニシテ、殖民地ノ總數ハ混有セシ微菌ノ總數ヲ示スニ外ナラス。獨リ其總數ヲ知ルノミナラス又微菌ノ性質ヲモ識別シ、其無害ナル乳酸菌ナリヤ、危險ナル腐敗性ノモノナリヤ、將タ諸種ノ病菌ナリヤヲ判定スルヲ得ヘシ。如斯キ微菌學ノ注意コソ吾人カ能フ限リニ於テ、尤モ健全ナル牛乳ノ供給ヲ保證シ得ル方法ナレ。

牛乳ヲ微菌ノ浸略ヨリ保護スルニ無菌法 (Sterilization) 及ヒパスチール氏殺菌法 (Pasteurization) ノ二方法ヲ以テスルハ、世人ノ屢々稱道スル所ナレハ、一言茲ニ論及スルノ要アルヘシ。牛乳ヲ華氏百度ニ熱スルハ一面バクテリアヲ迅速ニ増殖スルノ傾向アルト同時ニ、他面之ヲ撲滅スル効力アレハ、加熱ノ問題ハ決シテ單純ナル者ニ非ス。家婦カ牛乳ノ酸敗ヲ防カントシテ之ヲ沸騰スルハ之レ無菌法ヲ用フル者ニシテ、其眞ノ目的ハ乳酸バクテリアヲ撲滅シ其活動ヲ防止セントスルモノナリ、實際牛乳ハ沸騰點二十度ノ熱度ニ置クコト十分間ナレハ、其混有セル有機體ヲ殆ト死滅セシム。然レ共此微菌ノ死滅ト共ニ牛乳ノ成分ニモ非常ナル變化ヲ生シ瓦斯芬芳香質及ヒアル他ノ水成分分子ハ全然其力ヲ失ヒ、他ノ成分ト雖モ幾分薄弱トナルヲ免レス。隨テ牛乳ノ消化成分ニモ影響ヲ及ホシ、之ヲ絶エス使用スル嬰兒ヲシテ恐ルヘキ腹部ノ疾病ヲ起サシム。此方法ハ之ヲ適當ニ行フ事極メテ困難ニシテ、而カモ如斯キ經過ヲ遂ケタル牛乳ハ成分ト同時



ニ外見及ヒ滋味ヲモ損傷ス。從テ歐洲大陸ニ於テハ屢々行ハル、モ米國ノ都市ニ於テハ之ヲ用フルモノ極メテ稀ナリ。

巴斯チール氏殺菌法ハ頗ル單純ニシテ、牛乳ヲ百五十五度ヨリ低カラス、又百五十九度ヨリ高カラサル熱度ノウチニ置クコト甘分ニシテ足レリ。此方法ハ一切ノバクテリアヲ撲滅スルコトナキモ、其尤モ危險ナル腐敗性バクテリア及ヒ諸種ノ病菌ヲ亡ホシ、且一立方センチメートル中ニ存スル幾萬ノバクテリアヲ減少シテ百個以下トナスノ效アリ。サレハ普通ノ人家ニテ衛生的ナル牛乳ヲ購入スル便利ナキ場合ニハ、此方法ヲ用フル事最モ安全ナリトス。此方法ニテハ牛乳ノ成分及ヒ外見ニ變化ヲ與フルコト無菌法ヨリ鮮ク、而カモ其效果ハ遙ニ著大ナリ。勿論酸化バクテリアノ撲滅ハ其事自ラニテ決シテ一小瑣事ニ非ス。蓋シ既ニ酸化シ或ハ將ニ酸化セントスル牛乳ノ、偶然嬰兒ニ與ヘラル、時ハ、其結果危險ナル消化器病ヲ發生スルコトアレハナリ。然レ共此事ヨリ更ニ更ニ重大ナルハ結核菌、チブス菌、及ヒデフテリア菌ノ撲滅ヲ確實ナラシムル事ナリ。巴斯チール氏殺菌法ハ多額ノ費用ヲ要セス、簡單ニシテ之ヲ行フニ容易ナリ。且ツ複雑ナル設備ヲ要セス、只要スルモノハ周到ナル注意ノミ。但シ苟モ牛乳ヲ體温以上ニ暖ムルハ決シテ充分満足ナル方法ニ非サレハ、バ氏殺菌法モ亦決シテ完全ナルト云フヲ得ス。唯一般ノ消費者カ此方法ニ據ランコトノ、イカ、ハシキ供給ヨリ得タル牛乳ヲ敢テ使用スルヨリ遙ニ賢明ナルハ殆ント明白ナルカ如シ。以上述ヘタルハ個人ノ殺菌法ニシテ、商業上ノ巴斯チール氏殺菌法ハ全然之ト異レルモノナリ。此問題ニ關シテハポストン市衛生課ノゼームス、オー、ジヨルダン教授ノ謂ヘルコト最モ適切ナリ。其言ニ曰ク

「商業上ノバ氏殺菌法ハ一個ノ目的ヲ果スコトヲ得レ共眞ノ菌殺法ニ非ス。此方法ヲ用ヒテ殆ト一切ノ酸化性バクテリアヲ撲滅シ得ル事ハ毫モ疑ヒナキコトナレ共、而カモ之ヨリモ更ニ有害ナル微菌ヲ排除スルコトナシ。而シテ此等ノ有害ナルバクテリアヤコソ眞ニ恐ルヘキモノニシテ、外見上依然口腹ニ適スルカ如キ牛乳ニシテ而モ屢々種々ノ害毒ヲ惹起スルコトナキニシモ非ス。實ニ此方法ハ時トシテ之ヲ施サ、ルニ於テハ酸化ノ故ヲ以テ全ク販賣ス可ラサル程ニ腐敗セル牛乳ヲシテ、尙新鮮ナルカノ如キ外見ヲ與ヘ、以テ市上ニ出サシナルナリ」ト。

都市ヲ圍繞スル巨大ノ商舖ハ愈々巨大トナリ、病院慈善院ノ數愈々増加ス。都市ノ膨脹ニ伴ヒ數百千人民ハ唯一手ノ供給ヨリ養ハル、カ故ニ、從テ個々ノ消費者ニ於ケル場合ヨリモ全然異レル別方面ノ問題ヲ生シ來ルナリ。茲ニ一記録アリ。牛乳ノ諸方面ニ分配セラル、時ニモ、尙之ヲ清鮮ニ保チ清鮮ニ分チ得ル方法ヲ語ルモノナリ。

ポストン市ノノース、エンドニ近ク、海風自ラ市井ノ空氣ト異レル處ニ病院フロートンダホスピタル船アリ。最モ巧妙ニ管理セラレタル氣高キ一慈善業ナリ。數年前一新病院船ノ設備セラル、ヤ、委員ハ此船ニ無菌法及ヒ殺菌法何レヲモ使用セサル事ニ決シタリ。蓋シ此病院船ニ入り來ル患者ノ大多數ハ消化器病ニ冒サレタル小兒ノミナレハ殆ト無菌ノ牛乳ヲ供給セサル可ラサレハナリ。當時未タ何レノ病院ニ於テモ牛乳中ノバクテリア數ヲ極少ナラシムルニ於テ未タ満足スヘキ設備ナカリキ。依テ之カ完成法ヲ研究スルノ責任ハ一ニ病院ノ食物實驗所々長フレデリック、ダブルユ、ホー氏ニカ、レリ。氏ハ乃チ一製練室ヲ案出シ嘗テイカナル病院



ニテモ比類ナキ小類ノバクテリアヲ有スル牛乳ヲ配布スルニ至リタリ。則チボストン市衛生課ニ於テハ一立方センチメートルノ牛乳中ニ微菌五十萬ヲ超エサルヲ標準トシタリシカ、此病院船ニテハバクテリア十萬乃至二十萬ヲ有スルニ過キサル牛乳ヲ供給シタリ。如何ニシテ斯クノ如キ效果ヲ奏セシヤト謂フニ他ニ非ス。種々ノ考案ヲ重ネテ牛乳ヲ絶對的清淨ニ保存スル方法ヲ設ケタルノミ。之レ洵ニ小兒カ健康恢復ニ對シ、最上ノ機會ヲ與フルモノニシテ、以テ刮目ニ値ヒスル成功ノ一ナリ。

狹隘ナル船中ノコトトテ無用ノ空處ヲ占領スルコト能ハサレハ、此製練室ハ病院カ他ノ部分ヨリ遮斷シタル日當リヨキ四個ノ狹隘ナレトモ設備ヨキ室ヨリ成リ、交通ノ如キモ戸ニ由リテ甲板ト、又窓ニ由リテ廊下ト通スルノミナリ。第一室ハ洗滌室クレジシブルームニシテ病室ヨリ歸リ來リタル牛乳瓶ハ清淨液ヲ混スル熱湯槽中ニ於テ自働刷毛ニテ洗滌セラル。瓶ハ此處ヨリ移サレテ大ナル殺菌室ステライザーニ至ル。殺菌室ハ多クノ棚ヲ有シ、其床ハ銅板ニテ張り詰メラレテ以テ數百ノ瓶ヲ置ク可シ。室ノ戸ハ緊シク密封セラレ、清淨法中ノ最モ有力ナル蒸發氣ヲ室ノ角々ニ送り以テ瓶ノ内外ヲ清潔ニス。次に來ルハ調合室ミキサーニシテ、此室ニ於テハ各患者ノ狀況ニ應ジテ牛乳ヲ調合ス。之レ實ニ殺菌室ヨリモ更ニ重要ナル者ナリ。夫レイカナル病院ニ於テモ尤モ意ヲ用フヘキハ、最少ノ時ト注意トヲ用井テ最大ノ效果ヲ奏スヘキ設備ニシテ此室ノ成功セル所以又茲ニ存ス。此調合室ハ冷却セル鹽水ヲ湛エタル正方形ノ大槽ニシテ、中ニ數個圓筒形ノ槽ヲ有シ、此病院ニテ使用スル牛乳混和液ヲ保ツ。而シテ一度栓ヲ廻セハ以テ牛乳ヲ出スヘシ。又ゴム管ヲ使用シテ各罐ヲ蒸氣管ト連絡シ之ヲ充分ニ洗滌シ又殺菌ス。罐ノ一度充滿スルヤンノ口ヲ除クノ外悉ク密封セラレ、カク

シテバクテリアハ撲滅セラレサルモ全ク排外セラル。最後ニ來ルハ大ナル冷蔵庫ニシテ一方ヨリハ模範的ノ搾乳場ヨリ來ル牛乳ヲ藏シ、他方ニハ調合室ト連絡ス。如斯クニシテ毎日毎食小兒ニ供スルニ純良清潔ノ牛乳ヲ以テスルヲ得ハク、細民窟ノ不潔場裏ヨリ入院シ來ル小兒ノ數ト、回復シテ退院セシ者ノ數トヲ比較セハ、此設備ノ成功ヲ保證シ得テ餘リアルナリ。廣ク病院其他慈善院ニ於テモ若シ之ト同方法ヲ用井ナハ、必スヤ利益スルトコト鮮ナカラサル可シ。

本論ヲ終ルニ先チ進歩セル研究ノ他ノ一記録ヲ紹介スヘシ。即チ體內ニ存在スル惡細菌ヲ亡ホスニ、其敵タル善細菌ヲ利用スルコトノ可能ナルヲ證明スル一例ナリ。バターミルク(バター)ヲ製造シタル殘リノ牛乳(ライフ)中ニアル強壯劑ノ存スルコトハ久シク世人ノ知ルトコロナリシカ、此事實ノ科學的價值ノ承認セラレタルハ僅ニ近年ノコトニ屬ス。則チ此種ノ牛乳ハ或場合ニ於テ消化器物ニ對シ非常ニ有效ナルコトヲ發見シ、次第ニ研究ノ歩武ヲ進ムル端緒ヲナシタリ。若シバター製造ニ使用シテ其價值ヲ半減シ、而カモ其タメ勢ヒ不潔トナリシバターミルクニシテ尙此效アリトセハ、純良ナル牛乳ヲ用ヒテ更ニ有力ナル效果ヲ奏セシメ得サルノ理アラシヤ。斯クテ實驗ニ實驗ヲ重ネタル後、遂ニ乳酸バクテリアヲ培養シ、之ヲ純良ナル牛乳ニ加ヘ、以テ之ヲ酸化スルコトニ成功シタリ。其方法ハ此種ノバクテリアヲ充分ニ混入シ千分ノ七ヲ最大限トシテ乳酸ヲ發生セシム。此量ハ牛乳ノ一部分ヲ凝結セシムルモノノ溶解部分ニ於テハバクテリアノ善良ナル發生ヲ促ス。此極微ナル戰士ハ腐敗ニ對シ最モ有力ナル敵ニシテ一度體內ニ入ルヤ、之ニ寓居セル不良バクテリアト爭鬪シテ之ヲ撲滅ス。其様體內ノデフテリア菌ヲ撲滅スル消毒素ノ動作ヨリ異



レリト雖モ、中和ノ作用ニ由リテ疾病ヲ防禦スル原理ニ對シ一步ヲ進メタルモノナリ。如斯ク良微菌ヲ利用シテ不良微菌ヲ戰ハシメ食物ノ安全ヲ保ツハ將來少ナカラサル利益ヲ與フヘク、病原ヲ驅除スル試驗多キカ中ニモ此發見ハ非常ニ重大ニシテ、且高尙ナル仕事ヲナスノ先驅タルヘシ。

今日此方面ニ於テ尤モ有力ナル效果ヲ齎セシモノハ、恐ク都會ノ醫師ト有志ノ改良團體ト相體結シテ行ヒタル私人事業ナルヘシ。カクノ如キ團結事業ハ之ヲ獎勵スヘク、之ヲ獎勵スルハ正シク社會ノ一義務ナリ。若シ街路ヲ曳キ行ク處ノ荷車ニシテ『檢定濟牛乳』ノ記號ヲ有スル際ニハ、此記號入荷車ヲ有スル農場ハ必ス善良ナル牛乳ヲ供給スルコト明白トナリ、カ、ル牛乳ヲ賣却スル商人ハ華客ヲ得ルニ於テ容易ナリ。蓋シ此記號ハ尤モ有效ナル廣告ナレハナリ。檢定濟牛乳トハ何ゾトイフニ第一此證明ハ醫師ヨリ成レル委員會アリテ此會ヨリ農場ニ之ヲ附與スルコト。從テ農場ハヨク之ヲ調査シ種々ノ點ニ於テ理想ニ近キモノタルヘシ。第二牛乳ヲ消費者ニ配達スルニ尤モ完全圓滿ノ方法ニ據ル者タルヘキナリ。勿論アル都市ニ於テハ檢定トイフ如キ制度ヲ實行スルコト困難ナル處モアルヘシ。然レ共農場ノ狀況ヲ個人的ニ調査スルコトハ必スヤ牛乳検査中ノ一部分タラザル可ラス。一例ヲ舉クレハ加奈太ブリツチツシユ、コロムビヤ州ノヅアソクローザ市ノ如キ、市ノ牛乳商ハ、其牛乳ヲ供給スル農場主ノ検査ニ合意スルニ非サレハ營業認可證ヲ得ル能ハス。而シテ萬一検査ノ結果ニシテ不満足ナランカ、直ニ其營業證ヲ沒收シテ以テ不都合ヲ一排除スヘキ制度ナリ。

扱上來記述セシ所ヲ一括スレバ、第一最近研究ノ結果牛乳ニ高熱ヲ加ヘテバクテリアヲ撲滅セントスルヨ

リモ、清潔法ヲ涼氣トニ由テ之ヲ排除スルヲ可トスルコト、萬一純粹ナル牛乳ヲ望テ得ヘカラサル危急ノ際ニハバスター氏殺菌法ヲ用フルヲ以テ比較的良好ナル代用法モナスコト。第二死亡統計ニ由ルニ此微菌排除法ハ兒童ニ對シ又國民全體ニ對シ尤モ必要ナルコト。今日吾人ハ或ハ少シク改良トイフ聲ニ倦ミ吾人カ警戒ノ振ルハ一方面ニ向テ稍々動キ過キタロノ觀アリ。然レ共他方面ニ於テハ進ムコトマタ充分ナラス、都市ノ兒童ノ生命ニ關スルカ如キ今日尙多ク顧ラレスシテ沈滯ノ狀態ニアリ。然レ共若シ茲ニ蒼顏瘠軀ノ兒童ヲ舊態ニ歸シ、再ヒ豊頰強健ノ身體トヲ與フルノ手段アリ。或ハ目下ノ死亡率ヲ引下クル方法アリトセハ、誰カ之ニ興味ヲ覺エ一臂ノ力ヲ副フルコトヲ否ム者アラシヤ。召集ノ喇叭ヲ高く響カシテ聾イタル耳ヲ聞コエシメ、眠レル魂ヲ醒サ、ル可ラス。是レ實ニ萬事ヲ抱懷スル有力ナル一新十字軍ヲ召集スルノ響ナリ。

## ○食料問題

マタホノ向キ薄明ノ頃ホヒ、或ハ轟々タル汽關車ノ音高ク煤烟濛々タル停車場ヨリ、或ハ音モナキ快速力ノ列車連レル燈火眩ユキ地下鐵道ヨリ、或ハ行人稀ニシテ戸々尙鎖セル町々ヲ音高ク疾行スル電車ヨリ注キ來ル幾萬ノ群集ハ是レ都會ニテ業務ヲナスノ人ナリ。此朝來注イテ止マサル人ノ流ハ其中ニ全都市ノ富ノ總額ヲ藏シ、其要求ニ應シテ都市百般ノ活動ヲ生ス。サレハ都市ノ全經濟力ハ此移動スル群集ノ個々ヲ



總括セルモノ、上ニ存在スル也。此大潮流ヲナス人間ノ精力ハ海ト陸トノ財源ヲ彙集シ、之ヲ變シテ人類ノ必要ニ應セシム。カルカ故ニ此精力ノ保存奈何ハ市ノ事業ノ榮枯消長ニ關シ、其一般ニ増加スルニ從ヒ各人ノ生活モ亦高上シ且善良トナルナリ。

精力増進ノ方法トシテ各個人ノヨクシ能フモノニ唯一ツアリ。其食物之レナリ。カノ熾烈ナル爐火モ石炭ノ供給止ムトキハ忽チ消滅スルコトノ一點疑ナキカ如ク、人一度其糧道ヲ斷ツ時ハ即チ死亡ス。之レ尤モ明白ナル事實ニシテ亦各人ニ直接關係スルコトナルカ故ニ、人ノヨク記憶スル所也。然ルニ之ト等シク眞理ニシテ、而カモ一般ニ記憶スル者少ナキ事アリ。他ニ非ス。カノ内壁ニ死灰ヲ積ムコト夥シキ暖爐ハ、火氣ノ盛ナルニモ拘ラス熱ヲ興フルコト尠ナキカ如ク、不充分ナル食物、或ハ不良ナル食物ハ、其人ヲ毒シ或ハ之ヲ鈍ニシ、彼カ以テ勞役スヘキ精力ヲ與ヘス、彼カ人生ノ競争場裏ニ於テ耐ユヘキ氣力ヲ増進スルコトナキノ一事ナリ。

都市食料問題ヲ最モ簡單ナル形式ニテ記述スレハ之ヲ下ノ如ク謂フヲ得ヘシ。即チ如何ニセハ消費者ニ提供スルニ健全ナル食物ヲ以テシ、其食膳ニ上ス時如何ニ満足ナル状態ニアラシム可キヤトイフニアリ。吾人ニシテ若シ此問題ヲタニ解決スルコトヲ得ハ、吾人ハ世界ノ事業ナルモノヲ攻撃シツ、アル軍隊ニ附スルニ、適當ナル兵站部ヲ以テシタルモノト謂ヒツ可シ。若シカノ奈翁ノ曰ヒシ『軍隊ハ其胃ノ腑ニ由リテ行進ス』トイフ有名ナル語ノ、一世紀前ニ於テ久シク歐洲ヲ威壓セシ然敵軍ニ適用シテ誤タストセハ、又之ヲ今日ノ商業上ノ優勢ニ對シ必死ノ奮闘ヲナセル時代ニ用ヒ、最モ善良ナル食物ヲ有スル國民及ヒ食物ニ

對シテ最上ノ注意ヲ拂フ都市ハ、最後ノ勝利ヲ得ルノ機會ヲ尤モ多ク有スルモノト云フニ憚ラサルナリ。吾人ハ動モスレハ農場ノ菜園ヲ思ヒ、村閭ノ肉屋ノ白キ荷車ヲ視テ、直ニ之ヲ吾人カ食料ノ基礎トナシテ自ラ安ンシ、カノ吾人カ命ノ綱ト仰ク原料品ノ範圍頗ル廣濶ナルモノアルヲ一般ニ忘レントスル傾向アリ、又ハ諸般ノ内事ニ於テ多ク然ルカ如ク、現時亞米利加ノ農場ヲ以テ甚タ近接シ、直ニ其產物ヲ攝取シ得ルカ如ク考フ。然レ共今日市民ノ思ハサル可ラサルハ、此等ノ食料品ノ吾人ノ家ニ到着スル途上ニニ於テ幾攻撃軍ノ哨兵線ヲ通過セサル可ラス、隨テ毎年幾千幾億噸ノ腐敗熟爛セル食物ノ都市ニ入り來ルコトナリ。カノ英國南阿ノ戰ニ於テ武裝列車ハ處々ニ食料ヲ運搬シ、要塞ハ列車ヨリ受ケテ之ヲ貯藏シタリシカ、吾人ノ冷蔵車ハ正ニ此武裝列車ノ如ク、冷蔵庫ハ甚タ要塞ニ似タリ。包圍セラレタル要塞ニ向テ迅速ニ運搬スル武裝列車ノ如ク、吾人ノ食物ハ其生産地ヲ去リテ、最終點ニ達スル迄ニ絶エス危險物ニ曝露セラル、ナリ。此食物ノ遭遇スヘキ敵ニ二種アリ。自然的ノモノト、非自然的ノモノト是ナリ。前者ハ自然ノ破壞力ニシテ後者ハ貪婪ナルモノ、或ハ無學無知ナルモノ、軍ナリ。此兩敵ト雖モ若シ吾人ニシテアル一定ノ防禦策ヲ講シ、之ヲ施ス時ニ於テハ破ルコト必スシモ至難ニ非ス。之ヲ講スルニ當リ吾人ノ先ツ必要トスルハ食物ヲ包圍スル危險物ニツキ明確ニ敵狀ヲ偵察スルコトナリ。

普通ノ談話ニ於テ吾人ハ曰ク『柔ニナリタル密柑又ハ變色セル肉片ハ腐敗セリ』ト。又家婦ハ冷蔵庫ヲ覗キテ曰ク『之ハ今日中ニ食ハサル可ラス。明日迄保チ難シ』ト。是等ノ言語ニ由リテ吾人ハ直ニ或破壞分子ノ食物中ニ存在セルヲ認ム。此吾人ノ呼ヒテ食物ノ腐敗トナスモノハ、世界ニ於ケル自然則ノ一大運動ニシテ、



自然力次ニ述フルニ者中其一ヲナサントスルモノナリ。一ツハ或物質ノ既ニ割宛テラレタル時代ヲ生存シ終リタル時、之ヲ利用シテ新生命ヲ鼓舞セントスルカ。二ツハ既ニ用ヲ終リテ今ヤ撤去スル許リナル物質ヲ破壊シ之ヲ艾除セントスルナリ。食料品ハ皆之レヲ植物ノ生活シ能フ條件ノ許ニ置ク時ハ變シテ豊饒ナル沃土トナル。食物ノ破壊ハ土中ニ生スル極微有機體ノ作用ニシテ此有機體ハ地球表面上ヨリ有機的無用物ヲ排除セントスルモノニシテ、之ヲ構成スル物質ヲ分解シテ原始状態ニ復歸シ、改メテ植物ノ營養品トナスナリ。

吾人ハ圍繞シテ書齋ニ、臺所ニ實驗室ニ、野ニ、丘ニ、嚴冬モ恐レズ、酷暑モ感セズ、微少ナル無數ノ植物ヨリナレル空中植物園ハ常ニ生々繁茂シテ存在ス。是等ハ麵麩又ハチースニ生スル糸ノ如キ微ナリ。黒。汁ヲ發酵シ、サイダーヲ變味センムル野生釀母ナリ。或ハ變味セルサイゾーヲ再變シテ醋トナス醋ノ元ノ如キ、又ハ分解ニ由テ食物ノ有機的成分ヲ破壊スル諸種ノバクテリア等皆之レナリ。

是等ノ微ヤ、釀母ヤ、バクテリアヤ、皆極微有機體トシテ總括スヘキモノニシテ、共通セル一種ノ特質ヲ有ス。此者ハ皆ナ土中ニ營養ヲ仰ク菌ト稱スル植物ノ一群ニシテ他ノ菌族ノ如ク、成長シテ食物ヲ攝取スルニ從ヒ、其寄托シテ食物ノ供給ヲ受クル有機體ヲ破壊ス。而シテ其尤モヨク成育スル條件ハ、暗黒ト暖氣ト濕潤トニシテ、好テ汚物ヲ發生セシ、汚物ハ常ニ是等ノ微細ナル物件ヲ以テ充滿ス。サレハ吾人カ此破壊的極微有機體ノ攻撃ヨリ免カレントセハ清潔ト冷氣ト勵行スルノ外ナシ。凡ソ清淨ニシテ低熱ナル冷藏庫ハ食物ヲ保存シ、溫暖ニシテ濕氣アル臺所ハ之ヲ破壊スルモノ也。前者ハ其清淨ナルカ爲、又熱度ノ

低キカ爲極微有機體ノ成長ヲ阻害シ、後者ハ不潔ニシテ塵埃ヲ蒙ル機會多ク、又熱度高キヲ以テ此空中植物ヲ培養スル場合多シ。

植物ノ葉莖花實ハ其尋常状態ニ在リテハ遂ニ木幹ノ木材質及ヒ纖維質ニ變化スヘキ傾向アルモノナリ。然ルニ有機體ニアリテハ落葉ヲ攻撃シテ之ヲ分解シ、元素トナシテ再モ其曾テ生シタル土ニ返ス。是レ生滅相交代スル作用ナリ。萬一此作用ナカリセハ吾人ニ食物ヲ與フル新鮮ニシテ生々タル植物ハ遠キ以前ニ於テ悉ク化シテ硬粗ニシテ使用ニ堪フ可カラサル木質ト變シ終リ、又人類動物ノ營養物タルコト能ハサリシナラン。極微有機體ノ價值ハ獨リ之ルニ止マラス。追々序説スヘキ近代ノ下水植物ハ實ニバクテリア薄膜ノ相集合セル岩石ノ層ナリ。此種ノバクテリアハ其上ヲ流ル、下水ヲ分解シ、其害毒有機體ヲ變シテ單純ナル無機體トナシ、大地ノ掃除人トシテノ任務ヲ完了シツ、アリ。

之ヲ約説スレバ食物保存ノ自然的仇敵ハ極微有機體ニシテ、世界ニ偏滿シテ絶エズ分解ノ職務ヲ盡サントス。食物ハ此有機體ノ共通殖民地ニシテ、自ラ成長スルニ從ヒソノ素成分ヲ破壊シ、之ヲ變シテ以テ味フ可ラサル有害物トナス。而カモカ、ル有機體ノ發生ハ自然ノ必需物ナリ。人ノ絶對的ニ之ニ對抗シテ以テ其作用ヲ禁止スル能ハス。清潔ト冷氣トノ二法ニ由テ其必要トスル限リ一部分ニ於テ之ヲ制禦スルノミ。第三ノ防禦策タル乾燥ニ由テ食物ヲ保存スル法ハ到底行フヘカラス。蓋シ食物ハ概ネ水ヲ含有スルヲ以テ其尋常状態トナスヲ以テナリ。

盛ナル哉、都會ニ食物ノ輸送セラル、狀ヤ。小麥列車ハ西部荒漠タル大平野ヨリ突進シ來リ、魚船ハ北遠



クバンク群島ヨリ大帆ヲ翻シテ來リ、冷蔵庫ハ幾千ノ獸肉ヲ滿載シテ大陸ヲ疾走シ、高キ荷馬車ハバーセ  
 ロンノ強ク逞シキ馬ヲ喘カセテ曉明田舎路ニ現レ、其籃ニハ金色ノ黄橙アリ、水氣滴ル桃アリ重ク房々ト  
 垂レタル葡萄アリテ行ヲ急クコト切ナリ。又巨大ナル自動荷車ハ甘味ヲ充滿シテ熱鬧ノ市街ヲ馳驅ス。凡  
 ソ如斯自然産物ノ輻輳歸聚スル様ハ、之ヲ視ル人ヲシテ吾人ノ住居セル富有ニシテ光榮アル國ニツキ一種  
 廣漠タル思想ヲ喚起シ、自ラワカ偉大ヲ感シテ相誇ルノ情禁シ能ハサルモノアラシム。

然レ共此豪華ナル光景ノ他面ニハ暗黒悲惨ナルモノアリ。紐育市イーストサイドニハ多クノ歐洲移住民居  
 留ス。茲ニ一露西亞獨太人アリ。水菓子屋ニシテ其手車ハ彼ノ商品ヲ載セ盡シテ決シテ狭キヲ覺エス。終  
 日街衢ヲ呼ヒ歩キテ所得ナク、空シク熱苦シキ長屋ニ歸リ來リ、既ニ朽敗充分ナル果物ヲ以テ翌朝再ヒ街  
 頭ニ露ク。此損傷シタル物品ヲ販賣スル水菓子屋ノ行爲ハ或ハ故意ニ出テタルモノアルヘク、或ハ無知  
 ヨリ生セシモノアルヘシ。ソノ何レニセヨ結果ニ於テハ相同シ。自然ハ更ニ斟酌スルトコロナク、其法律  
 ハ苛酷ナリ。如斯キ食品ニシテ調査ヲ經ス又沒收セラル、事ナクシテ諸人ノ口ニ入ルトキ、忽チ都會貧民  
 ノ虛弱ナル體軀ヲ破壊ナルニ躊躇セス。而シテ都門ノ戰士ナル醫師ハ困憊シ報告シテ曰ク『腐敗セル食物  
 ニ原因セル傳染病再ヒ發生セリ』ト。検査ノ重大ナル此一事ニ由リテモ明白ナリ。

若シ夫レ如斯ク是等細民相手ノ小食物供給者ニシテ、或ハ無知ヨリ、或ハ深キ必要ニ迫ラレ(何トナレハ  
 一日ノ資本ヲ失フコトハ即チ翌日ノ飢渴ヲ意味スレハナリ)或ハ貪婪ニ支配セラレテ擅ニ行動スル以上ハ  
 都市ハ正ニ力ヲ竭シテ其子女ヲ保護セサル可ラス。試ニ都合ノ細民屈ニ赴キ、其小サキ八百屋ヲ訪ヒ肉屋

ヲ検査セハ思半ハニ過クルモノアラン。余カ稱シテ極微有機體ノ破壊行爲ヲ防禦スルニ大保護物トスル清  
 潔ト低熱トノ二個ヲ設備スルモノ此長屋界限ニ抑モ幾軒アリヤ。而シテ更ニ夏期ニ於テ胃腸病ニヨリテ死  
 亡セルモノ、比例果シテ如何。最モ重大ナル牛乳問題ヲ別ニシテ考フルモ、尙吾人ノ熟慮ヲ要スル者甚タ  
 多シ。

食料品ニ偽和物ヲ用ヒ、牛肉ニ防腐劑ヲ施シ、其他有害ナル保存法ヲ加ヘテ之ヲ販賣スル者ハ無知ヲ標榜  
 シテ其奸策ヲ持續スル理由トナス能ハス。近年沸騰セル純粹食料品ノ議論、州會國會ヲ通過セル純粹食料  
 品法ハ製造家ヲ啓發シテ事情ノ甚タ重大ナルモノアルヲ知ラシムルニ有力ナリキ。然レ共獨唯利益ヲノミ  
 念トシテ爲ニ諸種ノ罪惡ヲ行フ者ノ存在スル限り、社會ハ不法ナル食料品ノ製造家及ヒ販賣者ノ行爲ニ對  
 シ自ラ防衛セサル可ラス。實ニ彼等ハ自己ノ利益ヲノミ追ヒテ社會ノ害毒ヲ流スモノナリ。

吾人ハ都市ノ食物ニ對シ人爲的ニ行ハル、害毒ヲ分類シテ三種トナスヲ得ヘシ。其一ハ既ニ腐敗ノ傾向ア  
 ル食品ヲ故意ニ賣却スルモノ、第二ハ食物ニ一種ノ保存法ヲ施ス者、此保存法ハ一時極微有機體ノ活動ヲ  
 減シ、或ハ之ヲ阻害スルモ依然人體ニ對シ有害ナルモノヲ指ス。第三ハ善良ニシテ營養ニ富メル食品ニ偽  
 物ヲ混和シ、或ハ更ニ安價ニシテ劣等ナル物品ヲ之ニ代ヘテ販賣スルモノナリ。

讀者或ハ此點ニ關シ驚イテ曰ハン『然レ共コハ既ニ解決セラレタル問題ナリト思フ』カノ純粹食料品法ハ如  
 何。衛生局ノ事業ハ如何。先ニ述ヘタル過去四年間ニ於ケル討伐運動ハ如何。吾人ハ食物ニ對スル自然ノ  
 敵ヲ支配スルコト能ハサルヘシ。然レ其人爲的ノ者ヲ制御スルニハ法律ナルモノ存在スルナリ』ト。



是レ實ニ殆ト國民全體カ陷レル錯誤ニシテ、彼等ハ一度法律ノ條文中ニ現ハル、ヤ輒チ以テ意ヲ安ニスヘシトナシ、其法律ノ充分之ヲ勵行スルカナク或ハ勵行スル丈ケ全力ナキ場合ニ於テモ敢テ問フ處ナシ。既ニ行ハレタル事多ク且着手セラレタルモノ決シテ瑣少ニアラス。然レ共大團體ノ動クヤ極テ遅々、一般民心ヲ動カシテ食料品ノ監督及ヒ検査ノ切要ナルヲ感セシムルニハ前途尙遠遠ナル物アリ。今吾人ヲシテ吾人ヲ保護スル爲施行セラレタル法律ノ價值又ハ缺點ヲ列擧スルコトナクシテ、暫ク其中最モ一般的ナル法律ヲ圍繞スル諸般ノ困難ニツキ一考スル所アラシメヨ。

地方ノ如何ヲ問ハス、當面ノ問題ニ關シテ一考スル人ハ主トシテ重キヲ千九百六年六月三十日ニ通過セル食料品及ヒ藥劑法ニ置ク。之レニ類スル事業ニシテ政府ノ成就シタルモノニ三種アリ。第一ハ上記ノ法律ニシテ細目變更修正ノ諸條文ヲ含ム。第二ハ純粹トイフコトノ標準ヲ規定セル事業ニシテ、第三ハ所謂獸肉検査修正法ナリ。此最後ニ述ヘタルモノハ農務省ノ獸肉監督ヲ規定セルモノニシテ頗ル賞賛ニ價ス。然レ共我國ニ於テハ全國政府ト各州政府トノ間ニ存スル一種ノ關係上、自ラ國家ノ成シ能ハサルモノ些ナカラス。之ヲ説明スル爲以下簡單ニ食料及ヒ藥劑法ヨリ二條ヲ引用スヘシ。

此法律ハ『偽物ヲ混有シ、又ハ商標ヲ偽リ、又ハ有害ナル或ハ有毒ナル食料、藥劑、藥品及ヒ酒類ヲ製造シ、販賣シ又ハ輸送スルコトヲ防クタメ、又ハ是等ノ營業ヲ管理スルタメ、又ハ其他諸般ノ目的ノタメニ設ケタル法律ナリ』。其一條ニ曰ク『此法律ノ規定スル如キ偽物ヲ混シ、又ハ商標ヲ偽リ用ヒタル食料及ヒ藥劑ヲ屬領内ニ於テ又ハコロムビヤ區内ニ於テ製造スル者ハ不法行爲トナス。』第二條ニ曰ク『此法律ニ規

定スルカ如キ偽物ヲ混シ又ハ商標ヲ詐リ用ヒタル食料及ヒ藥劑ヲ外國ヨリ各洲ニハ屬領又ハコロムビヤ區内ニ輸入シ又ハ諸外國ニ輸送スルコトヲ禁ス』。

此短キ引照ニ於テスラ國法ノ範圍甚タ狭少ナルヲ知ルヘシ。屬領及ヒコロムビヤ區ハ國會ノ指揮ノ許ニアリ。洲ヨリ洲ニ食料ヲ運搬スルハ輸出入ト等シク米國政府ノ官吏ニヨリテ支配セラル。然レ共一洲内ニ於ケル食料ノ賣買ハ其洲ノ政府ニテ規定セサル可ラス。而シテ各洲ノ政治團隊ハ此問題ニ對シ各々異レル解釋ヲナス。或洲ニ於テハ此問題ヲ取扱フコト勇敢、學者ノ意見ヲ採用シテ之ヲ解決セント欲シ、特ニ利害ノ關係ヲ有スルモノ喧噪ニ耳ヲ傾クルコトナシ。又二三洲ニテハ法律ヲ助クル爲管理課ヲ設ケ、検査官ヲ置キテ(之レ尤モ重大ナリ)其實行ヲ期セントスルモノアリ。然レ共其他ノ諸洲ニ於テハ利已ヲ事トスル輩ノ聲尙高ウシテ洲會ヲ壓迫シ、法律ヲ發布スルコトアリトモ斯道堪能者ノ注告ニ傾倒スルコトナキカ故ニ贅言徒ラニ多クシテ實效之レナキモノ多シ。且從來規定シ來リタルモノ諸方面ニ亘リ、爲ニ金錢ヲ必要トスルコト多ク、新規ナル衛生検査課ノ市民ノ衛生上必要缺ク可ラサルニモ拘ラス、之ニ向テ費スヘキ豫算額殆ト之レナキモノ些ナカラス。

國家ノ當面スル困難ニ倍スルコト五十度ヒナラシメヨ。是レ實ニ各洲ニ於テ適當ナル食料規定ノ方法ヲ行ハントスルニ當リ逢會スル困難ナリ。此各洲ノ逢會スル困難ニ百倍シ又千倍セヨ。是即チ各市ノ充分ニ市民ノ食物ヲ管理セントスルニ際シテ當局者ノ遭遇スル困難ナリ。然リト雖モ下リテ都市内壁ノ狀態ヲ觀察スルニ及ヒ、之ニ對抗スル事情アリテ食料品取係ノコト必スシモ不可能ニ非サルコト知ル。吾人ハ



遠カラス之レニ論及スヘシ。

當今ノ都市ニ於テハ民衆雜然トシテ菌集シ、何事ニテモ個々ニテ管理スル事殆ト不可能ナレハ、勢ヒ其根本的必要事件ノ管理ヲ都市ニ委託スルノ止ムナキニ至レリ。道路ノ修繕、火災又ハ盜難ノ保護、兒童ノ教育等皆等シク都市廳ノ管理ニ屬セシメテ已ニ久シ。此等ノ管理課ニシテ施政上ニ缺陷アラシカ、輒チ速カニ矯正スルヲ得ヘシ。然ラハ食物ノ不良トイフカ如ク、直接個々人ノ安寧ニ接觸スルコト尤モ緊要ナル重大事件ヲ保護スル問題ハ、上記ノ諸課ニ比シテ然カク必要アラサルヤ。食物管理ノ任ハ一般ニ衛生課ニ屬ス。然ルニ諸君ハ過去一二年間ニ於テ、月刊紙上曾テ政治上所見ヲ異ニスルノ故ヲ以テ此課ニ任命スルコトヲ停止シ、或ハ其候補者ヲ排斥セシ事アリシヲ讀ミシコトアリヤ。此課ノ當事者、時ニ其衛生係員ヲ訓練スルニ科學的方法ヲ以テスルニ至レル如キ都市幾何アリヤ。此課ニ屬スル醫師ハ實ニ數ヘ盡ス可ラサル功献ヲアナセトモ、機械工業等ノ訓練アル人ノ此課ニ、リテ果シテ何ノ用ヲ爲シ能フソヤ。國家ハ各都市ノ事業ヲ管理スルノ權能殆ト之レナシ。市内ノ事ハ各市ニ於テ諸君カ選舉スル人々ニテナサレサル可ラス。重ネテ曰フ。問題ヲ當事者ニ持チ行キ彼ニヨリテ議論ヲ上下セシメヨ。諸君自ラハ諸君ノ都市ノ衛生状態ニツキ何事ヲ知レリヤ。

幸ニモ吾人ハ幾十世紀來養ヒ來リタル本能的訓練ニヨリ自ラ守ルコトヲ知リ、由リテ以テ吾人ヲ保護スルコト大ナリ吾人カ遠キ祖先ノ食卓ニ上リテ、食物ハ極メテ小種類ニシテ實驗ニ由リテ次第第二種々ノ物品ヲ用フルニ至レリ。カノ石器時代ニ於テハ未タ森林中ニ生シタル美シキ漿果ヲ食フヲ知ラス。ソレ或ハ美味

ナル副食物タルヘク或ハ激烈ナル害毒タルヘシ。其ノ何レナルヤヲ決定スルニハ勇敢ナル實驗ヲ要ス。之レ實ニ容易ナラサル問題ニシテ、當初ノ研究者カ想像ニシテ正シクハ、彼ハ實ニ價値アル一食物ヲ食卓ニ加フヘク、之ヲ誤タハ忽チ一命ヲ失フヘシ。爾來幾千年間ノ文明ニ慣レテ、吾人ノ感覺ハ甚タシク遲鈍トナリタレ共、然カモ尙此未開人カ用ヒタル本能的訓練ハ長ク存シテ今日ニ至レリ。カク五感ノ立證ニ由テ不良ナル食物ヲ購入スルコトヲ避クルハ誠ニ吾人ニ鮮少ナラサル便益ヲ與フルモノナリ。然レ共五感ハ其尤モ鋭敏ナルモノニ於テモ尙不充分ナル保護者タルヲ免レス。都市ニハ二個ノモノアリテ、絶エス此五感ノ作用ヲ妨ケントセリ。第一ハ既ニ損傷シタル食料品ノ眞ノ状態ヲ糊塗シ。故意ニ之ヲ變裝スル者ニシテ不純ナル食物ヲ變シテ食フテ味アリ、觀テ美シキ物トナス奸商ナリ。而シテ其第二者ハ貧困ノ餘リ絶望的ニ食物ヲ要求スルコトナリ。

此第二者コソハ都會ノ缺陷ヲ蒙ルコト尤モ多ク、而カモ之ニ耐フルコト最モ弱キ階級也。惡シキ空氣、濁レル水、腐敗シタル食物ヨリ最モ多ク苦シム者ハ細民ナリ。就中食物ノ選擇許リ彼等ノ苦痛ヲ覺ユルモノナシ。サレハ長屋ニ住メル無智ナル女ノ、其輕キ財囊ヨリ損傷シタル安價ノ食料品ヲ購ハントスルハ、誠ニ止ヲ得サルコトニシテ、而シテ最モ恐ルヘキ誘惑ナリ。且彼等ノ購求スル店ハ品類ヲ列フルコト甚タ小類ニシテ、善惡ノ選擇ヲ許スコト殆ト之レナシ。都市ノ竭スヘキ義務多キカナカニ、此ノ細民ノ食物ヲ保護スルヨリモ急ナルハナシトス。

吾人ハ社會ノ状態ヲ改善スルニ先チ、マヅ其事情ヲ研究シテ之ヲ承認セサル可ラス。目下ノ事情ヲ察スル



ニ、黃白ノ威力ノ現世ヲ支配スル限り、人ハ或ハ無知ヨリ、或ハ惡意ヨリシテ不純又ハ腐敗セル食料ヲ販賣シテ止マサル可ク、而シテ國家ノ法律ハ之ヲ防止スル能ハサルカ故ニ、吾人ハ勢ヒ其保護ヲ各州及ヒ各都市ノ法律ニ俟タサル可ラス。此等ノ法律ヲシテ有效ナラシムルニハ、其勵行ヲ有爲ノ人材ニ委託シ、且充分ノ費用ヲ供給シテ之ヲ聲援セサル可ラス。最少限ノ金錢ヲ使用シテ最大限ノ監督ヲ全ウスルハ、實ニ食料品販賣所、市場、屠牛場、製麵場等ト聯絡シテ離スヘカラサル問題ナリ。

舊世界ニ於ケル食物市場ハ最古ニシテ又最新ナリ。新世界ニ於テハ所々外國民居留地ニ於ケルモノ、又ハ大規模ノ取引市場ヲ除ク外ハ概ネ其中間ニアルカ如シ。試ニ獨逸ノ一小都會ニ行キ、朝風ニ起キテ凹凸ノ多キ市街ヲ歩ミ、教會ヲ後ニセル四辻ノ廣場ヲ訪ハンカ。吾人ハ茲ニカノ希臘ノアゴラ、羅馬ノフォラムノ直接後繼物タル舊式ノ食物市場ヲ見ルナリ。市ノ女ハ廣キ傘ノ下ニ座シ、繪ニ視ル如キ農夫ハ作物ヲ滿載セル粗大ノ荷車ヲ曳キ、弛キ外衣ヲ纏ヘル肉屋ハ壁ノ一隅ニテ肉片ヲ秤レル、何レカ二千年ノ昔ノ其儘ノ状態ニ在ラサルハナシ。カ、ル市場ハ賣買ノ尤モ幼稚ナル形式、即チ生産者ト消費者トノ間ニ於ケル直接ノ交易ニシテ、實ニ衛生當局官吏ノ嚴密ナル監理ノ許ニ行ハル、(些クトモ獨逸ニ於ケル二三ノ都市ニ於テハ)交易ナリ。此種ノ市場ニ於テ、予ハ屢々カノ米國ニ於ケル理論上幾層倍力完全セルモノニ會テ見サルノ清潔ト秩序トヲ保テルヲ見タリ。

政府之ヲ建設シ、之ヲ監督スル新式ノ食物市場ヲ世界ニ例示セシハ巴里ヲ以テ嚆矢トナス。ナポレオン第一世ハ偉大ナル軍人、政治家、立法者ニシテ又衛生事業ノ設計者ナリ。其許多ノ勞役ニ忙殺

セラル、間ニ尙餘裕ヲ存シテ、種々顯著ナル市政刷新ノ業ヲ成就セリ。カノ巴里ノ大中央市場ハ實ニ此大帝ノ指揮ニ從ヒテ設計シ、一千八百十一年ヲ以テ工ヲ起シタルモノナリ。此大市場ハ鐵柱ヲ以テ支ヘ、亞鉛ノ屋根ヲ覆ヒ、下ニ幾條ノ市街ヲ包含ス。其面積殆ト二十英加(我カ八町餘)ニ近ク、之ヲ分チテ無數ノ販賣店トナセリ。爾來之ニ類スルモノ次第二巴里ノ諸部分ニ増設セラレ、市ノ之ニ由テ益スルコト莫大ナリ。

此巴里ノ大市場ニ倣ヒテ直ニ食料品調整ノ事業ヲ開始セシハ倫敦、伯林、維那其他歐洲ノ諸都會ニシテ、何レモ皆巨大ナル設計ノモトニ過去半世紀間ニ於テ食物市場ヲ完成セリ。此等諸外國ノ市場ニ比較スレハ米國ノ市場ハ其大サニ於テ、其設備ノ不完全ナル點ニ於テ、又監督ノ困難ナル點ニ於テ到底比較スヘクモ非ス。紐育市ノフルトン又ハウオシントン市場、或ハボストン市ノフアニユイル、ホール市場ノ如キ歐洲首都ニ於ケル大市場ト同日ニ論スヘキモノニアラス。

小都會ノ目貫街頭ニ於テ往時設ケラレタル小市場ハ、其都會ノ一小隔離セルモノナル間、一時ノ用ヲ滿タスニ充分ナレ共、人口ノ増加スルト同時ニ久シク食料供給ノ中心タルコトヲ得ス。カクテ八百屋、肉商ハ所々ニ起リテ其欠ヲ補フ。此等小食料店ノ増加ハ即チ食物ヲ完全ナル状態ニ於テ消費者ニ供給スルノ困難ヲ増大スルモノニ外ナラス。伯林市ニ於テハ十五個ノ大市場ヲ有シ、各市場ニ一群ノ監査官ヲ置キ、カクテ最小限ノ費用ヲ以テ其管理ヲ完フセリ。若シ吾人ニシテ紐育又ハ市俄古等ノ大都市ニ散逸セル商店ニ向テ、充分ノ監督ヲ實行ストセンカ。其費用ノ莫大ニシテ、又結果ノ疑ハシキ知ルヘキノミ。



三  
食料品ヲ監督シ及ヒ検査スルハ都市ノ爲ニ良好ナルコト、而シテ如斯監督検査ハ之ヲ行フノ最小限度ノ入費ヲ以テスヘキコトヲ假定センカ、茲ニ都市ノ市場ニ關シ四個ノ問題ヲ生ス。第一、吾人カ現代有スルカ如キ分離セル小市場ニ對シ集中セル一大市場ヲ設クルノ可否如何。第二、カ、ル市場ノ位地ハ一般ニ都市ノイカナル地點ヲ撰フヘキヤ。第三、市場ニ使用スル建築物ノ一般的内容ハ如何。第四、市場ハ之ヲ公共ノ所有トスヘキヤ。將タ個人ノ監督ニ一任スヘキヤ。

今試ニ給水事情ヲ見ルニ、都市ノ貯水池ハ久シク公園庭地ノ用ヲナシテ幽邃高燥ノ地ヲ占メ、而シテ其水ハ一水源ヨリ分布スルカ故ニ、淨不淨ヲ検査スルコト容易ナリ。食料ノ供給ハ水ヲ供スルコト、截然區別セサル可ラサル問題ナリト雖モ、而カモ此一水源ヨリ發シ水管ヲ經過シテ戸々ノ需要ヲ滿タス水道制度ハ實ニ吾人ニ有用ナル類推研究ノ材料ヲ與フルモノナリ。即チ吾人カ既ニ水ニ於テ使用シタル集中制度ヲ採用シ、中央市場ヲ設備スル時ハ、食料問題ニ於ケル監督ヲ一困難ノ大部分ヲ除去スルヲ得ヘシ。サレバ斯問題ハ既ニ一個ノ運動トナリテ、商業上多大ノ汲引力アルコトヲ證明シ、又都市食料問題ノ中心ハ皆此市場問題ニ集中セリ。獨リ食料ノ集中主義ハ監督トイフ根本要件ニ協フノミナラス、他ニ多クノ便利ヲ有ス。小都會ニ於テハ一市場ヲ以テ早朝ニハ卸賣ノ用ニ供シ自餘ノ時間ヲ以テ小賣ヲ嚮カシムヘク、大都市ニ於テハ中央ニ大卸市場ヲ設ケテ供給ノ燒點トナシ、之ヲ各小市場ニ分配シ、更ニ許多ノ小賣店ヲ各人口ノ中心地ニ設クルカ如キハ實ニ理想的ノ配列法ト稱スヘシ。カノ光線ノ太陽ヨリ放射スルカ如ク、又車輻ノ軸ヨリ分出スルカ如キハ之ヲ貧民ニ供スル市場ヲ設クル上ニ於テ特ニ效果アルハ以下序ヲ追フテ述フル

處アラシ。

市場ノ一般的位置ニ關シテハ、主トシテ交通状態ノ奈何ニヨリ決定スヘシ。野菜、果物ノ如キハ牛乳ノ場合ニ於ケルカ如ク、產地ヨリ出來得ル丈ノ短距離ニテ之ヲ其消費者ニ送達スルコト、其清純ヲ保ツ上ニ於テ尤モ必要ナリ。サレハ此等ノ市場ハ一方ニハ附近ノ農場ヨリ荷車ニテ直ニ產物ヲ輸送シ、或ハ溝渠、波止場等ト近接シテ荷上ケノ便ヲ有シ、他方ニハ冷蔵庫ニ依リテ直接戸々ニ分配スルノ便ヲ備フルコト肝要ナリ。且市場ニハ一々冷蔵庫ヲ備ヘ其店ヲ借用スル者ノ用ニ供スヘシ。此食料品ヲ一點ニ湊合スルハ食物ヲ保護スル最良法ノ一ニシテ、引渡ヲ迅速ニシ、低温度ヲ持續スルハ、空中ニ於ケル小植物ノ破壞作用ニ反抗スル所以ナリ。副市場ノ位置ハ無論人ニ中心地ヲ撰ミテ決定スヘシ。今日自動運搬車アリ、空氣傳票送達器アル時代ニ於テ、中央市場ヨリ此等副市場ニ食料ヲ運送スルハ毫モ難事ニ非ス。

此集中制度ヲ主張スル他ノ有力ナル根據ハ魚肉等ノ屑物(臟物)ヲ處理スルノ遙ニ容易ナル點ニアリ。此種ノ業ノ太々重要ナルハ理ノ頗ル見易キ處ニシテ、純粹ナル食物ヲ浸害スル微菌ノ此屑物中ニ繁殖スルノ夥多ナル、殆ト信シ難キ許リナリ。而ルモ此屑物ヲ遺棄スルコト一日一回ニシテ足レリト考フルハ、寧ロ秩序ノ完備セル二三ノ都市ニシテ、他ノ舊式ナル處ニ於テハ、僅ニ一週二回ノ掃除ヲナスニ過キサリナリ。市場ヲイカニ構成スヘキヤノ問題ニツキ、詳細ニ亘リテハモトヨリ建築技師及ヒ設計者ノ事ニ屬ス。然レトモ門外漢モ尙一二言之ニ及ハサル可ラサルカ故ニ、下ニウイリヤム、ボール、ゲルハルトカ『市場及ヒ屠牛場ノ衛生』ト題スル名著ニ於テ述ヘタルモノヲ引照スヘシ。曰ク『市場ヲ建設スルニツキ之ニ要スル



設備ノ重ナル點ハ下ノ如シ。

- 一、場内ニハ充分ノ光線ヲ要スルコト。
- 二、場内ハ風ノ吹流シヲ嫌フト雖モ、而カモ流通ヲヨカラシムルコト。
- 三、床ヲ廣クシ、且倉庫ヲ充分ニ設備スルコト。
- 四、荷馬車ノ積下ロシニ便ナル様、出口、通行口、馬車道ヲ充分ニ設クルコト。
- 五、之ヲ建築スルニ巧ニ又充分實用的ニナスヘキコト。』

此五ヶ條ハヨクツノ要點ヲ摘記セルモノトイヒツ可シ。

扱次ニ第四ノ問題、即チ此市場ハ公共ノ所轄ニ屬スヘキヤ、將タ私有タルヘキヤノ問題ニ入ルヘシ。若シカノ市民ノ健康ヲ注意スルハ都市ノ義務ノ一部ナリトイフ、近時廣ク稱道セラル、原則ニシテ誤リナクンハ、公立市場ヲ建設シ之ヲ處有スルハ明白ニ都市ノ處理スヘキ事業ナリ。斯クスル時ハ市場内ノ小販賣店ヲ借用スル商人ハ直接ニ市場規則ノ支配ニ屬シ、從テ此規則ニ由テ物品ノ良否ヲ検査スル監督官吏ハ之ヲ勵行スルニ家易ニシテ買収セラル、如キ憂モ少ナシ。如斯市場ニ於テ物品ヲ購入スル市民ハ、カノ私設會社ノ只配當ノ多キヲ願ヒテ、衛生官吏ト再三衝突スルカ如キ處ヨリ購入サルヨリモ遙ニ安全ナル知ルヘキノミ。而カモ都市ハ之ニヨリテ他愛的犧牲ニ出ヅルノ要ナシ。其決シテ損害ヲ招クノ憂ナキハ多クノ都市ニ於テ證明セラレタル所ナリ。況ヤ若シ此事業ニシテ最高ノ價值アルモノナランニハ、都市タルモノ何ゾ利純アルコトヲ期待スルノ要アラシヤ。蓋此市場ノ最後ノ目的ハ直接金錢上ノ所得ニ非スシテ、營養良全

ナル市民ノ健康ヨリ、又精力ヨリ獲來ル一般の所得ナリ。殊ニカクノ如ク建設シ、カクノ如ク監視セラレタル市場ハ、之ヲ要スルコト最モ多キ階級、即チ都市ノ貧民ニ對シ非常ナル便益ヲ與フレハナリ。

夫レ世ニ貧民ノ使用スル白銅一個ヨリモ更ニ贅澤ナルモノアラサルヘシ。住所ト食物ト此二個ノ都市生活ニ於ケル絶對的必要品ノ費用ハ實ニ都市住民ノ大多數カ當面スル非常ノ重大問題ナリ。殊ニ貧民ニ取リテハ此二者ヲ確取スヘキ範圍誠ニ憐レムヘク狭少ニシテ、其食料ニ至リテハ、富者ノ奢侈ナル店ニ於ケルト同シ價ヲ、貸長屋ニテモ支拂ハサル可ラサルハ實ニ憐憫ニ耐エタルモノアリ。而シテ彼等ノ消費スルハ極メテ少量ニシテ、店頭撰フヘキ物ニ乏シク、且之ヲ購フヤ其日其時ノ得ルカマ、ニ由ルカ故ニ金錢ノ當然値ヒスルモノヨリモ更ニ乏シキ營養ヲ得ルニ甘セサル可ラサルナリ。

サレハ富豪又ハ中産以上ノ需ニ應スルヨリモ寧ロ長屋部落ノ購買ニ便ナラシメ、店頭ニ諸種ノ品ヲ備ヘテ各人種ノ要求スル物品ヲ販賣スル市場ハ殊ニ必要ナリトス。伊太利ヨリ移住セル女ヲ見ルニ、數年此新土ニ住シ異ナル風習ニ眩惑セル后、尙自國語ニテ値切り得ル店ノナキ時ハ、即チ裏町ノ薄汚ナキ伊太利人ノ店ニ求ムルナリ。然レ共顧客一度入りテ數百ノ販賣店カ同種類ノ品ヲ夥シク販賣スル處ヲ横キルニ至レハ裏町ノ小店モ長ク持續スルヲ得サルナリ。吾人ヲシテ重ネテ重要ナル點ヲ反覆セシメヨ。即チ公立市場ニ於ケル小販賣店ノ店賃ハ、必スヤ一般ノ家主カ徴スルヨリモ明ニ低額ナルサル可ラス。店ハ之レ商業ヲナス第一必要物ナレハナリ。而カモ都市ハ此市場ヲ以テ充分利益アル放資所タラシムルヲ得ヘシ。劣等食物ヨリ生スル疾病、營養不良ヨリ越ル精力ノ缺亡等、皆之レ市ノ全收入ヲ流出セシムヘキ恐ルヘキ渠溝ナリ。



食物市場ノ適當ナル監督ハ實ニ醫藥ト相併稱スヘキモノナリトイフモ不可ナシ。

此食物市場ノ肉類ハ凡テ其供給ヲ屠殺場ヨリ仰カサル可ラス。市ノ食料ヲ供給スル職業ニ於テ、此屠殺場ホト社會一般ノ注目ヲ喚起セシモノハ非ス。アプトン、シンクレヤー氏ノ小説『セブン林』、大統領ローズヴエルト氏ノ指名セル屠殺場調査委員ノ報告、週刊雜誌新聞等ノ記事等皆社會ノ耳目ヲ聳動スルニ與テ力アリタリ。

過去ノ事ハ之レ歴史ノ材料ノミ。從來ノ屏殺場ハ殆ト信用シ難キ許リ非道ノ状態ニアリタリ。然レ其改良ハ着々歩武ヲ進メ來レリ。是レ過半ノ屠殺場ハ其商業ノ關係スル處獨リ一州内ニ止マラス、廣ク國內全般ニ亘レルヲ以テ、國家政府ノ監督ノ許ニ置キタル結果ナリ。然レ其地方ノ小商業ヲ相手ニセル小屠殺場ノ尙無數ニ存在セルカ故ニ、茲ニモ公共ノ處有、市場監理等ノ問題ヲ充分ヲ適用シテ過ナカルヘシ。

屠殺業ニハ之ニ特殊ナル點アリテ食物市場ノ問題ト稍々趣ヲ暴ニスルモノアリ。其業ハ更ニ不潔ニシテ嫌ハシク、其所産物ノ清潔ト保存トニ關シ格段ナル注意ヲ要ス。而シテ其卸賣アルカ故ニ、屠殺場及ヒ之ニ附屬スル廐舎ハ之ヲ人口ノ中心地外ニ設クルモ不可ナシ。獨リ業ノ既不快ナルノミナラス、副産物例ヘハ石鹼製造、獸皮、犂角獸蹄等ノ取扱上勢ヒ惡臭ヲ放ツカ故ニ、之ヲ人民ノ住宅域ニ設置スルハ絶對ニ反對セサル可ラス。

最近紐育市ニ設置セラレタル屠殺場ハ、此種ノ設計ノ好模範トシテ一般ニ引照セラル、モノナリ。屠殺場ニ二種アリテ高キ平屋ノ建物ニテ廣キ地面ヲ覆フモノ、地域ニ制限アリ從テ高キ數階ノ建築ヲナスモノト

ナリ。此紐育屠牛者精肉會社 (New York Butchers Dressed Meat Co.) ノ屠殺場ノ如キ第二種ニ屬ス。

此屠殺場ニ於テハ、門前ニ車ヲ捨テタル畜類ハ鈴ヲ附シタル二個ノ羯羊ノ後ニ隨ヒテ、長キ傾斜路ヲ一階ニ一階ト歩ミテ遂ニ家根ニ達ス。

茲ニ牡牛ノ檻アリ。其下段ニ犢牛、羊兒、綿羊ノ檻アリ。檻ハ皆大氣ニ開放シテ流通甚タヨシ。此家根ヨリ漸次ニ下ルニ從ヒ規則正シク屠殺ノ業行ハル。則チ家根ニ次キテ直ニ下ノ室ハ屠殺室ニテ、此處ニテゴサト式ヲ用キテ屠殺ヲ行フ。其下ニハ冷蔵庫アリ、常ニ氷點以上二度ノ溫度ヲ保ツ。其下層ハ皆種々ノ副産物ヲ處理スル室ニシテ、畜類ノ全體ハイカナル部分ニ於テモ利用セラレストイフコトナシ。而シテ清潔ハ發端ヨリ終末ニ至ル迄此屠殺場ノ確守セル法律ナリ。

食物市場ハ開放セル故吾人ノ眼之ヲ見ルヘク、屠殺場ハ密閉シテ作業スル故ニ吾人カ視力ノ到達外ニアリ而カモ兩者トモ信賴スヘキ輿論ニ由テ監督ヲ遺憾ナク實行スルノ必要アルヤ同一ナリ。

麵麩製造所ハ第三ノ食料供給所ニシテ、又市場ヤ、屠殺場ヤニテ必要トセシ同様ノ保護ヲ要求スルモノナリ。集中的市有制度ハ此場合殆ト實行ス可ラサルモ、規定ヲ設ケテ之ヲ監理スルノ必要ハ年々増加シ來レリ。都市ノ家庭ニ於テ自ラ料理スルノ技術ト實行トノ漸ク消失セントスルハ現代ノ著シキ徵候ノ一ナリ。小女ノ勞働ヲナス者ハ其製造場ニアルト、商店ニアルト、將タ事務所ニ雇ハル、トニ論ナク、結婚前家政ノ事ヲ習熟スルノ機會ト意向ト有スル者殆ト之レナシ。其母ハ一時代前ニ屬スト雖ヒ其小女時代ニ於テ恐ラク同様ノ經歷ヲ有シ、示スヘキ知識ニ乏シク、教ユヘキ技術ヲ有セス。茲ニ於テヤ其必要ノ結果トシテ幾千



ノ家庭ハ此家庭の訓練ノ缺陷ヲ幾部分麵包製造所ニ依リテ補フナリ。都市ハカクノ如ニシテ製造所ノ麵包ヲ使用スルコト幾千幾萬個トイフヲ知ラス。其他煮賣藥ノ驚クヘキ發展ノ如キ皆細心ノ注意ヲ要スヘキ問題ナリ。

讀者ハ試ニ電車待ツ間ヲ角ノ麵包屋ノ傍ニ立チテ、晚景各製造所ヨリ流レ來ル人波ノ此麵包ニ列ヲナシテ入り行クヲ注視セヨ。彼等ハ麵包ヤバイヤ各種ノ菓子類ヤ其他百般ノ食物ヲ購ヒテ出テ來ルナリ。之等ノ食物ハ概ネバクテリヤ群ニ向テ豊饒ナル沃地ヲ與フルコト市場ノ物品ニ異ナラス。而カモ市場ノ物品ハ一般ニ生ナレハ料理トイフ防禦作用ヲ通過セサル可ラサルニ、麵包屋ノ食品ハ既ニ料理シテ食フ許リナリ。殊ニ夏期ニ於テ普通ノ麵包屋ニ入レハ一種飽充シテ嘔氣ヲ催スカ如キ臭氣アリ。入口ニハ疾病ノ運搬者タル蠅群ノ充滿セサルヲ見ル。食料市場、屠殺場ヨリハ別個ナレ共之ニ劣ラサル注意ヲ要スルヤ明カナリ。

麵包製造所ノ店頭ハ之ヲ美麗ニスルモ可ナリ。セサルモ可ナリ。問題ノ難點ハ茲ニ存セス。一般麵包製造室ハ店ノ脊後、又ハ下層ノ暗キ地下室ニアルフ常トス。奇ナル哉、カクノ如キ状態ニアリテ直接疫病ノ媒介所タルニモ拘ラス、今日ニ至ル迄未タ此事ニツキ甚タシク輿論ヲ喚起セサリシルコトヤ。其室ハ一般ニ不潔ニシテ惡臭ニ滿テル空氣重苦シク、常ニ數十ノ窯爐ヲ使用スルカ故ニ氣温高ク『日中尙暗キヲ以テ點火スル瓦斯ノ臭氣スサマシキモノニ非サルハナシ。麻州ハ夙ニ細民窟ニ處在スル不潔ナル麵包製造所ヲ一掃シテ些ナカラサル效果ヲ奏シタリ。下ニ掲クルハ同州ノ法律ニシテ、斯業ニ存在セル主要ノ害惡ヲ免除セントセシモノナリ。』

麻州改訂法律第七十五章第二十節ニ曰ク『ビスケット、麵包、菓子等ヲ製造スル爲ニ使用スル建物ハ、製造室ト分離シテ空氣ノ流通ヨキ適當ナル洗濯室及ヒ便所ヲ設ク可シ。製造室ハ勿論、之ト直接接近セル處ニ於テモ便所、土室、灰入所、浴室ヲ設クル能ハス』

又第二十九節ニ曰ク『麵包製造室ノ器械器具ハ之ヲ配置スルニ當リ、常ニ此等ノ器具並ニ床ヲ衛生状態ニ保チ得ルヤウ裝置スヘシ』

市街ニ於ケル家屋ハ高價ニシテ、空氣ト日光ト皆代價ヲ支拂ハサル可ラス。而シテ店頭ハ衆目ニ觸レ製造室ハ背後ニ隠ル。都市又ハ一州ノ監督検査ニ由リテノミ初メテ其害毒ヲ防禦シ得ヘシ。勿論アル大仕掛ノ製造業者ニシテ卓越セル設備ヲ有シ、正シク社會ノ保護ニ値ヒスルモノナキニ非ス。其他大ナル麵包、煎餅製造所ノ直接國家ノ法律ニ支配セラル、モノアリト雖モ、是等ヲ除ケハ國法モ亦奈何トモスル能ハス、各々其都市ノ管理ニ待タサル可ラサルナリ。

上來述ヘ來リタル人類共通ノ三生活要素、即チ空氣、水及ヒ食物ノ間ニハ皆病原的有機體、即チ病菌ノ系悉ク縱横ニ貫通シ、到ル處ニ潜伏シテ浸入ノ機會ヲ待テリ。疾病アル職人、結核ヲ病メル雇人等ヲ解僱シテ、之等ト絶縁セシムヘキノミナラス、食料市場、屠殺場ニ食料品ヲ取扱フ者、麵包製造所ニ作業スル者皆不斷周到ノ検査ヨリ免レシム可ラス。既ニ腐敗ノ緒ニ就キタル食料ヲ販賣スルノ危險ハ、麵包製造所ニ於テハ市場又ハ屠殺場ニ於ケルカ如ク大ナラサルヘシ。而カモ偽物又ハ代用品ヲ販賣シ、或ハ疾病ヲ傳搬ス



ル危険ニ至リテハ、其間決シテ何等ノ經庭ナキナリ。

市井ノ勞働者ハ日没ト共ニランプノ光ホノ暗キ家路ヲサシテ急キ足ニ歸リ行クナリ。晝間ノ疲勞ヲ一變シテ、朝來更ニ勞働ノ勇氣ヲ鼓舞スルヤ否ヤハ、一ニ家庭ノ食卓ニ上ル食物ノ奈何ニ存ス。而シテ種々ノ方面ヨリ彙集シ來ル食物ノ健全ナリヤ否ヤハ、畢竟個々ノ市民ニテ監督セサル可ラス。知リテ不正品ヲ賣却スル犯罪者ヲ防遏シ、知ラスシテ之ヲ行フ無知者ヲ教訓スルハ一般ノ安寧ヲ維持スルニ於テ尤モ必要ナリ而カモ吾人ハ獨リ吾人ノ安寧ヲ保證シテ以テ足レリトナス可ラス。復雜セル有機體タル近代ノ都市ハ、其一部ヲ傷クレハ勢ハ全部ニ禍ヲ及ホサスンハ止マヌ。吾人ノ欲スルト欲セサルトニ論ナク、吾人自ラノ安全ヲ計ラント欲セハ、又吾人カ同胞ノ安全ヲ計ラサル可ラス。吾人ノ隣人ヲ保護スルコト吾人自ラヲナスカ如キニ至リテ、初メテ吾人ノ障壁ハ安固ナリトイフヘキ也。

四〇

### ○歐洲諸市ノ家屋問題

余ハ汚レタル長キ官省ノ報告中ヨリ次ノ一句ヲ記シ置キタリ。曰ク『英國マンチエスター市ニ於テ、一萬一千人ノ者陸軍ニ入隊セントシタリシカ、其内八千人ハ拒絕セラレ、二千人ハ國民軍ニ編入セラレ、自餘ノ一千人ノミ僅ニ現役ニ採用セラレタリ』ト。此記録ヲ見、又彼等英人ノ眼中ニハ、刻々獨逸軍浸入ノ憂ヒアルコトヲ思フトキ、無職業者ノ路上ニ踟躕放浪セル者ノ益々多キヲ加フル、誠ニ異トセザルナカラシヤ

獨リ徵兵官ノ口ヨリノミナラス、或ハ工場ヨリ、或ハ製造場ヨリ、ハタ工作所ヨリ、何レモ壯丁ノ虛弱ニシテ信頼スルニ足ラス、之ヲ拒絕スルノ止ムナキヲ語ラサルモノナシ。救治ハ必須ナリ。而カモ急ヲ要スル此救治ノ一策トシテ歐洲諸國ノ先覺者ハ其軍事ニ關セル人ト否トノ論ナク、境遇ヲ以テ人民ノ能力ヲ左右スル密接ノ關係アルモノトナシ、ソノ生レテ生長シ、而シテ死亡スル家屋ノ改良ニ努力シツ、アリ。彼等ハ砲火ノ間ニ或ハ機械ノ前ニ立ツ能ハサル不具者ヲ生スル原因ヲ探求シ、而シテ家屋ハ各個人ノ安寧ト直接ノ關係ヲ有スルモノナルコトヲ發見セリ。

適當ナル家屋ノ絶望的ニ欠亡セルコトヲ報告セサル都市ノ殆ト之レナキト共ニ、他方ニハ過去半世紀間ニ於テ工業ノ驚ク可キ發展ヲ示サ、ル都市殆ト之レナシ。蓋シ此兩者ノ間ニハ離ル可ラサル密接ノ關係ヲ有スルナリ。余ハ曾テ一獨逸人ト共ニ古城ヲ頂ケル高地ニ立チ、高キ煙突ノ林立セル平野ヲ下瞰セルコトアリ。彼先ツ後ヲ顧ミ、而シテ前面ヲ指シテ曰ク『舊ト新ト。如斯キハ帝國內皆然ラサルハナシ。年々歳々煙突ノ増加スルコト幾百トイフヲ知ラス。之レ工業ノ多々増々優越スルコトヲ意味スルモノナリ』ト。吾人ニ輸入スル商品ニ記載セル『獨逸製』ナル一小記號ハ、皆之レ新獨逸ノ發セル突喚ノ聲ナラサルハナシ。其林立セル煙突ハ皆其下ニ幾百人ノ忙シク勞働セルコトヲ示シ、又同時ニ彼等ハ夜間休息ノ處ヲ求メサル可ラサルコトヲ意味ス。而シテヨキ住所ハ決シテヨキ煙突ノ如ク容易ニ求メ得ラレサルナリ。火ハヨキ煙突ナクシテ燃ヤス可ラス。然レ其人ハ朽チカ、リタル茅屋ニ生存シ得ルナリ。家屋ノ建築ハ曾テ煙突ノ建築ト歩武ヲ一ニセス。各方面ヨリ勞働者ハ聲ヲ上ケテ曰ク『我等カ賃銀ノ範圍



内ニ於テ、イツクニカ適當ナル住所ヲ求メンヤ』ト。寓所ノ甚タシキ欠亡ノ爲多クノ人ハ心ナラスモ細民窟ノ長屋ノ既ニ兔ノ巢ノ如キニ加フルニ又他ノ家族ヲ以テシ、殆ト耐ヘ難キ許リニ群集セル所ヲ更ニ密集スルナリ。蓋シ融通シ得ヘキ處ハ唯一ツ細民窟アルノミニシテ、中産ノ家族ニ於テハ人口ノ増加ニ伴フテ其家ヲ擴張スルコトナシ。其之ヲ擴張スルハ一家族僅ニ二室ヲ有スル如キ下民ノ家ニシテ、必要ニ迫ラレハ其一室ヲ讓リ、時ニ其間賃ヲ拂フノ助トナスヘク此一室中ニ同居人ヲモ許スナリ。サレハ細民窟ニ處在スル數千ノ室ハ概ネ晝夜二回ノ用ヲナシ、晝間勞働者ノ室ヲ出ツルヤ、夜間勞働者歸リ來リテ再ヒ睡眠ノ所トナス。『密集』ト『細民窟』ト此兩語ハ殆ト同意義ヲ有スルナリ。

密集スルコト若シ只一時的ノモノナラハ、或ハ尙耐フルヲ得ヘシ。然レ共細民窟ハ謂ハ、章魚ノ觸手ノ如シ。一度其手中ニ取入レタルモノハ容易ニ之ヲ放棄スルヲ欲セザルナリ。試ニ思ヘ、茲ニ一勞働者アリ。細民窟ノ惡臭ニ耐ヘス、且其妻子ノ眼前ニ憔悴スルヲ見、一日モ早ク此境遇ヲ脱セント欲ス。如何ナル機會カ彼ノ境遇ヲ改善セシムヘキモノアリヤ。ヨシ彼ノ賃銀ニシテヤ、善良ナル住所ヲ求メ得ヘシトセンモ善良ナル住所ノ家主ハ不快ノ眼ヲ以テ細民窟ヨリ入り來ル新來者ヲ見ルヘキヤ必セリ。況ンヤ最小限度以上ノ家賃ヲ拂ヒ得ル者ノ割合ハ全體ニ於テ甚タ僅少ナルヲヤ。歐洲ノ一隅ヨリ一隅ニ至ル間、技術ナキ勞働者ノ一定業ニ固執スルノ困難ハ非常ニシテ、失業ノ絶叫ハ往トシテ之ヲ聞カサルハナシ。實ニ多年ノ間彼等ハ其輕キ財囊ヲ以テシテハ、住宅ヲ細民窟ニ求ムルノ外ナカリシナリ。近年コソ此處ニ、最低限ノ賃銀ヲ獲ル者ニスラ尙此境遇ヲ脱シ得ヘキ途ノ漸ク設ケラレントスルハ、誠ニ二十世紀ニ於ケル一大美事タルヲ失ハサルナリ。

既ニ世人ノ長ク認メタルカ如ク、細民窟ハ種々ノ障屏ヲ設ケテ其住民ノ脱出ヲ防禦スルノ要ナシ。彼等ハ眼以テ見ル可ラサレ共急激ナル速度ヲ以テ無感覺ノ状態ニ沈淪シ、近代都市ノ一大疫病トモ謂フヘキ細民窟ニ進ミ行クナリ。此疫病ハ更ニ他ノ疫病ヲ誘發シ、是ニ觸ル、者ヲシテ無能、怠惰、飲酒、犯罪等ノ諸病ニ陥ラシメスンハ止マズ。此細民窟特殊ノ状態ヨリ超然蟬脱シ得ル細民ハ實ニ嘆賞ニ値スヘキ哉。而カモ之ニ超越シ得ルト否トニ拘ラス、彼等ハ皆悉ク虛弱ニシテ疾病ニ反抗スルノ力ナシ。營養不良、不潔ノ空氣、密集群居等皆之レ直ニ結核、肺炎、チフテリア、其他之ニ類スル百般ノ疾病ヲ連想セシムルモノナリ。細民窟ハ文明ノ一大培養所ナリ。疾病ヲ培養シテ之ヲ都市ノ街區ニ傳播スルナリ。

二十年前グラスゴー市ノラッセル博士ハ群居ト死亡率トノ關係ニツキ一統計ヲ發表シタリシカ、其簡潔明瞭ノ點ニ於テ今日未タ其比籌ヲ見ス。博士ハクラスゴー市民ヲ大別シテ三級トセリ。第一級、即チ一家族一室若シクハ二室ヲ有スル者ニ於テハ、一千人中死亡者二十七人七分四厘、第二級、即チ二家族三室若シクハ四室ヲ有スル家族ニ於テハ、一千人中死亡者十九人四分五厘、第三級、即チ五室以上ヲ有スル家族ニ於テハ、一千人中ノ死亡者僅ニ、十一人二分三厘ナリ。之ヲ概括スレハ、空氣ト日光トニ恩浴セルグラスゴー市ノ家ニテ、死亡者二人ヲ生スルニ對シ、細民窟ニテハ五人ヲ生スル割合ナリ。古人ハ曰ク生ハ易ク死ハ難シト。然レ共近代ノ細民窟住者ニ取リテハ、生ハ難ク而シテ死ハイト易キナリ。成人ニ取リテ生ノ難キ境遇ハ小兒ニ取リテ更ニ數層困難ナルヲ見ル。パーミンガム市ニ於ケル細民窟聖メ



リース町ハ模範村ボンビルヨリ四哩足ラスノ處ニアリ。前者ノ群居セル市街ニ生レシ千人ノ嬰兒中死亡セシ者三百三十一名ナルニ、後者ノ村落ニテハ僅カ六十五人ノ死亡嬰兒アルノミ。此惠マレタル村ニ生ラ享ケシ小兒ハ、カノ悲惨ナル陋巷ニ生レシ者ニ比シテ、五倍丈ケ多ク生存スルノ機會ヲ領スルナリ。新鮮ナル空氣ノ缺乏ハ實ニ些ナカラサル害毒ヲ生スルモノナリ。斯業ノ學者ニ聞クニ、吾人ノ身體ヲ充分活動セシムル爲ニ要スル空氣ノ量ハ最小限度ニ於テ一時間八百立方尺ヨリ一千立方尺ナリ。而シテ細民窟ニ於テ相應ニ廣キ室ト稱セラル、モノハ概ネ長サ十二尺半廣サ十尺、高サ九尺半ナリ。サレハ此室内ニ包容スル空氣ノ量ハ普通人民ノ健康ニ必要ナル量ノ二倍ニ及ハス。而カモ室内ニハ幾何カノ家具アリテ空氣ノ量ヲ減少スルカ上ニ、此室ニハ概ネ四人ヲ住居セシムルナリ。ヨシヤ空氣ハ時々刻々全然交代變化スルトセンモ、尙且彼等ハ最低限度ノ新鮮ナル空氣ヲ攝取スルノ機會アリヤ奈何。

而カモ歐洲一般ノ細民窟ニ於ケル家屋ノ構造ハカ、ル空氣ノ交代ヲシテ全然不可能ナラシムルニ於テヲヤ歐洲大陸ノ田舎ヲ旅行シテ窓ヲ開カント苦心シタル人ハ、何人モ其窓ナルモノハ決シテ開閉スル爲ニ設ケラレタルモノニ非サルヲ知ルヘシ。ソハ光ヲ入ル、爲、又ハ裝飾ノ爲ニシテ決シテ空氣流通ノ爲ニ非ス。獨リ其窓ノ開閉ニ困難ナルノミナラス、又細民窟ノ住民ハ傳説ニヨリ、習風ニヨリ新鮮ナル空氣ノ入ルヲ恐レ而カモ家屋ソノモノカ概ニ適當ナル氣流ノ交替ヲ妨クル也。暖キ日ニ狹キ小路ヲ横キル時、家屋ノ上層ニアル日覆ハ風ニ弄ハレテ飄々タルモ、下層ノモノニ至リテハ靜止シテ動カサルヲ見ルナリ。幸ニ英國ノ細民窟ニテハ其家屋概ネ平屋ニテ、高キモ三層ヲ越エス。然レ共大陸ノ高キ兵營式ノ建物ニ至リテハ、

ワカ米國ノ貸長屋ニ類シ、概ネ紐育市街ニ見ル如キ狀態ナリ。サレハ實際第一階ニ於ケル空氣ノ流通トイフカ如キハ決シテ容易ノ問題ニ非ス。其窓ヨリハ彼等共ガ通ノ芥棄場タル道路ヨリ汚氣惡臭ノ入り來ルノミ也。

實ニ此道路ニ塵芥ヲ放棄スル習僻ヨリモ更ニ迷惑ナルモノアルモアラサス。然レ共貧民カ臟物等ヲ道路ニ散亂スルハ重ニ適當ナル處置法ナキニ由ルナリ。其室ニハ食物、衣類、屑物雜然トシテ混居シ、之ヲ藏スヘキ押入レヲ所有セス。其衛生上ノ風習ハ實ニ無法ヲ極メ、英國、獨逸ノ細民窟ニ於テハ、七家族以上ニテ僅カニ一個ノ厠ヲ有ルモノ決シテ少ナカラス。其器具ハ人ト共ニ不潔ニシテ僅々一個ノ呑口ニテ全長屋ノ用ニ供ス。又高キ兵營式ノ建物ニ於テハ水道ノ來レルハ唯其一階ノミナリ。カクテ長キ階段ヲ下リテ水ヲ汲ムノ繁ヲ嫌ヒ、毎朝水槽ヲ改メス。而シテ其室ハ曾テ日光ヲ視サルカ故ニ決シテ清潔ヲ鼓吹スルコトナキ也。

人ノ三大恩惠物タル日光ト空氣ト水トヲ禁遏セラレテ、如何ノ細民窟ノ男女ハ人生競争場裏ニ活動スルヲ得ヘケンヤ。從來此三物件ハ經濟學者ニヨリ無代價物件ノ好適例トシテ引用シ來リタルモノナリ。然ルニ此等ハ今ヤ細民窟ニ於テハ決シテ無代價物ニ非ス。狹キ街區ハ住民ニ日光ヲ送ラス。高キ建物ハ空氣ヲ遮リ水ハ之ヲ得ルノ困難ナル尙一ツノ奢侈物トナレリ。サレハ歐洲諸大陸ニ於テハ漸ク之カ適當ノ處置ヲナスノ必要ヲ認メ、着々法令ヲ設ケテ改善ヲ計ルノ緒ヲナセリ。本章ニ於テハ重ニ獨逸及ヒ英國ノ事業ヲ參考トスヘシ。



結果ニヨリテ原因ヲ判断スルニ、一獨逸國民ノ安寧ハ此帝國全體ノ直接關係スル處ナルコトヲ結論セサルヲ得ス。愛國者ノ熱心ニ豫想セル當來ノ大獨逸ハ、獨逸聯邦ノ社會事情ヲ改良スルニ力ムル處ノ法令、又ハ法令ノ莫大ナル集合ノ所産ニ外ナラサルヘシ。之レモトヨリ新奇ノ說ニ非ス。唯獨逸カ此所信ヲ貫徹スル態度ノ各方面ニ現ハル、ヲ見ルハ甚タ興味アリトナスノミ。獨逸ノ職工ノ病ニ罹ルヤ醫療ノ助ヲ受ケ家族ハ政府ヨリ必需品ノ供給ヲ仰ク。彼ハ保險ニ入ラサル可ラス。又彼ノ老衰シテ働キ得サルニ至ルヤ、即チ養老金ヲ受ク。

是等ハ之レ國家ノ安寧ヲ計ル爲ノ方法ニシテ、且個人ノ能力ヲ發揮セントスルモノナリ。他面ニ獨逸國家或ハ都市ハ其域内ニ土地ヲ購ヒ、家屋ヲ作り、細民ノ支拂ヒ得ル程度ニテ之ヲ貸付ク。又健康ナル賤民ヲ作ル爲政府ハ細民窟ヲ剷滅セサル可ラサルヲ承認シ、且此細民窟トイフ都市ノ疾病タルヤ腫物ノ如ク其根ヲ下スコト深キヲ考へ、家屋改善ノ爲必要ニ應シテ充分ノ權威ヲ利用スルニ躊躇セサル也。

國家又ハ都市ノ土地或ハ建築物ヲ所有シ、之ニヨリテ歳入ヲ得ルコトハ封建制度ヨリモ古キ制度ナリ。一城ノ附近ノ地ハ城主之ヲ所有シ、自由都市モ亦各々土地及ヒ建物ヲ有シタリキ。然レ共市民ハ單ニ貴族等ノナスカ如ク自治市ノ普通歳入ノ一部分トシテ市ノ所有物ヨリ地代貸家料ヲ徵收セリ。サレハ歐洲大陸ノ諸都市、及ヒ多數ノ英國バロー(市ニ非サル自治町村又ハ自治ト否トヲ問ハス、國會ニ代議士ヲ出ス權アル市邑トイフ)ニテハ貸家ヨリ不正ノ苛税惡稅ヲ絞リ取ルニ躊躇セサリキ。其全ク之ヲ一洗スルノ端ニ付キシハ僅ニ最近ノ事ニ屬ス。

長屋改良運動ノ初マリシハ一千八百九十一年頃ニシテ、當時ノ報告書ヲ一覽スレハ改良ノイカニ急務ナリシヤヲ知ル可シ。此年柏林市ニ於テハ二萬一千戸ノ家屋内ニ三十六萬七千ノ家族住居シ居タリ。之レ一戸十七家族ノ割合ナリ。而シテ自己ノ家屋ヲ所有セシモノハ六百人中辛シテ一人ノ比例ナリ。又柏林市ノ全人口ノ七分三分ノ二、即チ十一萬七千七百二人ハ地下室ニ居住シ居タリ。ハンブルグ市ハ悲惨ノ状態ニ於テ之ト相如キ、ブレスロー、ドレスデン、マルデブルグノ諸市ニ於テハ、各々其人口ノ約半數ハ狭キ「ツーベヘル」ト稱スル火氣ノ設備ナク、又流通ノ機會ナキ押入レヤウノ小室ヲ除ケハ、僅ニ一室ヲ有スルニ過キサシク住居ニ生息シ居タリキ。獨逸ノ家ハ一般ニ所謂兵營式ト稱スル、四層若シクハ其以上ノ建物ニシテ、殆ト我カ米國ノ貸長屋ニ相當ス。當時ノ此建物ハ非常ニ水道ノ便ニ乏シク、其衛生状態ノ不完全ニシテ不潔ナル、到底此内ニテ上品ナル生活ヲ送ルヲ得サラシム。カ、ル状態ナルニモ拘ラス、家賃ハ甚タ高價ニシテ、屢々労働者カカ全銀ノ三分ノ一ニ上ルコトアリキ。

新細民窟ノ増加ヲ防遏スルコトヲ焦眉ノ急務ナルコトヲ承認シ、獨逸官憲ハ家屋建築法ニ關シテ嚴格ナル規則ヲ發布シ、熱心ニ改良運動ヲ開始セリ。而シテ此規則ヲ遺憾ナク勵行スルタメ、政府ニ附屬スル有力ナル警察力ヲ運用シ、更ニ之ニ次クニ同シク嚴格ナル火災豫防法ヲ以テセリ。或聯邦ノ政府ニ於テハ一地域内ニ堅固ナル建築物ヲ建テ込ム時ハ勢ヒ非衛生的ノ状態ニ陥ルヲ信シ、一定區劃ヲ設ケ、其内ニハ只三分ノ二ノ敷地ヲ有スル建物ヲ許可シタリキ。此規則ハ小兒ニ取リテハ好遊歩場ヲ與へ、又大人小兒共ニ日光ト空氣トニ浴セシムルノ機會ヲ與ヘシモノナリ。又内部ノ暗黒ナル室ヲ嚴禁シ、每室一定立方尺ノ空氣ヲ流



通セシメ、水ノ供給、廢物、灰等ノ棄物、食物及ヒ衣服ノ戸棚等皆一定ノ規則ヲ設ケタリ。然レ共規則、條件ハ積ミテ山ヲナストモ以テ細民ニ適當ナル家屋ヲ供スル能ハス。ソハ高々不適當ナル家屋ノ新築セラル、ヲ防クニ止マルヘシ。單ニ都市カソノ土地ヲ所有シ、又此事業ニ關シテ使用スヘキ幾何カノ財源ヲ有ストモ以テ充分トナス可ラス。更ニ一步ヲ進メテ大ニ攻撃的軍略ヲ用ササル可ラサルモノアリキ。

進歩的獨逸ノ採リシ方針ハ之ヲ下ノ四ヶ條ニ概括スヘシ。第一、都市ノ必然的ニ發達スヘキ方面ヲ豫想シテ新市區ノ新劃ヲ立ツルコト。第二、模範長屋ヲ造リ、建築法ノ欠點ヲ研究シテ模範ヲ提供シ、投機ニ對スル必要ナル平衡<sup>バランス</sup>輪<sup>ホイール</sup>ノ用ニ備ヘ、或ハ個人ノ新ニ建築ヲ企ツル者ノ活動ヲ鼓舞スルコト。第三、個人及ヒ共同建築組合ノ家屋建築ヲ獎勵スルコト。第四、既存ノ細民窟ヲ破壊スルコト、即チ舊家屋ヲ毀チテ之ニ代フルニ新模範家屋、商店又ハ公園ヲ以テスルカ、或ハ現存ノ建物ヲ修葺シテ衛生上適當ナルモノタラシムルコト之レナリ。

新市區ノ計畫ニツキテハ近年之ヲ稱フルモノ甚シト雖モ、コハ決シテ新シキ考案ニ非ス。一千六百六十八年ノ昔、倫敦市ニ大火災アルヤ、サー、クリストファー、レンハ早クモ同市ニ向テ新市區ノ新畫ヲ提供セリ。其交通ノ方法ヲ講シタル點ニ於テ、其他種々細目ニ亘リテ、今日猶氏ノ案ノ右ニ出ツルモノナシ。案ニ曰ク『夥シキ火力ヲ要シ又ハ惡臭ヲ放ツカ如キ職業ハ之ヲ市外ニ置ク可シ』ト。近代ノ計畫モ又カ、ル移轉ヲ以テ第一要件トナス。『レン』案ニ依レハ、交通ハ新市區計畫ノ最重要件ニシテ、其方法トシテ三様ノ廣サヲ有スル道路ヲ造リ、皆市ノ中心地即チ倫敦取引所<sup>エキチェン</sup>ニ達スル事最モ容易ナラシムヘシト。最近ノ計畫

モ又重キヲ市ノ中心ト市外トニ往來スル交通ヲ敏速ナラシムル點ニ置キ、市内ニハ製造場、商店及ヒ倉庫ヲ包含シ、勞働者ノ住宅ハ之ヲ圍繞セル郊外ニ置ク。レンハ又道路ヲ別チテ運輸道ト住宅道トヲ區分セリ前者ハ重荷ヲ運搬スルニ耐ユル爲ニ廣ク且強ク金錢ヲ惜マシテ建造スヘク、後者ハ之ヨリモ狭ク、費用モ少カル可シ。今日ノ計畫ニ由レハ道路ヲ三級ニ分類セリ。第一級ハ廣ク且高價ナル道路ニシテ、物品ノ運輸ヲ目的トス。第二級ハ狹ク且比較的安價ナル道路ナリ。第三級ハ謂ハ、不定道路トモ稱スヘキモノニシテ、時ニ運輸道トナルコトアレ共、モトモト住宅地用ニ宛テラル、モノナリ。此第三級ノ道路ハ狹ク又安價ニ造ルヲ得ヘク、必要アルニ至ラハ瑣少ノ金額ヲ投シテ之ヲ擴張シ得ルヤウナル可シ。即チ各家屋ノ前ニ庭ヲ剩シ置キ、時ニ應シテ之ヲ適當ノ廣サ迄道路トナスヲ得セシム。是ヲ米國ニ於テ屋敷町ヲ運輸用ニ變更スル爲、土地ト建物ト共ニ買收スルノ止ムヲ得サルニ至ル風習ト比較セハ、入費ノ多少知ルヘキノミ。

レンノ先見皆敬服スヘキカ中ニ、其理想的都市ニ於テ市區々分ノ必要ヲ主張セシ許リ豫想ノ的中セルモノナシ。二百五十年ノ前ニ於テ人ハ既ニ業ニ地價ト其土地ノ上ニ建築スル家屋ノ各室ノ室料トノ關係密接ニシテ、當然商家事務所ノ必要トスヘキ地點ニ建テタル住家ニハ、商店並ノ家賃ヲ課スルノ止ヲ得サルニ至ルヘキコトヲ解シ得タリシナリ。歐洲諸市ノ勞働者ハ今日一英加二萬弗ヨリ八千弗ヲ價スル地所ノ上ニ住居ス。一杯土ヲ惜シミテ家屋ヲ作り、一寸ノ空所ヲ利用シテ人間ヲ群居セシムルニ非スンハ、細民ノ之ニ對スル家賃ヲ支拂ヒ得サルヤ明カナリ。サレハ外國諸市一般ノ經驗ニヨルニ、商業又ハ製造地域外ノ安價



ナル地ヲ選ミテ模範長屋ヲ作り、在來ノ細民窟ヲ破壊スルヲ以テ却テ策ノ得タルモノトセリ。其獨リ經濟上ヨリノミナラス、又衛生上ヨリ見テ便益ノ多大ナル殆ト論スルノ要ナシ。

大都市ニ於テ廣大ナル地域ニ膨脹スル許リ無用ノ入費ヲ要シ、且自ラ不秩序ニ陥リ易キモノナシ。カ、ル都市ニ於テハ意味モ理由モナク商店、製造場、細屋、兵營式建築物、邸宅雜然又混然トシテ群居ス。此密聚ヲ生スルニ於テ少ナカラスカアリシハ歐洲人カ商店ノ近傍ニ住居セントセシ風習ナリ。獨逸人ハ百般ノ考案ヲ提ケテ住宅ヲ此渾沌タル大集團ヨリ分離シ、人民ヲ市外ニ送リテ市ノ中央ニハ只工業ヲノミ殘サント力メツ、アリ。是レ市ヲ圍繞スルニ庭園郊外ヲ以テセントスル計畫ノ背後ニ存スル原理ニシテ、カ、ル考案ハ建築條例ト相俟チテ發展スヘク、所謂圈域制度 (Zone system) ニモ之ヲ包含セリ。此圈域制度ニ由レハ家屋ノ高サ及ヒ一家屋ノ占領スヘキ地所ノ割合ヲハ、市ノ中心ヨリノ距離ニ從ツテ制限セントスルモノナリ。即チ中心ヨリ圈域ノ遠キニ從ヒ一英加中ノ家屋ノ數ヲ減少シ、又一家屋ノ階層數ヲ減少ス。勿論此圈域ハ數學上ノ圈ニ非スシテ、單ニ一地域ノカク區分セラレタルニ過キス。此規定ハ自ラ製造所ヲ一地域ニ集合セシムヘシ。一例セハコロニーニ於テハ、中心地域ノ家屋ハ高サ五層ニテ二重勾配屋根ヲ造ルヲ得ヘシ。然レ共法律ノ定メタル市外域ニテハ高サ一屋三層ヲ越ユ可ラス。又敷地ノ四割以上ヲ建物ニテ占有スヘカラストセリ。サキソニーハ一千九百年ヲ以テ大都市ニ上述ノ如キ計畫ヲ強制的ニ實行セシメ、プロシヤニ於テハ完成セサリシト雖モ、ソレ以前ニ於テ、伯林市ノ各部分ニ新鮮ナル空氣ヲ送ラシムル目的ニテ、伯林ニ向テ吹ク風域ニ從テ家屋ノ高サト數トヲ制限セント力メタリ。其他之ニ類スル計畫ヲ遂行セン

トセシ他ノ諸市ハ何レモ特ニ注意シテ、最少量ノ日光ヲ送り、空處ヲ剩シテ公園、運動場及ヒ殊ニ「家賃ノ一助トナル可キ庭園」(又菜園)ヲ設クル如ク家屋ヲ配置スルコトニ盡力セサルハナシ。一般ノ健康ヲ増進スル上ニ於テ如斯庭園ヲ獎勵スルハ、誠ニ一大進歩ヲ齎スモノナリ。濕地又不用地ハ之ヲ區分制度、即チ略說スレハ市端ノ土地ヲ小部分ニ區劃シ、之ヲ開拓スル約束ニテ職工ニ分配スル方法ヲ用井テ之ヲ開墾スルヲ得ヘシ。又良庭園ニハ賞ヲ懸ケテ獎勵スル方法モ、又効果ノ見ルヘキモノアリ。實用庭園構造法ニ關スル構演モ、又都會生レノ男女ニシテ働ク志アレ共、之ヲ造ル方法ヲ知ラサル者ニ些ナカラサル興味ヲ喚起シタリ。尤モ庭園ヲ區分シテ之ヲ配當スルハ決シテ理想的方法ニ非ス。最モ効力アルハ各戸ノ屋後ニ設クヘキ數畝ノ小庭園ニシテ、父ハ業務ノ余暇ヲ利シテ之ヲ造リ、母及ヒ子女モ亦茲ニ働キテ健全ナル時間ヲ費スヲ得ヘシ。

今直接家屋ニ關シテ獨逸ノ最モ進歩セル法律ヲ一括スレハ、其一般ノ傾向ハ投機ヲ排シ、放資ノ目的ヲ以テ家屋ヲ建築スル者ヲ嚴重ニ取締リ、而シテ自ラ家屋ヲ造ラントスル個人ニ最上ノ自由ヲ與フルコトナリ政府ノ希望ハ個人ヲ獎勵シ、資本ノ充實ヲ鼓吹セントスルニアリ。密集シテ家屋ヲ建築スル者アルヤ、即チ干涉シテ社會保護ノ任ニ當ル。其他家屋建築ノ爲ニ使用セシ市ノ資本ニ對シテ配當ノ制限ヲナスコト、土地ヲ年期ニテ、貸付ケ之ヲ貸付クルニ當リテ其上ニ建造スヘキ家屋ハ年期ノ終ルト共ニ市ノ所有ニ歸スヘキ條件ヲ以テスル貸付法ヲ定ムルコト、必要ノ場合ニハ轉賣シ又ハ誓約ヲ破棄スル權利ヲ保留スルコト等皆最モ進歩セル方針ヲ示サ、ルハナシ。而シテカ、ル計畫中ノ大多數ハ既ニ模範長屋トナリテ其效果ノ著



シキヲ證シ、市民ハ幸福ニ又健全ニ之ニ住居セリ。

凡テ之等ヲ行フニハ皆少ナラサル時間ト金錢トヲ要シタリ。然ラハ費シタル時間ト金錢トニ對シ之ヲ償フニ足ル人命ヲ救ヒ得シヤ。

求メタル効果ヲ齎シ得シヤ。此間ニ答フル爲試ニ住宅改善ノ事ニ力ヲ致セシ一都會、マイン河上ノオフエンバツハニ行キ其死亡率ヲ検査セシメヨ。此市ニ於テ一千八百七十年ヨリ一千八百八十年ニ至ル十年間ノ死亡率ハ人口一千人ニ對シ二割三分六厘ナリキ。次ニ一千八百八十年ヨリ同九十年ニ至ル十年間ニハ二割八厘、一千八百九十年ヨリ一千九百年ニ至ル間ハ一割八分五厘、而シテ一千九百八年ニハ一割四分一厘ナリキ。而シテ過去十年間ニ於テハ市民ノ活動力次第ニ増加シ來リ、毎年死亡率ノ減少スルヲ見ル。此獨逸ノ一小都會ニ於テスラ家屋其他一般生活ノ標準ヲ改良スルコトニヨリ、之ヲ三十年以前ニ比スレハ今日ハ一千人中九人乃至十人ノ人命ヲ救助シツ、アリ。其他市民ノ活動能力ヲ増進シテ得タル利益ハ殆ト計リ知ル可ラサルモノアリ。

之ヲ總括スルニ貸長屋ノ荒涼無趣味ニシテ、生産ノ活力ナキコトハ、即チ疾病及ヒ死亡ノ先驅ヲナス飲酒不道德、又ハ賭博等ヲ總合スル一大害毒ヲ形成スル一分子ナルコトヲ承認スルコト、獨逸ノ如ク銳キハナク、細民窟ヲ墮落シ壓迫セラレタルヲ轉スルニ、愉快ナル境遇ヤ、庭園ヤ、音樂ヤ、其他諸般ノ戶外生活ヲ刺戟スルモノ、助ヲ借ルニ力ヲ致セルコト獨逸ノ如キハナク、又家屋ヲ改良スルコトハ家長ヲ初メ下ハ一小嬰兒ニ至ル迄全家族ヲ利スルコトアルモ、直接國稅ヲ免除スルコト其他之ニ類スル救貧策ハ、僅ニ之

ヲ要スルコト尤モ少キ家族ノ一員即チ家長ヲノミ益スルニ過キサル傾向アルコトヲ理解スルコト獨逸ノ如ク完全ナル國家ハ他ニ之ヲ見ス。

獨逸ノナシ來リタル事業ニ並行シテ、英國モ亦些ナカラサル進歩ヲナシタリ。英國家屋法ハのレシヤクト(此法ハ獨逸ノ英國土ノメナラス廣ク蘇蘭土、愛蘭ニモ適用ス)ノ第一部ハ細民窟ヲ一般の清潔法ヲ規定スルモノニシテ、細民窟ヲ一掃シ、其處ニ於テ、或ハ市外ノ安價ナル地點ニ於テ、模範的住宅ヲ建造スルコトヲ定ム。第二部ハ住居ニ不適當ナル家屋ハ之ヲ所有主ニ命ジテ強制的ニ整理セシム。若シ所有主ノ整理ヲ肯セサル時ハ之ヲ破壊ス。此規定ニ由リ破壊セラル、家屋ハ極メテ稀ニシテ、所有主ノ期限内ニ改良家屋ヲ建築スルコトノ興味ヲ有スルニ至ルコト殆ト皆然ラサルハナシ。第三部ハ地方町村ニ土地ヲ購入シ、家屋ヲ建築シ、空氣ヲ剩シテ庭園、運動場、及モ公園等ヲ作ルノ權利ヲ與フ。其法殆ト獨逸ノ自治市ニテ目下施行セラル、モノト大同小異ナリ。

ネツツルフオールドカ其著『實用家屋』(Practical Housing)ニ於テ示シタル計算ニヨレハ、前記家屋法ノ第一部ニ從ヒテ改築スル時ハ、一人ノ費用二百弗乃至一千弗ニシテ平均三百七十五弗ナリ。比較ノ爲尤モ低キ平均ヲナセハ二百五十弗ナリ。之ヲ對シリバーブル及ヒバーシンガム市ニテハ第二部ノ規定ニ從ヒテ改良ヲ施セシニ、完全ナル改築ヲナスニ要セシ入費一人七弗以下ナル者アリキ。平均スレハ一人十弗ナリ。依是觀之、第一部ハ小數人民ノ家屋改良ニ便シ、第二部ハ大多數ノ人ニ向テ相應ナル家屋ヲ供スルニ都合ヨキカ如シ。第二部ヲ以テヨシトスル多數ノ人ハ思ヘラク、第一部ニ由リテ一人ノ良家屋ヲ作り得ル



ニ對シ、第二部ノ方法ヲ用フレハ些クトモ十五人ノ者健全ナル家屋ニ住シ得ヘシト斷言シテ憚ラスト。  
英國上院カ下院ニ反抗シテ未會有ノ豫算否決ヲ行ヒタル時ニ當リテ、上院ニ自カラ前議會ニ於テ否決シタ  
リシ家屋法ヲ新ニ通過セシメタリシカ、此新法律ハ甚タ面白キ衛生上ノ一新法ヲ制定セリ。即チ各區  
會ハ一衛生醫員ヲ任命スヘク、此醫員ハ區ノ衛生ニ關シ一切ノ責ニ任シ、特ニ居住ニ不適當ナル家屋ヲ監  
理スルヲ以テ職トナス。又此法ニ由レハ行政官吏ニ附屬スル尤モ必要ナル一機關トシテ、衛生及ヒ家屋狀  
態ニ關スル一委員會ヲ設ケ、此種ノ問題ノ區會ニ提出セラル、トキ之ヲ聽取スル制ナリ。

此法案ニ由レハ家屋問題ニ關スル一切ノ官吏ニ與フル權力ハ甚タ大ニシテ、又低額ノ家賃ニテ貸付クル家  
屋ハ、貸出シテ當初ニ於テ又其貸付期間ニ於テ充分人間ノ住居ニ適當ナルヤフナルヘキ事ヲ制定シ、今日  
ニ至ル迄幾十幾百ノ家屋ヲ皆法律ノ規定ニヨリテ改良セシメタリ。若シ此種ノ家屋ニシテ住居ニ不適當ナ  
ルヲ發見シタルトキハ、官憲ハ用捨ナク之ヲ改造シ、其改造ノ費用ハ之ヲ其家主ニ支拂ハシム。

其他地下室及ヒ背ト背ト相接セル家屋ニ住居スルヲ禁シ、廣大ナル都市改良法ヲ講シ、官憲ノ根本的改革  
權ヲ擴大シ、及種々人民ノ住宅改良案ヲ規定セリ。

時ニ街區ノ喧噪場裏ヨリ森野ノ神バンノ呼フ聲ヲ聞クコトアリ。又時ニ雪ニ明ケ。夏至ノ長キ薄明ニ明ク  
ル野ヤ山ノ切ニ市人ノ心ヲ曳クモノアリ。奈何ソヤ。若シ此土ノ各都市ハ皆庭園ヲ有シ曾テ、一人ノ浮浪  
徒カ『嗚呼若シ全蒼穹ヲタニ見ルヲ得ハ』ト余ニ向テ嘆聲ヲ發シタルガ如ク、兒童ハ此庭園ニテ鳥ヤ花ノ友  
トナリ、都市ノ賤鄙ナル重荷ヨリ脱シテ人トナルヲ得ハ如何。此『全蒼穹』ニアコカレ、其恩澤ヲ信スル者

ニ向テ、英國ノ煙多キ塵ノ都ヨリ發生シタル『公園都市』(Garden Cities)ニツキ以上少シク詳細ニ亘リテ  
記述スルハ實ニ一個ノ愉快ナル義務タルヲ失ハス。此計劃ニ種々アレ共、其根本思想ハ皆アルツルリヤノ  
市民ニ小サハシキモノニシテ、彼等ノ要スルモノハ土地ヲ嚴格ニ制限シ、一英加内ニ建築スヘキ家屋ノ數  
ヲ規定シテ住民ニ充分愉快ニシテ健全ナル境地ヲ與ヘ、且其家ハ綠草ノ間ニ位シテ、兒童ハ以テ嬉戲スヘ  
ク、老人ハ懶眠ヲ貪ルニ足ルヤウスヘキコト也。又彼等ノ欲スル處ハ、社會生活ニ必要ナル凡テノ事業ヲ、  
合理的ニ又賢明ヲ發展セシムルコトナリ。凡テノ家屋建築及セ諸種ノ設計ヲ行フニ、出來得ル限り衛生審  
美ノ兩面ニ心ヲ用フルコトナリ。農村生活ノ愉快ニ加フルニ都市生活ノ便利ヲ以テセントスルニアリ。イ  
ーリング、ポーンビル、ポートサン、ライト、シツチウオース公園市、ハーポーンハムブステッド等皆理  
想的公園市ノ元素ヲ多量ニ含有ス。此中ポーンビル及ヒポートサンライトハ實ニ二個ノ人格ノ公共心ニヨ  
リテ今日アルヲ致セシニテ、前者ハチョーヂ、キャドベリー氏ニ、後者ハタブルユー、エツチ、レヴアー氏ニ  
各々負フ處アルナリ。此兩者ハ常ニ高尚ナル競争ニ努力シ、其家屋ニ於テ、其衛生ニ於テ皆優ニ他ノ模範  
トナスニ足ル。日光空氣水ヲ多量ニ供シ、公園アリ、割宛セル庭園アリ、體操場アリ、兒童遊戯場アリ、  
游泳場アリ、社交俱樂部アリ、ヨキ學校アリ、清潔ニシテ秩序アル商店アリ、皆此小町村ヲシテ家屋問題  
研究者ニ向ツテ興味津々タルモノアラシムルナリ。

一千九百九年度ニ於ケルポートサンライト村ノ用度ハ實ニ二百五十萬圓以上ナリキト云フ。此巨大ナル出  
費ヲ以テシテ、尙經濟上ニ成功センコトハ決シテ易々タル業ニ非ス。而シテ之レ此村ノ企圖スル處ニモ非



サルナリ。此村ノ家屋ハ悉クレヴー兄弟商會ノ勞働者ヲ收容スル爲ニ設ケラレタルモノニシテ、其家賃ハ只租稅、修費及ヒ維持費ニ宛ツルニ足ルヲ以テ限度トセリ。サレハ此村ヲ維持スル爲會社ノ支出スル金額ハ實ニ年々幾千弗ナリトイフ。

然レ共此會社ノ社主ハ堅ク信シテ謂ヘラク、此入費ハ勞働者ノ改良状態ニヨリ、幹部職工ノ移動ナキコトニヨリ、又此村ニテ生活ノ安固ナルカ爲卓越セル勞働者ヲ吸收スルコトニヨリ、幾層倍スル利純ヲ得、以テ之ヲ償却シ得テ餘リアルナリト。

ポーンヅイルハキヤドベリー氏ノ無條件寄附ヨリナル一財團ノ經營スル小村落ニシテ、財團理事ノ手ニヨリ歳費ノ剩餘ヲ生シ、之ヲ用ヒテ益々當初ノ計畫ヲ發展シツ、アリ。此小村落ニハキヤドベリー、ココオ製造所以外ノ勞働者ヲモ宿泊セシムルカ故ニ、住民ノ過半数ハ他ノ社會ニテ勞働シ、全クココオ製造所ト無關係ナリ。室料ハ一週間六志六片ヨリ七志六片ニテ充分適當セル室ヲ供シ、獨立家屋ハ一年三十磅ヨリ四十磅ノ家賃ニシテ各戸皆庭園ヲ有ス。庭園ハ貸付ニ先チ悉ク植込ヲナシ、且二人ノ庭園師被備人頭ト共ニ村ノ庭園ヲ監理シ、且借家人ノ顧問ニ應ス。借家人ノ止ヲ得サル外ハ此處ヲ去ルヲ欲セス、又突然空家ノ出來セシ時ハ、此全村ヲ滿タスニ足ル程ノ人ノ、之ヲ借ラントシテ申込ヲナセル者アル、蓋シ異トスルニ足ラサル也。キヤドベリー氏自ラ曰ク、當來ノ大事業ハ細民ヲシテ『都市ノ陰鬱不潔ニシテ、又誘惑多キ生活ヨリ移シ、開闢スルトコロ皆健全、有益ナル農村生活ニ歸着セシムルニアリ。一言セハ人民ヲ土地ニ返喚セサル可ラス』ト。

此『土地』ニ代フルニ『郊外』ナル語ヲ以テシ、細民窟ノ住者ヲ敷石堅ク日光暗キ處ヨリ轉シテ、市ノ郊外ニ於ケル日光空氣ノ豊富ナル地ニ行カシメヨ。此キヤドベリー氏ノ語ハ即家屋制度ノ解決ヲ示スモノナルコト余ノ確ク信シテ疑ハサル處ナリ。

レヴー兄弟商會ノ其被備人ニ向テ家屋ヲ建築シ、之ヲ殆ト名義許ナル家賃ニテ貸付クル方法ハ、諸種ノ點ニ於テ誠ニ人目ヲ惹クニ足ルモノアレ共、而カモ重大ナル反對說ノ起ルコトアルヲ免レス。アル反對說ハレヴー氏ノ共同組織ヲ批難シ、又他ノ者ハ根本的ニ事業ソノモノヲ攻撃ス。久シカラサル以前、新紙ハ連載シテ冬ノ寒天ニ、共同組合所有ノ家屋ヨリ訴訴手續ニヨリテ追出サレタル無宿ノ男女ノ慘狀ヲ報道シタリキ。又近來英國社會ヲ攪拌セシ害毒ノ一ハ農業勞働者ノ不平ニシテ、彼等ハ曰ク『業ヲ失ヘハ又家ヲモ失フナリ』ト。夫レ人ヲシテ自特獨立ノ念ヲ熾ナラシムルニハ、彼自ラノ住宅ヲ所有セシムルニ如カス。住宅ハ其雇主ノ所有ニシテ、職ヲ失フハ即チ其家ヲ失フノ時ナルトキ、誰カ甚シク獨立ノ念ヲ殺カレサルモノアラシ。此點ニ於テキヤドベリー氏ノ行動ハ遙ニ良好ナリト謂ハサル可カラス。氏ハ當初ヨリ其家屋ヲシテ家賃ニテ終始相償フモノタラシムルコトヲ主張シ、同時ニポーンヅイル村ニ對シテ悉ク要求ノ權利ヲ放棄シ、其建築シタル家屋ヲ悉ク理事會ニ一任シ、其村ニ來ラントスル者ハ何人ヲモ拒絕セサル也。若シアル篤志ノ團隊ニシテ其被雇人ノ状態ヲ改良スル爲、新ニ家屋ヲ建築セントスルモノアラハ、此キヤドベリー案ニ從フヨリ他ニ良策ナキカ如シ。或ハ若シ氏ノ大慈善心ニ倣フヲ得サル時ハ、其資本ヲ下シテ衛生的ナル家屋ヲ建築シ、之ヲ貸付クルニ相應ノ利純アルカ如クニシ、次ニ其監督ヲ絕對的ニ利害相關係セサル理



事會ニ一任スヘシ。

五八

カクセハ其根本目的即チ労働者ノ生活状態ヲ改良スル目的ヲ達シ、而シテ動モスレハ惹起シ勝ナル争論ヲ避クルヲ得ヘシ。

此事ニ關シ猶他ニ一ツノ謂フヘキコトアリ。ソハ目下ノ趨勢ノ益々工業ヲ集中セントスル傾向アルコトナリ。即チ多數ノ大資本業ハ漸ク其種々ノ分離セル事業ヲ閉了シ、之ヲ一點ニ集中シテ金銭ト努力トヲ節約セントス。其結果自己ノ住宅ヲ有スル労働者ヲシテ自ラ一種ノ危険ニ逢遭セシムルカ如シ。即チ人口ノ自ラ推移スルニ從ヒ、熟練ナル職工ハ一方ニ工業ト共ニ移轉スルノ止ムナキアリ。又地方ニハ自己所有ノ家屋アルカ故ニ、其他ニ縛セラレテ、勢ヒ頗ル困難ナル事情ニ陥ルナリ。カルカ故ニ其貯財ヲ家屋以外ノ他ノ方面ニ放資センコトヲ忠告スル社會學者決シテ尠ナカラス。然レ共譏テ思フニ、自己ノ住宅ヲ有スルコトヨリ生スル生活上ノ利益多大ナルモ拘ラス、之ヲ獎勵スルコト能ハサル程今日ニ於テ如上ノ危険甚々大ナリトハ、些クトモ尙疑問ノ餘地アリト云ハサル可ラス。十年或ハ二十年ノ後ニ於テ來ルヘキ事ハ何人モ之ヲ豫想スルヲ得ス。吾人カ現在ノ善事ノ爲、多少未來ノ危険ヲ犯ルヤル可ラサルハ、室ニ獨リ此一事ノミナランヤ。但シ個人ノ所有ヨリ生スルト同様ナル效果ノ、ヤ、變化セル組合組織ニヨリテ幾分カ獲得シ得ヘキコト必スシモ不可能ナラス。例ヘハ柏林市内及ヒ其附近ニテ活動セル柏林貯蓄建築組合 (The Berlin Savings and Buildings Society) 及ヒ倫敦市外ノイーリングニ處在シテ、今ハ共有借家人組合 (The Co-Bartnership Tenants Societies) ノ一部タルイーリング借家人合資組合 (The Tenants Limited) 其他之

ニ類スル歐洲ノ各種組合ノ如キ之レナリ。

上述柏林組合ノ建物ハ皆巨大ニシテ所謂 廊式 シテ、コロフ、タイプ ナレ共種々著大ナル特長ヲ有ス。例ヘハヘスラー町ノ建物ノ如キ、一千個トイフ多數ノ家族ヲ收容シ、各家族ハ一ケ年百弗ニテ廣キ三室ヲ占有スルヲ得ヘシ (柏林市街ノリツクスドルフ借長屋ニテハ一ケ年百二十弗ニテ模範室四個ヲ供ス)。而シテ兒童ノ市街ニ遊戯スルヲ防ク爲、日當リヨキ内庭及ヒ運動場ヲ設備セリ。初メ此内庭ヲ裝飾的庭園トセントノ計劃ナリシカ政府ハ之ヲ花ノ庭トナスヨリモ小兒ノ園トナサンコトノ更ニ良好ナルヲ一決シ、空地地ヲ遊戯ノ目的ニ適スルヤウ形造セリ。勿論悉ク草花ヲ栽培セストイフニ非ス。廊下ハ滿タスニ悉ク花卉ヲ以テシ、全建物ノ一面ハ常ニ爛熳馥郁タルモノアリ。尙他ニ附加スヘキハ獨逸人ノヨク空處ヲ利用スルノ道ヲ知レルコト、遠ク吾人ノ及ハサルコトナリ。例ヘハ模範長屋ノ屋根ヲ一見スルニ浴室、押入レ、洗濯場、運動場、干物場其他一家ニ、必要ナルノ諸般設備ヲ此屋根ニ有スルモノ些ナカラス。

讀者若シ日當リノヨキロンドンノ朝、メリルボーンヨリバダントン停車場ヘト志シ、更ニ此大都ヲ真西ニ向テ後ニスルトキ、讀者ハ英國ノ組合村中尤モ有名ナルイーリング村ニ面スヘシ。更ニハロー、オン、ザ、ヒルヨリ、テムズ河ガキユーニ於テ一大灣曲ヲナスノ點ニ一線ヲ引キ、線端ヨリ三分ノ二ノ點ニ鉛筆ヲ置ク時ハ、再ヒ此地ノ位置ヲ求メ得ヘシ。カク地理的ニ之ヲ探求スルハ郊外村落ノ一大要件、即チ首府ト相接近セルコトヲ示サンカ爲ノミ。

イーリング借家人合資組合ヲ一括シテ云ヘハ、地所家屋ヲ共同シテ所有シ、且之ヲ共同シテ管理スルノ好

五九



結果ナルコトヲ信スル信念ノ具體的ニ發表セラレタルモノト見ルヲ得ヘシ。最初加入者ハ一株十磅ノ割合ニテ第一株ヲ買フヲ得ヘク、而シテ最後ニハ其敷地代ニ相當スル五株以上ヲ引受ケサル可ラス。扱若シ組合ニヨリテ家屋ヲ建築スル事カ之ヲ切要スル人ノ爲ニ好結果アリトセハ、資本ヲ外部ヨリ輸入スルノ必要アルコトモトヨリ明白ナリ。カルカ故ニ組合ハ其資本ヲ分チテ、上ニ述ヘタル組合株ト、組合ノ發行スル權利アル債券トノ二種トナス。此計畫ノ結果如何ハ事業開始ノ當初ニ於テ組合株ニ五分ヲ債券ニ四分ヲ支拂ヒ而カモ組合ハ不時ノ損失及ヒ修葺ノ爲ニ不相當ノ剩餘ヲ生シ得タルニ徴スヘシ。此組合ノ理想ハ他ノ共有借家人組合トシテ總稱スル協會ト等シク、借家人ヲシテ『此土地ハ吾人ノ有リ』トイハシムルニテ『此家ハ我カ物ナリ』トイハシムルニ非ス。換言スレハ組合ハ個々ノ家族ヲシテ自己ノ一家屋ヲ有セシムル代リニ、家賃ヲ支拂フ借家人全體ヲ一團トシテ全土ヲ共有セシメント欲スルナリ。

次ニ來ル此共有組合ノ目的ハ又特ニ一節ヲ割クノ値アルモノ也。其本文ニ曰ク『適當ナル土地ヲ得ルコト。適當ナル家屋ヲ建築スル事。家屋ヲ相應ノ家賃ニテ貸付クルコト。放資シタル資本ニ對シ相應ノ利子ヲ支拂フコト。剩餘ノ利純ハ之ヲ維持、價格ノ下落、修葺等ニ使用シタル後ハ借家組合員ニ分配シ。之ヲ分配スルニ各々其支拂ヒタル借家賃ノ高ニ比例スルコト。此割合ニヨリ借家組合員ニ配當スヘキ利純ハ其總額ノ各家屋ノ敷地代ト同一額ニ至ル迄保留スルコト。同一額ヲ保留シ得シ時ハ、以後之ヲ現金ニテ支拂フコト』。蓋シ尤モ公明ニシテ且健全ナル綱領ト謂ヒツ可シ。

既ニ純益ノ大部分ハ資本ノ一部トシテ保留シアルカ故ニ、此制度ハ資本ノ安全、配當ノ均整ヲ生ス。既ニ

卸ニテ建築用材ヲ購ヒ、全費用ノ殆ト二割トイフ安價ニテ建築シ得ルカ故ニ、入費ノ點ニ於テ非常ノ利益ヲ得。既ニ内部修繕ノ實費ハ各借家人ノ利純ト差引クカ故ニ修葺費ハ之ヲ最低額トナスヲ得ヘシ。既ニ各借家人ノ利益ハ全體ノ總利益ニ左右セラル、カ故ニ、各々自ラ爭テ此組合ノ一代理人タルコトニ熱心ナルヘシ。既ニイーリング村ニ於ケル借家賃ハ一般ノ市價ヨリ低額ニシテ、而カモ借家人ハ此公園村落ノ利福ニ浴シ得ルカ故ニ、素人ニテ猶尙家屋賃借ノ差配トナリテ種々周旋スルニ困難ナラス。就中好果アルハ組合ノ各員ハ自己カ費シタル時間ト努力ト若干ノ金錢トヨリ。自ラ何物カノ報酬ヲ得ツ、アルコトニシテ、之等ハ皆彼ヲシテソノ前ニ提供セラレタル機會ヲ尊重セシムルコト、カノ純然タル慈善團體ノ借家人カ之ヲ尊重スルカ如キ類ニ非サルナリ。

種々ノ形式ニ於ケル協同事業ノ問題ヲ終ルニ先チ一言スヘキハ、『協同』ナル言語ノ家屋問題ニ於テ一般ニ使用セラレ、又本書ニ於テ引用シタル如キハ其意義稍明瞭ヲ欠クノ嫌ヒアルコトナリ。其根本義ニ於テハ猶少シク他愛的理想ヲ保有スル廣漠ナル主義ヲ言ヒ現ス言語ニシテ、此處ニテハ其廣キ意味ノ幾分修正セラレタルモノト見ルヲ穩當トス。

家屋問題ニ於テモ他ノ都市改良ノ諸問題ニ於ケルカ如ク。動モスレハ其人間の方面ヲ忘却セントスル傾向アリ。肉アリ血アル人間ノ問題モ、一括シテ統計シ、類別スルニ於テハ、勢ヒ人生ヲ取扱フニ尤モ必要ナル同情ヲ閑却スルコトモナシトセス。此點ニ於テオクタビヤ、ヒル嬢ノ事業史中ニ赫奕タル人間ノ性情ヲ理解セル一事ハ、個人的扶助ヲ與ヘントスル男女ニ取テ、價值アル參考ヲ提供スルモノト謂ヒツヘシ。



ヒル嬢ハ其事業ヲ小サキ一家ニ起シテ、之ヲ他ノ一家ニ及ホシ、次ニ一區ヨリ一區ニ進ミテ、今ヤ諸種ノ團體及ヒ個人ノ所有セル數千軒ノ住宅ノ、嬢ノ管理ヲ經サルモノナキニ至レリ。而シテ其管理ヲ受ケタル家ハ悉ク満足ナル經濟上ノ利益ヲ收得シ、借家人ニ健全ナル家屋ヲ與ヘストイフハナシ。教育的政策トシテ此制度ハ他ニ比類ナキモノニシテ、其大要ヲ掲ケンハ左ノ如シ。

ヒル嬢ノ監督ノ下ニ來ル細民窟ノ家屋ハ先ツ詳シク之ヲ検査シテ、住宅ノ用ニ供セシムヘキヤ否ヤヲ決定ス。修復ノ計畫一定シタル時ハ、先ツ尤モ必要ナル個處、例ヘハ家根、水道、下水等ノ如キ場所ヲ修繕ス次ニ借家人ニ教ユルニ修復ノ便利ニ浴スルト同時ニ、若シ此家ヲ大切ニ善用スルトキハ更ニ他ノ便益ヲ與フヘク、反之、若シ不注意ニシテ之ヲ粗末ニスル時ハ、直ニ家ヲ立退カサル可ラサル約束ヲナス。凡ソ賞ヲ掲ケテ誘引スル時、尙且ツ全ク怠慢ナル者殆ト之レナシ。如斯ク自己ノ便益ヲ加ヘ得タルカ上ニ、家賃滯納セサル者ハ賞與ニ預リ、且常ニ巧妙ニシテ撓マサル教育ヲ受クルカ故ニ、迅速ナル改革期シテ待ツヘキニ似タリ。カクテ悲惨ナル陋屋ヲ變シテ全然愉快ナル住宅トナスノ事業ハ、資金ノ許ス限リノ速度ニテ着々進行スルヲ得ルナリ。資本ニ對スル利益如何ニ係ラス、持主ニハ只五分ノ收入ヲ支拂フ規定ニシテ、今日ニ至ル迄些クモ四分ハ間違ナク支拂ヒ來リタリ。此額以上ニ得タル金額ハ保險、税金、維持費ニ使用シ、其以上ハ悉ク之ヲ家屋改良ニ使用ス。カルカ故ニ借家人ニ其家人ハ、其家賃ヲ支拂ヒ、不必要ナル修復ヲ避クルニ於テ皆直接利害ノ關係ヲ有スルナリ。

市ノ中心ニ於ケル家屋改良案中成功スヘキモノ二三ニシテ止マスト雖モ、最モ望ヲ將來ニ囑スヘキハ寧ロ

市外發展ノ方面ニ存スルコト疑ヲ容ル可ラス。職工ハ其工場ノ附近ニ住居セサル可ラストナスハ、世人ノ古クヨリ誤想セルトコロニシテ、此誤想ノ長ク世人ノ解釋スルトコロトナラサルハ實ニ又不幸ナリ。或ル一部ノモノニ限リテハ此事モトヨリ眞理ナリ。然レトモ都市幾千ノ労働者ニ向テハ決シテ然ルコトナシ。目下郊外發展ヲ妨クル主要ナル故障物トシテハ、廉價ニシテ迅速ナル交通ノ便之レナキコトヲ舉ケサル可ラス。白耳義ニテハ安價ナル労働列車ノ制度頗ル發達シ、夙ニ交通ノ便カ郊外農村ヲ建造シ得ルノ途アル事ヲ示シタリ。之レ労働列車ヲ設備スルノ必要ナルハ貨物課ノ鐵道事業ノ一要素タルニ劣ラストイフ原理ニ基ケルモノニシテ、其發展ノ結果都市民ヲ市外ニ移住セシムルコト頗ル夥シキモノアリ。此國ノ鐵道ニテ労働者ノ一週間往復切符(十二回分)ハ、六哩ノ距離ニテ二十五仙以下、十二哩ニテ三十仙、三十哩ニテ五十仙ナリ。此政策ノ結果ヲ過去十年間ノ記録ニ徴スルニ、發行シタル切符數約百二十萬ヨリ約四百四十萬ニ増加セルヲ見ル。カクテ白耳義ノ村落ハ幾十トナク都市労働者ノ睡眠所トナリ、労働者ハ都會ノ高賃銀ト田舎ノ經濟利益トヲ合セ享有セルニ至レリ。此事ニ關シ、教授エミール、ワन्दルグエルダー氏ハ會テ『ゾチャール、ブラキシス』紙上ニ下ノ如キ一篇ヲ公ニセリ。

『ヘスバー又ハフランダースノ村ニ入ルニ、之ヲ如何ナル方面ヨリスルモ、必スヤ到ル處ニ赤家屋白壁ノ家ノ群居シ、或ハ散在シテ立テルヲ見ルヘシ。此等ノ村落中其地ニ工業ヲ有セサルヲ選ミテ、一日ヲ此處ニ送ルノ人ハ、村中殆ト一人ノ成人ナキヲ見、村ハ兒童ト老翁トヨリ成レルカト怪シムヘシ。然レ共日没頃ニ及ンテハ光景全ク一變スルナリ。例ヘハブラツセル府ヨリ十二又十三哩ナルブラバント村ノ小停車場



六四  
ビクセンサスト、ゼンバル又ラ、ヒユルブ等ニ行カハ、ヤカテ殆ト三等列車ノミヲ連絡セル異常ニ長キ列車ノ入り來ルヲ見ルヘシ。

列車ノ捷ヲ速ニ排シテ汚レタル労働者等ハブラツトフオームニ競ヒ立チ、瞬時モ早ク晚餐ノ用意整ヘル家路ヘト突進ス。カクテ黄昏ヨリ殆ト夜半ニ至ル迄十五分毎ニ列車又ハ列車ハ此人ノ荷ヲ積ミ出シ、村ハ石工左官、左官舗工、木工等三々五々皆道具囊ヲ背ニセルモノニテ充滿ス。

東ネシ糸ノ糸口ヲ尋ネ行カハ研究者ハ必ス當來ノ家屋問題ニ關スル希望ノ必スヤ市ノ郊外ニ存スルコトヲ結論スヘシ。來ルヘキ時ヲ夢想スルニ、高價ナル土地ハ實業ノ用ニ供シ、安價ナル地ハ住宅ノ用ニ備ヘ、市ノ外側ハ群集セル製作場ヲ圍繞シ、綠樹ヲ夾ミ、運動場ヤ庭園ヤヲ前後ニセル家庭ヲ提供スルニ至ルヘシ而カモ此夢想タルヤ、只今眞乎一場ノ夢想ニシテ遠キ未來ニ吾人カ希望ノ一縷ヲ繫クヘキ類ノモノニ非サルナリ。吾人カ市街ヲ歩メル時ト、卓ニヨリテ勞作セルトキト、家ニアリテ睡眠ヲ貪レル時トヲ問ハス、皆一樣ニ緊迫セル問題アリ。曰ク社會各員ノ爲ニ健全ナル家庭ヲ供セヨト。既ニ存セルモノハ又長ク存セサル可ラストイフ者ノ迷誤ハ厭フヘキ哉。細民窟ノ存在スルコトハ何等之ヲ繼續セサル可ラストイフ理由ヲ提供スルモノニ非ス。吾人ヲシテ須ク科學上ノ『事實』トイフ光ヲ揚ケテ此問題ヲ照サシメヨ。然ラハ無用ノ空地ハ充實シ、兒童ハ來ルヘキ日ノ日光ニ向テ其手ヲ高クサシ伸フルニ至ルヘシ。

## ○巴里市ノ水道

往昔

巴里即チリユテース(巴里ノ舊名)ハ羅馬式ノ水道ニ依リシヤイロー及アルキユエイユノ源泉ヨリ飲用水ヲ供給セラレタリシカ該水源ハ遠クノルマン人ノ襲來ノ際破毀セラレタリ爾來十三世紀ノ半迄ハ巴里市ニハ完全ナル水道アラサリシナリ

第十三世紀ノ末年ニ至リ巴里市ニ飲用水ヲ供給スル爲メシヤイロー水源ノ舊跡ニ再ヒ水道ヲ布設シ機械ヲ用ヒテセーヌ河水ヲ揚水セル以來較々各所ニ嶄新ナル貯水池ヲ建設スルニ至レリ。

其後巴里人ハ第十四世紀ニ至ル迄ハセーヌ河及ベルヅイル水源ノ外ハールインノサン及モービユエーノ三貯水池ノ水ヲモ使用セリ

第十五世紀ノ末年ニ至リ巴里人ノ使用セシ公設貯水池ハ十六ヶ所ニシテ悉クセーヌ河ノ右岸ニ存在セリ。

巴里市ハ河水ヲ導キ飲用水ノ供給ヲ完フセンカ爲メ查列第六世ノ時代ヨリセーヌ、ウアンヌ、ウールクノ三川及其沿岸及ヒ其他巴里市附近ニ存在スル水流ヲ浚渫改修スルノ特權ヲ獲タリ然レトモ巴里市長ノ該特權ヲ利用セントシ其計劃ヲ立テタルハ漸ク第十六世紀ナリキ

巴里市ハ先ツウールク川ノ水流ヲ整理シヴァロアー公領地ニ產出スル穀類トレッツ森林ヨリ伐出ス薪材トヲ巴里市ニ運搬セシメントスルコトニ着手シタリウールク川ノ改修工事ハフランソアー第一世ノ時代ニ於



テ千五百二十九年ニ着手シタルモ路易第十三世ノ時代ニ涉リ漸ク千六百三十六年ニ竣功シタリ。

巴里市内各町ノ吏員ハ當時ウールク川ノ水ヲ市内ニ配水シ得ヘシト認メタルカ如クナルモ巴里市廳ハ配水ニ關スル各種ノ權利、特權及通行税ヲ徵收シ得ルノ權ヲ隨時免許人ニ附與セシガ千六百六十一年ニ至リ皇弟ニシテオルレヤン公ナルフイリツブ、ド、フランスニ對シ巴里市ノ免許人ノ損害ヲ賠償シ且河川ノ航通ヲ完成スルノ條件ヲ附シテ前記ノ特權ヲ附與セリ

オルレヤン公ハ諸税及通行税ヲ徵收シタルモ大ニ其工事ヲ遷延シウールク河ノ水ヲ巴里市ニ引水セルハ遙ニ二世紀ノ後ナリ

當時ニ於ケル飲用水ノ主ナル供給者ハ用水配達夫ニシテ貯水池ノ建設以來其業ヲ營ミタリシカ千八百八十年頃ニ至リ漸ク其美麗ナル姿ヲ失フニ至レリ

斯ノ如キ水源缺乏ノ時代ニ於テ何人ヤ國王ノ免許ヲ受クル爲メ結社スルヲ得ヘキ乎國王用ノ配水量モ極テナク少自家用水ヲ供給セラル、有權者ノ數モ十五世紀ノ末ニ於テハ漸ク二十人ヲ超エヌ亞テ十七世紀ノ初メニ至リ漸ク四十一人ノ免許者類ニ愛顧セラレ千六百七十三年ノ頃ニハ配水免許人ハ尙二百人ニ過キサリシナリ其後千八百三十七年ニ至リ公共ノ水道ヲ建設スル爲メ免許權ヲ買收セシ時ニ於テハ住宅ニ配水スル免許人ハ三百十六人ニ過キス而シテ當時巴里人ニ供給シタル飲用水ハ井水セーヌ及ヒエーヴル河ノ水ナリ。第十八世紀ノ半ニ於テハ巴里市ノ二十四時間ノ配水量ハ千五百若クハ千六百立方「米突」ニ足ラサリシナリ即チ換言スレハ其水量ハ方今巴里市ノ一大旅舎ニ於テ消費スル水量ニモ及ハサルナリ故ニ飲用スル量モ少

ク清洗用ニ供スル水モ亦極メテ少量ナリシナリ

公設浴場ヲ設クル爲メ始メテ水道敷設ノ免許ヲ與ヘタルハ千七百三十年ニシテ古代浴室ニ慣レタル多神教徒ノ曆代ノ遺習ハ中世ノ敬神ノ徒ニモ深ク洗禮式ノ沐浴ヲ怖レシメタリ十八世紀ノ初ニ當リ始メテ浴場ノ免許ヲ與ヘタリト雖トモ日々ノ入浴者ハ三名若クハ四名ニ過キスシテ毎回ノ入浴料ハ七「リール」乃至十ニ「リール」ナリシ故ニ左程世上ニ知ラレサル理髮店兼蒸風呂場主ノ莫大ナル利益ヲ獲タルハ入浴ノ不足ニ對シ補助サレタルノ外他ニ原因アラサルナリ

巴里市ニ用水ヲ導水スルニ關シ同市ハ地勢上甚タ不便ナル地位ニ在リト雖是レ決テ我祖先ノ罪ニアラサルナリ同市ヲ通過スル河水ハ不潔ニシテ且井水トナルヘキ地下水ハ炊事ニ適當ナラス而シテ巴里附近ニ存在スル狹隘ナル源泉ハ其水質更ニ一層劣等ナリ

然レトモ左程深カラサル井水ヲ稍々飲用ニ供スルコトヲ得タルハ巴里市中セーヌ河ノ右岸ニ屬スル部分ヲシテ最モ急速ニ發達セシメタル原因ノ一タルヤ疑フヘカラス故ニ右岸ニ於テハ同市ノ區域ハ内郭ヲ越エ路易十三世ノ時代ニ至リテハ巴里市ノ境界線ハ既ニ大街道ヲ發達セシモ左岸ニ在リテハ用水ヲ得ルニ至難ナリシヲ以テ同區ノ發展ハフイリツブ王ノ障壁ニ止マレリ

セーヌ河ノ左岸ニ於テハマリー、ド、メヂシー皇后ノリユクザンブル宮殿ニ居ヲ定メラル、ニ際シアルキユエイユノ舊水道ノ改修ニ依リ漸ク用水ノ缺乏ヲ補フコトヲ得タリ

巴里市ノ用水ハ那破列翁第一世ノ時代ニ至ルマテハ極メテ微々タル姿ナリシヲ以テ同皇帝ハウールク運河



ヲ開鑿シ用水供給ニ關スル改良策ハ既ニ千八百二年ニ決定セラレタルモ其工事ニ着手シタルハ漸ク千八百八年ナリソアン附近ヲ通過スルウールク河ノ支流ハベルシユ港及マルイユ養魚場ノ間ヲ流過スルヲ以テ該養魚場ヨリ延長約九十六「キロメートル」ノ純粹ノ運河ヲ開鑿シタリ該運河ハヴインツトノ貯水場ニ通シ之ヨリ溝渠ヲ以テ用水ヲモンソーノ貯水池ニ導水セリ該運河ハ千八百二十三年ニ始メテ使用スルコトヲ得タリシモモンソー貯水池ハ近頃ニ至リ全ク破毀セラレタリ

ウールク河ノ水ヲ用ヒ一時ノ急ヲ凌クコトヲ得タリト雖千八百五十年來該河水ハ公衆衛生上危險ニシテ觀過スヘカラサル形勢トナリタルヲ以テ遠隔ノ水源ヨリ用水ヲ導カントシ其計劃ヲ立テシモ漸ク四年ノ後ニ至リ始メテ其主義ヲ應用シタリ

第八百五十四年ニ至タリ巴里水道ノ恩人ナルベルグラン氏懇切ナル調査ニ依リ現時ノ配水法ノ原則ヲ決定セルニ當時市會ノ地位ニ立チタル調査委員ノ採用スル所トナレリ即チ二線ノ運河ヲ穿テ其一方ハ遠方ノ水源ヨリ清水ヲ導キ以テ個人ノ飲用ニ供シ又他ノ一方ハ河水若クハ井水ヲ導キ以テ公共用及工業用ニ供セントスルニ在リ

那破列翁ハウールクノ運河ニ大ニ望ヲ屬セリト雖トモ當時既ニ該運河ハ舟楫ヲ通シ其流水不潔トナリタルヲ以テ清淨透明ナル用水ヲ供スルコトヲ得サリシナリ

二線ノ用水供給法ハ巧妙ナル計劃ニシテ巴里市ニ採リテハ公衆ノ衛生上ニ著キ進歩ヲ示セルモノニシテ該法則ハ羅馬ノ土木思想ヲ復活セシメタルモノナリ茲ニ所以ヲ舉示スルハ敢テ徒勞ニアラサルヘシ

ベルグラン氏ハ千八百九年ニオーペー市ニ生レ土木學校ヲ卒業スルヤ直ニモンタール市ノ技師トナリ其後サンスイヨンス、コート、ドールノ諸洲ニ歴任シタリ同氏ハ羅典語ニ通シ數理ニ精ク敢勇剛膽ニシテ而カモ注意周到ノ人ナリシカ始メテ水力學ヲ創シタリ同技師ノ始メテ其業務ニ從事スルヤ忽チ地質カ水利ヲ支配スル勢力ヲ有スルコトヲ認定セリ

サンズ洲ニ在職中同氏ハ羅馬水道ノ事跡ヲ調査セシ結果舊世界ノ有名ナル水道ノ建設者ノゴール及羅馬ニ於テ水道事業ノ爲メ採用シタル原則ヲ研究シ終ニ其原則ヲ我物トナシ憚ル所ナク之ヲ實地ニ應用シタリ。センス市ノ羅馬式舊水道ハセン、フイリベル水源及巴里市ノ間ニ介在セルヴァンヌ谿間ニ猶ホ存在シ其延長ハ十四「キロメートル」ニ涉レリ該水道工事ハ數多ノ水源ヨリ導水シ其水源中ノ方今既ニ絶滅セシ者アリト雖往昔羅馬人ノ専用シタル三水源即チノエー、ミロアール、ド、テイユ及センフイリベルノ水源ヨリベルグラン氏ノ巴里市ノ爲メ用水ヲ導キタルハ事實ニシテ其工事タル巴里水道ノ模範トナリタリト言フモ敢テ過言ニアラサルヘシ

清水ノ湧出スル地方ノ水源ヨリ巴里方面ニ導水シ之ヲ高燥ノ地ニ設ケタル貯水池ニ揚水シ自然流下法ニ依リ之ヲ巴里市ハ勿論其附近ニ配水セントノ計劃ハベルグラン氏カ羅馬市ニ飲用水ヲ供給セル方法ニ就キ精密ナル研究ノ結果直ニ之ヲ應用セントセリ而シテ其貴重ナル調査事蹟ハ極メテ奇怪ナル「巴里市ノ地下工事」ト題スル同氏ノ著書中ニ轉載セラレシカ羅馬人ノ理想ノ影響ハ其紙面上ニ填溢セリ

後年ニ至リ巴里市ノ發展ヲ計ラン爲セース縣知事トシテ那破列翁第三世ニ招聘セラレタルオースマン男ハ



ベルグランノ所信ヲ享ケ其後同男ハイヨンス縣知事ニ轉任スルヤ直ニベルグラン氏ノ理想ヲ實地ニ應用スルノ途ヲ知レリ殊ニ同男ハ曩ニベルグラン氏カ曲管ヲ用ヒテ深谷ヲ横斷シ極メテ遠隔ノ水源ヨリアヅアロシ市ニ導水セン爲メ最モ經濟ヲ重シ施行シタル難工事ニ敬服シタリ

ベルグラン氏ハオースマン男ノ請求ニ基キ「巴里市ニ導クヲ得ヘキセーヌ河岸水源ノ統計調査」ト題スル一書ヲ著ハセシカ該著述ハ即チ皇帝ニ奉呈セシ意見書及巴里市會及立法議會ニ提出シタル議案ノ基礎トナリタルモノナリ。最近ニ至リ其水源ニ關スル二三ヲ攻撃スル者アリ蓋シバストール氏ノ感激スヘキ發明及其原則トスルトコロ衛生官吏ノ飲用水ノ撰擇上度外ニ至難ナラシメタルナラン乎又生物學理上果シテ純清ナル水ノ地下ニ存在スルモノナル乎

羅馬人ハ最モ實際的ノ方法ヲ以テ飲用水ノ水質ヲ鑑定セシカベルグラン氏ノ時代ニ於テモ亦其方法ヲ完全ナリト認メタリ羅馬人ノ說ニ從ヘハ都テ良質ノ水ハ野菜ヲ糞ルニ之ヲ固結セシメス水底ニ沈澱物ナク又之レヲ沸騰セシムルニ其容器ノ内面ヲ變色セシメスシテ無味無臭ノ者ナリ凡ソ源泉ノ水ヲ引用セントセハ先ツ其水ヲ使用シタル者ノ健康状態ヲ明ニセサルヘカラス若シ其ノ飲用者ノ身體剛健ニシテ其顔色及四肢虛弱ナラス又其眼爛眼ナラスンハ其飲用水ハ必ス良水ト看做サル、ナリト夫ノ博物學者ブリース氏ハマリア一水源ノ水ノ清淨ニシテ透明ナル點ヨリシテハ是レ全ク他ノ利益ノ如ク特ニ諸神ノ加護ニ依リ羅馬國ニ供給セラレタルモノト思惟セリ

ベルグラン氏ノ調査ノ成績ヲ發表セル時ニ於テハ夏季ノ最モ多量ノ水ヲ要スル時ニ於テ巴里市ニ於ケル一

晝夜ノ配水量ハ七千九百立方「米突」ヲ超エサリシナリ而シ其水ハ就中セーヌ河ウールクノ運河ニシテ其他少量ノ水ハアルクエイユノ水道グルネールノ噴水井ベルグイル及プレーセン、ジエルグエーノ水源即チ一名北部水源ヨリ之ヲ導水セシモ其水質ハ不良ニシテ其味モ亦美ナラス且寒暑ノ影響ヲ受クルコト甚シカリシナリ

アルキユエイユノ水ハ當時小ナル「ボンブ」ヲ以テ揚水シグルネールノ噴水ト共ニバンテオンノ貯水池ニ於テセーヌ河ノ水ニ合シ又北部水源ノ水ハメニルモンタン屠場ノ貯水池ニ集合シ更ニウールク運河ノ水ヲ以テ其不足ヲ補充セリ而シテ當時二千ノ船夫カ其糞尿ヲ該運河ニ投棄シ又舊巴里ノ多數ノ住宅ニ於テハ極メテ疑ハシキ地層ヲ通過スル井水ヲ使用セリ當時巴里市ニ來住スル外人ハ而カモ此惡水ノ供給ヲ仰ク爲メ相當ノ租稅ヲ支拂ヒタリ

ベルグラン氏ハソナム、スード河及其附近ニ在ル水源ヨリ日々八萬六千立方「米突」ノ用水ヲ巴里市ニ導カシコトヲ主張シタリ該河水ハ清淨、純粹ナルコト疑ナク而シテ該計劃ノ水道ハ其延長百七十二「米突」ニシテ其落差二十六「米突」ナリ之ヲ換言スレハ其水ハ巴里市ニ來タレハ海拔八十一度ニ達シ巴里市内ニ於ケル高層家屋ニモ純良ナル水ヲ給水セントスルニアリ其費用ヲ二千三百乃至二千五百萬「法」ニ見積リタリ其當時ニ於テハ之ヲ莫大ナル費用ト認メタルモ其後水源ノ疏通ト配水トニ四億二千五百萬「法」ノ金額ヲ投セリ斯ル巨額ノ費用ヲ投スルニ吝ナラサルハ實ニ慶スヘキナリベルグラン氏ハ從來ノ惡水ヲ公共用即チ洗濯、灌漑及工業用ニ供セントセリ



同氏ノ計劃シタル水道改良ノ精神ヲ充分ニ了解セシメントスルニハ從來ノ用水ハ極メテ惡水ナルモ其惡水  
 スラ缺乏セル地方尠ナカラス現ニセーヌ河水アルクエイユノ水ベルグイル及ブレー、センジエルヴエノ水  
 並ニグルチールノ井水ハ舊巴里市ノ高地ニモ給水セリ之ヲ換言スレハ以上ノ水ハセーヌ河ノ右岸ニ在リテ  
 シヤラントンノ舊障壁及トロカテロートノ間ニ介在シ外廓地帯ニ沿エル高地帯オビタールノ高地、パンテ  
 オンノ高原、リユクザンブール街及モンバルナツスノ外廓ニ沿エル狹隘ナル地帯ニ給水スルニ過キサリシ  
 ナリ而シテ毎戸ノ用水ハ地平線以上ニ導ク事ヲ得サリシヲ以テ二階以上ノ住宅ニ於テハ概ネ搬水夫ニ用水  
 ノ供給ヲ仰ケリ之等搬水夫ハ概ネ剛健ナル壯年者ニシテ其販水方法ハ大ナル水桶ヲ兩輪車ニ載セ豫メセー  
 ヌ河若クハ相當代價ヲ支拂ヒ私有源泉ノ水ヲ汲取り毎朝市街ヲ巡廻シ毎戸給水ス而シテ其代價ハ普通二桶  
 ニ付十「サンチム」ニシテ正確ナル量器及粗雜ナル澆水器ヲ備付ケタル小ナル貯水槽ニ注入セリ細民ハ  
 近頃ニ至ルマテ右ノ給水ニ満足セサルヲ得サリシカ是レ恰モ往古ノ巴里人ニ彷彿タリ

千八百六十年ニ於テ障壁外ノ町村ヲ巴里市ニ併合スルヤ人口五十萬以上ヲ増加シ且其給水地積七千八百  
 「エクター」ニ達セルヲ以テ從來ノ給水法ニ一層ノ複雑ト至難トヲ來スニ至レリ

町村併合ニ於テ其地方ニ供給セル用水ハ舊巴里市ノ用水ヨリモ更ニ水質粗惡ニシテ飲用ニ供スヘカラス又  
 モンマルトル、バチギヨール、シャペール及ヴィレット地方ノ住民ニ供給セル水ハセーヌ河ヨリ汲取セル  
 カ故ニ其水不潔ニシテ之亦飲用ニ堪ヘサリシナリ

ベルグラン氏ハ財政上及行政上ノ困難ノ外尙當時巴里市及ヒ廊外ニ於テ給水事業ヲ經營シタル水道會社ト

ノ條約期限ノ猶永キヲ以テ該會社ト交渉ヲ重ネサルヲ得サリシナリ何トナレハ同氏ハ新舊巴里ノ水道事務  
 ヲ一手ニ集メ水源ノ疏通及配水事業ヲ特ニ町村ノ事業ト爲シ河水ヲ貯藏シ之ヲ工業用ニ供センコト及條約  
 ノ解除及水道器械ノ買收手數料ヲ支拂ヒ以テ巴里市ノ給水事業ヲ擔任セシメンコトヲ主張シタレハナリ  
 此交渉問題ハ物議ヲ醸サントスル觀アリシモ幸ニ巴里市ト水道會社トノ條約ニ依リ解決セリ而シテ該條約  
 ハ千八百六十年九月二日ノ布令ニ依リ批准セラレ千九百十年十二月三十一日ニ滿期トナレリ

以上ノ事實ハ事業ヲ遷延シタルヲ以テ忽チ國民ノ要求ヲ促シ因テベルグラン氏ハ其事業ノ速成ヲ計ル爲メ  
 最初ノ設計ヲ變更シソナム、スード河水及其附屬ノ水源ノ疏水ヲ止メチューイ河ハ少クモ毎日二萬四千立  
 方「米突」ノ水量ヲ供給スルヲ以テ先ツ最初ニ最モ水量ノ豐富ナルヂューイ河ノ水ヲ專用シ更ニ其附近ノ  
 水源ヨリ少量ノ水ヲ集メ擴張セル巴里市ノ用水量四萬立方「米突」ノ水ヲ補充スルコトニ決定セリ

ヂューイ河ノ疏水工事ハ漸ク千八百六十五年ニ竣功シ延長百三十一「キロメートル」ノ水管ヲ以テ日々一萬  
 八千乃至二萬五千立方「米突」ノ良水ヲメニルモンタンニ設置セル十萬立方「米突」ノ容積ヲ有スル貯水池ニ  
 導クコト、セリ

巴里市民ノ該水源ノ水ハ寒暑ノ影響ヲ受クルコト少キコトヲ知ルヤ料理店及珈琲店等ニ於テハ特ニ其水ヲ  
 使用スル旨ヲ店頭ニ揭示シ又事理ニ通曉シタル家屋所有者ハ貸家標札ニ二三階共ニ該水源ノ水ヲ使用シ得  
 ル旨ヲ表示シタリ爾來巴里市民ハ純良ナル水ノ供給ヲ要求シタルヲ以テ益々水道ノ設置ノ必要ニ迫レリ  
 千八百六十八年ニ至リ巴里市ハヴァンヌ河ノ疏水工事ニ着手セシカ千八百七十年其工事ヲ中止シタリト雖



トモ亞テ千八百七十四年ニ於テ該工事ヲ竣功セシメタリ。ヴアンヌ河ハトロア市ヨリ十四「キロメートル」ヲ隔テタルオーブ縣ニ其源ヲ發シサンス灣ノ附近ニ至リイヨンス河ニ合ス而シテ其水源ノ湧出水量ハ極メテ精確ニシテ二六時中殆ト増減アルヲ見サルナリ。

ヴアンヌ河流域内ノ水源ヲ二組ニ分チタリ即チ高水源及低水源是レナリ高水源ノ水ハベルグラン氏ノ當初ノ計劃ニ從ヒ海拔百二十二「米突」ノ高サニ揚水シ自然流下法ニ依リ巴里市ニ導水スルコト、セリ又低水源ノ水ハ海拔八十八乃至九十三「米突」ノ間ニ在リテ更ニ水力器械又ハ「ポンプ」ノ力ヲ用ヒ延長百七十三「キロメートル」ノ主管ヲ以テ送水セラレタリ。

ヴイルユーヴ、シユール、イヨンス市ノ附近ニ湧出スルコシユビー水源ノ水ハ支管ヲ以テヴアンヌ河ニ臨メル水壓工場ニ導カレ主管ノ水ニ合スルヲ以テ前記ノ水量ヲ合算スルトキハヴアンヌ河ノ流域ハ四季共ニ二十四時間ニ約十二萬立方「米突」ノ水量ヲ供給ス往昔羅馬人サンス地方ニ用水ヲ供給スル爲メ利用シタル水源モ亦前記ノ水源ノ一ニシテベルグラン氏ハ其調査事績ニ基キ始メテ計劃ヲ定メタリ。

巴里市ニ始メテヴアンヌ河ノ水ヲ導キシハ千八百七十四年八月十二日ニシテ正確ニ水道事業ヲ開始シタルハ千八百七十五年四月十一日ナリ又コシユビー水源ノ疏水工事ハ漸ク千八百八十五年ニ竣功シ其總費用ハ貯水池ノ費用ヲ合セ約四千三百萬「法」ニ達セリ。

モンスリー公園ノ附近ニ存在スルモントルージュノ丘陵ニ二層ノ貯水池ヲ設置シヴアンヌノ水道ヲ之ニ通シ巴里市ニ送水ス該貯水池ノ面積ハ四「エクター」ニシテ其容積ハ二十萬三千立方「米突」ナリ。

千八百七十八年ベルグラン氏ノ死去當時ニ於ケル巴里人ニ供給セル一日ノ水量ハ三十七萬立方「米突」ニシテ之ヲ各水源ニ依リ分ツトキハ十二萬二千立方「米突」ハヂユイー及ヴアンヌ十萬五千立方「米突」ハウールク八萬八千立方「米突」ハアルス水源ニシテ七千立方「米突」ハアルクエイエ水源ノ水及井水ナリ。

ベルグラン氏ハ二十五年間ニ毎日ノ配水量三十萬立方「米突」ヲ増シ從來河水ヲ用ヒタル配水量ノ四分ノ三ヲ源泉ニ改ムルノ功ヲ奏セリト雖モ同氏ノ偉業ハ未タ成功ノ域ニ達セサリシナリ。

千八百八十一年以來各個人ハ源泉ノ清淨ナルコトヲ悟ルヤ殊ニ夏季ニ於ケル各自ノ消費量ノ著ク増加セシカ爲メ終ニ源泉ノ水量ニ不足ヲ來セリ且千八百八十四年ノ「コレラ」病ハ更ニ公衆及市會議員ヲシテセース河水及源泉ヲ混淆シテ炊事用ニ給水スルヲ以テ之カ爲メ大災厄ヲ招致セントノ掛念ヲ懷カシメタリ因テベルグラン氏ノ門下生ニシテ其相續人ナルクーシユ氏ノ意見ニ基キ巴里市會ハ東南及西部地方ノ新水源即チ

アーヴル、ルーロアン、ルークエネンヂユルテン及ブルーデーノ疏水事業ヲ決議シタリト雖トモ其事業ハ漸ク千九百十一年ニ至タリテ確定シ當時水ノ浪費ヲ防ク爲メ水道使用者ニ量水器ヲ備付クルノ義務ヲ負ハシメタリ。

ロアン及リエネンノ水源ノ疏水事業ハ漸ク千八百九十七年七月二十一日ニ認可セラレ千九百一年以後ニ至タリ其事業ヲ成就シ舊貯水池ニ四萬乃至五萬五千立方「米突」ノ清水ヲ補給シタリ而シテ其後千九百十一年及千九百十二年ニ於テ新ニブーロンノ水源ヲ開鑿シ壹萬「米突」ノ水量ヲ増加シ得タリ又アーヴルノ水源ハ千八百九十一年ニ工事ニ着手シ千八百九十三年三月ニ其工事竣功シタルヲ以テ海拔百七「米突」ナルモン



ルツノ丘陵ニ設置サレタル新貯水池ニ日々大約十萬立方「米突」ノ清水ヲ送水セリ然レトモ該水源ノ定量ハ甚タ不充分ナリ當初ロアル河ハ其上流即チオルアン附近ニ於テロアレー支流アルヲ以テ其水ヲ疏通セシメントノ計劃ヲ立テタリト雖トモベルグラン氏ハ豫メ其水質ヲ評シテ曰ク「各地ノ河水中ニハ四時沈滯シテ濁レル者アリ是レ即チロアル河ノ水ナリ」ト故ニロアル河ノ水ハ一般河水ニ共通ナル害アルノ外更ニ前陳ノ如キ大缺點アルヲ以テ到底其水ヲ引用スヘカラサルナリ

技師ハ巴里市ニ引水シ得ヘキセース河ノ流域内ノ各水源ノ水質ヲ検査セシ結果プロヴエン附近ニ存在スルヴールデー、チユルテン及ドラゴンノ諸水源ノ水ハ其水質最モ良好ナルヲ認メ且ツ之等ノ水源ノ一晝夜ノ給水量六萬乃至七萬立方「米突」ナルコトヲ認メタルヲ以テ其疏水工事ノ實施上ニ於ケル諸般ノ便益ヲ得ンカ爲メ該事業ヲ公益事業ト爲サンコトヲ申請セリ而シテ巴里市ハ新ニ延長五十「キロメートル」ノ水管ヲ敷設シロアン及リュネンノ諸水源ヨリ日々十萬立方「米突」ノ送水力ヲ有スル水道管ニ通セントスルニアリチユイーノ水管ハ毎日四萬「米突」ノ水量ヲ送水スル目的ヲ以テ建設セラレタルモノナルモ其水十分ナラサリシヲ以テ之カ補充ノ爲メマルス、ヴェルドン、及大小モレン河ノ兩岸ニ於テ河水ノ引入所及地下水脈ノ搜索ヲ遂ケタリ特ニ早魃ナリシ千九百十一年ノ夏季ニ於テ飲用水ニ缺乏ヲ生シタルヲ以テ止ムヲ得ス數夜間ノ斷水ヲ行ヒタリ而シテ此斷水ハ今後二十年間巴里市ハ給水ヲ安全ナラシムル爲メハニ益々水道事務ニ努力セシムヘキ動機ト爲リシナリ

爾來水道事業ノ調査ヲ續行シ各種ノ設計ヲ定メタリ即チ該計劃ニ依レハ巴里市内及廓外ノ住民ニ對シ百萬立方「米突」上水ヲ供給スルコトヲ得タリ

然レトモ該計劃中ニハ之カ實行ニ當リ甚タ至難ナルモノアリ現ニ某會社ノ如キハジュネーヴ湖ノ疏水工事ヲ擔任センコトヲ建議シ又ヌーシヤタル湖ノ水ヲ巴里市ニ導カンコトヲ主張スル者アリ又他ノ論者ハノルマンデーノ谿間ニ大貯水場ヲ設ケ雨水ノ利用方法ヲ調査シタリ其後更ニロアル河及ロアレー河ノ流域内未調査ニ屬スルチアントヌヅエル地方ノ踏査ヲ爲セリト雖ヘトモ是レ敢テロアル河ノ水ヲ目的トセルモノニ非ラスシテ有勢ナル地下水及ロアル河附近ノ谿谷ヲ目的トシテ調査セルモノナリ元來該水脈ノ水ハロアル河底ヨリ浸透シ來タリタル水ナルモ其浸下ニ際シ砂層ヲ通過スルヲ以テ自然ニ濾過セラレタルモノナリ又巴里ノ水道事業ニ關シベルグラン氏ノ應用セル原則ハ假令其ノ承繼者ニシテ再ヒ河水ヲ濾過シ之ヲ原水ニ利用セントセルハ憂慮ニ堪ヘサルモノアリシト雖ヘトモ是レ全ク一時的ノコトニシテ其承繼者ノベルグラン氏ノ原則ヲ排斥セルニアラサリシハ余ノ信シテ疑ハサル所ナリ

千八百九十七年ニハセンモール又千八百九十九年ニイヴリーニ砂濾場ヲ設置シマルヌ河及セーヌ河水ノ六萬立方「米突」ヲ濾過セシムヘキ便利ヲ與ヘタルニ依リ該建設ハ河水ヲ源泉ト混合シ以テ炎熱ノ頃ニ於ケル用水消費者ノ所要量ニ不足ヲ告ケサラシムルノ便益ヲ與ヘタリ然レトモ市民ノ該方策ニ満足セサルヤ疑ナク複式給水ノ原則トシテ之カ實行ニ際シ假令莫大ナル費用ヲ要スルトモ從前ノ如ク之ヲ巴里市水道事業ノ主眼ト爲シ如何ニ精密ナル方法ヲ以テ濾過スト雖河水及源泉ノ混淆ハ絶對ニ避クシメントヲ希望セルナ



河水ハ之ヲ漉過シ又之ヲ蒸溜セシムルモ(蒸溜ニ多額ノ費用ヲ要セサルモノト假定シ)其温度ニ於テ泉水ニ比シ大差アルノミナラス四時共ニ泉水ノ如ク爽快ナラサルナリ

若シ泉水ヲ供給セル区域内ニ傳染病發生シ又從來ノ使用水ニ汚染ノ疑アリ若クハ水道破損ノ場合ニ於テ例令漉過シタル河水ヲ利用スルコトヲ得ヘシト雖トモ泉水ヲ給水スルニ若クハナカルヘシ

ベルグラン氏ノ事業ノ直接ノ効果ハ巴里市ノ全死率及殊ニ傳染病ノ死亡數ヲ減シタルニ在リ最初ニ使用シタル源泉中ニハ地表水ノ浸潤ニ由リ汚染セラレタル怖アリシト雖モ今ヤ之等ノ汚染ヲ防カンカ爲メ豫防法ヲ勵行シ且ツ監督ヲ嚴ニシ衛生及醫學ノ見地ヨリモ水源地ノ監視ヲ怠ラサルヲ以テ用水ノ汚染ハ容易ニ避クルコトヲ得ルニ至レリ故ニベルグラン氏ノ理想ヲ排斥シ舊式ニ復サントスルモ最早何等ノ托言ナキナリ

河水ハ二ヶ所ノ貯水場ニ於テ漉過シタル後供給セラルモノトス其一ハ千八百九十六年ヨリ千八百九十七年ニ涉リマルス河ニ臨ミタルセンモールニ建設セラレタリ

該貯水場ノ改良及擴張工事ハ目下進行中ニ在リ又該貯水場ニハ別ニ蒸溜工場ヲ設ケ河水ヲ蒸溜セシムルニ阿巽ヲ用ヒタリ該工場ハ二十四時間ニ八萬立方「米突」ノ上水ヲ供給スルニ足ルモノトス第二ノ設備即チセーヌ河ニ臨メルイヴリーノ貯水場ニ於テハ紫外光線ノ方法ヲ用ヒ頻ニ用水ノ殺菌試驗ヲ行ヒツ、アリ該貯水場ハ千八百九十九年ニ設置セラレ更ニ千九百六年ニ之ヲ擴張シ目下二十四時間ニ六萬立方「米突」ノ飲

用水ヲ供給セリ而シテ不日該工場ニハ蒸溜場ヲ増築セラルヘキヲ以テ之カ竣功ノ曉ニハ日々拾貳萬立方「米突」ノ飲用水ヲ供給スルコトヲ得ヘシ

上記ノ事實ヲ綜合スルトキハ目下經營セラル、四ヶ所ノ水道工場ハ泉水ヲ引用シ年々ノ氣候其他ノ關係ニ由リ差異アリト雖二十二乃至三十二萬立方「米突」ノ飲用水ヲ供給スルヲ得ヘク而シテプロヴエン地方ノ源泉ノ開鑿及デユイー水道ニ對スル補足疎水工事完成ノ曉ニハ更ニ八萬若クハ九萬立方「米突」ノ水量ヲ増スコトヲ得ヘシ

前記ノ水量ノ外猶ホ河水漉過工場ハ尙今日々約十四萬立方「米突」ノ水量ヲ供給スルヲ得ヘク又千九百十三年ニ至タレハ二十萬立方「米突」ノ水量ヲ供給スルコトヲ得ヘシ

ヴイレットノ流域(ウルク河ノ水)セン、モール(マルス河ノ水)セーヌ河(イヴリールベシー、オースラルリット、オーツイユ、及ジャヴエール貯水場)ノ水ハ之ヲ特別ノ貯水地ニ導水シ飲用水ト全ク關係ナキ水道ヨリ特ニ洗濯掃除及工業用ノ爲ニ配水セリ

前記ノ貯水場ハ日々七十萬立方「米突」ノ水量ヲ供給シ得ヘク其内二ヶ所即チオースラルリット及ホーツイユノ河岸ニ設ケタル貯水場ノ擴張ハ前記ノ水量ニ尙二十五萬立方「米突」ヲ増サントスルニアリ而シテ千九百十一年ニ於テハ荒漚シノ河水ノ消費量ハ日々平均五十五萬二千立方「米突」ニシテ其最モ多量ノ日ハ八十五萬六千立方「米突」ナリ

元來源泉ノ水ハ往々汚染セラル、ノ怖アルヲ以テ千九百二年以來巴里市廳ハ巴里市會ノ援助ヲ得テ水源ノ

七九



衛生的監督事務ヲ嚴ニシ其水源ニ集合スル細流ノ保護法ニ關シ充分ノ調査ノ結果終ニアーヴル地方ニ於ケル雨水溜ヲ廢止セルモノアリ是レ全ク地表水ハ假令自然ニ濾過セラル、トスルモ未タ全ク清淨ナラスシテ源泉ト混和スルヲ以テナリ

ヴァンス地方ニ於テハ技師ハヴオーモール及スリジエーノ細流ノ水ノ源泉水脈ニ浸潤スルヲ以テ之ヲ阻止センカ爲メ防水溝ヲ開鑿シタリ

デユイー地方ニ於テモ亦アルトンジユ河底ノ水ハ同村流過ノ際汚染セラレ隨テ源泉ヲ汚染スルヲ以テ其防水工事ヲ施シ且水管ニ沿ヒ保護及地堅メ工事ヲ實行シタリ

リユネン谿谷内即チヴイルロンニ於テ頃年蒸溜事業ノ開始セラレシハヴイルメール水源ノ水ノ同地方ヲ流下スルカ故ニ其地勢上汚染セラル、ノ怖アルヲ以テ其水ヲ蒸溜セントスルニアリ

以上列記スルカ如ク巨細漏ラス所ナク改良セラレタルモ其改良事業ハブルゴーギユ新源泉ノ疏水事業ノ完成ヲ以テ全部ノ成工ヲ見ルヘキナリ該疏水工事ハ最近ニ水道ヲ開鑿セシ際ニ既ニ其計劃ヲ立テタルヲ以テ隨テ其水量モ既ニ量定セラレタリト雖トモ其水質ノ如何ニ至タリテハ未タ定見ナキカ如シ

濾過セル河水ニ關シテハ最善ノ清淨法ヲ行フ爲メ必要ナル處置ヲ施シ濾過ノ作業ハ片時モ休止スルコトナク顯微鏡ノ設アル實驗室ニ於テハ日々イヴリー及ゼンモールノ濾過池ヨリ汲水シ日々之ヲ分析シ若シ其濾過事業ニ缺點アルトキハ直ニ給水ヲ停止スルナリ

前陳ノ如ク用水ノ供給ニ二途アルニモ拘ラス千九百四年及千九百五年ニ於テハ干魃ノ結果源泉涸渴シ加フ

ルニ温度著ク昇リ異常ノ消費高ナリシヲ以テ用水ノ供給ニ不足ヲ告ケントセリ又九百十一年ニ於テハ假令源泉ノ水量ニ異狀ナカリシニモ拘ラス殊ニ干魃ノ時期アリシヲ以テ消費高ノ多寡ニ應シ源泉供給ヲ中止スルノ止ムナキニ至タレリ一ケ年ノ平均水量ヲ視ルニ用水ノ日々ノ消費高ハ三十萬五千立方「米突」ナリト雖トモ炎熱ノ日ニ在リテハ其消費高ハ實ニ四十二萬五千立方「米突」ニ達セリ

千九百五年ニハ夜半ヨリ午前六時マテ配水ヲ中止シ又千九百六年ニハ源泉ノ湧出量増加シタルヲ以テ家用水供給ノ爲メニゼンモール及イヴリーノ濾過池ノ水ヲ利用サルモ別ニ給水ヲ中止スルコトナカリシナリ

然レトモ一朝給水ヲ中止スルヤ不便尠ナカラス就中火災ニ際シ最モ不便ヲ感スルヲ以テ將來斷水ヲ避ケンカ爲メイヴリーニ新ニ濾過池ヲ建設シ千九百七年四月ニ其工事竣功セシヲ以テ二十四時間ニ三萬五千立方「米突」ノ水量ヲ供給スルヲ得ヘク而シテ其工事費ハ揚水工場ノ費用ヲ合セ二百六十萬「法」ヲ要セリ新設セル濾過池ハ従前ノ設備ニ比シ極メテ便利ニ建設セラレタリ其大要ヲ述フルニ先ツ最初ニ丁重ニ荒漉シヲ爲シ更ニ最モ厚キ濾床ヲ通過セシメ且濾過池ノ周圍ハ滲透水ノ浸入ヲ避ケン爲メ特別ノ設備ヲ爲シ以テ濾過水ノ清淨ヲ保タシメタリ又必要ニ際シ巴里人ノ用水ノ不足ヲ補充スルニ餘リアラシメタリ議會ハ水道事業ヲ改良スル爲メ左記ノ條件ヲ附シ三千百萬「法」ノ市債ヲ募集スルコトヲ巴里市ニ許可シタリ(千九百七年六月二十九日法律)

- 一 センモールニ新式ノ濾過池ヲ建設シ飲用水量ヲ増加スルコト(マルヌ河水)
- 二 オーステルリットノ配水工場ヲ増築シヴイルジュエーフ貯水池ヲ擴張シ且ヴイルジュエーフ及メニルモ



ンタンノ貯水池ニ送水スヘキ新水道ヲ布設シ以テ洗濯灌漑及工業用ニ供スル河水ノ量ヲ増加スルコト

三 高燥ノ市區ニ對シテハ水壓不足ニシテ火災ニ際シ最モ危險ナルヲ以テ其壓力ノ不足ヲ補フ爲メ新ニ配水池ヲ設置スルコト

四 濾過河水ノ清淨若クハ新源泉ノ疏水ニ關スル調査ヲ爲スコト

頃年巴里市ノ許可サレタル九億「法」ノ大市債ノ收入中水道及衛生事業並ニ其改良事業ニ充テタル一億二千五百萬「法」ノ豫算ハ既ニ巴里市會ニ於テ可決セラレ就中其金額ハ左記ノ事業ニ充當サレタリ

- 一 二千二百萬「法」ハ河水ヲ家屋ノ上層ニ達スルマテ揚水シ高燥ノ市區ニ容易ニ用水ヲ供給スルコト
- 二 五千萬「法」ハ新ニ源泉ヨリ導水スルコト

夫ノベルグラン氏ノ調査計劃シタル偉業ハ漸次其承繼者ニ依リ成効セラル、ヲ視ルトキハ彼等モ亦巴里人ノ恩人ナリト謂フヘシ

倫敦市民ハタミーズ河及レアー河ノ疑ハシキ水ヲ使用スルニ拘ラス巴里人ハ清水ヲ自由ニ使用シ又巴里ノ技師ハ英國ノ住宅ニ供給スル水量ト同量ノ水ヲ巴里人ノ住宅ニ供給スト難モ既ニ巴里人ハ日々三百「リートル」ノ水量ヲ消費シ其内百「リートル」ハ良質ノ水ナルヲ以テ巴里市ノ水道法ノ優レルヤ明々白々タラン何トナレハ使用料低廉ナルヲ以テ顧慮スル所ナク水ヲ使用シ小室、浴室等ニモ送水ノ便ヲ得ヘケレハナリ現ニ其使用料ハ甚タ低廉ニシテ源泉ノ水ハ量水器ノ指數ニ應シ一立方「米突」ニ付三十五「サンチーム」ヲ徴

收シ若シ其水壓ヲ利用シ起重器又ハ其他ノ器械ヲ運轉セシムル場合ハ一立方「米突」ニ付六十「サンチーム」ノ使用料ヲ納收セリ然レトモ左記ノ條件ニ該當スルトキハ使用料ヲ相當低減セリ即チ千「法」以下ノ家賃ノ家屋ニ對シテハ其所有者ハ建物ノ全部ニ對シ隨意契約ヲ以テ特別ノ使用料ヲ約束スルコトヲ得即チ其使用料ハ三百「法」以上ノ家賃ノ家屋ハ一ケ年六「法」三百「法」以上四百「法」迄ノ家屋ハ九「法」四「法」以上六百四十「法」迄ノ家屋ハ十四「法」六百四十「法」以上八百「法」迄ノ家屋ハ二十「法」ナリ右ノ使用料ノ低減ハ元ト職工社會ヲ保護スル爲メニ制定セラレタルモノナレハ消費水量ニシテ一ケ年一人ニ付二十立方「米突」ヲ超過セサルモノニ非ラサレハ之ヲ適用セサルヘシ故ニ若シ其消費高カ前記ノ定量ヲ超過スルトキハ其超過水量ニ對シテハ普通消費者ノ如ク三十五「サンチーム」ノ使用料ヲ徴收スヘキモノトス

濾過セサル河水ノ使用料ハ一立方「米突」ニ付十六「サンチーム」ニシテ其使用料ハ消費水量ノ増加スルニ從ヒ低減セラル、ナリ

千九百十年十二月二十六日ニ巴里市會ノ認可シタル條約ノ明文ニ從フトキハ水道會社ハ左記ノ算出方法ニ從ヒ手數料ヲ徴シ個人ノ水道使用料ノ納入ヲ證明セリ

- 最初ノ二千四百萬「法」ニ就テハ 一、〇〇〇、〇〇〇「法」
- 以上 二、〇〇〇、〇〇〇「法」
- 二千四百萬「法」乃至二千七百萬「法」迄ハ百萬「法」毎ニ 三三、〇〇〇「法」
- 二千七百萬「法」乃至三千萬「法」ハ百萬「法」毎ニ 三〇、〇〇〇「法」



三千萬「法」乃至三千五百萬「法」ハ百萬「法」毎ニ

三千五百萬「法」以上ハ——百萬「法」毎ニ

其外會社ハ左記ノ割合ニ從ヒ手数料ヲ受領セリ

二千四百萬乃至三千萬「法」ノ收入ニ就テハ

二、五〇プロセント

三千萬以上三千五百萬「法」ノ收入ニ就テハ

三、〇〇プロセント

三千五百萬「法」以上ノ收入ニ就テハ

三、五〇プロセント

猶ホ水道従業員ノ増俸ノ爲メ左記ノ割合ヲ以テ獎勵資金ヲ會社ニ給與ス即チ

最初ノ二千四百萬「法」ノ收入ニ就テハ

一〇〇、〇〇〇法

以後ノ收入ハ百萬「法」毎ニ

三、〇〇〇法

巴里市千九百十二年ノ豫算ニ其收入ヲ二五、一〇〇、〇〇〇「法」ヲ計上セルヲ以テ會社ハ左記ノ金額ヲ收入

最初ノ二千四百萬「法」ニ就テハ

一、〇〇〇、〇〇〇法

次ノ百十萬「法」ニ就テハ

三六、三〇〇法

又手数料ノ收入ハ左ノ如シ

百十萬「法」ニ就テハ其二、五〇「プロセント」即チ

二七、五〇〇法

職員ノ増俸資金

一〇三、三〇〇法

合計

一、一六七、一〇〇法

實際上ニ於テハ千九百十二年ノ收入ハ豫算ニ超過シタルヲ以テ會社ノ收入ハ猶ホ多額トナリタリ唯タ前記

ノ實例ハ會社トノ條約ノ適用方ヲ示セシニ過キササルナリ

ベルグラン氏及其承繼者ナルクーシユ、ハンブロー、ベクマン及コルメー、ダージュノ諸大家ハ既ニ若干ノ源泉ノ疏水工事ノ設計ヲ定メ其源泉ハ巴里市ノ所有トナレルヲ以テ若シ巴里市カ既ニ調査セシ新源泉ノ水ヲ自由ニ使用スルコト、ナリ又源泉ノ水ハ特ニ飲用ニ供シ又河水ハ特ニ工業用若クハ街路掃除用トシテ公道用ニ備フル如ク複式水道ノ原則ヲ普及セシムル爲メ貯水池ノ容積ヲ擴張スルニ至ラハベルグラン氏ノ熱望セシ偉業ハ全ク其功ヲ奏スルモノト謂フヘシ若シ巴里市ニシテ其偉業ノ成績ヲ擧ケント欲セハ巴里市ハ猶ホ數百萬「法」ノ資ヲ投セサルヘカラスト雖トモ巴里市民ノ健康ヲ保全シ其豫算上、永久ノ收入ヲ増加スルモノタランニハ誰カ又之ヲ悲觀センヤ。



## ○國民衛生上ノ問題

八六

伯爵 マーヨー氏述

北米合衆國ノ最近ニ於ル有形上ノ富ム總計果シテ幾千アルヤト云フニ、一千一百億弗ニ上ルヘシ、勿論是レハ合衆國全般ノ富ヲ計上シタルモノト知ルヘシ、即チ土地全部、諸種ノ建物全部、礦山ノ全部、諸工場ノ全部、鐵道ノ全部、交通運輸機關ノ全部、家畜ノ全部、農産物ノ全部等ヲ綜合シタルモノ、尙ホ之ヲ言ヒ換フレハ合衆國中人民其モノヲ除クノ外アラユル有形物ヲ一纏メニシテ、之ヲ金圓ニ換算シタルモノ是レナリ、嗚呼亦タ驚クヘキ富ナラスヤ、以テ亞米利加人カ富ヲ致スニ就テ如何ニ熱心ナルカヲ證スルニ足ルヘキナリ、今マ其富ノ重モナルモノニ就テ之ヲ云ハンカ、農務大臣ノ手ニ成レル全國ニ於ル農産物一ケ年間ノ出來高ヲ金錢ニ替ヘテ計上シタル報告書ヲ見ルニ、九十億弗ニ上リ、鐵道ハ百七十億弗ニ上リ、諸製造業ヨリノ年々ノ上リ高ハ百五十億弗ニ上レリ、實ニ莫大ナルモノト云ツベキナリ、合衆國人民ハ世界ノ大國民中最モ富ミタル國民ト謂ツヘク、以テ世界ニ誇ルニ足ルヘキナリ。

今マ其レ富ノ意義如何ト問フモノアランカ、簡短ニ之ニ答ヘテ左ノ如ク言ハンノミ、曰ク金錢其モノハ云フモ更ナリ、其他諸種ノ物質ノ價直ニ外ナラス、故ニ一國ノ富トハ其國ニ有スル金圓ヨリ諸種ノ物質ノ價直ニ至ルマテ之ヲ舉ケテ綜合シタルモノニ外ナラス、右ニ述ヘタル米國ノ富ト云ヘルモ亦タ是レ此意ニ過キ

サルモノト知ルヘシ、畢竟スルニ價直アルモノヲ舉ケテ計上シタルモノニ外ナラス、凡ソ價直アルモノ皆ナ富ナリトセンカ、米國ノ富ハ右ニ掲ケタルモノ、外尙ホ莫大ナルモノアリト云ハサルヘカラス、亞米利加國民ハ今マ九千萬ノ多キニ達セリ、而シテ此九千萬ノ人口ハ皆ナ是レ富ナリト云フモ決シテ不可ナカルヘシ試ミニ見ヨ諸種ノアラユル物質ニ價直ノ生スル原因ハ果シテ何所ニアルヤヲ、畢竟スルニ人類ノ動力ニ外ナラス、之ヲ換言スレハ人類ノ勞働力取リモ直サス物ノ價直ヲ生セシムル所以ナリ、而シテ其價直ノ高下ハ勞働ノ量如何ニ準スルモノ知ルヘシ、人類ハ斯ク物ノ價直ヲ生スル原因ナルカ故ニ、人命ニモ夫々價直アリト云フモ決シテ妨ケナカルヘキナリ、日刊新聞等ニテ紐育及市加古ノ人民ノ生命ニ價直アルコトヲ論述シタコトヲ見ス、然レトモ人生ノ行路中或ル點ニ於テ其生命ノ平均價直ナルモノナクンハアラス、社會的統計表ノ複雑シタル事實ヲ研究調査スルニ老練ナル統計家ハ、餘程心志ヲ盡シタルノ結果、人其幼年ヨリ老年ニ至ルマテノ各時期ニ於テ、經濟上ノ見地ヨリシテ其生命ニ夫々價直アルコトヲ示シタリ、而シテ其價直ハ出生ヨリ成年ニ至ルマテハ漸次増加スヘシト雖モ、其以後餘命少ナクナルニ從ツテ徐々ニ低下スルモノト知ルヘシ、斯ク人命ニ價直ヲ付スル上ニ於テ如何ナル年齢モ皆ナ同一ニ出ルモノニアラス、其間自カラ差異ナクンハアラス、是レ他ナシ社會中總テノ階級ノ平均儲高如何ヲ精密ニ斷定スルコト能ハルサレハナリ、今マ通常、人ノ生命ノ平均價直ヲ一ケ年七百弗ト假定センカ、此假定價直ヲ亞米利加人ニ適用センニハ、恐ラクハ餘リ底下ニ失スルナルヘシ、今マ亞米利加人ノ生命ノ價直如何ト云フニ、其出生當時ハ九十弗ナルヘキモ二十歳ノ成熟シタル年齢ニ達シタランニハ四千百弗ニ上ルヘキナリ、而シテ之ヲ平均スレ

八七



ハ三千弗ヲ下ルコト極メテ僅些ナルヘシ、蓋シ此等ノ計算ハエールノ博士アーヅキング、フヒサー氏カ國  
民之活力維持獎勵委員會ニ提出シタル報告書中ニアリテ、決シテ過度ノ事柄ニアラサルナリ。

今マ右ニ掲ケタルフヒサー博士ノ説ニ從ツテ米人ノ生命ノ平均價直ヲ二千九百弗トセンカ、之ヲ米國ノ全  
人口九千萬ニ乗シタランニハ、其活力的資産ト言ツヘキモノ實ニ二千五百億弗ニ上ルヘキナリ、乃チ之ヲ  
前述シタル有形的富ニ比ヘタランニハ殆ント二倍ト三分ノ一ニ當ルヘキナリ、縱令ヘ米國ノ物質上ノ進歩  
發達及其諸工業ノ膨脹肥大シタルハ人ノ耳目ヲ驚カスニ足ルヘシト雖モ、最モ價直アル收益ト謂ツヘキモ  
ノハ人ノ活力アルコト是レナリ、最モ重要ナル事業ト謂ツヘキモノニハ強健ナル男子及女子ノ發達セルコ  
ト是レナリ、最モ大ナル問題ト謂ツヘキモノハ人類ノ活力ヲ維持スルコト是レナリ。

斯クテ此國民ノ活力ト云ヘル資本ハ人ノ出生スルト共ニ常ニ増加シ、人ノ死亡スルト共ニ減少セサルヲ得  
ス、其新陳代謝ノ有様ハ恰カモ通常ノ商業界ニ在リテ舊資本消費サレ從ツテ新資本生スルニ異ナラス、今  
マ其レ合衆國ニ在リテハ出生數ノ死亡數ニ超過スルコト甚タシク、之ニ加フルニ外國ヨリ移住民ノ來ルコ  
ト夥タシク、從ツテ人ノ活力ノ増大スルコト極メテ速カナラスンハアラス、然レトモ人ノ増加スル割合斯  
クノ如クシテ久シク持續スヘキモノニアラス、其割合將來大ニ減少スル時ナクンハアラス、此ニ於テカ將  
來ヲ見越シテ活力減少ヲ豫防スルノ政策ヲ取ルノ必要起ラサルヲ得ス、變災及疾病等ハ皆ナ是レ活力ヲ減  
殺スヘキモノニシテ、既ニ活力減少シタランニハ從ツテ有形的富ヲモ失ハサルヘカラス、活力維持ノ急務  
ナルコト得テ知ルヘキノミ。

米國中ノ大半ハ死亡數ニ關スル精密ナル登記法行ハレ居ラサルナリ、故ニ變災及疾病等ノ結果トシテ毎年  
死亡スルモノ幾干アルヤ、精密ニ其數ヲ示コト能ハス、然レトモ今マ死亡ニ關スル登記法ノ行ハレ居ル市  
邑及州ニ就テ調査ヲ遂ケタルニ、人口每一千人ニ就テ死亡率殆ント十六人・五ナルコトヲ知リ得タリ、今マ  
之ニ依リテ推測ヲ下サンニ其他ノヶ所ニ於ル死亡率カ之レヨリ以下ナルヘシトハ思ハレサルナリ、故ニ每  
年合衆國內ニ於テ死亡スルモノ百五十萬アルヘシト推定センハ決シテ不都合ナカルヘシ

合衆國內ニテ年々百五十萬ノ死亡者アリトハ實ニ驚クヘキコトナラスヤ、此等ノ死亡者ノ大部分ハ豫防ス  
レハ豫防シ得ラレタルニ相違ナカルヘシ、即チ其壽命ヲ長期間カ若クハ短期間カ繋キ留メ得ヘキモノ多數  
之レアリシニ相違ナカルヘシ、是レ何人モ異論ヲ立ルコト能ハサル事實ナルヘシ、亞米利加人ハ毎年肺結  
核ヨリ死亡スルモノ十三萬人、窒扶私熱ヨリ死亡スルモノ三萬人以上ニ及ヘリ、此等ノ死亡者ハ萬止ヲ得  
サルニ出テタルニアラス、又タ避ケ得ヘカラサルモノニアラス、之カ豫防法等其宜シキヲ得タランニハ或ハ  
助ケ得ラレタルモノ多ク之レアリシハ亦タ疑フヘキニアラサルナリ、但シ其豫防シ得ラルヘキ度合皆ナ同  
一ナリト言フヲ得ス、病症ノ異ナルニ從ツテ其度合モ自カラ差異ナクンハアラス、中ニ就テ或ル疾病ノ如  
キハ既ニ知ラレタル方法ニ從ツテ全ク之ヲ根絶スルコトヲ得ヘキナリ、又タ他ノ疾病ニ至リテハ醫藥モ其  
効ヲ奏スルコト能ハス、今日ノ有様ニテハ之ハ豫防救治上如何ニ研究スル所アルモ、全ク豫防救治ノ望ミ  
之レナキモノアリ

今マ吾人カ假リニ一ノ表ヲ調製シ各種ノ病原ニ係ル死亡數ヲ其内ニ載セ、而シテ今日吾人ノ知了セル豫防



法ニ從ツテ豫防スルコトトナシタランカ、豫防シ得ラルヘキモノ每一千人ニ就テ平均四十人アルニ相違ナカルヘキナリ、尙ホ之ヲ換言スレハ合衆國內ニテ毎年死亡スルモノ百五十萬ノ内六十萬ハ助け得ラルヘキモノナリ、然ルニ謂レナク空シク死亡シタルモノト云ハサルヘカラス。

右ノ如ク六十萬ハ謂レナク空シク死亡シタルモノトセンカ、是レ一ヶ月間ハ五萬人宛死亡シタル割合ニ當ルモノニアラスヤ、而シテ此等ノ死亡者中ニハ將來ニ望ミヲ屬シ、且ツ兩親ノ誇リト爲シタル幼童モアルヘク、少壯ナル男兒及女兒ニシテ今マ將ニ有用ナル世途ニ踏ミ出サントセシモノモアルヘク、一家眷族ノ杖柱トモ頼マレシ家長モアルヘク、子女ヲ養育スヘキ責任ヲ有セシ慈母モ之レアリシナルヘシ、適當ナル豫防手當ヲ施コシタランニ助け得ラルヘキモノヲ、謂レナク空シク鬼藉ニ登ラシメタル結果其遺族ノ苦境慘狀果シテ如何ナルヤ殆ント名狀スルコト能ハサルナリ、然レトモ斯ル多數ノモノカ謂レナク空シク死亡シタルノ結果、經濟上ノ損失ノ如何ナルヤハ精密ニ之ヲ計上スルコトヲ得ヘキナリ

右ノ如ク謂ハレナク空シク死亡スルモノノ大數ハ幼童若クハ辛フシテ成年ニ達シタルモノナリ、中年ニシテ肺結核ノ爲メニ斃レタルモノハ百分ノ三十三、其他ノ結核病ノ爲メニ斃レタルモノハ同シク二十三、肺炎ニ斃レタルモノハ同シク三十七、窒扶私熱ニ斃レタルモノハ同シク二十六ナリシナリ、此外中年ニシテ實布埤利亞ノ爲メニ斃レタルモノハ百名ニ就テ三名ナリシカ、我々ノ大都府ニ於テ幼童ノ胃腸病ニ罹リテ死亡スルモノハ十名ニ就テ一名ノ割合ナレトモ、中年モノモノハ該病ニ罹リタル初年ニ於テ死亡スルヲ常トス

凡ソ疾病トシテ最モ善ク豫防セラレ得ヘキハ人ノ生涯中餘リニ年ヲ重ネサル時代ナラスンハアラス、故ニ善ク疾病ヲ豫防シ得テ其壽命ヲ延長セシメタランカ、其壽命延長ノ價直ナルモノハ莫大ナラスンハアラス前段ニ於テ人ノ生涯中各時期ニ於ケル生命ノ價直ヲ金錢的ニ評定シタルカ、今マ此生命ノ評定價直ニ準據シテ彼ノ疾病豫防法ノ爲メ其生命ヲ延長サレタル六十萬人ノ一人々々ノ生命ノ平均價直カ一千七百弗ナリトセンカ、之ヲ合算スレハ十億弗ノ多額ニ上ルヘキナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ疾病豫防法ヲ實行シタルカ爲メニ、國民ノ活力一ヶ年間ニ十億弗ヲ増加シタルモノト謂ツヘキナリ

適當ナル豫防法ヲ行ヒタランニハ生命ヲ隕サスシテ事濟ムヘキモノヲ、之ヲ行ハサリシカ爲メニ謂レナク空シク死亡スルコトノ世間甚タ多キハ、嗚呼亦タ歎スヘキノ至リナラスヤ、今マ疾病ニ對シテ適當ナル豫防法ヲ施コシタランニハ、之カ爲メニ死亡ヲ免カル、ト同時ニ其疾病ヲ根絶スルコトヲ得ヘキナリ、又疾病ニ罹リテヨリ死亡スルマテノ期間果シテ幾千アルヤニ關シテ研究シタルモノ少ナカラサリシカ、其結果平均二ヶ年餘ナルコトニ決着シタリシナリ、即チ病身ニテ日ヲ送ルコト二ヶ年餘ニシテ終ニ死亡スル事ヲ見出シタルナリ、今マ此病身ノ割合ヲ合衆國ニ適用センカ、全國ヲ通シテ常ニ平均三百萬ノ病者アリト算定スヘキナリ、而シテ斯ル多數ノ病者中ノ大部分ハ甚ハ幼稚ナルモノカ若クハ年老イタルモノナルヘシ然レトモ其ノ三分ノ一ハ生産力ヲ有スル人ナルヘシ、即チ何等カノ職業ニ從事シテ國家生産力ノ一部分タルコトハ亦タ疑フヘカラサルナリ、然ルニ病者全數ノ三分ノ一即チ百萬ノ人ハ何等カノ職業ニ就テ若干ノ賃銀ヲ得ヘキモノナレトモ、疾病ニ罹レルカ故ニ其職業ニ就クコト能ハス、今マ假リニ此等ノ人カ健康ニシ



テ職業ニ就キ一日得ル所ノ賃銀僅カニ一弗半ニ過キスト見積リテ、疾病ノ爲メニ之ヲ得ルコト能ハストセ  
ンカ、一ケ年間其損スル所ヲ積算スレハ四億五千萬弗ノ多額ニ上ルヘキナリ、尙ホ之ニ加フルニ疾病ニ罹  
レルカ爲メ醫藥及看護婦等ニ要スルノ費用極メテ少ナク見積リテ平均一日一弗トスルモ、一ケ年間之ヲ積  
算スレハ十億ノ多キニ上ルヘキナリ、斯ル病中ノ費用ト彼ノ生産力ヲ失フタル損耗トヲ合算スレハ十五億  
弗ノ多額ニ上ルヘキナリ、然ルニ今マ適當ナル豫防法ヲ施コシテ此等ノ疾病死亡ヲ免カレシメタリトセン  
カ、此十五億弗ハ國家ノ財原中ニ加ヘラルモノト謂ツヘキナリ

右ニ掲ケタル金額ハ極メテ莫大ナリト雖モ、斯ル損失ヲ生セシムヘキ動力ノ僅カニ一二ニ就テ之ヲ考ヘタ  
ランニハ、恐ラクモ實際ノ損失ヨリ一層少ナク見積リタルコトカ自カラ判然スル所アルヘシ、當國ニ於テ  
結核病ノ爲メニ苦シムモノハ總計殆シト五十萬ノ多キニ達スヘシ、而シテ此等ノ病者ノ半數ハ何等ノ業務  
ニモ就クコト能ハサルヘク、其ノ他ノモノト雖モ多少ノ生産力ヲ害セラレシムハアラス、又タ成年ニ達ス  
ルヤ達セサル年齢ニシテ死亡スルモノ、内、三分ノ一ハ結核病ニ罹リテ斃レタルモノナリ、尙ホ之ヲ細言  
センニ年々之カ爲メニ斃ル、モノ十三萬人餘ニ達セリ、乃チ其病中醫藥等ノ費用ト生産力ヲ失フタルトヲ  
合算スレハ其損失高ニ二億弗以上ニ達スヘシ、但シ其生命ノ價值二億五千萬弗ハ此内ニ算入セラレサルモノ  
ト知ルヘシ、然ルニ今マ假リニ數多ノ醫師カ報酬如何ヲ顧リミス、自カラ進ンテ結核病撲滅ニ力ヲ盡ス所  
アリトセンカ、結核病ハ此一代ニシテ根絶セラル、ニ至ルヘキナリ  
今マ窒扶私熱カ大ニ流行シテ久シキニ亘レルハ、恰カモ吾人カ被告ノ地位ニ立チテ有力ナル公訴狀ヲ受ケ

タルト均シク之ニ向ツテ答辯スルコト能ハサルナリ、之カ爲メニ米國人ノ死亡スルモノ毎年三萬人以上ニ  
達セリ、蓋シ此等ノ米國人ハ善良強健ナルモノニシテ、其内ノ大半ハ年少者ナルカ故ニ國家ヲシテ損失ヲ  
受ケシムルコト甚タシト云ハサルヘカラス、此等ノ事實ニ關シテ最モ老練ナル立證家ハ、亞米利加人ノ窒扶  
私熱ニ罹リテ年々損失ヲ來ス金額ハ二億一千二百萬弗ナリシト云ヘリ、然レトモ其半額ハ之ヲ減少スルコ  
トヲ得ヘキナリ、即チ清良ナル飲料水ヲ供給スルコト、ナシタランニハ、其半數ヲ救助スルコトヲ得ヘキナ  
リ、他ノ半數モ亦タ是レ單純無造作ナル豫防法ニ依リテ救助シ得ラルヘキナリ、兎ニ角適當ナル豫防法ヲ  
施コシタランニハ、救助セラル、モノ甚タ多カルヘク、其救助シ得ラレタルノ結果如何ニ少ナク計算スル  
モ、之カ爲メニ一ケ年間ニ益スルコト一億五千弗ニ達スヘシ

實布埤利亞ニ罹リテ死亡スルモノ、數ハ此病ニ對スル抗毒素發見セラレタル以來著シク低減シタリ、然レ  
トモ尙ホ且ツ其死亡數ハ窒扶私ノ死亡數ト同一ナリシナリ、又タ其他ノ疾病ニ罹リテ幼兒ノ死亡スル數モ  
著シク低減シタリ、然レトモ生キ來リタル幼兒ノ殆シト五分ノ一ハ一歲未滿ニシテ死亡シ、其四分ノ一ハ五  
歲ニ滿タサル内ニ死亡スルモノナリ、無邪氣ニシテ罪ナキ幼兒ノ死亡スルコト斯クノ如ク甚タシキハ嗚呼  
亦タ悲慘ノ至リナラスヤ、豫防法其宜シキヲ得タランニハ其半數ハ助け得ラルヘキナリ、合衆國ニ於テ毎  
年幼兒ノ死亡スル數ハ四十萬ノ多キニ達セリ、然ルニ今日吾人ノ知了セル豫防法ヲ實行シタランニハ、其  
半數即チ二十萬若クハヨリ以上ヲ助クルコトヲ得ヘキナリ

通常社會疾病ト稱セラル、モノニ關シテ費消セラル、金圓ハ果シテ幾千ナルヤ、全ク之ヲ算定スルコト能



ハサルナリ、然レトモ最モ卓拔セル立證家ノ説ク所ニ據レハ、此等ノ費用ノ半額ハアラユル慈善團體ノ負擔スル所トナレリ、蓋シ社會的疾病トハ幼兒ヲ侵シ來ル諸種ノ疾病、精神病等ノ類是レナリ、而シテ此等ノ疾病ハ曾テ減退スルコトナク、却ツテ増進スルノ有様ナリト言ハサルヘカラス、之カ爲メニ國家ノ活力ヲ損耗スルノ度合ハ、結核病ヨリ生スル損害ニ下ラサルナリ

尙ホ右ソ外ナル疾病ニシテ吾人カ如何ニ豫防セント欲スルモ豫防シ得サルモノ少ナカラサルナリ、今マ一例ヲ舉ケテ之ヲ言ハンカ、醫學上「マラリア」ニ就テ研究調査ヲ遂ケタルコト一ニシテ足ラサルナリ、然レトモ毎年合衆國內ニ於テ此病ニ侵サル、モノ二百萬乃至三百萬ノ多キニ上レリ、從ツテ之カ爲メニ費ヤサル、金圓モ亦幾百萬ト云フヲ知ラス、此疾病ノ爲メニ受ル所ノ損害既ニ斯クノ如シ、之カ豫防救治ニ關シテ適當ナル方法ヲ案出シタランニハ莫大ナル賞金ヲ與ヘントスルニ至レルハ毫モ怪シムニ足ラサルナリ、蓋シ懸賞金ノ斯ク莫大ナルコトハ殆ント未會有ナリシナリ、吾人ハ如何シテ此懸賞金ヲ得ヘキカ、今マ疾病ノ豫防救治ニ關シテ一種奇異ナル事實ノアルアリ、請フ其顛末ヲ左ニ述ヘント欲ス、曰ク一農夫アリテ其飼育セル豚ノ疾病救治ノ事ニ關シテ農務省ヘ問ヒ合ハシタリシニ、速カニ之カ回答ヲ得テ其豚ノ生命ヲ助クルコトヲ得タリ、然ルニ其隣人カ妻ノ疾病救治ノ事ニ關シテ華盛頓政府ヘ問ヒ合セタリシニ、如何ナル方法モ之レナシトノ回答ニ接シタリト云フ、是レ人類ニ薄クシテ動物ニ厚キモノニアラスヤ、實ニ奇怪ノ顯象ナリト語ハサルヘカラス、今マ二億五千萬弗ノ價直アル米國ノ豚ノ健康ニ就テ充分注意ヲ拂ヒタラシニハ二百五十億弗ノ價直アル米國ノ良民ノ健康ニ就テモ亦タ聊カ注意ヲ拂フ所ナクンハアルヘカラス、

是レ政府タランモノ、須ラク盡スヘキ義務ナラスヤ、又タ試ミニ資産豊カナルモノ、爲ス所如何ヲ見ヨ、自分ノ愛寵スル馬若クハ犬ニシテ微恙ニ罹ランカ、直チニ之カ手當ヲ爲サスンハアラス、然ルニ自家ノ身體ノ健康如何ニ關シテハ之ヲ等閑ニ附シテ殆ント注意スル所ナキモノ、如ク、初メテ心ツキタル場合ハ之ヲ救治スルノ途ナキマテニ傷害セラレタルモノ少ナカラサルナリ、何ソ其レ思ハサルノ甚タシキヤ、然ルニ下等ノ職工杯ニ至リテハ其健康ナルト否ラサルトハ、其業務上ニ直接ノ影響ヲ及ホスカ故ニ、却ツテ身軀保護法ニ注意スルコト厚キモノ、如シ、今マ國內全般ノ有様ヲ通覽スルニ豚ノ健康如何ニ注意スルコト綿密周到ニシテ、人類ノ健康如何ニ對シテハ却ツテ不注意ナルカ如シ、是レ緩急輕重其宜シキヲ失フタルモノニアラスヤ、國民一般ノ習慣トシテ其健康上ニ關シテハ不注意ナリト言ハサルヘカラス、一般ノ教育上之ニ對シテ注意セシムヘキ方針ヲ取ラサルヘカラス、是レ國家事業トシテ爲スヨリ外ニ方策アラサルナリ、即チ政府部内衛生局ノ事業トシテ實行セサルヘカラス、衛生局カ衛生的教育ニ力ヲ盡スヘキモ恰カモ農務局カ農業的教育ニ注意スルカ如ク専ラナラン事ヲ要ス

抑モ衛生上ノ事業タルヤ政府部内僅カニ一局部ニ限ラレタルモノニアラス、其關聯スル所甚ハタ廣大ナリト云ハサルヘカラス、即チ内務、陸軍、海軍、大藏、農商務、工業等ノ諸省ニ關聯スルカ如キコト是レナリ、今マ米國政府中特別會計トシテ一ヶ年間ニ於ケル衛生事業費ニ充ツヘキ金額ハ殆ント一千五百萬弗ニ上レリ、而シテ此等ノ金額ノ大部分即チ其五分ノ三ハ陸海軍ノ醫事ニ充テラレ、尙ホ其四分ノ三強ハ陸軍ノ方ニ取ラル、モノト知ルヘシ、陸海軍ニ對シテ斯ク多大ノ衛生費ヲ投シタルノ結果如何ト云フニ晩近ノ



戰鬪力ノ上ニ現ハレ來レル實體是レナリ、今マ合衆國ノ軍務ニ當レルモノハ適當ナル人材ナルヘシト雖モ動モスレハ其戰鬪力ヲ減少セシムヘキ傾向ナクンハアラス、願ハクハ衛生上ノ施設其宜シキヲ得テ戰鬪力ノ増加セラレンコトヲ

先年日露戰役ニ際シテ日本軍カ常ニ優勢ヲ占メテ終ニ戰勝者トナリタルハ、其原因一ニシテ足ラスト雖モ衛生隊ノ組織最モ其宜シキヲ得タルコトカ、其重モナル原因中ノ一タラスンハアラス、試ミニ見ヨ其當時ニ在リテ日本軍ノ陣地ヲ撰擇セントスルヤ、先ツ第一ニ衛生醫官タルモノカ適當ナル場所ヲ撰擇シテ、衛生上ノ設備ヲ充分ナラシメタル後ニアラスンハ、決シテ其軍ヲ進メサリシナリ、此ニ於テカ日露交戰中ヲ通シテ日本軍中ニハ何レノ戰役ニモ起リ易キ窒扶斯熱ニ罹ルモノ曾テ之レナク、其他通常軍隊中ニ流行シ易キ疾病ニ罹ルモノアラサリシナリ、是レ世界各國ノ嘆賞シテ措カサル所ナリ、然ルニ我亞米利加軍カ西班牙軍ト交戰シタル時ノ有様如何ヲ見ヨ、衛生醫官杯ノ如キハ之ヲ度外ニ置キテ顧リミス、其陣地撰擇ノ如キ全ク經驗ナキ士官杯ノ手ニ委ネタリ、故ニ其結果トシテ窒扶私ニ罹ル兵士二萬人ノ多キニ達シ、之カ爲メニ死亡シタルモノ一萬五千人以上ナリシ、致馬ニ限ラレタル地方病ニ侵サレタルモノハ左マテ多カラサリシナリ、其他チツカコウカニ於ル陣所及合衆國內ニ於ケル箇所ニテモ斯ル疾病ニ罹リ、且ツ之カ爲メニ死亡シタルモノ少ナカラサリシナリ、是レ皆ナ衛生上ノ設備其宜シキヲ得サルニ歸セスンハアラス、斯クテ右ノ戰爭カ終末ヲ告ケ從ツテ致馬カ合衆國ノ管轄ニ歸シタル時、殆ント突然ノ事情ニヨリ醫事衛生上ニ老練ナル將軍レオナルド、ウード氏カ致馬ノ總督ニ任セラレタリ、而シテウード將軍ノ治下ニアリテ

醫務課ナルモノカ設置セラレドクトル、ウオルター、リード氏之カ主宰トナリ外部ノ有志者ト共同シテ黃熱ノ調査研究ニ從事スルコト、ナリタリ、蓋シ此醫務課ナルモノハ黃熱ノ蔓延ノ狀況ヲ調査シ、且ツ之カ豫防法ヲ研究スルヲ以テ其目的トナシタルモノ是レナリ、而シテ一千八百九十七年ニハヅハナニ於テ黃熱ニ罹リテ斃レタルモノ、人口毎十萬人ニ就テ四百二十八人死亡シタル割合ナリシカ、一千九百二年ニ至リテハ該病ニ罹ルモノ之レナキニ至リタリ斯クテハヅハナ市及全島ノ大半ハ此恐ルヘキ病患ノ禍ヲ免カル、コトヲ得タリ、斯ル著シキ好結果ヲ得タルハ畢竟スルニ諸事好都合ニシテ當事者ノ措置其宜シキヲ得タルニ歸セスンハアラス、又タ我合衆國政府カ之カ爲メニ南部ノ諸港ヲ保護スル上ニ於テ及黃熱ト奮闘スル手段ニ於テ利益ヲ得タルコト得テ云フヘカラサルナリ、斯クノ如キ黃熱退治ノ事業ハ何レノ時ヲ問ハス何レノ場所ヲ論セス實行スヘキモノニアラスヤ、既ニ吾人ハ致馬ニ於ル病害ヲ除去シタルヲ嘉ミセンカ、其他我管轄ニ屬スル地方ノ病害ヲ除去スルコトヲモ嘉ミセサルヘカラス、既ニ巴奈馬運河線以北ノ「マラリア」ヲ退治スルヲ以テ善事業ナリトセンカ、其以南ノ「マラリア」ヲ撲滅センモ亦タ然ラスンハアラス、試ミニ見ヨ此等ノ地方ニ於テ毎年「マラリア」ニ罹リテ苦シムモノ二百萬ノ多キニ達スルニアラスヤ、我カ當局者タランモノ何ヲ苦シンテ斯ル疾病ノ豫防救治策ヲ取ルニ於テ逡巡遲疑スルカ、毫モ逡巡遲疑スルノ謂レナキナリ我國家事業トシテ衛生機關ノ設ケアリテ華盛頓府ノ政事家カ自カラ誇リトスル所ハ公衆衛生事業是レナリ公衆衛生ノ設備ニ對シテハ曾テ非難シタルモノアラサルナリ、以テ其設備ノ行キ届ケルヲ證スルニ足ルヘシ、



他ヨリ新聞記者杯カ來リテ我政府部内何レノ所ニ於テ公衆衛生事務ヲ取り扱ヒ居ルヤヲ探リ知ラント欲スルモ意想外ノ所ニアルヲ以テ恐ラクハ之ヲ探リ得ンコト甚ハタ困難ナルヘシ、抑モ公衆衛生機關ナルモノハ大藏省内ニ設ケラレシナリ、何人ト雖モ大藏省内ニ斯ル機關アルヘシトハ想像セサルヘシ、然レトモ實際大藏省内ニ設ケラレテ大藏大臣カ理財ノ事ニ通曉セル故ヲ以テ事務取扱ノ主任ニ選ハル、モノト知ルヘシ然レトモ大藏大臣ノ任務タルヤ甚タ重大ナルモノト云ハサルヘカラス、即チ一國ノ歳入ノ事、關稅上ノ詐欺豫防ニ關スル事、折々起ル所ノ經濟上ノ恐慌ヲ處理スル事、其他財務上ニ關スル種々ノ事務等皆ナ之ヲ處分料理スヘキ任務ノ如キ是レナリ、既ニ斯クノ如キ重大ナル任務アルニ加ヘテ、公衆衛生ノ問題ニ其心ヲ寄セント欲ス、殆ント人力ノ堪フヘキ所ニアラス、神變不思議ノ大能力ヲ有スルモノニアラスハ不可能ナルヘシ、今マ大藏大臣ノ位置ヨリ見ルモ又其事務練熟ノ上ヨリ見ルモ、公衆衛生ノ事務ニ對シテハ左マテノ趣味ヲ有セサルヘク、且ツ此衛生ノ事務タルヤ大藏省全體ノ上ヨリ打算スレハ一小部分ニ過キサルナリ、

今マ大藏大臣カ公衆衛生上ノ出來事ニ關シテ處分シタル實例ヲ掲ケテ讀者ノ參考ニ供セント欲ス、其概畧ヲ舉クレハ左ノ如シ、曰ク今ヲ距ルコト十餘年前即チ一千九百年若クハ夫レヨリ一二年前ノ事ナリシカ、桑港ニ牛疫カ發生シタリ、抑モ牛疫ナルモノハ數世紀間東亞ニ起リタルモノニシテ最モ恐ルヘキモノナリ之ニ感染シテ一回ノ流行期間ニ百萬頭ヲ斃スマテニ猖獗ヲ極メタリ、今マ或ル市邑ニ於テ「ペスト」ノ發生シタルコトカ分リタランニハ之カ蔓延ヲ豫防シ之カ撲滅策ヲ講セスンハアラス、

「ペスト」ノ一タヒ桑港ニ發生セシヨリ同地ノ有様ハ果シテ如何ソヤ、一般ノ人心恟々トシテ各々其事業ニ安ンスルコト能ハス、初メテ「ペスト」ノ發生シタルコトノ傳ヘラル、ヤ、此噂ノ世間ニ廣ク傳播センコトヲ恐レテ統治支配ノ權能ヲ有スル諸機關ハ成ルヘク之ヲ隱蔽センコトヲ勉メサルハナシ、其之ヲ隱蔽ヲスルノ手段トシス新聞紙ノ發行ヲ禁止シ、好シ又之ヲ發行スル場合ニハ「ペスト」流行ヲ否認スル記事ヲ掲ケシムルコト、セリ、又タ印刷同盟協會ノ如キハ他ヨリ説論ヲ受ルカ或ハ強制的手段ヲ以テ「ペスト」ノ事ヲ記載シタル新聞等ヲ桑港以外ナル世間へ送致スルコト禁止シタリ、故ニ同所ニ於ル「ペスト」流行ノ實況ヲ知ランコト甚タ困難ナリト云ハサルヘカラス、當時予カ自カラ關係セル紐育ノ新聞社ニ此實況ヲ探知スルノ必要アリトテ、最モ卓絶セル一名ノ醫師ヲ桑港ニ派遣スルニ至リタリ、桑港ハ「ペスト」發生ノ事ヲ出來得ヘキ丈ケ隱蔽セント欲スト雖モ、元來商工業最モ殷盛ナル所ニシテ米國大陸ヲ通シテ關係スル所甚タ廣ク且ツ大ナルハ今更云フヲ要セサルナリ、去ルカラニ好シ彼ノ新聞社ノ派遣員カ尙ホ未タ充分ノ行動ヲ取ラサル以前、早既ニ何レノ方面ヨリモ其有様カ多少他ノ新聞紙上ニ現ハレサルハナシ、又タ紐育新聞ノ如キハ他ヨリ威壓セラレタルカ爲メニ報道ヲ怠ルヘキモノニアラス、即チ紐育新聞社ヨリ派遣セラレタル醫員ハ桑港ニ於ル「ペスト」流行ノ有様ヲ視察シテ其結果ヲ世間ニ發表シタリ、然レトモ此報道ハ事情止ヲ得サル所アリテ「ペスト」危險ノ度合ヲ成ルヘク輕微ナルカ如クニ記載サレタルモノト知ルヘシ、

「ペスト」發生ノ事カ初テ桑港ノ衛生局へ公然報告セラレタル時、衛生局ハ同市ノチャヤ井ナタウン地方ニ對シテ檢疫所設置ノ事ヲ布告シタリ、蓋シチャヤ井ナタウンハ人ノ耳目ヲ惹クヘキ繁華ノ地ニシテ他ヨリ集ヒ



來ルモノ甚ハタ多キ塲所柄ナレハナリ、然ルニ合衆國ノ裁判官ナル巡回裁判官ハ斯ル檢疫所設置ノ事ヲ不法ナル處分ナリト宣告シ、現時當市内ニハ「ベスト」ナルモノ發生シ居ラス、且ツ斯ル疾病ハ嘗テ當市内ニ發生シタルコトナシト明言シタリ、

又公衆衛生課ハ此國ノ其他ノ部分ヲ保護センカ爲メニ、カリフォルニア洲ニ對シテ檢疫所設置ノ事ヲ布告シタリ、此檢疫所ハ各種ノ事業上不便少ナカラストテ地方裁判官ノ權能ニテハ之ヲ撤回セシムルコト能ハス、然レトモ實業家ノ力ニテハ之ヲ撤回セシムルコト全ク不可能ノ事ニアラス、又タ公衆衛生課員カ「ベスト」ノ發生ヲ證據立テタル報告ハ之ヲ否認シテ信用スルモノナカリシナリ、斯クテ桑港「ベスト」調査委員會ナルモノカ任命サレタルハ其翌年ノコトナリシカ此委員會ナルモノハ、卓拔セル學士ヨリ組織セラレタルモノニシテ、其調査ノ結果トシテ桑港ノ中央部ニ「ベスト」ノ發生少ナカラサリシコトヲ確カメ得タリ然ルニ此委員會ノ報告書ナルモノハ法律上要求サレタルカ如ク速カニ發表セラレサリシナリ、此委員會ノ調査シタル結果ノ概要カ醫事雜誌及桑港ノ新聞紙上ニ掲載セラレタル後、此委員會ノ報告書ナルモノカ公然發表セラレタリシナリ、

合衆國政府ハ彼ノ太平洋海岸即チ桑港ニ於ル「ベスト」豫防策トシテ、鼠族ヲ撲殺セシメンカ爲メニ費シタル金額ハ一百万弗以上ナリシタリ、鼠族撲殺ニ充ツヘキ此金額ニ尙ホ地方費若干ヲ追加セシメタリ、實業家カ事業上ノ見地ヨリスルモ斯ル鼠族撲殺ノ事ニ反對セサリシナリ、蓋シ「ベスト」發生シテ其猖獗ヲ逞フスルニ際シテ之ヲ豫防センヨリ、其初發ニ當リテ之ヲ豫防センコトヲ一層容易ナリト謂フヘシ、

當國ノ他ノ部分ニ於テモ亦是レ實業家ノ團體カ流行病ヲ隱蔽スルノ弊ナクンハアラス、好シ其之ヲ隱蔽シタルノ度合ハカリフホルニアニ於テ牛疫ヲ隱蔽シタルカ如ク甚タシカラサルニモセヨ、今マ實例ヲ掲ケテ之ヲ證サンカ、過般ニウオルレンスニ於テ黃熱ノ發生シタル時此病ノ發生シタル事カ公然發表セラレタルハ、同市ノ住民カ殆ント普ネク其事ヲ知リタルヨリ十日後ノコトナリシナリ、此際商務局及新聞社等ハ早ク之ヲ發表センコトヲ主張シタレトモ、實業家ノ側ニ於テ最モ強硬ノ態度ヲ取リテ飽クマテ之ヲ隱蔽セントスル方策ヲ回ラシタリ、而シテ其理由トスル所ハ之ヲ公然發表シタランニハ商工業ヲ害スルコト甚タシク其影響スル所數年ニ亘ルヘシト云フニアリ、然レトモ斯ル反對ハ其功ヲ奏セス、衛生局員カ毫モ恐ル、所ナク斷然タル處置ヲ取リタルハ、同市民タルモノハ爲メニ感謝セサルヘカラス、即チ此等ノ衛生局員ハ公衆衛生局ノ助力ヲ得テ最モ嚴重ニ該病ノ救治豫防法ヲ實行シタルノ結果再ヒ黃熱ノ襲來スルノ虞ナキニ至ラシメタリ、若シ實業家ノ反對策カ壓服セラレサリシナラハ同市ノ住民ハ如何ナル慘害ヲ蒙リシヤモ亦タ知ルヘカラス、其ノ茲ニ出テサリシハ實ニ幸福ナリシト云ハスンハアルヘカラス、

又手合衆國政府部内ノ大藏大臣若クハ其他ノ部局カ、桑港ニ流行シタル惡疫ノ豫防救治ニ關シテ適當ナル注意ヲ拂ハサリシト斷定スルハ穩當ナルモノニアラサルヘシ、凡ソ人トシテ其耳目ヲ閉チルコトヲ嫌惡スルモノハ桑港ニ發生シタル「ベスト」ヲ知ラサルモノナカルヘシ、抑モ大藏大臣ナルモノハ其位置ノ上ヨリ之ヲ見ルモ、實業上ノ要求ニ就テハ常ニ重キヲ置キテ之ヲ考慮スルノ習慣アルモノナリ、故ニ或ル政略ハ理財的損耗ヲ來スヘシト云ヘル議論ニ就テハ其心ヲ動カサレ易キモノナリ、即チ實業ノ側ヨリ彼ノ「ベスト



ト「發生ヲ公然發表シタランニハ、商工業上ニ大打撃ヲ與フベシトノ説ヲ出シタルノ場合、大藏大臣ハ之ニ動かサレ易キモノト云ハサルヘカラス、然レトモ其他ニ衛生局長ナルモノアリテ其職責上主トシテ公衆一般ノ衛生上ニ注意シ、且ツ公衆衛生ニ關スル其行動ニ對シテ自カラ責任ヲ有スルモノカ、彼ノ「ベスト」發生ノ公然發表如何ニ就テ斷決ヲ下シタラン場合ハ、大藏大臣トハ大ニ其趣ヲ異ニスル所ナクンハアラス、右ノ外衛生事務ヲ取り扱フヘキ國家的機關少ナカラス、即チ農務省ニ附屬シテ農務大臣ノ指揮監督ノ下ニアルモノ、如キ是レナリ、而シテ此等ノ衛生諸機關ノ内最モ多ク直接ニ人民ノ健康上ニ關係ヲ有スルモノハ化學局是レナリ、化學局ノ重モナル職責ハ、飲食物取締條例ニ從ツテ其良否ヲ検査スルニアリ、抑モ此飲食物取締條例ナルモノハ一般ノ公衆ヲシテ粗惡不適當ナル飲食物及藥材等ヲ避ケテ善良適當ナルモノヲ得セシメント欲スルニアリ、然レトモ飲食物ヲ營業トセルモノニ烈シク此條例ニ反抗スル場合ニハ、強制的ニ實行セラルヘキモノニアラスト思ヘルモノ甚ハタ多シ、曾テ此化學局長タルドクトル、ウヰレー氏カ其職ヲ免セラレタルコトアリ、其免職セラレタル趣意ハ、其事務ヲ取ルノ方針カ人ノ健康上ニ關セス、工業殖産ノ發達ヲ主トシタルニ基ケリト云フ、其免職セラル、ノ趣意斯クノ如クナルカ故ニ同氏ノ免職ハ同省中有力ナル同僚ノ同情ヲ得タリシナリ、又農務大臣ノ常ニ意ヲ注ク所ハ農産物ノ發達如何ヲ計ルニアリ、此等ノ農産物ヲ食物トナシ其食物カ化學上試験ノ結果有害ナルヤ否ナヤニ就テハ左マテ重キヲ置カサルモノ、如シ、是レ農務大臣トシテノ立場ヨリ云ヘハ亦タ止ムヲ得サルノ次第ナルヘキカ、然レトモ公衆衛生課長ノ見解ハ大ニ異ナル所ナクンハアルヘカラス、サレハ飲食物検査事務ハ農務省ヨリ寧ロ公衆衛生課ニ於テ取り扱フ方一層好結果アルヘキナリ、

尙ホ此外公衆衛生上ニ關スル重要ナル事業中ノ一ハ清涼飲用水ノ供給是レナリ、今日飲用水ノ供給事業ハ農務省中ノ一部局ナル工務局ニ於テ取り扱ヒ居ルカ、今日ノ有様ニテハ給水上到底好結果ヲ得ヘキ見込之レナキナリ、蓋シ給水事業ノ改良ハ今日殊ニ焦眉ノ急ニ迫リ居レリト云ハサルヘカラス、是レ他ナシ給水源ナル湖水及水流等カ汚穢シタルカ爲メ窒扶私病カ發生シタレハ、之ヲ豫防スルノ策トシテ此等ノ水源ヲ清化セシムルノ必要アレハナリ、試ミニ想ヒ見ヨ此窒扶私病發生ノ爲メ毎年國民ノ損害ヲ蒙ルコト幾百萬弗ナルヤ得テ知ルヘカラス、然ルニ今マ斯ル給水事業ヲ改良シタランニハ右ノ如キ莫大ナル損害ヲ免ル、コトヲ得ヘキナリ、給水事業ノ改良實ニ焦眉ノ急ナラスヤ、此外尙ホ農務省ノ一分課トシテ衛生上最モ重ナルモノアリ、食物ノ滋養分如何ヲ検査スル所ノ一分課是レナリ、即チ斯ル検査ヲ行フハ油斷ノナラサル疾病ヲ豫防スル上ニ著シキ効用アルモノト謂ツヘキナリ、

商務、工務ノ兩局ハ重要ナルニ機關ナルカ、今マ此二局ヲ衛生局内ニ併合セシメタリトセンカ、其効用ハ今ヨリ尙ホ一層大ナルヘシ、試ミニ見ヨ工務局ハ從來折々諸種ノ研究調査ヲ遂ケタルニアラスヤ、即チ種々様々ノ職業ニ従事スル職工ノ健康状態、職業ト疾病トノ關係、工場衛生ノ實況等ノ調査研究ノ如キ是レナリ而シテ工務局ノ經費ノ許ス限リヲ以テ此等ノ衛生上妨碍トナルヘキ點不都合ナル部分ヲ幾分ニテモ除却セシコトヲ勉メタリ、然レトモ此等ノ衛生状態ヲ完全ナラシメンニハ、之ヲ國家事業トシテ久シキニ亘リテ精密ニ秩序正シキ方法ニ從ツテ研究調査ヲ遂ケサルヘカラス、



商工務局ノ一分課ナル人口調査課中ニ一ノ統計部ナルモノアリ、米國ニ於ル人口統計ヲ得ンコトハ極メテ困難ナリト云ハサルヘカラス、即チ米國ノ人口ニ關スル統計ハ極メテ不充分ナリト云ハサルヘカラス、人口ノ平數ニ對シテハ記載スルニ足ルヘキ統計表ナルモノアラサリシナリ、而シテ他ノ半分ニ對スル統計モ亦タ是レ完全ナルモノト云フヲ得サルナリ、歐羅巴ノ立證家ハ一人トシテ特ニ確證アルニアラスンハ米國ノ人口統計ヲ信スルモノハアラサルナリ、斯クノ如ク人口統計ノ不確實ナルハ人口調査官吏ノ不注意不始末ニ歸スヘキモノニアラス、畢竟スルニ衛生事業ノ不完全ナル所アルニ原因セシンハアラス、故ニ衛生事業ニシテ適當ナル度合ニ發達シタランニハ、從ツテ此人口統計モ自カラ正確ナルコトヲ得ルニ相違ナカルヘシ、今マ政府部内ニ於テ化學的検査ニ從事スヘキ部局ヲ合算スレハ十六ヶ所ノ多キニ達セリ、此等ノ個所ニ於テ爲ス所行フ所ハ皆ナ是レ大同小異ト謂ツヘキモノナリ、此外藥劑取締上ニ關スルモノ四ヶ所アリ、此等ノ個所ハ皆ナ是レ藥品ノ性質及効用等ヲ検査スル所ト知ルヘシ、而シテ此四ヶ所ト前ノ十六ヶ所ヲ合セテハ二十ヶ所トナルヘシ、然レトモ此全部ヲ大別シテ二種ノ團體ト爲スコトヲ得ヘシ、即チ化學的検査局及藥劑取締局是レナリ斯クノ如ク二十ヶ所ニ代フルニ僅カニ二ヶ所ヲ以テセンカ、諸設備ノ費用著シク減少スルノ益アルミナラス、日常ノ行動上ニモ亦大ナル便利ナクンハアラス、右ニ述ヘタルカ如キ現行ノ國家衛生機關ヲ尙ホ一層擴張スル必要ナルコトハ今更喋々ヲ要セサルナリ、然レトモ之レヨリ其必要ナル度合尙ホ一層甚ハタシキ問題アリ、此問題タルヤ極メテ重要ナルニモ拘ラス、今日世人ノ注意ヲ左マテ惹キ居ラサリシナリ、所謂其ノ問題トハ何ソヤ、曰ク疾病ノ原因研究調査ノ事、

疾病ノ蔓延ヲ誘致スル状態ノ事、疾病ヲ豫防スルニ必要ナル方法等ニ關スル問題はレナリ、而シテ此等ノ問題ハ固ヨリ國家問題中ニ屬セシンハアラス、然ルニ文明ヲ以テ世界ニ誇レル我國民ハ斯ル問題ヲロツクフロローラー、フヒツツブス若クハ、ラツセル、セーヂノ如キ博愛慈善ノ心深キ一私人ノ手ニ委ネテ顧リミサルモノ、如シ、何ソ其レ思ハサルノ甚ハタシキヤ、今マ此等ノ問題ニシテ善ク解決セラレタリトセンカ管ニ人民ノ怡樂幸福ヲ増進スルノ益アルノミナラス、經濟上ノ點ニ於テモ亦大ニ利スル所ナクンハアルヘカラス、嗚呼亦タ重要ナル問題ナラスヤ、

國家的衛生局トシテ適ニ爲スヘキ事柄ノ内單純ニシテ最モ大ナルモノハ教育事業ナルモノ是レナリ、尙ホ之ヲ詳言センカ、合衆國ノ人民中ニ教育ノ普及センコトヲ計リ、中ニ就テ既ニ豫防シ得ヘキ疾病ナリト證明セラレタランモノハ、之ヲ治癒根絶セシメ得ヘキコトヲ知ラシムル手段ヲ取ルカ如キコト是レナリ、而シテ斯ル手段ヲ取ルコトハ左マテ困難事ニハアラサルナリ、國家的衛生局カ農務省ノ取レル方針ニ從ツテ其事ヲ取ランニハ甚ハタ都合ナルヘキナリ、農務省ハ左記ノ如キ事柄ヲ農夫ニ教ヘ知ラシメテ以テ著シキ好結果ヲ奏シタリシナリ、曰ク各種ノ草木野菜類ニ及ホス諸ノ虫害及家畜ノ疾病ノ驅除撲滅等ニ關スル手段方法ヲ詳細ニ農民ニ教ヘ知ラシムルカ如キコト是レナリ、國家的衛生局ヲ設立スル所以ハ蓋シ此意ニ外ナラサルナリ、乃チ諸種ノ傳染性疾病ハ固ヨリ言フヲ要セス、其他アラユル疾病ニ至ルマテ之ヲ救治撲滅スル手段方法ヲ人民ニ教ヘ知ラシメサルヘカラス、是レ其職責中ノ重モナルモノト謂ツヘキナリ、斯クノ如キ事柄カ果シテ善ク實行セラレタリトセンカ、國家ノ利益タルコト幾百萬弗ト云フヲ知ラサルナ



リ即チ從來豫防シ得ラルヘキ疾病ニ罹リテ空シク死亡シタルカ爲メ、國家ノ損耗トナリタル幾百萬弗ハ適當ナル豫防法ニ依リテ費ヤスコトナクシテ事済ムヘケレハナリ、

衛生事業發展ノ甚ハタ必要ナルコト概ネ右ニ述ヘタルカ如シ、誰レカ之ニ就テ異論ヲ唱フルモノアラシヤ抑モ此衛生事業タルヤ前段ニ述ヘタルカ如ク吾人ノ有形的富、國民ノ安寧及生命等ニ最モ重要ナル關係ヲ有セスンハアラス、合衆國政府部内ノ或ル人ノ説ニ曰ク衛生ノ事タルヤ國家事業トシテ之ヲ實行スヘキハ今更贅スルノ要ナシ、然レトモ政府部内ニ斯ル衛生機關ヲ設立スルニ就テハ夫々適當ノ様式ナカルヘカラス、之ニ關スル職責等モ定メサルヘカラス、又タ斯ル機關設立ニ就テハ内閣ノ範圍ヲ一層擴張スルカ、其範圍ハ從前ノ儘ニ据ヘ置クカ、此邊ノ事モ何レカ決セサルヘカラスト、然レトモ今マ子ノ見ル所ヲ以テスレハ、政府ニ於テモ衛生機關ノ規模ヲ大ニシテ之ヲ實行スルノ必要アリト認メタル以上ハ出來得ヘキ丈ケ速カニ實行セサルヘカラス、之カ様式手續等ニ關シテハ重キヲ置カサルモ敢テ妨ケナカルヘシ、合衆國政府ノ意見カ右ノ如クナリシコトハ、此衛生事業ニ關スル合衆國政府ノ諮問案ニ對シテ、ドクトル、ウキレ一氏ノ爲シタル答案ニ依リテ自カラ明ラカナルヘシ、今マ其答案ノ概要ヲ舉クレハ左ノ如シ、

『今マ子ノ見ル所ヲ以テスレハ衛生機關ノ命名ノ如キハ毫モ意トスヘキモノニアラス、如何ナル名ヲ附スルモ更ニ妨ケナカルヘシ、畢竟スルニ衛生事業ノ實サヘ舉カレハ足ランノミ、即チ公衆衛生、一般教育及國民全部ノ安寧ヲ増進セシムルコトヲ得ハ足ランノミ、サレハトテ直接ニ商業及農事ヲ發達セシムルモノト混同スヘカラス、各種ノ慾望ヲ満足セシメント欲スルモ其健康ナラスンハ能ハサルナリ、其

身健康ナランヲ欲スルモ衛生其宜シキヲ得スンハ能ハサルナリ、衛生ノ忽カセニスヘカラサルコト得テ知ルヘキノミ、此ニ於テカ公衆衛生事業ヲ増進セシムヘキ機關ナクンハアルヘカラス、而シテ其機關ノ名ノ如キハ彼レ此レ論スヘキモノニアラス、其實サヘ舉ラハ足ランノミ』

政府カ公衆ノ安寧ヲ圖ランカ爲メニ或ル行動ヲ取りタルノ場合、人民ノ側ニ於テハ之ヲ干涉政略トシテ非難スルコトアリ、彼ノ桑港ニ「ベスト」ノ發生シタル場合ノ如キハ則チ是レナリ、尙ホ之ヲ詳言センカ、飲食物取締條例ニ照シテ腐敗セル飲食物ヲ販賣スルモノヲ處分スル場合ノ如キ是レナリ、尙ホ此外此飲食物取締條例ニ基キテ或ル飲食物ノ發賣ヲ禁止スル場合アリ、然ルニ斯ル飲食物ノ營業者ハ是レ政府ノ干涉政略ナリトテ、絶叫スルニ至レリ「ベスト」流行ニ際シテ右ノ如キ衛生的處分ヲ干涉政略トシテ非難スルコト管ニ斯ル營業者ノミニ止マラス、尙ホ其他ニモ少ナカラサルナリ、斯ル營業者ノ背後ニ上下兩院ノ代議士ナルモノアリテ左ノ如キ意見ヲ述ヘテ聲援ヲ與ヘタリ、曰ク今日國民衛生上ノ有様ヲ見ルニ農事衛生、軍事衛生、及商工業衛生等アリテ餘リニ衛生上ニ重キヲ置キ過キルモノ、如シ、既ニ重キニ過キタランニハ從ツテ之カ弊害ナクンハアラズ、須ラク注意ヲ深クセスンハアルヘカラスト、尙ホ此外斯ル營業者ノ後援者ト謂ツヘキモノアリ、高等官ノ内ニ衛生上ニ關スル現行法律ハ實業上ニ妨害ヲ與フヘキモノナレハ之ヲ廢セサルヘカラスト主張スルモノアリ、此外ニモ現行ノ衛生上ノ施設ヲ非難シ衛生官吏ヲ攻撃スルモノ少ナカラス、然レトモ斯ル攻撃非難ノ論據トスル所極メテ薄弱ニシテ毫モ取ルニ足ラサルモノナリ、我亞米利加人タルモノ少シク自カラ注意シテ判斷シタランニハ利弊得喪ノアル所自カラ判然スルニ至ルヘキナリ、試ミ



108  
ニ思ヘ疾病豫防法ノ如キ衛生上ノ施設ニ重キヲ置カサラシカ、前段ニモ述ヘタルカ如ク我米國ノ同胞六十萬人ハ毎年空シク墳墓ノ中ニ埋葬セラル、ニ至ルヘキナリ、斯クテモ尙ホ衛生上ノ施設ハ干涉政略トシテ攻撃非難スヘキカ、何ソ其レ思ハサルノ甚ハタシキヤ、

## 養 老 年 金 制 度

### 總 目 録

#### 第 一 編

- 一 國民全般ニ及ホスヘキ養老年金制度ノ公正ニシテ且ツ必要ナル事
- 一 勞働大數ノ現況及將來ノ有様如何
- 一 勞働者ノ現況ニ至レル原因
- 一 老者尊敬心ノ缺乏及其原因
- 一 國家經濟上ノ景況
- 一 近時ノ立法及其影響
- 一 ヘンリー、ゼオヂ及トウマス、カーライルノ説話
- 一 婦人、幼童及教育ニ就テノ法律
- 一 養老年金トシテ支出セラルヘキ金額ニ就テノ恐怖
- 一 往時ノ賃銀物品差引計算法
- 一 國民ニ及ホスヘキ養老年金
- 一 養老年金制度、保守的方法



一 養老年金制度ノ公正ナル事

第 二 編

一 人民ノ生活狀態及品性ニ及ホス影響

一 家賃、税金及節儉

一 賭博及或ル節儉法ノ事

一 其他節儉ノ重要ナル事

一 節儉ノ原理

一 佛蘭西人、其農夫及其都人士

一 現行制度ノ身心ニ及ホス影響

一 貧民ノ家庭生活上ニ及ホス影響

一 貧困及酒飲ノ事

一 慈善事業ニ影響ヲ及ホス事

一 養老年金及乞食ノ事

一 若干ノ資産アル中等社會ニ及ホス影響

第 三 編

一 本問題ニ關スル經濟觀

一 勢力維持ノ事

一 中年勞働者ノ體力ニ及ホス影響

一 戸外救助ノ事

一 養老年金仕拂ノ方法

一 年金制度ニ要スル費用ノ事

一 廣ク一般ニ給與スヘキ養老年金制度實行費ト他ノ事業ノ實行費トノ比較

一 實行費用及利得ノ概略

養老年金制度總目錄略

第 一 編

國民全般ニ及ホスヘキ養老年金制度ノ公正ニシテ且ツ必要ナル事

皇立委員會ノ報告カ公然世ニ發表セラレタルハ實ニ是レ一千八百九十八年七月八日ナリ、抑モ此皇立委員會ナルモノハ養老年金ニ關スル諸種ノ論說意見ヲ研究調査センカ爲メニ設置セラレタルモノニシテ、之カ研究調査ニ三ヶ年間ヲ費シ茲ニ初メテ其研究調査ノ結果ヲ發表シタルモノ是レナリ、

然ルニ此報告書タルヤ或ル個所ニ於テハ熱心ニ歡迎セラレサリシナリ、即チ從來貧民中ニ於ケル老年者ノ現在ノ有様ヲ改良セント欲スルモノニ取リテハ、不満足ヲ感セシムルノ觀ナキ能ハス、然レトモ予ノ見ル所ヲ以テスレハ此報告書ニ就テハ世人尙ホ未タ何等ノ評論ヲモ下サ、ルモノト謂ツヘキナリ、試ミニ見ヨ



國會議員中一致黨ノ如キハ此報告書ニ就テ何等ノ斷案ヲモ下サ、ルニアラスヤ、然レトモ此等ノ事ニ關シテ長ク喋々スルハ予ノ本意トスル所ニアラサルナリ、然レトモ此報告書ニ對シテ予自カラ評論ヲ下サント欲スル點ナクンハアラス、即チ彼ノ委員等カ其報告書中ニ於テ論述シタル意見ニ對シテ評論ヲ下サント欲スルモノ是レナリ、今マ其委員會ノ所論ヲ舉レハ左ノ如シ、曰ク抑モ養老年金制度ナルモノハ強制的性質ノモノニアラス、又タ國民全般ニ及ホスヘキモノニアラスト、今マ予ノ意見ヲ以テスレハ斯クノ如キ所論ハ決シテ理ノ當然ト云フヲ得サルナリ、然レトモ是レ委員等ノ意見ニ外ナラサルナリ、蓋シ斯ル意見ヲ懷ケルモノ獨リ此等ノ委員ノミニアラサルナリ、試ミニ見ヨ紳士中最モ卓拔ナル人物ニシテ、殊ニ現時大藏大臣ノ職ニアルミケール、ヒツクス、ヒーチ氏ノ如キモ、國民全般ニ及ホスヘキ養老年金制度ハ粗暴ニシテ穩當ナルモノニアラスト云ヘリ、ヨセフ、チャンパー、レエン氏モ亦タ是レ斯ル年金制度ハ實行セラルヘキモノニアラスト云ヘリ、今マ現政府ノ意見ニ從ツテ組織セラレタル委員會ニシテ斯ル説ヲ立ツハ亦タ止ムル得サル次第ト謂ツヘシ。

右ノ如キ意見ヲ以テ養老年金制度ニ關スル諸説ヲ研究調査シタランニハ、其結果トシテ養老年金制度ハ皆ナ是レ實行スルコト能ハサルニ至ルヘシ。

予ハ全ク右ノ如キ結論ニ到達セリト雖モ、去リトテ此養老年金制度ハ皆ナ是レ何タル利益ヲモ生セサルモノナリト云フヲ得サルナリ、然レトモ之ヲ實行セシムルノ費用莫大ニシテ社會ノ必要ニ應スルニ不適當ナルノ觀ナクンハアラス、此ニ於テカ彼ノ皇立委員會カ養老年金ニ關スル一ノ方法及總テノ方法ヲ拒否シタ

ルハ公益ヲ爲シタルモノト謂ツヘキナリ。

養老年金制度ヲ社會公共事業トシテ法律上之ヲ實行セシメント欲スルハ、決シテ其當ヲ得タルモノニアラストノ説ヲ懷クモノアリ、斯ル人ヨリ彼ノ委員會ノ報告書ヲ讀過シタランハ必ラス歡迎セラル、ニ相違ナカルヘク、從ツテ其委員會ノ意見ヲ認見トハ見做ササルヘシ、今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ斯ル意見ハ畢竟スルニ一種ノ偏見ニ過キササルナリ、斯ル偏見ヲ懷ケルモノカ世間ニ數多アルヘシトモ思ハレサルナリ、予ハ斯ル偏見者ニ向ツテ左ノ如キ警告ヲ爲サント欲ス、曰ク養老年金ノ問題タルヤ直接ト間接トヲ問ハス、一國人民ノ大多數ノ感情ニ非常ノ影響ヲ及ホサスンハアラス、然ルニ今マ斯ル重大ナル問題カ如何トモ解決スル所之レナシトセンカ、是レ國家社會ヲ危難ニ陥非ラシムヘキ由々シキ一大事ト云ハサルヘカスラス、サレハ苟クモ我カ同胞兄弟ヲ愛シ國家社會ヲ愛シ公道正義ヲ愛スルノ士ハ、養老年金問題ノ解決ノ片時モ速カナランコトヲ願ハサルモノハナカルヘシ。

抑モ予カ養老年金問題ノ研究ニ身ヲ委ヌル所以ハ他ニアラス、國民大多數ノ感情ニ非常ノ影響ヲ與フヘキ一大問題タレハナリ、而シテ今マ左ニ記載セントスル數頁ハ予カ此問題ニ關シテ思念考慮ヲ費シタル結果ニ外ナラサルナリ、予カ此問題ノ研究調査ニ從事スルヤ決シテ一朝一夕ノコトニアラス、指ヲ屈スレハ既ニ二十年ノ久シキニ亘レリ、而シテ予ハ圖ラスモ初メテ此問題ヲ解決スルノ答案ヲ得タリシナリ、即チ養老年金制度ハ廣ク一般ニ施行セサルヘカラサルノ説是レナリ、而シテ此斷案ハ此問題ニ關スル最終ノ解決ト謂ツヘキモノナリ、蓋シ養老年金ノ事タルヤ社會的事業ト云ハサルヘカラス、予ハ個人主義ヲ取レルモノ



ニシテ社會黨ニ屬セサルモ、此事タルヤ社會的事業ト云ハサルヘカラス、予ハ論理上ヨリ事實ヲ研究スルモ之ヲ實驗上ニ徴スルモ、正理ニ適シテ且ツ實行スヘキハ廣ク一般ニ施コスヘキ養老年金制度ヲ措キテ其他ニ求め得ヘカラサルナリ。

チャムバーレーン氏ノ吾人ニ與フル所ノ説ニ曰ク養老年金制度ノ當否ヲ決セント欲セハ、先ツ第一ニ相當ノ試験ヲ爲サ、ルヘカラスト、然レ共今予ノ見ル所ヲ以テセンニ此問題ニ關シテハチャムバーレーン氏ヨリモ尙ホ一層深ク研究シタル人モアルヘキナリ、今マチャムバーレーン氏ノ主張スル要領ヲ擧クレハ左ノ如シ、曰ク予ハ過去ノ事實ニ徴シテ推斷シタル結果トシテ三種ノ結論ニ到着シタリ、第一、強制的性質ノモノニアラス、第二、養老年金ヲ國家ノミハ負擔ト爲スヘキモノニアラス、即チ總テ六十五歳以上ノモノニ對シテ無差別ニ年金ヲ給與センカ爲メニ納税者ヲ苦シマシムヘキモノニアラス、第三、養老年金給與ニ就テハ勤儉ノ氣風ヲ失ハシムル所アルヘシ、好シ然ラストスルモ勤儉ノ氣風ヲ鼓舞獎勵スヘキモノニアラス、尙ホ之ヲ詳言センニ養老年金制度ノ實行ヨリ生スル所ノ利益ハ、之ヨリ生スル弊害ヨリ一層少キモノナリ、即チ弊害多クシテ利益少キモノト謂ツヘキリ。

予ハ今チャムバーレーン氏ノ意見中第一項ニ就テハ如何トモ評論ヲ下スノ必要ナシト思惟ス、是レ他ナシ養老年金制度ナルモノハ強制的ニ爲スヘカラサルコトハ、何人ト雖トモ異論ナキ所ナレハナリ、而シテ其第二項ニ對シテハ予モチャムバーレーン氏ト同一ノ意見ナルカ、尙ホ予ノ意見ニテハ年齢六十五歳ニ達シタル者ニ對シテハ、一週間ニ就テ六志ノ養老年金ヲ國家即チ納税者ノ負擔ト爲スヲ至當ノ事ト信ス、予自

カラ想フニチャムバーレーン氏ニシテ予ノ斯ル説ヲ耳ニシタランニハ、如何ナル證據アリテ然カ言フヤト反問スルニ相違ナカルヘシ、予ハ此反問ニ對シテ左ノ如ク言ハント欲ス、曰ク予ハ既ニ其證據ヲ示シタルナリ、予ハ一般ニ廣ク實行スヘキ養老年金制度ノ問題ヲ調査スルニ際シテ其證據ヲ與ヘンコトヲ約シタリシナリ、而シテ今ヤ納税者即チ國家カ其負擔トシテ養老年金ヲ給與スルノ當然ナルコトヲ述フレハ足ランノミ。

チャムバーレーン氏ノ意見中第三項ニ對シテ予ハ決シテ不同意ヲ唱フルモノニアラス、全く同意ヲ表スルモノナリ。

斯クテ今マ予カ論述セント欲スル事柄ハ左ノ如シ、曰ク養老年金制度ヲ國家事業ト爲シテ廣ク一般ニ實行スルノ至當ナルコトヲ論述セント欲スルコト是レナリ、即チ一般ノ國民ヨリ納付シタル税金中ヨリ養老年金ヲ給與スルノ至當ナルコトヲ述ヘン欲スルコト是レナリ。

予ハ今マ論旨ヲ三大要點ニ分チテ叙述セント欲ス、乃チ第一ニ曰ク彼ノ皇立委員會ノ報告ハ去ル七月中ノ發表ニ係ルモノナルカ、今マ其報告スル所ニ據レハ偏頗ナル方法ハ皆ナ是レ採用スヘキモノニアラサル事其第二ニ曰ク凡ソ思慮深キ者ハ七月八日發行ノ「タイムズ」紙上主筆記者ノ所論ニ對シテ贊同ノ意ヲ表セサルモノハナカルヘシ、其所論ノ大要ニ曰ク國民中ノ多數カ殆ント自活スルノ途ナク、公私慈善團體ノ救助ヲ受ルカ、若クハ其親戚故舊ノ厄介ニナリテ生活シ居レルハ、實ニ悲惨ナル事柄ニシテ且ツ國家ニ取リテ危険ナル顯象ナリト云フモ敢テ不可ナキナリト、而シテ其第三ニ曰ク彼ノ報告書中ニ記載サル、所ヲ見ル



二、從來養老年金ニ關シテ提出サレタル方法ハ之ヲ調査シタルニ皆ナ是レ實行シ得ヘカラサルモノナリト斷案ヲ下シタルルモノ、如シ、然レトモ今マ予カ考フル所ヲ以テスレハ斯ク斷案ヲ下シタルノミヲ以テ決シテ足レリトスヘキモノニアラス、養老年金給與ニ關シテハ無害有益ナル好方法ナクンハアルヘカラス、然ルニ我國民ノ有様ヲ見ルニ廣ク一般ニ實行セラレ、ヘキ養老年金制度ハ、自分達ノ双肩ニ負擔スヘキ義務タルコトヲ知ラサルモノ、如シ、抑モ我國民タルモノハ或ル條件ノ下ニ斯ル養老年金制度ニ賛同スルノ用意ナクンハアルヘカラス。

所謂其條件トハ何ソヤ、請フ左ニ之ヲ叙述セン。

第一、養老年金制度ノ基礎トシテ人ト人トノ間柄ニ正義公道、社會ト其社會ヲ組織セルモノトノ間柄ニ於ル正義公道ナクンハアルヘカラス。

第二、此制度ハ國民ヲシテ確乎タル獨立ノ精神ヲ減殺セシムヘキ傾向ナカラシムコトヲ要ス、又タ勤儉ノ氣象ヲ減少セシメス、反ツテ益々此氣象ヲ發達セシムヘキモノタラサルヘカラス。

第三、此制度ヲ實行シタル結果トシテ經濟上國家ノ生産力ヲ増加シ、毫モ之ヲ損失セシメザランコトヲ要ス

尙ホ之ニ加フルニ此制度實行ノ結果トシテ彼ノ親愛協會ノ如キモノカ、其組織上ニ好影響ヲ蒙ムランコトヲ要ス。

養老年金ノ方法ニシテ果シテ能ク以上述ヘタル條件ニ適合スルトセンカ、是レ國家ノ幫助ヲ助クルニ足ル

ヘキモノト謂ツヘキナリ。

今マ試ミニ國民一般ノ有様ヲ見ヨ、最近五十年間ニ於テ如何ニ進歩發達セシカヲ見ヨ、労働者ノ備役法ハ一層紀律正シク、其賃銀ハ一層高クナリ、購買力ハ殆ント一倍シタリ、是レ皆ナ疑フヘカラサル事實ナリ然レトモ今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ労働者中ニテ年齢六十五歳以上ノ老人カ、社會ノ有様ノ斯ク發達進歩シタルカ爲メ、相當ノ餘澤ヲ享受シタリトモ見ヘサルナリ、是レ養老年金制度ヲ研究調査シタルモノノ能ク知ル所ニアラスヤ、試ミニ見ヨ社會ノ有様如何ニ發達進歩シタカラトテ、斯ル老人ノ職業決シテ増加スヘキニアラス、却ツテ減少シタリシナリ、又タ一般ノ賃銀ハ増加シタルニモ拘ラス、老人ノ賃銀ハ決シテ多キヲ加ヘス、寧ロ一層減少シタル場合少ナカラス

今日老人ノ現況ハ全ク右ノ如クナラスヤ。

予ハ此等ノ事實ヲ尙ホ一層明カナラシメンカ爲メニ、次編ニ於テ労働社會ノ大多數ノ現況ニ關シテ聊カ論述スル所アラントス。

#### 労働者ノ大多數ノ現況及將來ノ有様如何

均シク是レ下層労働者ノ名アルモ其内中等以上ト見做サル、モノハ姑ラク之ヲ差シ措キ、其以下ニ屬スル労働者ノ大多數ノ今日ノ有様ヲ見ルニ、實ニ言フニ忍ヒサル悲惨ノ状態ナラサルハナシ、今日ノ有様ヲ以テ將來ヲ推スニ何タル望ミモ之レナシト云ハンノミ、嗚呼亦タ歎スヘキノ至リナラスヤ。

試ミニ各種ノ業ニ從事スル普通労働者ノ今日労働シ居ル有様ト其生活状態トヲ見ヨ、予ノ言ノ虚ナラサル



ヲ證スルニ足ルモノアラン、今マ我國ノ一端ヨリ他端ニ亘リテ農業ニ従事スル労働者ノ全般ヲ見渡スニ、養老ノ手當トシテ僅カニ一錢タモ貯ヘ置クノ餘地アルヤ否ナ、其之レナキニ至リテハ何人モ疑フ所ナカルヘシ。

均シク是レ労働者ノ名アルモ或ハ若干ノ熟練ヲ要スルモノアリ、或ハ何タル熟練ヲモ要セスシテ何人ニテモ出來得ヘキモノアリ、而シテ前者ハ其ノ業務日々繼續シテ得ル所ノ賃銀モ一層高キモノナリ、然レトモ後者ニ至リテハ必ラス日々仕事ノ繼續スヘキモノニアラス、時ニ或ハ仕事ノナキコトモアリ、從ツテ其ノ得ル所ノ賃銀モ前者ヨリ一層低下セルハ、理數ノ然ラシムル所ト云ハサルヘカラス、此種ノ労働者トハ何ソヤ、建築工事、船渠築造工事等ノ下働ヲ爲ス土方人夫其他熟練ヲ要セスシテ何人ニモ出來得ヘキ荒仕事ヲ爲ス者ノ類是レナリ、他ノ若干ノ熟練ヲ要スヘキ労働ニ従事スルモノトハ何ソヤ、鐵工場其他器械製造所等ノ工事ニ身ヲ委ヌルモノ是レナリ、此等ノ労働者ト雖モ固ヨリ生活難ナクンハアラス、然レトモ彼ノ土方人夫ノ如キ其業務斷續シ從ツテ其得ル所ノ賃銀低廉ナルニ比スレハ固ヨリ優レル所ナクンハアラス、土方人夫ノ如キニ至リテハ其生活難ノ甚ハタシキ實ニ云フニ忍ヒサルモノアリ、其衣食住ノ有樣得テ想像スヘク日々ノ生計ヲ營ミタル外、彼ノ親愛協會ノ會費ヲ辛フシテ拂ヒ得ルノ有樣ニテ其他ヲ望ミ得ヘカラスナリ、或ハ此等ノ労働者中非常ノ注意ト決心トヲ以テ貯金ヲ爲スモノナキニアラサルヘシ、固ヨリ生計ノ困難ナルモノナレハ其貯金ノ極メテ少額ナルコトハ言フヲ要セス、而シテ其貯金ヲ爲スノ困難ナルコト云フヘカラス、斯ク貯金ヲ爲サンニハ出來得ヘキ丈ケ其活計ノ程度ヲ縮小セサルヘカラス、自分及其家族ヲシ

テ殆ント饑寒ニ耐ヘサラムルマテニ至ラスンハ能ハサルナリ、蓋シ斯クノ如キ貯金ノ心掛アルモノハ千百萬中僅カニ一二アルノミニシテ、全ク例外ニ屬スルモノト云ハサルヘカラス、之ヲ以テ一般ノ労働者皆ナ然リト推斷スヘキモノニアラス、労働者中斯クノ如キ心掛ノ者アルカラトテ労働者生活ノ状態ヲ變セシムヘキモノニアラス、其得ル所ノ賃銀ヲ以テ日々ノ生活費ヲ支拂フタル後尙ホ餘裕アルモノト推斷スルコト能ハサルナリ、斯クノ如キハ只タ例外ナリト云ハンノミ。

今マ假リニスル労働者ノ多數カ五十年前ニ於テ其祖先達カ生活シタル程度ト全ク同一ノ程度ニテ生活シ得ルモノトセンカ、尙ホ之ヲ詳言センカ、此等ノ労働者ノ多數カ日常ノ費用ヲ生活ニ最モ必要ナルモノノミニ限リテ「ビール」其他ノ酒類ニ充ルコトナク、飲食物ヲ極メテ質素ニシ、又タ其住居ノ如キモ五十年前ニ於ケル其祖先達カ住ミタル住居ノ如ク出來得ヘキ丈ケ低廉ナル家賃ノ家屋ニ住居シ、其他此等ノ労働者カ今日浪費スル一切ノ費用ヲ出來得ヘキ丈ケ節約シ得ラル、トセンカ、天ノ未タ陰雨セサルニ追ンテ漏戸ヲ網繕シ、夙ニ老後ノ計ヲ爲シ置カンハ左マテ困難ノ業ニアラサルヘシ、然レトモ斯クノ如キ事ハ一種ノ想像ニシテ現實ニセラルヘキモノニ非ラス、試ミニ今日下層労働者ノ状態如何ヲ見ヨ、其衣食住ノ程度五十年前ニ於ル其祖先達ニ比較シテ著シク贅澤ニナリタリト云ハサルヘカラス、今マ社會ノ各階級ノ有樣ヲ見ルニ其衣食住ノ程度自分ヨリ一層上位ニ立ツモノニ倣ハント欲スルモノ滔々タル天下皆ナ是レナリ、下層労働者モ亦タ是レ此渦中ヲ脱スルコトヲ得ス、時勢ノ推移ト共ニ其衣食住ノ程度其祖先達ト比スヘクモアラサルカ故ニ、老後ノ計ヲ爲スカ如キ餘地ヲ見出スコト能ハサルナリ。



労働者ノ前途ニシテ斯クマテ望ミナキコト事新ラシク今日ニ始マリタルニアラス、往古ヨリ既ニ然ラスンハアラス、下層労働者ノ前途僅カニ一縷ノ望ミト云ヘルハ、老後養育院ニ入ルノ一事アルノミ、試ミニ視ヨ只タ眼前ノ愉樂ヲ貪ホルコトノミヲ知リテ深ク將來ヲ慮カラサルノ弊風ハ、獨リ富豪家及中等ニ位スル人ノミニ止マラス、労働者職工等ノ下層社會ニモ亦タ此弊風ハ蔓延シ來ラサルハナシ、富豪家等ハ論外ナリト雖モ前途養育院ニ入ル一途アルノミト云ヘル労働者ニ取リテハ、眼前ノ愉樂ヲ殺イテ將來ノ計ヲ爲スコト能ハサルカ、去リトテハ亦タ歎スヘキノ至リナラスヤ。

右ノ如ク論シ來レハ労働者ノ有様果シテ如何ソヤ、即チ彼ノ何等ノ熟練ヲモ要セサル土方人夫等ノ労働者ノ有様果シテ如何ソヤ、其大多數ハ其生計世渡リノ前路只ダ暗憊迷朦タル陰雲ノ蔽フアルノミ、然レトモ時ニ或ハ斯ル労働者中ニモ特別ノモノナクンハアラス、即チ其儕輩中一層傑出シテヨリ多クノ賃銀ヲ得ヘキ職工トナルノ類是レナリ、尙ホ之ヲ細説スレハ左ノ如シ、曰ク時勢ノ變遷ト共ニ器械力ノ新工風ニ成レルモノ起ラスンハアラス、從ツテ此器械力運用ニ適當ナル職工ナクンハアルヘカラス、労働者中ヨリ斯ル職工傑出シテヨリ多クノ賃銀ヲ得ヘキ地位ノ一層高キ職工トナルノ類是レナリ、今マ假リニ中年ニシテ斯ル職工トナリタリトセンカ、尙ホ此上進シテ貯金等ヲ爲シ以テ老後ノ計ヲ爲サント欲スルモノ幾人カアル、實ニ寥寥タランノミ、是レ他ナシ金錢ヲ浪費スル從來ノ惡習慣ヲ脱スルコトヲ能ハサレハナリ、斯ク一旦向上シタルモノニシテ中途失敗セサルモノハ殆ント稀レナリ、今マ比喻ヲ以テ其有様ヲ形容センカ、此等ノ職工ハ恰カモ弱小ナル商船ニ乘リテ大海ヲ航スルニ異ナラス、其航海ノ途中難破セサルハ殆ント稀レナリ、其難破シタル後ノ有様實ニ悲慘ニ堪ヘサルモノアリ、其原形ニ復セシメンハ決シテ容易ノ業ニアラス、且ツ其業務ヲ繼續スルノ見込殆ント是レナキナリ、今マ斯ル難船ニ遭遇スルコト幸ヒニシテ強健旺盛ノ壯年時代ナランニハ、此難關ヲ切り抜ケテ恢復スルノ望ミナキニアラサルヘシ、然レトモ斯ル遭難ハ概シテ中年以上ニシテ耳目體力共ニ是レ大ニ損耗シタル際ナレハ亦タ如何トモスルコト能ハス、空シク其死ヲ待ツカ若クハ養育院ニ入ルカ、二者其一ニ居ラスンハアラス。

#### 老年人ノ現状ニ至レル原因

國民一般ノ有様ハ般富繁盛ト謂ツヘキニ獨リ老年人ノミ悲境ニ陥リテ空シク呻吟シルハ果シテ何ノ故ソ、其大原因ハ果シテ何クニカアル、是レ今日下層労働者中ノ老年人ニ對スル最モ痛切ナル問題ニアラスヤ、充分ナル解答ヲ與フルコト容易ナラサル難問題一ニシテ足ラサルカ、此問題ノ如キモ其難問題中ノ一ト云ツヘキナリ、去リトテ何タル解決ヲモ與ヘスシテ其儘ニ棄テ置クヘキモノニアラス、今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ斯ル老年人ノ悲境ニ陥リシ一大原因ハ左記ノ如キ點ニアリト謂フモ敢テ不可ナカルヘシ。曰ク各種ノ工業上ニ器械力ヲ應用スルコト、ナリタル事はレ其一大原因ト云ツヘキナリ、試ミニ見ヨ往時ニアリテハ諸種ノ製造業ノ方法急激ノ變化ヲ來サス、好シ其方法ニ何等カノ變化ヲ來スノ場合アリトスルモ、一時突如トシテ俄カニ來ルモノニアラス、其變化ノ起ルヤ甚ハタ緩慢タラスンハアラス、故ニ其工業ニ従事スル労働者カ年老イテ其體力氣魂好シ衰退スルモ、其經驗ニ富メル所アルヲ以テ其缺損ヲ償フニ足リ以テ尙ホ繼續シテ其業ニ従事スルコトヲ得ヘキナリ、今マ予ノ最モ實見スル所ニ據リテ之ヲ證サン



カ、予曾テ羊毛ヲ捌クニ手工ノミヲ以テセル職工ノ仕事ヲ目撃シタルコトアリシカ、老人ノ職工ノ爲ス所ト少壯ノ職工ノ爲ス所トヲ見シニ。其仕事ノ巧拙遲速二者ノ間ニ於テ左マテノ差異アルコトヲ見サリシナリ、斯ル時代ニ在リテハ年老イタル職工ト雖モ、尙ホ且ツ其業ニ従事スルコトヲ得ヘカリシナリ、然レトモ新工風ニ成レル器械力ノ諸工業ニ應用セラル、時代ニ至リテハ、工業上ノ有様全ク一變シテ老年ノ職工ハ之ヲ使フニ不利益ヲ感スルニ至リタリ、彼ノ羊毛捌キノ業ニ至リテモ最早老人ニテハ間ニ合ハサルコト、ナレリ、即チ少壯血氣ノ職工ニアラスンハ此等ノ器械運用ノ任ニ堪ヘサルコト、ナレリ、既ニ老年ニ達シタル職工ハ新タニ器械運用ノ術ヲ學ンテ而ル後ニ其業ニ就クノ餘力ナキナリ、此ニ於テカ老年ニ達シタル労働者ハ止ムナク其職ニ離レサルヲ得ス、是レ即チ下層労働者中老者ノ悲境ニ陥キリシ一大原因ニアラスヤ。

工業上大ニ人力ヲ省クヘキ新器械ノ應用セラル、コト、ナリシヨリ、之カ爲メニ大打撃ヲ蒙フルモノ獨リ老年ノ職工ノミニ止マラス、少壯ノ職工モ均シク是レ打撃ヲ受ケサルヘカラス、然レトモ後者ニアリテハ更ニ新器械運用ノ術ヲ學ンテ再ヒ其職ニ就キ得ヘキ機會ナキニアラサルモ、前者ニ至リテハ多クハ解雇サレタル儘不幸ニ陥セラサルヲ得ス。

新工風ニ成リタル織物器械ノ實地ニ應用セラレタル場合モ、亦タ是レ全ク同一ノ顯象ナクンハアラス。予カ曾テ實際遭遇シタル事柄ニシテ今マ尙ホ予カ記憶内ニ存シテ忘レサルモノアリ、請フ其概略ヲ左ニ記載セン、曰ク予カ恰カモ十八歳頃ノ事ナリシト覺フ、予カ自カラ關係セル小規模ノ毛布製造業ニ一ノ變動

起リ來レリ、其當時予等ノ使用セル職工ハ手織機ニテ若干ノ毛布ヲ一週間ニ織リ上ケテ其一週間ノ賃錢ニ十疋乃至二十一疋若シクハ之レヨリ以上ニ上ルコトアリ、或ハ之レヨリ以下ニ下ルコトアリ、勿論其仕事ノ巧拙其出來高ノ分量如何ニ依リテ多少ノ差異アルコト、知ルヘシ、然ルニ織物器械ノ應用セラル、コトトナリシヨリ其賃錢大ニ下落シ最初一週間ニ就キ九疋マテトナリシカ、後又タ下落シテ同シク六疋マテ落ちタリ、斯クテ稍ヤ暫ラクノ間ハ各織物工場ニ於テ手織機ト織物器械トヲ併用シタリシカ、幾許ナラスシテ織物器械カ跳梁跋扈シテ手織機ハ全ク顔色ナキニ至レリ、此ニ於テカ此等ノ器械運用ニ適スヘキ少壯血氣ノ職工ニアラスンハ其用ヲ爲サ、ルニ至レリ、乃チ年老イタル職工及女工等ハ從ツテ其職ヲ失ヒ、從來ノ手織機ヲ賣却シ器械力應用ノ織物工場ノ側ニ一小店ヲ開キテ、カスケク其日ヲ送ルカ、或ハ親戚故舊ノ厄介ニナルカ、或ハ養育院ニ入ルノ外他ニ途ナキノ悲境ニ陥非ラスンハアラス。

最近六十年間ニ亘リテ各工業ノ有様如何ヲ通覽スルニ、多少ヲ論セス器械力ヲ應用スルノ途開發セラレサルハナク、從ツテ老者ヲ排斥スルノ傾向之レナキハナシ、只タ之ヲ排斥スルノ度合ニ至リテ輕重強弱ノ差アルノミ、好シ之ヲ排斥スルコト極メテ甚ダシカラストスルモ、之ヲ歡迎スルノ痕跡ハ毫モ之レアラサルナリ、好シ又タ機械力ヲ應用スルノ途大ニ發達セス、同一ノ程度ニ停止シテ進歩ノ微候之レナシトスルモ、老人ハ之ヲ運用スルノ任ニ堪ヘサルナリ。

我國ノ大市邑小都府ヲ經過通行スルモノアランニ、老者及女子ノ窮境ニ陥キリテ路傍ニ呻吟シ居ル有様ヲ目撃シテ、誰レカ同情一掬ノ涙ヲ灑カサランヤ、斯ク老人女子ノ悲境ニ陥非レル有様ハ人ヲシテ人生ヲ悲



觀セシムルノ念起ラサルヲ得ス、サ、ヤカナル商業杯ヲ營ミテ細キ煙モ立テ兼ネル有様ハ、寧ロ乞食ノ方一層優シナラント思ハル、ハカリナリ、然レトモ彼等ハ乞食ニアラス、如何ニ窮境ニ陥リシト雖モ尙ホ一片ノ獨立心アリテ養育院ニ入ルヲ潔ヨシトセサルモノナリ、死ス水即チ萬事休スノ理ヲ悟レリ、獨立心アリテ養育院内ニ死スルヲ許サ、ルナリ。

斯ル老人ハ從來種々ノ職業ニ従事シタルコトアリ或ハ今尙ホ何等カノ職業ニ従事セリト雖モ、彼ノ器械ヲ運用スルニ足ルヘキ敏捷活潑ナル男子若クハ女子ノ爲メニ壓迫セラレテ實ニ憫レムヘキ境遇ヲスンハアラス、老人ノ斯ク貧困ニ陥ルルハ工業上ニ器械力ヲ應用スルコト、ナリタルヨリ生シタル新現象ニ云フヘキモノニアラス、時勢ノ變遷ト共ニ生スル所ノ諸ロノ變動ノ一タラスンハアラス、今マ其レ一國全般ノ上ヨリ之カ觀察ヲ下セハ、商工業大ニ發達シ殷富繁盛國運ノ進歩著大ナリト云ツヘキナリ、然レトモ下層社會ノ老人ハ其職業ヲ失ヒテ窮途ニ泣クノ慘狀ヲ呈セリ、何トカシテ之ヲ救済スルノ途ナキカ。

『大多數ノモノニ最大ノ利益ヲ與ヘヨ』是レ趣味深キ一種ノ金言ニアラスヤ、今マ茲ニ少數ノ者カ多數ノ者ニ壓制ヲ加フルノ事實アリトセンカ、斯ル場合ニ於テ此金言ヲ實地ニ應用センニハ、此等ノ多數者ヲ其壓制ノ下ヨリ救ヒ出サ、ルヘカラス、然レトモ斯ク多數ヲ益スルノ主義實行セラル、場合ト雖モ、尙ホ且ツ一種ノ弊害ナクンハアラス、即チ前者ト全ク反對ニシテ多數ヲ益スルト云ヘル名目ノ下ニ、鐵腕ヲ揮ツテ少數者ヲ壓倒スルコト是レナリ、彼ノ各工場ニ器械力ヲ應用スルニ至リシヨリ年老イタル労働者ハ其職ニ離レテ活計ノ困難ヲ感セサルヲ得サルカ如キハ、取リモ直サス多數ヲ益スルノ名ノ下ニ少數ノモノヲ壓迫スルモ

ノ是レナリ、労働者中器械力ニ依ラス手工ノミヲ事トシタルモノハ、其器械力ノ應用セラル、ヨリ其職ヲ離レテ窮境ニ陥ルルモノ多キハ既ニ前述シタルカ如シ、而シテ此等ノ労働者カ其窮境ニ陥リタル原因ハ全ク新工風ニ成レル器械ニアリトテ、此等ノ器械ヲ破却シテ舊體ニ恢復セントシタル事ハ珍ラシカラサルナリ、事物大勢ノ然ラシムル所亦タ如何トモスヘカラス、今マ吾人ノ眼ヨリ之ヲ見レハ労働者ノ斯ル暴擧ニ出ルハ愚策ノ極ニシテ一笑ニ付スルノ外ナキナリ、然レトモ労働者自身ノ立場ヨリ之レヲ見レハ畢竟スルニ止ムヲ得サルニ出テタリト云ハンノミ、決シテ嘲笑スヘキスモニアラス、彼等ト雖モ其愚策タリ無謀タリ無益タルコトヲ知ラサルニアラス、只タ空シク座シテ靜カニ自カラ亡滅セルヲ待タンヨリ、寧ロ餘憤ヲ暴擧ニ洩ラサント欲シタルマテナリ、其衷情眞ニ憫レムヘキ所ナクンハアラス。

以上吾人カ述ヘ來リタル現象ハ獨リ製造業ノ熾ンニ行ハル、都會若クハ之ト接近セル地方ノミニ限ラレサルナリ、農牧耕耘ヲ事トセル田舎間ニ於テスラ尙ホ且ツ斯ル現象ナクンハアラス、耕作シ得ヘキ廣大ナル地所ニ對シテハ既ニ蒸氣力ヲ利用スヘキ新發明ノ農具ヲ適用スルニ至リタリ、此ニ於テカ從來農耕業ニ従事シタル労働者ノ多數ハ自カラ其業ニ離レサルヲ得ス、新發明ノ農具ヲ實地ニ應用スル事ハ尙ホ未タ充分ニ發達スル所アラスト雖モ、兎ニ角農事労働者ニ大打撃ヲ與ヘタルハ亦タ蔽フヘカラサル事實ナリ、播種器械及其他農事ニ關スル諸種ノ器械カ實地ニ應用セラル、コトナリタラシニハ、之カ爲メニ人力ノ省カル、コトノ莫大ナルハ最モ賭易キコトナラスヤ、言ヲ換ヘテ之ヲ云ハ、人力ノ省カル、丈ケ其レ丈ケ他方ニ於テ其職業ヲ失フモノナクンハアルヘカラス、抑モ新工風新發明ノ器械カ實地ニ應用セラル、ヨリ從ツテ



生スル所ノ現象ハ、農事上ト工業上トノ間ニ於テ其度合ニ至リテハ輕重大小ノ差アリト雖モ、其現象ノ性質ニ至リテハ全ク同一ナラスンハアラス、老人ハ二者共ニ是レ其職ヲ失フテ悲境ニ沈淪セサルヲ得ス。說ヲ爲スモノアリ、曰ク新器械ノ實地ニ應用セラル、ハ結局勞働者ノ利益タラスンハアラス、他ナシ一定ノ時間ニ於テ仕事ノ出來高從前ヨリ一層多カルヘケレハナリト、然レトモ今マ子ノ考フル所ヲ以テスレハ新器械ノ製造サレシ以來數々斯ル說ヲ耳ニスル所ナルカ、畢竟スルニ冷血無情ノ人ノ說ニ過キサレノミ、成ル程此說一理アルカ如シト雖モ能ク事ノ真相ヲ觀察シ來レハ一概ニ然カク論斷ヲ下スヘキモノニアラス、今マ假リニ子カ不幸ニシテ其職業ニ離ル、トセンカ、而シテ其之ニ離ル、ノ原因ハ子ノ必要ヲ認メス、或ハ子ノ年老ヒタル爲メ、或ハ新工風ニ成レル器械運用ヲ知ラサルニアリトセンカ、子ハ今日生ヲ保ツモ明日餓死センモ知ルヘカラス、大ニ人力ヲ省キ得ヘキ新工風ノ器械ハ工業ヲ發達セシメ、從ツテ國家ヲ繁盛ナラシムル原因タルヘシト雖モ、他ノ一方ヲ顧リミレハ之カ爲メニ老者其職業ヲ失ヒ終ニ其死ヲ免カレサル悲惨ノ結果ヲ生スルニアラスヤ。

今マ左ニ記載セント欲スル事實ハ老者ノ苦境ニ陷リシ狀態ヲ證スルニ足ルヘキナリ、蓋シ其苦境ハ老若ト少壯輩トノ競争ヨリ生スルモノヨリ一層甚ハタシキモノト知ルヘシ、一我國民ノ多數ニ就テ年齢ヲ計算セシニ六十歳ニ達セルモノ、之ヲ最近四十年前ト比較シテ見レハ、其百分比ノ増加シタルコト殆ント其八ニ相當セリ、斯ク百分比ノ増加シタルハ或ル原因ナクンハアラス、恐ラクハ其原因一ニシテ足ラサルヘシ、然レトモ六十歳以上尙ホ生存スル數ニ至リテハ、四十年前ニ比較シテ稍ヤ減少シタルヲ見ルヘシ、即

チ六十歳以上ノモノ四十年前ニアリテハ男子ノ方百分ノ十三二分ノ一ナリシモノ、今日ニテハ同シク十三七分ノ一トナリ、女子ノ方百分ノ十四二分ノ一ナリシモノ、今日ニテハ百分ノ十四四分ノ一トナリシモノ是レナリ。

試ミニ今日一般ノ有様ヲ見ヨ、之ヲ往時ニ比スレハ、何レモ皆ナ著シク進歩發達セサルナジ、人ノ住居ト云ヒ、衛生上ノ諸設備ト云ヒ、飲食物ノ視察取締ト云ヒ、其他人ノ生命ヲ長カラシムヘキ事柄ノ進歩發達シタルハ、決シテ往時ノ比ニアラサルナリ、而シテ此進歩發達ノ利益ハ男女老幼共ニ均シク享受セサルナシ事既ニ然リ而シテ六十歳ニ達セルモノ之ヲ往時ニ比スレハ一層多キヲ加ヘ來リシナリ、然レトモ六十歳以上尙ホ生存スルモノ、數如何ト云フニ、此點ニ至リテハ往時ニハ及ハサルナリ、如何ナル原因アリテ斯ル結果ヲ生セシヤ、是レ大ニ研究スヘキ問題ナラスヤ、年齢六十歳ニ達セルモノ、數從前ヨリ一層多キニ、之レヨリ以上生存スルモノ、從來ヨリ少ナキトハ、是レ如何ナル現象ソヤ、其大原因ナクンハアルヘカラス。

#### 老者尊敬心ノ缺乏及其原因

下層社會ニ於テハ老人及婦女子ヲ尊敬スルノ情著シク減少シタリ、世人既ニ此事ニ注意シタルヤ否ナハ子ノ知ラサル所ナリ、子カ自カラ下層社會中ニ入り込ミテ此等ノ事實ヲ觀察シタルハ、左マテ長カラサル時日ナリト雖モ、宜シク老人ニ拂フヘキ尊敬ノ意著シク減少シタル事實ヲ確カメ得タリ、教育廣ク一般ニ普及シタル今日斯ル事實アルハ亦タ怪シムヘキ次第ナラスヤ。



然レトモ老人ノ斯ク他ヨリ尊敬セラレサルニ至リタルハ決シテ驚異スヘキコトニアラス、蓋シ相當ノ理由存スレハナリ、我國ノ各工場及農業地ノ各部ニ於テ労働ニ従事スル老人ハ第二位ニ立ツヘキモノトナレリ、老人ノ地位斯ク下落シタルハ其體力ノ衰弱シタル爲メニアラス、畢竟スルニ農工業ニ新工風新發明ニ係ル器械ヲ用フルコト、ナリ、此等ノ器械運用ハ専ラ活潑敏捷ノ少壯者ノ取扱フ所トナリテ、老人ニテハ到底其任ニ堪フヘカラス、既ニ労働ノ有様斯クノ如ク一變シタルカ故ニ、老人ノ意見判断力ノ如キハ全ク實用ニ適セサルモノトナリ、又手コソ其地位下落シテ第二位トハナリタルナレ、其下落ノ原因全ク此所ニアリ、毫モ其他ヲ顧リミルノ要ナシ。

抑モ少壯輩カ老人ヲ尊重恭敬スル所以ノモノハ、全ク其年老イタルノ故ニアラス、畢竟スルニ其年ヲ重スルト共ニ經驗ニ富ミ其判断力獨立心等壯者少年等ニ優ル所アレハナリ、然ルニ腦力ト熟練トヲ要セサル單純ナル労働ニ従事スル老人ニシテ、其他毫モ優レル技能之レナシトセンカ、其地位下落シテ其仲間ノ從僕同様トナルハ、情勢ノ然ラシムル所亦タ如何トモスヘカラサルナリ、老人ノ事既ニ此ニ至リタレハ最早ヤ其地位ノ進歩發展スルノ見込ナク、空シク少壯者ノ後ニ從ハンノミ、既ニ自重心ヲモ保ツコト能ハサレハ、他ヨリ尊敬セラレヘキ望ミ全ク之レナキナリ。

此等ノ老人カ止ヲ得ス從來ノ労働界ヲ去リテ一ノ雜貨商ヲ營ムモノアリ、或ハ高聲ニ物品ノ名ヲ呼ヒ歩キテ行商ヲ營ムモノアリ、然レトモ固ヨリ相當ノ資本アルニアラス、又タ適當ノ經驗アルニアラス、終日傭傭トシテ其得ル所果シテ幾許ヲヤ、斯クテ一身一家ヲ支ヘ兼ヌル有様ニテ、貧困ノ大敵ト惡戰苦闘スルノ

結果其生命ヲ短縮スルニ過キス、然レトモ其男性タルト女性タルト問ハス、斯ル悲境ニ呻吟シナカラモ尙ホ一片ノ感慨ナクンハアラス、即チ獨立自尊ノ心アリテ親戚故舊ノ世話厄介ニナルヲ好マス、養育院ニ入りテ殘年ヲ終ルヲ潔シトセサルノ氣象ヲ有スルコト是レナリ、然レトモ他方ヨリ之ヲ見レハ細烟モ上ケ得サルノ慘狀得テ想像スヘキノミ。

凡ソ我國ノ各工業ト最モ密接ノ關係ヲ有スルモノハ、予カ前述シタル事柄ニ對シテ首肯セサルハナカルヘシ。兒童及少年ニシテ老人女子ヲ侮辱輕蔑スルハ珍ラシカラサル事實ニシテ、讀者諸君ノ數々目撃セラル、所ナラン、而シテ諸君ハ斯ル事實ヲ見テ默止スルニ忍ヒス、此等ノ少年子弟ヲ非難シ且ツ云ハントス、曰ク此等ノ老人ハ御身達ヨリ智識一層優レル所アルニアラスヤ、然ルニ之ヲ侮蔑スルハ何事ソヤ、却ツテ是レ御身達自カラノ恥辱ナリト知ラスヤ。

年少子弟カ斯ク老人ヲ輕蔑侮辱スルハ固ヨリ善キコトニアラスト雖モ、是レニハ別ニ然カアルヘキ理由ナクンハアラス、今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ老人自カラ年少子弟ヨリ劣レルコトヲ知リテ、其平生ノ起居動作自カラ卑屈ニ陥井ラスンハアラス、然ルニ年少子弟ノ有様ハ全ク之ニ反シテ今日ノ渡世上何レノ所ニアルモ老人ヨリ一層優勢ニシテ、其得ル所ノ賃錢モ從ツテ一層多キカ故ニ、老人ヲ輕蔑スルニ至ルハ情勢ノ然ラシムル所ト云ハサルヘカラス。

今日労働社會ノ有様ヲ通覽スルニ其男性タルト女性タルトヲ問ハス、年老イタルモノ、悲慘ナル有様ハ實ニ云フニ忍ヒサルアリ、年齢六十五歳位マテハ男女トモ生計上可成リノ利便ヲ得來リタルモ、其レヨリ以



後ニ至リテハ毫モ價值ナキ無用物ト見做サレテ、社會ヨリ疎外セラル、ノ悲境ニ陥キラスンハアラス、其悲境ノ度合如何ヲ五十年前ニ比較センニ、今日ニテハ其度合最モ甚ハタシキヲ加ヘタリト云ハサルヘカラス。

#### 國家經濟上ノ景況

我々國民ハ今日一面ニ於テ殷富繁盛文明華麗ヲ以テ誇リ居レリト雖モ、他ノ一面ニ於テハ勞働社會中年老イタル者ノ悲境慘狀云フニ忍ヒサルモノアリ、衷心焉ンソ戰慄恐怖ノ念起ラサランヤ。

斯クノ如ク感シ來リテ今日ノ文明ノ有様ヲ見レハ、其實決シテ誇揚スヘキモノニアラサルナリ、飄ツテ我國商業上ノ有様如何ヲ願リミルニ、世界ノ商業統計ノ上ニ於テ從來ノ優勢ヲ失フタルノ觀ナクンハアラス、是レ他ナシ今マヨリ五十年前ニ在リテハ、商業上ニ於テ左マテ活動飛躍セサリシ國民等カ、我國ノ商業振ニ鑑ミテ奮發興起以テ世界ノ商業上ニ關係スルコ、ナリタル結果ニ過キサルナリ、然レトモ斯ル事實カアリタルカラトテ、我國民カ一大商業國民タラスト斷定スヘキモノニアラス、富榮ノ進歩發達茲ニ停止シタリト證言スヘキモノニアラス、試ミニ讀者諸君或ル報告書ヲ取リテ之ヲ讀メ、或ハ其然ル所以ヲ知了セラ、ナルヘシ、一封度ノ收入ニ對スル所得稅ハ如何、一人前ノ賃錢ニ對スル納付金ハ如何、外國ヨリ我國ヘノ輸入品ノ高ハ如何、我國ヨリ外國ヘノ輸出品ノ高如何等ヲ調査サレタランニハ、殷富繁盛ノ度次第ニ高マリ來レル國民タルコトヲ自覺セラル、ニ至ルヘシ、然レトモ他ノ一面ニ於テ云フニ忍ヒサル慘狀悲境ノアルアリ、此殷富繁盛ナル毫モ誇揚スヘキニアラサルナリ。

今マ吾人カ我周邊ヲ見回スニ皆ナ是レ我カ人生ヲシテ歡娛愉樂ヲ感セシメサルハナシ、錦衣玉食ハ云フモ更ナリ、金殿瑤臺五彩燦然殆ント眼眩セントスルハカリナリ、華美秀麗榮耀贅澤之ヲ五十年前ニ比スルニ其差異果シテ如何ソヤ、試ミニ見ヨ下層勞働社會ノミニテ愉樂ノ旅行ヲ爲サンカ爲メ汽車賃等トシテ年々支出スル所ノ金額ハ實ニ莫大ナラスンハアラス、又タ斯ル勞働者カ諸種ノ酒類ノ代價トシテ支拂フ所ノ金員ハ百萬弗ヲ以テ數フヘキ多額ニ登レリ、其他吾人カ玉突、野球等諸種ノ遊戯、芝居、音樂、競馬等ノ爲メ費ヤス所ノ金額ハ殆ント想像シ得ヘカラサル程ナリシ、斯ク贅澤ノ爲メニ浪費セラル、金額ノ實ニ夥シキ事前大藏大臣ノ耳目ヲサヘ驚異セシメタル程ナリ、今マヨリ四五十年前ニ於ケル我國ノ良民カ斯ル有様ヲ見聞シタランニ、今ノ國民ハ突然發狂シタルカ醉狂シタルカ、到底本氣ノ沙汰ニハアラサルヘシト斷定スルニ相違ナカルヘシ。

然レトモ今日ノ國民ハ決シテ發狂シタルモノニアラス、又タ醉狂シタルモノニモアラス、贅澤榮耀ノ益々増長シタル結果ニ外ナラサルナリ、或ル時ノ大藏大臣カ政府ノ歳入カ七千萬弗ニナリタランニハ、政府ノ各事業モ左マテ困難ヲ感セラルヘシトノ歎聲ヲ發シタルハ、今ヲ距ルコト左マテ遠カラサル往時ノ事ナリシカ、今日ニ至リテハ政府ノ歳入一億弗ノ豫算ヲ立ルモ、人更ニ怪シマサルニ至レリ、一般ノ費用ノ増大セルコト推知スヘキノミ。

養老年金制度ニ就テ反對論者ノ唱フル所ノ或ル說ニ曰ク又手今マ御身(予ヲサシテ云フ)ノ證論セラル、所ヲ聞クニ、今日ノ國民ハ之ヲ往時ニ比スレハ大ニ富メル所アリト雖モ、其富ハ則チ節儉ト云フコトヲ知ラ



サルノ富ナリト云フニ過キサルノミト、予ハ之ニ答ヘテ左ノ如ク云ハント欲ス、曰ク國內到ル所今マヨリ尙ホ一層節儉ノ度ヲ高ムルノ必要アルハ今更贅スルノ用ナキナリ、然レトモ試ミニ下層労働社會ノ有様如何ヲ見ヨ、其ノ得ル所ノ賃銀ヲ以テ必要ナル生活費ヲ仕拂フテ後尙ホ且ツ餘裕アリトスルカ、即チ老後ノ貧苦困難ヲ豫防センカ爲メニ其幾分ヲ貯ヘ置クノ餘地アルカ、斯ル労働者ノ大多數ハ決シテ斯ル餘裕アラサルナリ。

然レトモ商業組合ノ勢力ヲ信スルモノ、説ニ曰ク、商業組合ニシテ充分力ヲ盡シタランニハ労働者ノ賃銀ヲ増加スルコトハ、決シテ難事ニアラサルヘシ『既ニ賃銀ノ増加シタランハ、晴天ニ於テ雨天ノ用意ヲ爲スカ如ク、少壯時代ニ於テ老後ノ策ヲ講スルハ左マテ困難事ニハアラサルヘシ』ト。

右ノ如キ説ハ一應道理アルカ如ク聞ユレトモ、事ノ實際ニ於テ然ラサルモノアルヲ如何セン、成程商業組合ナルモノカ各方面ニ向ツテ力ヲ盡シ労働者ノ賃銀ヲ増加セシメントシタルハ相違ナキ事實ニシテ、一般ノ人氣モ此點ニ向ヒ來リテ幾分カ成功スヘキ觀ナキニアラス、然レトモ雇主ノ側ニ於テ其使用セル労働者ニ支拂フヘキ賃銀ニ至リテハ概ネ限度ノアルアリテ、決シテ限りナク増加シ得ヘキモノニアラス、之ヲ換言スレハ労働者ヲシテ老後ノ計ヲ爲サシムルニ足ル丈ケノ賃銀ヲ支拂フコト能ハサルナリ、故ニ商業組合カ如何ニ苦心シテ力ヲ盡スト雖モ、終ニ好結果ヲ奏スルコトヲ得ス。

事實既ニ右ノ如クナルカ故ニ下層労働者ヲシテ自カラ老後ノ計ヲ爲サシメントハ、到底不可能ノ事ト云ハサルヘカラス、即チ強イテ之ヲ爲サシメント欲セハ労働者ヲシテ飢渴ニ陥キラシメサルヘカラス、又タ

雇主ニシテ労働者日々ノ平均賃銀ヲ尙ホ一層増加スルコト能ハストセンカ、老衰労働者ヲ救護スルニ適當ナル其他ノ途ヲ講セサルヘカラス、此ニ至リテ予カ労働者ニ對スル養老年金制度ヲ國家事業ト爲スノ説起ラサルヲ得ス、即チ國民ヨリ租稅トシテ徵收シタル國庫金ヨリ斯ル養老年金ヲ支拂フノ制度ヲ設ケサルヘカラス。

#### 近時ノ立法及其影響

職工損害賠償條例カ國會ヲ通過シタルハ現政府ノ組織セラル、以前ニアリテ、其條例ノ實行セラル、ニ至リタルハ近時ノ事ニ屬セリ、蓋シ此條例ノ實行セラル、ニ至ルマテハ随分議論ノ多カリシモノナリ、即チ此條例主張論者ト反對論者トノ間ニ於テ痛ク爭論スル所アリシカ、遂ニ實行セラル、コトトハナリタルナリ、而シテ此條例ノ主意ニシテ養老年金制度ト最モ密接ノ關係ヲ有スル所ナクンハアラス、請フ此事ニ就テ聊カ論述スル所アラント欲ス。

今マ予ノ豫測スル所ヲ以テセンニ右ノ職工損害賠償條例カ愈々實行セラル、コト、ナランカ、必ラスヤ左ノ如キ影響ヲ生スルニ疑ヒナカルヘシ、曰ク總テ器械力ヲ應用スル危險ナル工業、若クハ敏捷活潑ナル視力體力及手足ヲ必要トスル工業（變災ニ遭遇スル危險ノ甚シキモノ）ニハ概シテ老人ヲ使用セサルヘシ、好シ又タ之ヲ使用スルトスルモ、其賃銀ヲ低落セシメサルハナカルヘシ、即チ老職工ヲ悲境ニ陥キラシムルノ影響アルヘキナリ、老イタル職工ノ其職ヲ奪ハレントスル傾向ハ是レ自然ノ趨勢ナルカ、右ノ條例カ實施セラル、曉ニ至リテ其傾向一層甚タシキヲ加フヘシ、予カ此推定ハ論理上當然ノ事ニシテ凡ソ事物ノ



理ヲ判斷シ得ルノ人ハ、何人ト雖モ敢テ之ヲ否認スルモノハナカルヘシ、兎ニ角年老イタル職工ヲ使用セサルノ傾向ハ工業上ニ器械力ヲ應用スルコト餘リニ普及セサル以前ヨリ多少之レアリシモ左マテ甚ハタシキニ至ラザリシカ、器械力應用以來頓ニ老職工ノ價值ナキコトヲ感スルニ至レリ。

右ニ述ヘタル職工損害賠償條例ナルモノ、性質如何ト云フニ、概ネ左ニ記載スルカ如シ、曰ク職工カ工場ニ於テ器械ヲ運用スルノ際不幸ニシテ其器械ノ爲メニ其命ヲ隕スカ、或ハ大負傷ヲ爲シテ生涯ノ不具者トナルカ如キ場合ニ於テハ、其雇主ヨリ其損害ヲ償ハンカ爲メニ相當ノ金員ヲ與ヘシムルモノ是レナリ、而シテ老職工ハ敏捷ニ器械ヲ運用スルコト拙ナク、從ツテ其運用ノ際不意ノ變災ニ罹リ易キモノト云ハサルヘカラス、老人ヲ使用センハ斯ル不利ノ之ニ伴フカ故ニ、雇主ニ於テ自カラ老職工ヲ擯斥スルニ至レリ。一千八百九十八年十一月十八日發兌ノ日刊新聞紙上ニ此等ノ事柄ニ關スル記事アリ、今マ之ヲ拔萃シテ讀者ノ參考ニ供セント欲ス、左ノ如シ。

『チャンパーレーン氏カマンチエスターニ於テ彼ノ職工損害賠償條例ナルモノハ、勞働社會ニ與ヘラレタル最モ大ナル恩惠ト謂ツヘキモノナリトテ、其條例ノ効用ヲ公言シタルコトアリシカ、折シモ同所ニ隣接シタルリウハーブール市ノ貧民救助局ニ於テハ、右ノ損害賠償條例ナルモノハ却ツテ貧困者ヲ増加セシムルノ影響ナキヤニ就テ討論會ヲ開キタリ、中ニ就テ貧民救助委員ノ一人ナルローリー氏ノ説ニ曰ク、自分及同僚達カ或ヒハ一種異様ノ感ニ打タル、コトアリ、并ハ他ニアラズ、貧民トシテ救助方ヲ願ヒ出ルモノ、内比較的年少者ノ多キコト是レナリ、是レ貧民救助法ナルモノカ貧民ヲシテ依頼心ヲ生セシ

ムル結果ニハアラサルカ、彼ノ損害賠償條例ノ如キモ亦タ斯ル結果ヲ生センモ測ラレストノ懸念ナクンハアラス、又タ救助出願者ノ一人カ救助委員ニ告ケテ左ノ如ク云ヘリ、曰クリヴハーブールノ或ル倉庫ニ一ノ揭示アルヲ見タリ、其揭示ニ曰ク年齢五十歳以上ノモノハ雇ヒ入レ申サス候ト、而シテ假リニ斯ル事實カ普及セラル、ニ至ルトセンカ、貧民救養所ハ何レモ皆ナ貧民ノ溢ル、ニ至ルヘク、從ツテ貧民救助費トシテ納付スル金額勢ヒ増加セサルヲ得スト、其他同局員ナルウキリアム、クロスフヒールド氏ノ説ニ曰ク、彼ノ損害賠償條例ノ愈々實施セラレタランニハ、雇主タランモノハ妻子アル職工ヨリ全ク獨身者タル職工ヲ擇ンテ雇ヒ入ル、ニ相違ナカルヘシ、是レ他ナシ獨身ノ職工カ就業中不意ニ死スルコトアリトスルモ、之ニ就テ法律上損害ヲ償フノ憂ナケレハナリ、而シテ此ノ討論會々長トムブソン氏モ亦タ此等ノ説ニ贊同ノ意ヲ表シテ益々其説ヲ確實ナラシメタリ、即チトムブソン氏モ均シク彼ノ職工損害賠償條例ナルモノハ年老イタル職工ニ大打撃ヲ與フルハ亦タ疑フヘカラサルナリトノ説ヲ抱ケリ、此ノ條例ノ實行以後僅カニ一二ヶ月ヲ經過シタルノミナルニ、早既ニ五十歳以上ノ職工及妻子眷族ヲ有スル職工ハ續々其職ヲ離ル、ニ至リタリ』

此損害賠償條例ノ實行以來尙ホ未タ時日ノ左マテ經過セサルヲ以テ、右ノ如キ論者ノ所謂ル影響カ如何ナル程度マテ達スルヤヲ斷定スルコト能ハス、然レトモ此條例實行前數ヶ月ニアリテ早既ニ此條例議定ノ結果ヲ示シタルナリ、即チ石炭採掘ノ盛ナル箇所中ノ或ル箇所ハ年老イタル坑夫ヲ解雇シタルコト是レナリ、而シテ此等ノ坑夫ハ其他ノ職業ヲ見出スコト能ハサルナリ、此ニ於テ坑夫組合ナルモノ、一ノ會議



ニ於テ斯ル失職坑夫ノ爲メニ何等カノ方法ヲ設ケサルヘカラスノ動議出テタリ、予ノ知ル所ヲ以テスレハ斯ル動議ニ反對シタルモノハアラサリシナリ、斯ク老坑夫ノ解雇セラル、ハ畢竟スルニ礦山中ニアリテ作業中危難ニ罹リ易シト想像スレハナリ、勿論礦業ニ従事スルコトハ固ヨリ大ナル危険アリト雖モ、彼ノ器械ヲ運用スル紡績業及其他ノ工業ニ従事スルモノニ比スレハ、其度合一層輕シト云ハサルヘカラス、而シテ紡績場及其他ノ工場ニ於テハ變災ニ遭遇スル危難多大ナリト云ハサルヘカラス、若シ又老職工カ變災ニ罹リ易キ工業ニ尙ホ引續キテ従事スルトセンカ、固ヨリ活潑敏捷ナラサルヘカラス、若シ此老職工ニシテ變災ニ遭遇シタランカ、之カ雇主タランモノハ其損害ヲ償ハンカ爲メニ、莫大ノ金圓ヲ支拂ハサルヘカラス、故ニ老職工ヲ使用スル雇主ハ殆ント之レナキナリ。

又タ此職工損害賠償條例ノ利害得失ノ問題ニ關シテハ日刊新聞ノ論述スル所アリ、中ニ就テ十二月三十日發兌ノ「ブラッドフホルト、ヲブリーヴハー」ノ記事ヲ拔萃シテ讀者諸君ニ紹介セント欲ス、其記事ヲ舉クレハ左ノ如シ。

『職工損害賠償條例ハ愈々七月第一日ヨリ實行サレタリ、抑モ此條例ハ諸工業ニ従事スル職工ノ有様ヲ改良シタリ、之カ爲メニ最多大ノ利益ヲ受クヘキモノハ就業中變災ニ罹リ易キ職工是レナリ、他ナシ不幸ニシテ變災ニ罹リタランニハ之カ雇主ヨリ損害賠償ヲ爲スヘケレハナリ、是レ此條例發布アリタルカ爲メ職工ニ取リテ利得アル所ナリ、然レトモ斯ル利益ヲ受クヘキモノハ畢竟スルニ血氣熾ンナル少壯ノ職工ニ過キス、老職工ニ至リテハ此條例發布ノ爲メニ從前ヨリ一層不利益ノ地位ニ立タサルヘカラス、

是レ他ナシ、雇主ノ側ニ於テ老職工ハ之ヲ使用スル上ニ於テ損害多キヲ知レルカ故ニ、更ニ雇ヒ入ル、コトヲ爲サス、從來使用セル老職工ハ之ヲ解雇シテ再ヒ雇ヒ入ル、コトヲ爲サス、此ニ至リテ職工ハ全ク其職ヲ失フノ悲境ニ陥キラサルヲ得サレハナリ、尙ホ之ヲ詳言センニ諸ロノ工業ニ於テ器械力ヲ應用スルコト、ナリタルヨリ、此器械運用ノ際大小ヲ問ハス負傷スルコトアルハ珍ラシカラス、而シテ身體強壯ニ視力慥カニ手先敏捷ナル職工ハ器械運用ノ際變災ニ罹ルコト極メテ少ナキモノナリ、斯ル職工ハ壯少者ニ望ムヘクシテ老人ニハ望ミナキナリ、視力體力等減退セル老職工ノ其職ヲ失フハ情勢ノ然ラシムル所ト云ハサルヘカラス。

試ミニ威爾斯ノ石炭坑夫ノ同盟罷工以後ノ有様ヲ見ヨ、老坑夫ノ大多數ハ其職ヲ失ヒテ再ヒ何タル職工ニモ就クコト能ハス、終ニ國費ヲ以テ其殘年ヲ送ルノ悲境ニ陥キリシニアラスヤ、過ル二三週間内ノ事ナルカ、「バーロー鋼鐵會社」ノ總取締ハ同會社ノ雇人ニ對シテ左ノ如キ揭示ヲ發シタリ。

今日以後手足ノ何レカヲ失ヒタルモノ、視力聽力ノ不充ナルカ如キ不具者ハ、何人ト雖モ當會社ノ雇人トナルコトヲ得ス、且年齢五十歳以上ノ者ハ何人ト雖モ當會社ノ如何ナル部局ノ雇人トナルコトヲ得ス、五十歳以上ト雖モ既ニ當會社ノ雇人トナリ居レル者ハ、其儘勤績シ差シ支ヘナシ、然レトモ一旦退社シタランニハ再ヒ雇ヒ入ル、コトヲ得ス、又就業中負傷シテ之カ爲メニ會社ヨリ損害賠償ヲ受ケタランモノハ、先ツ予ノ承認ヲ經ルニアラスンハ再ヒ雇人タルコトヲ得ス、

右ハ職工ノ有様ヲ改良スルノ主意ヲ以テ發布サレタル新條例ノ結果トシテ、中年及老年ノ職工ノ不利ト



ナリ害トナリタル僅カニ一例ニ過キサレナリ、斯ル例ハ其他ニ珍ラシカラサルヘシ  
 彼ノ條例發布ノ結果トシテ元氣旺盛ナル少壯ノ職工ハ大ニ益スル所アリト雖モ、年老イタル職工ニ至リテ  
 ハ此條例發布以前ニ比シテ一層苦境ニ陥キラサルヲ得ス、是レ右ニ掲ケタル新聞紙ノ記事ニ照シテ明カナ  
 ル事實ナラスヤ、既ニシテ此條例發布以來時日ヲ經過スルニ從ツテ各工業ニ影響ヲ及ホサ、ルハナク、其重  
 モナル影響トシテ老職工カ其職ヲ失フカ、好シ其職ヲ失ハストスルモ其賃銀ヲ低減セラル、ハ亦タ疑フヘ  
 キニアラサルナリ、抑モ年老イタル職工ハ前後二回ノ困難ニ遭遇シタリト云ツヘキナリ、右ノ條例發布以前  
 ニ在リテ各工場ニ器械力ヲ應用スルコト、ナリタル場合、既ニ其職ヲ失フカ其之ヲ失ハサルマテモ其賃銀  
 ヲ低減セラル、ノ悲境ニ達シタリ、而シテ今マ又タ此條例發布ノ爲メニ同一ノ悲境ニ陥井ラサルヲ得ス、即  
 チ老職工ハ悲惨益々深ク且ツ甚シキヲ加ハラル、モノ是レナリ、一國ノ文化進ムニ從ツテ國民ノ幸福愉快  
 モ自カラ多大ナルニ、獨リ老職工ノミ益々悲境ニ陥キリテ文明ノ餘澤ヲ受ルコト能ハサルハ嗚呼亦タ憫レ  
 ムヘキコトナラスヤ、既ニ雇主責任議案ナルモノ法律トナリタル以上ハ、養老年金制度ヲ設ケテ斯ル老職  
 工ヲ救助スルノ途ヲ啓クノ必要ナクンハアラス。

抑モ諸工業ニ器械力ヲ應用スルコト、ナリタルノ一事ハ、勞働社會ニ如何ナル大打撃ヲ與ヘタルヤ、其度  
 合ノ甚タシキ得テ想像スヘカラサルナリ、獨リ老職工ヲ窮境ニ陥レタルノミナラス、勞働者大多數ノ前途  
 ヲシテ復タ望ミナカラシメタルハ全ク爭フヘカラサル事實ナリ、一タヒ其職ヲ失フテ如何トモスルコト能  
 ハサル老職工ハ、其筋ノ救助ヲ仰イテ餘生ヲ保ツノ外途ナキナリ、又タ苦界悲境ニ沈淪セル男性ト女性ト

ヲ問ハス、他ノ救助ヲ仰イテ生キンヨリ寧ロ餓死スルニ若カストノ觀念ヲ抱ク者モ決シテ少ナカラサルナ  
 リ、或ハ子女等ノ勇拔ナル行動ニ依リテ救貧院ニ入ルヲ免カレタル老親モ少ナカラサリシナリ、然レトモ勞  
 働社會ノ大半ハ老年ニ及ンテ窮境ニ陥ル者ト明言スルモ決シテ過誤ニハアラサルヘシ、一千八百九十二  
 年ニ於テ貧民救助ニ關スル報告ノ發表ヲ見タリ今其ノ報告ヲ見ルニ年齢六十五歳以上ニシテ教區ノ救助ヲ  
 受ケタルモノ、之ヲ同年齡ニ達シタル者ノ總數ニ比例スレハ、毎五人ニ就テ一人ノ割合ニ當レリ、又タ同  
 一ノ年齢ニシテ國庫ヨリ救助ヲ受ケタル者ハ同シク毎三人ニ就テ一人ノ割合ニ當レリ、其他或人ハ同シク  
 毎二人ニ就テ一人ノ割合ニ當レリト云フ、以テ勞働者中老人ノ窮境ニ陥レルモノ多キヲ證スルニ足ルヘシ。

ヘンリー、ゼラーヂ及トウマスカーライルノ説話

ヘンリー、ゼラーヂ氏曾テ一書ヲ著ハス、名ケテ『進歩ト貧困』ト云フ、趣味深キ著書ト云ツヘシ、今マ  
 此書ノ主意骨子トモ云ツヘキ點ヲ概括シテ云ヘハ左ノ如シ、曰ク抑モ一國ノ進歩發達シテ文明國ト稱セラ  
 ル、ハ果シテ如何ナルモノソ、匆々之カ觀察ヲ下シタランニハ、國家全般カ進歩發達シテ各人民皆ナ是レ  
 此文明ノ餘澤ニ浴スヘシト云ツテ不可ナキカ如シ、然レトモ其真相實態ヲ深ク視察シタランニハ大ニ然ラ  
 サル所ナクンハアラス、今マ文明ヲ以テ稱セラル、國ノ有様ヲ見ルニ、決シテ國家全般ノ進歩發達シタル  
 モノニアラス、國家社會中ノ或ル一階級ハ般富繁盛文華燦然トシテ人ノ耳目ヲ喜ハシムヘシト雖モ、他ノ  
 階級ニ至リテハ貧困苦難最モ甚タシク其慘狀見ルニ忍ヒサルモノアリ、其趨勢一方ハ富益々以テ高上シ、  
 他方ハ窮益窮シテ降下シ、貴賤貧富ノ差雲壤懸隔雷ナラサルニ至ル、是レ文明國ノ真相實態ニアラスヤ、



尙ホ一步ヲ進メテ之ヲ云ハンカ、最近四五十年間ニ於テ人生ノ有様如何ニ變化シ來リタルヤト云フニ、一般ニ富盛繁榮ニ赴キタリト云フト雖モ、其恩澤年老イタル勞働者マテニハ及ハサリシナリ、總テノ階級ハ發展向上シタリト雖モ、獨リ勞働者中ノ老年者ニ至リテハ然ラス、中ニ就テ依然トシテ僅カニ舊様ヲ保テルモノヲ以テ最良トナスヘク、其大半ハ舊來ニ比シテ一層甚ダシキ零落窮境ニ陥リタリト云ハサルヘカラス。

又タトウマス、カーライル氏ハ人類學及社會學研究ニ就テ最モ活潑俊敏ナル觀察家ナルカ、今ヲ距ルコト久シキ以前ニアリテ左ノ如キ說ヲ立テタリ、曰ク凡社會ノ行動ヲ支配シ得ヘキ原則トモ謂ツヘキモノハ果シテ何ソヤ、各人皆ナ其欲スル所ノ行動ヲ取リテ進ミ行カンニ、惡魔ハ常ニ其ニ後方ニ從ヒ來ルコト是レナリト。

社會ノ有様果シテカーライルノ唱フルカ如ク人生ノ後方ハ惡魔ノ占領スル所ナルカ、惡魔ノ蹂躪スル所ナルカ、寸善尺魔實ニ人生ハ果敢ナキモノニアラスヤ、人生既ニ然リ、況ンヤ年老イタル勞働者ニ於テヲヤ。

#### 婦人、幼童及教育ニ就テノ法律

今マ讀者諸君ニシテ假リニ社會ノ各人生活狀態ニ影響ヲ及ホスヘキ現行法律カ、往時ノ法律ニ比較シテ如何ニ進歩發達セシカヲ知ラント欲スルノ意アリトセンカ、幼童生活ニ關スル吾人ノ法律カ幼童ノ狀態ヲ如何ニ變化セシメタルカヲ見ヨ、サスレハ今日ノ法律ノ如何ニ進歩發達セシカヲ知了スルニ足ルヘキナリ、試ミニ見ヨ年甫メテ八歳ニ達シタルノミノ幼童ニシテ早既ニ午前五時ヨリ塵埃多キ工業ニ入りテ何等カ

ノ勞働ニ服スルモノ甚タ多數ナルニアラスヤ、然ルニ彼ノ工場條例ナルモノ漸次改良ニ改良ヲ加ヘテ、終ニ半日勞働ニ就カシムルコトヲモ禁止スルニ至リタリ、尙ホ最近五十年間ニ於テ小學校建築ノ爲メ費シタル金圓ハ百萬弗ヲ以テ數フヘク、其他往時ハ棄テ顧リミサリシ國內ノ幼童ヲ教育センカ爲メ、年々數百萬弗ヲ費ヤサスンハアラス、吾人ハ此點ニ於テハ何人モ異論ナキコト、信ス、教育事業ハ尙ホ此上ニ益々熾ンナランコトコソ望マシケレ、然レトモ教育事業ヲ充分發達セシメンニハ、其費用ノ極メテ莫大ナルコトヲ思ハサルヘカラス。

又タ吾人ハ西印度人ヲシテ奴隸ノ苦害ヨリ脱セシメンカ爲メニ幾百萬ノ金圓ヲ費シタルニアラスヤ、奴隸賣買ノ根據地タル亞非利加海岸ニ船舶ヲ派遣シテ、其賣買ヲ根絶セシメンカ爲メニ費シタル金圓ハ莫大ナルニアラスヤ、吾人ハ斯克奴隸解放事業ト云ヒ又タ國民教育事業ト云ヒ既ニ莫大ノ金圓ヲ費シタルニアラスヤ、サレハ平生老後ノ計ヲ爲スヘキ餘地ナキ職工ノ老境ニ達シタルモノニ對シテ、須ラク之ヲ救助スルノ途ヲ講セスンハアルヘカラス。

#### 養老年金トシテ支出セラルヘキ金額ニ就テノ恐怖

養老年金給與ニ要スル資金ハ凡テ三千萬封度ヲ要スヘシ、此莫大ナル金額ハ明カニチャムバーレーン氏ヲシテ恐怖ノ念ヲ生セシメ、從ツテ同氏ハ斯ル莫大ナル金額ハ國庫ノ能ク支出スヘキ所ニアラストテ、一般公衆ヲシテ同シク恐怖心ヲ抱カシメントシタリシナリ、然レトモ今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ、抑モ此養老年金ノ問題タルヤ固ヨリ重大ナル問題ニシテ之ニ要スル所ノ資金モ從ツテ莫大ナラサルヲ得ス、資金莫



大ナルノ故ヲ以テ實行スヘカラスト斷定スルノ謂レナキナリ、今マ養老年金ヲ國庫ヨリ支出スルモ決シテ驚クヘキニアラサルナリ、即チ一種特別ナル目的ヲ達センカ爲メニ國民ヨリ税金トシテ徵收シテ可ナリ、而シテ斯ク國民ヨリ徵收シタル金圓ハ再ヒ人民ノ手ニ返リユクヘキナリ、其取扱法ニシテ宜シキヲ得タラシニハ其金額ノ殆ント全部カ復ヒ人民ノ手ニ歸スヘキナリ、政府カ何等カノ新事業ヲ起スノ場合ニ於テハ、動モスレハ無益ノ出費ノミ多クシテ其効果ハ却ツテ少ナキカ常ナルカ、此養老年金制度ヲ政府事業トシテ之ヲ實行スルノ場合、斯ル無益ノ出費ヲ省キタランニハ殆ント其全部ハ再ヒ民間ニ歸ルヘキナリ。

#### 往時ノ賃銀物品差引計算法

往時雇主ト職工トノ間ニ於テ賃銀物品差引計算法ナルモノ行ハレタルコトアリ、其方法如何ト云フニ雇主ニ於テ職工ノ日用品ヲ夫々仕入レ置キテ、隨時職工ノ需ムルカ儘ニ之ヲ渡シ置キ、其代價ハ雇主ヨリ職工ヘ渡スヘキ賃銀中ヨリ差引キテ計算ヲ爲スモノ是レナリ、尙ホ此外ニモ職工ノ得ヘキ賃銀ニ關涉スルノ方法アリ、今マ一般ノ人氣ヲ見ルニ此等ノ方法ハ其宜シキヲ得タルモノニアラストテ之ニ反對スルモノ、如シ、予ハ敢テ此等ノ方法ヲ辯護スルモノニアラスト雖モ、之ニ關シテ僅カニ數言ヲ費スハ全く無用ノコトニアラサルヘシ、今マ茲ニ一ノ機業家アリ或ル日ノ午前中ニ於テ紡績子及織子ニ對シテ賃銀トシテ二百封度ヲ渡シタリトセンカ、其日ノ午後ニ至リテ此等ノ職工ニ兼テ交付シタル日用品ノ代價トシテ職工ヨリ殆ント同額ノ金圓ヲ受ケ取ルモノト謂ツテ可ナリ、斯ル方法ニ從ツテ工業ヲ營ミタランニハ其資本金然ラサルモノヨリ一層少額ニテ事足ルヘシ、今マ其レ國家カ老人ニ對シテ年金ヲ與フルコトハ其關係上ニ於テ

右ニ述ヘタル雇主ト職工トノ關係ニ幾分カ似タル所ナクンハアラス、但シ養老年金トシテ再ヒ民間ニ渡サレタル場合、其金融上ニ及ホス影響比較的輕些ナリト云ハンノミ。

#### 國民一般ニ及ホスヘキ養老年金

茲ニ一ノ疑問アリ、曰ク養老年金ハ何カ故ニ國民一般ニ及スヘキ制度タラサルヲ得サルカ、專ラ必要ナル場合ニ限リテ之ヲ給與スルコト、爲シテ然ルヘキニアラスト、斯ル疑問ニ對シテハ左ノ如ク答フレハ足ランノミ、曰ク養老年金制度ヲ國民一般ニ及ホスモノトセス、必要ナル場合ニ限リテ之ヲ給與スルコト、センカ、恰カモ今日ニシテ戶外救助ヲ爲スト均シク、之ヲ受クルモノヲシテ益々惰慢ノ氣ヲ生セシムルノ弊アルヲ免カレス、且ツ其他ニモ尙ホ甚タシキ一種ノ弊ナクンハアラス、他ナシ、均シク是レ養老年金ヲ受クヘキ資格ヲ有スルモノト雖モ、稍ヤ氣概アリテ其面目ヲ失ハンコトヲ恥チテ之ヲ受クルヲ潔ヨシトセサルモノアリ、或ハ猾智ニ老ケタルモノハ大聲ヲ發シテ其窮狀ヲ叫ヒツ、一早く養老年金ヲ取り去ルヘク、温順謙讓ノ性質ヲ有スルモノハ容易ニ之ヲ得ルコト能ハサルカ如キ弊害是レナリ。

勞働社會全般ノ氣力ヲ沮喪セシムル所以ノモノ恐怖ノ念是レナリ、所謂ル其恐怖ノ念トハ何ソヤ、勞働者カ其老後ノ悲境ヲ豫想シテ起ル所ノ恐怖心是レナリ、勞働者ノ得ル所ノ賃銀ハ僅カニ其日々ノ活計ヲ立ツルマテニ止マリテ、毫モ老後ノ計ヲ爲スノ餘地ヲ存セサルナリ、去ルカラニ勞働者ノ前途ハ餓死ニ瀕スルノ窮況ニ陥キルカ、養育院ニ入りテ僅カニ其殘年ヲ送ルアランノミ、之ヲ思ヒ之ヲ想ヘハ焉ンソ恐怖ノ念起ラサルヲ得ンヤ、勞働者ヲシテ其氣力ヲ沮喪セシムヘキ此恐怖ノ念ヲ除却スルニ只タ僅カニ一方法ア



ルノミ、國民一般ニ及ホスヘキ養老年金制度是レナリ、然ルニ茲ニ一ノ疑問アリ、曰ク今マ國法ヲ以テ國民一般ニ養老年金ヲ給與スルノ制度ヲ設クルトセンカ、無差別ニ無賴漢ニモ罪人ニモ是ヲ給與スルノ弊ナキニハアラサルカト、予自カラ以爲ラク罪人ハ固ヨリ其罰トシテ養老年金ヲ與フヘキモノニアラス、且ツ試ミニ社會ノ有様ヲ見ヨ、世ノ無賴漢及罪人ニシテ養老年金ヲ受クヘキ年齢六十五歳マテ生存スルモノ果シテ幾人カアル、其大多數ハ其年齢ニ達セサルニ先ンシテ何トカ其身ノ處分セラレサルハナカルヘシ、好シ又タ斯ル老年ニ達シタル罪人ニ對シテ養老年金ヲ給與スルトシテモ、敢テ不可ナカルヘシ、否ナ却ツテ其影響トシテ何等カノ益スル所アラシモ知ルヘカラス、斯ク老年ニ達シタル罪人ヲ禁錮ニ處スルモ苦役ニ就カシムルモ、決シテ改惡遷善ノ効果アルヘキモノニアラス、所謂ル怨ニ報フルニ德ヲ以テス、斯ル罪人ニ養老年金ヲ與ヘタランニハ改惡遷善ノ效果ヲ奏シ、以テ現時ノ罪人取扱法ヲ完成セシムルモノト謂フヘシ。

年老イタル罪人ニ養老年金ヲ給與スルハ畢竟スルニ、社會ニ害毒ヲ與ヘタルモノニ對シテ社會ヨリ恩惠ヲ施コスニ外ナラサルナリ、勿々之ヲ看過スレハ如何ニモ不都合ノ觀ナクンハアラス、然レトモ其影響如何ヲ顧リミレハ其間一種ノ妙味アリト謂フヘキナリ、罪囚ノ刑期滿チ放免ニナリタル場合、往々左ノ如ク辯訴スルモノアリ、曰ク世人ハ皆ナ是レ自分達ノ敵ナラサルハナク、自分達ハ再ヒ正業ニ就クノ見込ミナク、自暴自棄以テ生涯ヲ終ヘンノミト、罪囚ノ辯疎スル所既ニ然リ、若シ此等ノ罪囚ニシテ前途僅カニ一點ノ光明アラシカ、殊ニ老衰ノ餘身體意ノ如クナラス、坐ロニ前非ヲ悔ヒ殘年ノ苦境ヲ憂フルノ一刹那、養老

ノ年金ノ恩惠ニ浴スルトセンカ、其喜ヒ果シテ如何ンヤ、從來社會ノ敵タリシ彼レヲシテ忽チ白旗ヲ立テ降參シ手ヲ束ネテ久シク蔑視シタリシ國家ノ法律命令ヲ遵奉スルモノトナルヘキナリ、然レトモ是レハ畢竟スルニ難問者カ養老年金ヲ國民一般ニ給與スルコト、シタランニハ、其善人タリ惡人タルヲ問ハス、無差別ニ之ヲ給與スルノ弊ナキカト難詰スルニ對シテ、解答シタル假定ノ説マテニシテ、斯ル事カ事實ノ上ニ多ク現ハルヘシトハ信セサルナリ。

社會ノ中等以上ニ位スル人ハ老後ノ計ヲ免ヤ角ト憂慮スルヲ要セスト雖モ、下層勞働社會ニ至リテハ然ラス、日々ノ生計ニ追レテ更ニ餘裕ナク、老後ノ悲境慘狀ヲ思フ毎ニ落膽憂悞シテ、勞働スル活氣モ自然沮喪セサルヲ得ス、今マ之ヲ救濟センニハ廣ク一般ニ及ホスヘキ養老年金制度ニ依ルノ外他ニ方法アラサルナリ。

#### 養老年金制度、保守的方法

年齢六十五歳ニ達シタランモノニハ皆ナ是レ養老年金ヲ給與セシムヘキ制度ハ、恐ラクハ國會ノ議定セル最モ保守的政策ト謂フヘキモノナリ、然レトモ此保守的ト云ヘルハ政治上保守黨ノ主義ヲ表示スルカ爲メニ命名シタルモノニアラス、畢竟スルニ社會ノ數種ノ階級ヲ打ツテ一團體タラシメンカ爲メニ保守的政策ト爲シタルニ過キサルナリ。

今マ其レ廣ク一般ニ養老年金制度ヲ施サント欲セハ、勢ヒ社會ノ數階級ヲ合シテ一團體ト見做サ、ルヘカラス、今マ國民ノ一致團結ト云ヘルコトニ就テ之ヲ云ハンカ、忠君愛國ノ心ハ國民ヲシテ一致團結セシム



ルモノト謂ツベシ、既ニ愛國心アリ從ツテ國君ニ忠ヲ盡サントノ念起ラサルヘカラス、此國ハ我々ノ祖先ノ國ナリ我々ノ領土ナリトノ觀念アレハ、從ツテ之ヲ愛スルノ念起ラサルヲ得ス、忠君愛國ノ念慮カ國家ノ構造組織ニ取リテ最モ必要ナルコトハ、恰カモ家屋ノ構造建設ニ「セメント」ノ必要ナルト一般ナラスンハアラス、苟クモ國民トシテ忠君愛國ノ志乏シカラシカ、其朝廷ハ亡滅シ其國家ハ敵國ノ有トナランモ知ルヘカラス、忠君愛國ノ志國民ニ取リテ斯クマテ重要ナリト思惟スルモノ世間果シテ幾人カアル、眞ニ忠君愛國ノ志ヲ抱キテ之ヲ現實ニスルモノハ極メテ少ナキナリ、嗚呼亦タ歎スヘキ至リナラスヤ。

試ミニ見ヨ社會各階級ノ中勞働社會ノ有様程悲惨ナルモノハアラサルヲ、殊ニ其前途ハ老イテ後養育院ニ入リテ其殘年ヲ終ルアランノミ、斯ク養育院ニ入リテ其殘年ヲ送ルモノハ僅カニ三分ノ一ニ過キササルノミ、死シテ此世ノ苦患ヲ免カル、トハ斯ル勞働者ノ謂ナルカ、其甚タシキニ至リテハ地下六呎ノ遺骸モ尙ホ且ツ永ク其土ニ安ンスルコト能ハサルモノアリ、是レ他ナシ、其墓地ノ所有者ノ俗人タルト僧侶タルトヲ問ハス、貪婪強慾ノ邪念ニ驅ラレテ墓地ヲ改メテ普通ノ地所ト爲サンカ爲メニ之ヲ發掘スルコトアレハナリ、地下六呎ノ箇所モ尙ホ且ツ其身ヲ安ンスルコト能ハストハ、嗚呼亦タ酸鼻スヘキコトナラスヤ。

#### 養老年金制度ノ公正ナル事

予ハ養老年金ノ事ニ關シテ上來各方面ニ亘リテ種々論述スル所アリシカ、今マ再ヒ主論ニ立チ歸リテ聊カ記載スル所アラントス、茲ニ人アリ予ニ向ツテ『何カ故ニ國家事業トシテ廣ク一般ニ施コスヘキ養老年金制度カ必要ナルカ』ト問フモノアランカ、予ハ此難問ニ對シテ『公正ナルニ依レリ』ト答ヘンノミ、吾人

カ再ヒ野蠻時代ニ立チ歸リテ老耆者ハ之ヲ殺シテ毫モ意トセスト云フ場合ニ至ラハ卒知ラス、サモナキ以上ハ老耆シタルモノハ之ヲ救ヒ之ヲ助ケサルヘカラス、是レ人タルモノ、公正ナル行爲ニ外ナラサルナリ、試ミニ今日ノ年老イタルモノヲ見ヨ、概シテ活計ノ途ヲ失ハサルハナシ、而シテ其活計ヲ失フタル原因何レニアリヤト云フニ、社會ノ狀態種々ニ變化シタル結果ニ外ナラス、斯ク社會ノ狀態カ變化シタルハ取りモ直サス、社會一般ノ有様ノ發達進歩ニ外ナラサルナリ、之ヲ換言スレハ老人ノ活計ノ途ヲ失ヘルハ社會ヲシテ進歩發達セシメンカ爲メニ自カラ犠牲トナリタルモノト謂ツヘキナリ、社會ノ公益ヲ計ランカ爲メニ一個人ノ私有地ヲ必要トスル場合アリ、斯ル場合ニ於テハ其所有者ニ對シテ相當ノ代價ヲ拂ツテ之ヲ買收セサルヘカラス、之ト均シク社會ノ進歩發達スルニ從ツテ其職ヲ失フテ今日ノ活計ニ窮スルノ老人ニ對シテハ、相當ノ手當ヲ爲サスンハアルヘカラス、今マ茲ニ一ノ工業ヲ營ムモノアリ、新工風ニ係レル器械カヲ應用シタランニハ其業務大ニ發達シテ利益ヲ得ヘキハ云フマテモナク、此器械運用ニ從事スル職工モ亦タ從前ニ比スレハ其業務一層規則正シク、且ツ其賃錢モ一層増加スルノ利益ヲ受クヘキナリ、而シテ斯クノ如キ工業カ續々發達シタランニハ、之ニ從事スル職工モ大ニ利スル所アルヘク、斯ル工場ノ所在地モ自カラ繁盛ニ至ルヘキナリ、又タ斯ル工業ノ勃興シタルカ爲メ政府ノ收入モ自カラ増加スヘキナリ。右ノ如ク論シ來レハ工業上ニ器械カヲ應用スルコト、ナリシヨリ、各方面ニ於テ利益アルコト知ルヘキノミ、然レトモ眼ヲ轉シテ他ノ一方ヲ顧リミレハ之カ爲メ不利益不都合ヲ感スルモノナクンハアラス、即チ前段ニ於テ屢々述ヘタルカ如ク器械カヲ工業上ニ用フルコト、ナリシヨリ、老人及婦女子カ全ク其職業ヲ



失フノ悲境ニ陥キルコト是レナリ、是レ工業界ノ一大變化ニシテ自然ノ趨勢亦タ如何トモスヘカラサルナリ。

各國人民昔時ニアリテハ互ニ心ヲ盡シカヲ竭シテ戰鬪爭奪ヲ事トスルノ氣風熾ンナリシカ、今日ニ至リテハ然ラス、世界ハ全ク一變シテ商工業ノ競争場トナリ、互ニ努力奮勵其中間ニ立チテ心ヲ盡シカヲ竭シテ平和ノ戰爭ニ從事セサルヘカラス、若シ其間油斷懈怠ノ慮アリタランニハ一層進歩發達シタル國ノ爲メニ蠶食セラレスンハアラス、斯クノ如ク各國ノ間ニ商工業ノ競争起リタランニハ、之カ爲メニ利益ヲ得ルコト少ナカラサルナリ、然レトモ他ノ方面ニ於テハ之ニ伴フ所ノ不便不利モ亦タ決シテ少ナカラサルナリ、蓋シ此事ニ就テハ何人ト雖モ決シテ異論ナカルヘキナリ、年老イタル職工ノ其職ヲ失ヘルカ如キハ其不便不利中ノ一ト云ハサルヘカラス、老年ノ職工ハ其生活狀態舊時ノ儘ニテ其殘年ヲ終ルコソ最モ愉快ナルヘキモノヲ、彼ノ器械力應用ノ結果トシテ然カ爲スコトヲ得ス、嗚呼亦タ憫レムヘキコトナラスヤ。

試ミニ想ヘ、今日強壯ニシテ血氣熾ンナル吾人カ幸福愉快ニ其生ヲ送ルハ果シテ何人ノ賜モノナルカヲ、是レ今日尙ホ生存セル老人若クハ既ニ黃泉ノ客トナリタル吾々ノ祖先ノ勞苦シタル結果ニアラスヤ、今日吾人カ數千哩若クハ數百哩ノ途ヲ容易ニ通過シ得ルハ、畢竟スルニ吾々ノ祖先達カ日ヲ積ミ勞ヲ重ネテ漸次ニ成シ遂ケタル賜モノニ外ナラサルナリ、且ツ此祖先達ハ好シ斯ル途ヲ造爲セシモ、自カラ之ヲ利用シタルモノニアラス、其後生子孫ニ便利ヲ與ヘタルモノト云ハサルヘカラス、又タ馬車、荷車、鐵道列車、自轉車、自働車等ノ如キ吾人ニ最モ大ナル便利ヲ與フルモノハ、果シテ誰レノ賜モノンヤ、皆ナ是レ祖先

ノ餘澤ニアラスヤ、然ルニ吾人カ些少ノ道路維持費ヲ仕拂フノ場合ニ於テ彼レ此レ苦情ヲ鳴ラスハ實ニ謂レナキノ甚タシキモノニアラスヤ、或ハ吾人カ此等ノ道路ヲ通行スルノ際、年老イテ足許定マラス衣服身ノ廻リ如何ニモ窶々シキ土方體ノモノニ出逢フコトアルヘシ、彼レハ恐ラクハ是レヨリ先キ此等ノ道路改修ノ際、人夫トナリテ大ニ勞働シタルモノナラン、サラハ吾人ハ彼レニ對シテ僅カニテモ感謝ノ意ヲ表スヘキニ、毫モ去ルコトナク僅カニ二三錢ヲ與ヘテ隣村ノ木賃宿ニテモ赴ケヨト云フカ、若クハ斯ク路傍ニ空シク呻吟彷徨センヨリ寧ロ養育院ニ入ルニ若カスト助言センノミ、其薄情冷酷ナル得テ想像スヘシ。

請フ是レヨリ鐵道ノ事ニ就テ聊カ述ル所アラントス、然レトモ今マ予カ述ヘント欲スル所ハ鐵道株券ノ時價及之ニ關スル配當金等ノ事ニアラス、鐵道ニ關スル其他ノ問題はレナリ、今日我國到ル所縱横ニ敷設セラレタ鐵道ノ廣大無邊ナルコトハ今更喋々スルヲ要セサルナリ、斯ク鐵道事業ノ盛大ヲ致シタルハ是レ果シテ誰レノ力ンヤ、我カ同胞兄弟タル國人幾千萬人ノ力ニ依ルニアラスヤ、而シテ此等ノ同胞兄弟カ其當時此鐵道工事ニ就テ勞働シタル有様如何ナリシヤト云フニ、其艱難辛苦ノ甚タシキニ加ヘテ其賃銀ハ甚タ低廉ナリシカ故ニ、其中ノ幾分カラ貯蓄シテ老後ノ計ヲ爲スカ如キ餘裕アラサリシナリ、斯ク交通機關ノ備ハリシヨリ國家民衆ノ便益ヲ受ルコト極メテ多大ナルハ何人モ曾テ疑ハサル所ナリ、而シテ斯ク交通機關ノ盛大ヲ致スニ就テ大ニ與カリ力アリタル土方人足等ハ、今日果シテ如何ナル有様ナルヤ、其悲惨ナル境界實ニ云フニ忍ヒサルモノ、アルアリ、此等ノ土方人足ノ大半ハ年老イテ体力大ニ損耗シ之ニ加フルニ病魔ニ侵サレテ、空シク救貧院内ニ沈吟シツ、アルニアラスヤ。



試ミニ見ヨ今マ英國ノ職工等ハ低廉ナル賃錢ニテ一時間ノ速力五十哩ノ割合ヲ以テ疾走スル流車ニ乗リテ、倫敦及其他ノ所へ自由自在ニ往復シ居ルニアラスヤ、斯ク交通機關ノ便益ヲ得ルハ是レ果シテ誰レノ力ツヤ、世界ノ中最良ノ職工ナリトノ聞エアル英國職工ノ力ニ依ルニアラスヤ、此等ノ職工ハ其當時ニアリテ如何ナル辛酸ヲ嘗メシカ、如何ナル危険ニ遭遇セシカ、得テ想像スヘキノミ、而シテ此等ノ職工ノナレノ果ハ老衰ノ餘救貧院ニ入りテ空シク呻吟スルアラソノミ、今日右ノ如キ交通機關ノ便益ヲ受ルモノニシテ、想像ヲ斯ル事ニ及ホスモノ果シテ幾人カアル。

今日吾人ハ道路、溝渠、鐵道、郵便、電信、電話等ノ交通機關充分ニ發達シタルカ爲メ、便益ヲ受ルコトノ多大ナルハ何人ト雖モ親シク知了スル所ナラスヤ、其他大ニ人力ヲ省キ得ル所ノ諸器械新タニ工風セラレタルヨリ吾人カ利便ヲ得ルコトノ大ナルハ今更云フヲ要セサルナリ、斯ク諸器械ノ新工風ト云ヒ交通機關ノ發達ト云ヒ吾人ニ愉樂幸福ヲ與フルモノ一々枚擧スルニ遑マアラサルナリ、吾人ヲシテ斯ク愉樂幸福ナラシメタルモノハ果シテ何人ツヤ、吾人ノ先人ノ力ニ歸セスンハアルヘカラス、吾人ノ先人ハ取リモ直サス吾人ノ恩人ナラスヤ、然ルニ今日斯ル恩人ノ有様如何ナルヤト云フニ、或ハ既ニ鬼藉ニ登リタルモノモアリ、或ハ老衰ノ餘救貧院ニ入りテ多人數共ニ混同雜居スルアリ、或ハ如何ニ窮境ニ陥キレハトテ救貧院ニ入ルヲ潔シトセス、瘦我慢ヲ張リテ益々苦境ニ陥キルモノナキニアラス、之ヲシモ吾人ハ尙ホ且ツ傍觀坐視スヘキカ。

吾人ハ今マ強壯勇爲前途多望ナルモノニアラスヤ、然ルニ吾人ノ大恩人タル先人カ右ノ如キ非境苦界ニ呻

吟ス、焉ソソ之ヲ傍觀坐視スルニ忍ヒンヤ、須ラク之ヲ救助スルノ途ヲ講セサルヘカラス、之ヲ救助スルハ正義公道ト謂ツヘキナリ、其救助ノ方法僅カニ一アルノミ、養老年金制度ヲ國家事業ト爲スコト是レナリ。

## 第二編

### 人民ノ生活狀態及品性ニ及ホス影響

既ニシテ養老年金制度ヲ國家事業トシテ施行スルコト、ナリタランカ、是レ即チ養老年金制度中ノ一大變動ト云ハサルヘカラス、蓋シ此變動タルヤ此制度ノ大ニ進歩發達セシモノニシテ、國民中ノ多數ハ其未タ實行セラレサルニ先ンシテ、確實ナル好結果アルヘキヲ信シテ疑ハサルナリ、故ニ今マ予ハ斯ル養老年金制度カ人民ノ習慣及品性上ニ如何ナル影響ヲ及ホシ來ルカヲ簡短ニ述ル所アラントス。

今マ試ミニ廣ク見渡シタル所ニテ英國人ノ特種ノ品性ト云ヘルハ果シテ何ノ邊ニアルカト問フモノアラシカ、左ノ如ク答ヘンノミ、曰ク刻苦勵精勤勉力行シテ倦マサルノ性質是レナリ、節約儉素ヲ事トスル人民ニハアラサルナリト、然レトモ英國人ニハ全ク節約儉素ノ風絶無ナリト云フニハアラサルナリ、英國人ト雖モ或ル程度マテハ節約儉素ナル風ナクンハアラス、然レトモ之ヲ外國人ノ最モ甚タシキ節約儉素ノ風ニ比スレハ、其間大差ナクンハアラス、今マ實例ヲ擧ケテ之ヲ證サンカ、歐羅巴大陸ノ旅行者ニシテ勞働者ノ生活狀態ノ視察ヲ事トスルモノ少ナカラサリシカ、此等ノ旅行者ハ概シテ左ノ如キ事實ヲ目撃シテ大ニ驚カスンハアラス、曰ク英國勞働者ノ家庭ニ於テ婦女子カ食物ヲ調理スル有様ヲ見ルニ、毫モ費用ノ嵩ム



ヲ意トセサルモノ、如シ、以テ節約儉素ニ重キヲ置カサルコトヲ證スルニ足ルヘキナリ。  
我カ英國人カ貯蓄銀行、郵便貯金、建築協會及親愛協會等へ若干カノ貯金ヲ爲シ居ルコトハ之ヲ例外トナシ、一般ノ有様ヲ見ルニ節儉ト云ヘルコトニ意ヲ用ヒサルモノ、如シ。

#### 家賃、税金及節儉

今マ人民ノ習慣及其節儉ヲ守ルノ性質如何ヲ測知シ得ヘキ一方法アリ、金錢問題ニ關スル日常ノ活計ノ重モナルモノニ就テ、如何ニ注意ノ行キ届キ居ルヤ否ナヲ觀察スルコト是レナリ、今マ茲ニ人アリ自分ノ業務如何ヲ能ク知り、且ツ自分ノ身分如何ヲ能ク知ルモノナリトセンカ、此人ハ決シテ金錢ヲ浪費スル等ノ事ハナカルヘシ、即チ必要ノ物品等ヲ買ヒ入ル、ノ際、相當ノ代價ヨリ高キモノヲ購入スルコトナカルヘキナリ、然レトモ其業務ヲ忽カセシ諸事不注意ナルモノナランニハ、他人ニ欺カレテ損失アルヲ免カレサルナリ、是レ其業務ヲ重シ節儉ヲ守ルモノト然ラサルモノトノ別ル、所ナリ、予ハ是レヨリ家主ト借家人トノ關係ニ一變動ヲ來タタシルヨリ、借家人ノ有様如何ナリシヤニ就テ聊カ論述スル所アラントス、即チ借家人タル勞働社會ノモノカ其家主トノ關係一變セシヨリ、如何ナル有様ナリシカニ就テ聊カ述ル所アラントス。所謂ル家主ト借家人トノ關係ニ於テ起リタル變動トハ果シテ如何ソヤ、最近二十年間ニ於テ家賃及家屋稅等ノ拂込方法ノ變更サレタル者はレナリ、今ヨリ二十年前ニ溯ホリテ借家人ヨリ家主ヘ家賃ヲ納付スル方法如何ヲ顧リミルニ、半ケ年ニ一回若クハ一ケ年ニ一回之ヲ一纏メニシテ納付シ、其際家主ノ許ニ於テ晚餐ノ響應ニ預カルノ風習行ハレ、家屋稅ノ如キモ借家人ヨリ納付シタリシ者ナリ、然ルニ其後斯ル習慣

カ徐々ニ廢棄セラレテ、今日ニ至リテハ通常毎週一回借家人ヨリ其家賃ヲ家主ヘ携ヘ行クコト、ナレリ、而シテ其家屋稅ノ如キハ家主ヨリ其筋ヘ納付スルコト、ナリ、但シ家屋稅トシテ別段借家人ヨリ取り立テサルモ、借家人ヨリ毎週納付スル家賃ノ中ニ含マセタルモノト知ルヘシ、試ミニ家主ニ向ツテ家賃取立ニ關シテ何カ爲メニ斯ク變更ヲ來シタルカト問フモノアラシカ、地主ハ之ニ對シテ左ノ如キ答辯ヲ爲スナラシ、曰ク若シ舊慣ニ從ツテ借家人ヨリ一ケ年ニ一回若クハ二回家賃ヲ納付スルコト、ナシタランニハ、家賃ノ滯納者多クシテ家主ノ損失甚タ重カラサルヲ得ス、之ニ反シテ毎週拂ヒ込マシメタランニハ、家賃ヲ滯納スルカ如キ不都合ナル借家人ハ極メテ知レ易キカ故ニ、家主ノ損害ヲ受クルコト自カラ少ナキハ疑フヘカラサル事實ナリ、是レ舊慣ヲ改メテ今日ノ如ク爲シタル所以ナリト、家主タランモノハ恐ラクハ尙ホ之ニ附言シテ左ノ如ク明言スルナラン、曰ク今日行ハレ居ル所ノ家賃取立法ハ借家人ニ取りテモ亦大ニ歡迎スル所ナラン、蓋シ左ノ如キ理由アレハナリ、曰ク舊慣ニ從ツテ家賃ヲ納付スルコト、センカ、半ケ年若クハ一ケ年間ノ家賃ヲ貯ヘ置カサルヘカラス、然レトモ新規ノ方法ニ從ツテ一週間毎ニ家賃ヲ納付シタランニハ、更ニ斯ル憂ヒナク、又他ニ移轉スルトシテモ甚ハタ容易ク移轉シ得ヘケレハ、今日ノ方法舊慣ヨリ優レリト謂ツヘシト。

右ノ如ク述ヘ來ラハ現今行ハル、所ノ家賃毎週拂ノ方法ハ、家主、借家人ノ二者共ニ便利ナルモノ、如シ、然レトモ深ク其真相ヲ觀察シ來レハ借家人ニ取りテ不利ナル所ナクンハアラス、即チ今日ノ家賃ノ割合之ヲ舊慣時代ニ比ヘナハ甚タシク騰貴シタルコト是レナリ、然レトモ或ル地方ニ於テハ右ニ述ヘタル家主ト



借家人トノ關係上ニ起リタル變動カ、急激ニ起ラサルモノアリ、好シ起リタリトスルモ尙ホ完成セサルモノナキ能ハス、尙ホ之ヲ言ヒ換フレハ工業ノ盛ンニ行ハル、一小村落ニアリテハ、新式ノ借家立ト舊式ノ借家立ト街路ヲ隔テ、相對スルモノアルカ如キ是レナリ、而シテ其新式ノ借家立ト云ヘルハ春中合せニ立テラレタル長屋ノ一列ヲ爲セルモノニシテ、一軒毎ニ小室アリ其構造殆ント衛生上ニ適セサルモノナリ、然ルニ之ト相對スル舊式ノ借家立ト云ヘルハ通常ノ小屋風ニシテ其背後ニ小サキ立出シ形ノ臺所備ヘ付ケアリ又タ其寢室ハ新舊共ニ殆ント同一ナリ、然レトモ之ニ居住スルモノ、愉快ト衛生上ノ點ニ至リテハ舊式ノ方遙カニ優レル所アリト云ハサルヘカラス、而シテ其家賃ハ如何ト云フニ新式ノ方ニテハ一週間毎ニ三疋ニシテ、家主自カラカ若クハ其息子カ來リテ之ヲ取り立ルナリ、然ルニ舊式ノ方ニテハ毎半ケ年ニ二封度十疋ノ家賃ニシテ、之ニ加フルニ家屋稅トシテ年ニ十二疋ツ、ヲ納付スルモノナリ、尙ホ之ヲ詳言スレハ前者ハ年ニ七封度十六疋トナリ、後者ハ同シク五封度十二疋トナルナリ、即チ前者ノ後者ヨリ多キコト二封度以上ナルコト知ルヘキノミ。

此ニ於テカ予ハ驚カサルヲ得ス、新式ノ借家ニ居住スルモノハ舊式ノ借家ニ居住スルモノヨリ一層多額ノ家賃ヲ支出シテ平然ナルモノ、如シ、予ハ其不注意ノ甚ハタシキニ驚カサルヲ得ス、然レトモ是レ實際ノ有様ナルヲ如何セン、一層多クノ家賃ヲ支拂フモノ之ヲ少ナク支拂フモノヨリ多クノ貸銀ヲ得ヘキノミアラス、同一ノ貸銀ヲ得テ一層多クノ家賃ヲ支拂フ、其窮狀一層甚タシキヲ加フルハ得テ知ルヘキノミ、是レ右ニ述ヘタルカ如ク金錢問題ニ關スル日常ノ活計ニ不注意ナルモノ、所爲ト云ハサルヘカラス、自分

ノ地位如何ヲ知ラス節儉ヲ守ルノ大切ナルコトヲ知ラサルモノト謂ツヘシ。

新式借家ノ家賃ト舊式借家ノ家賃トノ差アルコト、到ル所皆ナ是レ右ノ如ク甚タシト云フニハアラサルナリ、然レトモ我國ノ大市邑ニ於テ家主ト借家人トノ關係上ニ起リタル事ヲ實見シタル人々ノ證言スル所ヲ聞クニ、國內ヲ通シテ右ト同一ナル顯象ナクンハアラスト云ヘリ。

今マ吾人カ勞働社會ノ有様如何ヲ觀察スルニ、日常ノ活計上節儉ヲ守ルノ習慣、之ヲ往時ニ比較スレハ大ニ衰退シタルモノ、如シ、既ニ家主ノ側ニアリテ其借家人等カ節儉ヲ守ルモノトハ信用シ居ラス、借家人自カラニアリテモ亦之ヲ守リ得ヘシトノ自信力アラス、此ニ於テカ家賃ヲ半ケ年拂若クハ一ケ年拂ニ爲スノ舊法一變シテ一週間拂トナリタルハ己ヲ得サルコト、謂ツヘシ

#### 賭博及或ル節儉法ノ事

賭博シテ以テ奇利ヲ貪ラント欲スルモノ世ニ少ナカラサルナリ、凡ソ社會ノ各階級ノ大多數カ平生辛抱シテ貯ヘ置キタル金錢ヲ各方面ニ向ツテ使用スルカ中ニモ、賭博ノ爲メニ費スモノ甚タ多キニ居レルハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、今マ吾人カ養老年金制度ノ事ニ就テ種々ノ方面ヨリ論議セルハ、畢竟スルニ社會ノ大多數ヲ占メ居ル所ノ勞働社會ノ爲メニ外ナラサルナリ、然ルニ勞働社會ノ賭博ニ耽溺スルモノ年一年多キヲ加ヘ來ルハ亦タ疑フヘカラサル事實ナリ、其甚タシキニ至リテハ婦女子スラ尙ホ且ツ男子ト均シク賭博ヲ爲スモノアリ、蓋シ斯ル婦女子ハ競馬賭博ヲ專業トセル男兒ノ群ニ投スルモノト知ルヘシ、而シテ今マ賭博ニ耽ルモノ斯クノ如ク多キハ果シテ何故ナルヤト云フニ、其原因一ニシテ足ラスト雖モ、左記



ノ如キ觀念其重モナルモノト云ハサルヘカラス、曰々尋常一樣ノ業務ニ從事シタランニハ勞多クシテ得ル所甚タ少ナク、之ニ加フルニ其利益ヲ見ルコト甚タ緩漫ニシテ容易ナラス、今マ僅カ一瞬間ニシテ一攫千金ノ奇利ヲ得ンニハ賭博ノ外ニ途アラズ、嗚呼賭博ナルカナ賭博ナルカナトノ觀念是レナリ、然レトモ是レ畢竟スルニ一時眼前ノ感情ニ制セラレタルモノニ外ナラス、大ナル危險前途ニ横ラサルヲ得ス。

今マ賭博ノ事ニ就テ、聊カ述ル所アラントス、抑モ賭博ヲ爲サンニハ賭博臺ナルモノナクンハアルヘカラス、而シテ匆々之ヲ看過スレハ數多ノ金錢ヲ此臺上ニ集メテ、勝敗ヲ時ノ運ニ任カサントスルモノ、如シ、然レトモ其真相如何ヲ視察スレハ此臺上ニ收拾サレタル總金額ノ百分ノ五以上カ此臺上ニ歸スヘキモノナリトセンカ、即チ此百分比例カ賭博ヲ專業トスル者ノ手ニ歸スルトセンカ、是レ即チ賭博專業者ノ利スル所ニシテ、斯ル賭博ニ關係シタルモノ、損失ニ歸セサルヘカラス、勿論一勝負毎ニ大ニ益スルモノナクンハアルヘカラス、即チ競馬ニ勝チタル馬ノ方ヘ賭ケタルモノハ、幾十倍幾百倍ノ利益ヲ得ンコトハ今更喋々スルヲ要セス、斯ル奇利ヲ得ヘキ望ミ或ハ之レアルヲ以テ其運ヲ試ミンカ爲メニ此賭博ニ關係セントスルモノ幾千萬ト云フヲ知ラサルナリ、然レトモ賭博ヲ爲スモノ、中斯ル奇利ヲ得ルモノ果シテ幾人カアル、實ニ僅々タルニ過キササルナリ、其他ハ皆ナ失敗ニ終ルモノト謂ハサルヘカラス、畢竟スルニ賭博專業者ノ懷中ヲ肥スニ過キササルノミ、蓋シ賭博ナルモノハ益スルコト稀レニシテ損スルコト多キモノナリ、雷ニ益少ナクシテ損多キノミナラス、之ニ伴フ所ノ其他ノ弊害ナクンハアラス、少年ニシテ一敗地ニ塗レ復タ如何トモスヘカラサルノ窮境ニ陥井リタランニハ、終ニ竊盜心ヲ起スノ傾向アルコト是レナリ、然ルニ今マ

世間ノ有様ヲ見ルニ日常必要ナル生活費以外ニ餘裕アリタルノ場合、之ヲ銀行杯ヘ預ケルコトヲ爲サス、却ツテ損多クシテ益少ナキ賭博ニ費スモノ甚タ多シ、何ソ其レ思ハサルノ甚タシキヤ、賭博ハ萬一ノ僥倖ヲ頼ミトスルニ過キササルモノナリ、人タルモノハ須ラク安全堅固ナル勤儉貯蓄ノ習慣ヲ養成セスンハアルヘカラス。

#### 其他節儉ノ重要ナル事

今日勞働社會ノ有様ヲ通覽スルニ今日ノ儘ニテ推シ行カハ、其貧困ニ陥キルノ深サ測知シ得ヘカラス、殊ニ其老年ニ達シタランモノ、益々窮境ニ陥井ランハ得テ想像スヘキノミ、予ハ今マ老後皆ナ是レ然リト云フニアラス、少ナクモ其三分ノ一ハ老後益々窮境ニ陥キルニ相違ナシト斷言スルヲ憚カラサルナリ、前途既ニ斯クノ如キ悲境ニ陥キルヘキヲ知リナカラ之ヲ豫防スルノ策ヲ講セス、彼ノ萬一ヲ僥倖トセル賭博ヲ爲スカ如キニ至リテハ沙汰ノ限リト云ハサルヘカラス。

今マ右ニ述ヘタルカ如キ前途ノ悲境ヲ避ケント欲セハ、平生勤儉貯蓄ノ途ヲ立テ置カサルヘカラス、然ルニ我々人民ハ勤儉貯蓄ヲ重ンスルノ人民ト云フヲ得ヘキヤ、何人モ得ヘシト答フルモノナカルヘシ、勤儉貯蓄ハ我々ニ取リテ最モ大切ナルコト、言ハサルヘカラス、勤儉貯蓄ノ大切ナルコトヲ知リタル人ニシテ初メテ俱ニ養老年金ノ事ヲ語ルヘキノミ、節儉ヲ守ルコト、養老年金ヲ給與スルコト、ハ其ニ是レ老後ノ悲境ヲ救済スルノ方法ト云ハサルヘカラス。

飲酒過度ノ弊ハ今更喋々スルノ必要ナシト雖モ、亞留格保兒消費高ノ多キニハ實ニ驚カサルヲ得ス、而シ



一五八  
テ此等ノ亞留格保兒カ人民ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ホスカヲ研究シタランニハ、飲酒過度ノ弊得テ知ルヘキノミ。

吾人ハ今マ亞留格保兒ノ道德上ニ及ホスヘキ影響如何ヲ叙述セント欲スルモノニアラス、此等ノ影響ヨリ尙ホ一層卑近ナルコトニ論述セント欲ス、曰ク酒類釀造ノ爲メニ穀類ヲ潰スコト幾干ナルヤ測リ知ルヘカラス、又タ之ヲ購買スルモノ、費用ノ莫大ナルコト得テ想像スヘキノミ、釀酒ノ爲メ潰ス所ノ穀類ハ人ノ必要ナル食物トナルヘキモノニアラスヤ、又タ酒價ノ爲メニ費ヤス所ノ金錢ハ他ノ日用費ニ充ツヘキモノナラスヤ、二者共ニ是レ節儉ノ習慣ヲ破ラシムルモノト云ハサルヘカラス。

右ノ如ク節儉ヲ守ルノ習慣ノ缺ケタルハ實ニ歎息スヘキコトナラスヤ、凡ソ人タルモノハ出來得ヘキ丈ケ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ養成セサルヘカラス、此大切ナル習慣ヲ減退セシムヘキ事柄ハ勉メテ之ヲ避ケンコトヲ要ス、養老年金ト節儉トハ直接ト間接トヲ問ハス關係スル所ナクンハアラス、即チ養老年金ノ給與ヲ受ケント欲スルモノハ平生節儉ヲ守ルノ人タラサルヘカラス、今マ節儉ノ意義ニ就テ最モ適切ナル實例ヲ舉ケンカ、妄リニ金錢ヲ費サス之ヲ貯ヘルコトハ言フマテモナク、日用ノ物品等ヲ取り扱フ上ニ於テモ毀損セサル様注意ヲ密ニスルカ如キコト是レナリ、其他工業上ノ節儉ト云ヘルコト之レアリ、其得ル所ノ賃銀中ヨリ幾分ツ、カヲ貯フルコト是レナリ。

養老年金制度ニ就テ反對論ヲ立ルモノ、重モナル理由ニ曰ク、人トテシ平生節儉ヲ守ルハ最モ大切ナル事柄ナルニ、今養老年金ヲ給與セラル、コト、ナリタランハ、氣緩ミ志挫ケテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ毀損スル

ニ至ルヘシト、政事家カ公開演説ヲ爲スノ際、或ハ親睦協會ノ集會席等ニ於テ演説ヲ爲スノ時、或ハ雜誌ノ論說等ニ於テ養老年金制度ニ反對スルニ就テハ、其理由トスル所皆ナ是レ同一ニ出テスンハアラス、即チ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ毀損スルト云ヘルコト是レナリ。

右ノ如キ反對論ハ勿々之ヲ看過スレハ一理アルカ如シト雖モ、元ト是レ一ノ想像說ニ過キサルナリ、今マ假リニ養老年金ノ影響スル所果シテ反對論者ノ云フカ知キ事實アリトセンカ、是レ養老年金ニ伴フ所ノ弊害ニシテ實ニ容易ナラサルコト、言ハサルヘカラス、然レトモ其真相決シテ然ラス、反對論者ノ云フ所ハ養老年金ノ影響スル所然カアラントノ想像ニ出テタルモノニ外ナラス、蓋シ其論據トシテ確證ヲ舉ケサレハナリ、養老年金ノ主張論者ハ決シテ斯ル薄弱ナル反對論ノ爲メニ左右セラルヘキモノニアラサルナリ、養老年金制度ノ必要ナルコトハ既ニ世間ニ向ツテ發表セラレタルモノナリ、相當ノ理由ノアルアラハ之ニ反對スルモ可ナリ、今マ茲ニ一ノ反對論ヲ唱フルモノアリ其反對論ノ主意ハ前ニモ述ヘタルカ如ク養老年金給與ノ結果トシテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ毀傷スルニ至ルヘシト云フニアリ、斯ク反對論ヲ立ルハ妨ケナシト雖モ確乎タル立論ノ主意ナカルヘカラス、斯ル反對論者ノ言フ所ニ耳ヲ傾ケルモノモアルヘク、或ハ其論述シタル書類ヲ愛讀スル人モアルヘシ、反對論者タランモノハ斯ル愛讀者及聽衆ヲ満足セシムル丈ケノ定説ナクンハアルヘカラス、尙ホ之ヲ換言スレハ養老年金給與ノ結果トシテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ毀傷スルニ至ルヘシトノ結論ヲ爲スニ就テハ、確乎タル證據ヲ舉ケサルヘカラス、養老年金ヲ給與センニハ斯ル不都合ナクンハアラストノ確證ヲ示サルヘカラス、斯ル確乎タル立論ノ主意更ニ之レナシトセンカ、斯ル反對



論ハ更ニ價值ナキモノナリ毫モ取ルニ足ラサルモノナリ。

或ハ人アリテ右ノ如キ反對論ハ是レ輿論ナリト云ハンカ、今マ予ノ見ル所ヲ以テスレハ好シ輿論ナリトスルモ毫モ採ルニ足ラサル輿論ナリト言ハサルヘカラス、是レ他ナシ其論ノ根據ノ有無ニ就テ毫モ注意スル所ナクシテ、世間ノ男女カ無暗ニ雷同シタルニ過キサレハナリ。

今マ茲ニ一種ノ新説起リタリトセンカ、此新説ノ正當ナルヤ否ナヲ知ラント欲セハ、各人皆ナ須ラク自家ノ實驗ニ照シテ果シテ斯ル理論ノ立ツヘキヤ否ナヲ仔細ニ研究調査センコトヲ要ス、是レ其説ノ眞僞ヲ判別スルノ好方法ト謂ツヘキナリ、養老年金反對論ニ就テモ亦タ然カナシテ初メテ其眞僞ヲ判別シ得ヘキナリ、今マ茲ニ人アリ餘リニ家計豊カナラサルニ平生勤儉力行ヲ事トシタルモノニアラス、然ルニ其老年ニ及ンデ家計上餘裕アリテ安穩ニ殘年ヲ送ルコトヲ得ヘシト云フモノアランカ、何人モ自家ノ實驗ニ照ラシテ首肯スルモノナカルヘキナリ。

吾人ハ今マ左ノ如キ疑問ヲ發セント欲ス、曰ク前途ニ於テ養老年金ヲ得ルノ見込アルカラトテ、人其平生ノ勤勉力ヲ損耗スルニ至ルナキカ、即チ一層不勉強ニナルナキカ、一層不注意ニナルナキカ、曰ク既ニ幾干カノ貯金ヲ爲シ尙ホ引キ續キテ爲シツ、アルモノカ、將來養老年金ヲ受ルノ望ミアルヲ以テ以後其貯金ヲ爲スコトヲ中止スヘキカ、曰ク養老年金ノ給與セラル、コトハ寧ロ勤儉力行ノ獎勵法トハナラサルカ、養老年金ト勤儉ノ結果トヲ併セ得テ老後ヲ安樂ニ送ラント欲スルノ心ヲ生セサルカ、曰ク養老年金ノミヲ心當ニシテ今日ノ勤儉ヲ怠リタランニハ、老後如何ナル悲境ニ陷ルヤモリ測知ルヘカラストノ觀念ナキ

カ、今日ノ勤儉力行ハ老後養育院ニ入ルヲ避クルノ手段タルコトヲ知ラサルカ、此等ノ疑問ニ對シテ恐ラクハ然ラスト云フモノナカルヘシ。

一瞬時考察セヨ、事ノ真相ハ直チニ判明スヘキナリ、人ヲシテ其氣力精神ヲ損耗銷沈セシムルモノ、其將來ヲ悲觀スルヨリ甚タシキモノハナカルヘシ、凡ソ男性タルト女性タルトヲ問ハス今日ノ業務上不注意怠慢ナルモノハ、畢意スルニ其將來ヲ悲觀スルニ基ツカスンバアラス、前途有望ナルモノニシテ今日ノ業務上ニ不注意怠慢ナルモノハ殆ント之レナシト謂ツテ敢テ不可ナルヘシ、此ニ由リテ之ヲ觀レハ人其年齢六十五歳ニ達シタランニハ、養老年金ヲ受ルノ望ミアルカラトテ之カ爲メニ、勤儉力行ノ習慣ヲ損耗スヘシトノ斷定ヲ下スコト能ハサルナリ。

養老年金給與ノ結果トシテ弊害生スヘシトノ論據ハ立ツヘキモノニアラサルナリ、即チ養老年金給與ノ結果トシテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ減殺スヘシトノ論斷ハ毫モ、根據ノナキモノニシテ取ルニ足ラサルナリ、今マ予ハ親シク實驗シタル事柄ニ依リテ之ヲ證明セント欲ス、即チ此事柄ト云ヘルハ養老年金給與ノ事ニ關スルモノ是レナリ、予ノ親シク相知レル所ノ一村落ニ一ノ俱樂部アリ、其俱樂部ト云ヘルハ一ノ親愛協會ト謂ツヘキモノニシテ、之カ會員タランモノハ通常ノ利便ヲ受クヘキ外ニ、老衰シテ最早ヤ勞働スルコト能ハサル年齢ニ達シタランニハ、其協會ヨリ養老年金ヲ受クヘキ規定アリ、乃チ其年金ト云ヘルハ每週六噓ノ割合ヲ以テ給與セラル、コト、知ルヘシ、既ニ斯クノ如キ事實アリ、而シテ果シテ反對論者ノ唱フルカ如キ結果アリトセンカ、斯ル協會ノ會員タランモノハ將來養老年金ヲ受ルノ見込アルヲ以テ、平生節儉ヲ



守リテ老後ノ計ヲ爲ノ必要ナシトテ、身ヲ持チ崩シテ僅カニ協會ノ會費ヲ支拂ヒ得ルカ夫レサヘモ覺東ナキニ至ルヘキナリ、且ツ此反對論者ノ見込ニテハ斯ル協會ハ決シテ久シキニ亘リテ維持セラレヘキモノニアラス、暫時ニシテ廢滅ニ歸セスンハアルヘカラスト思フナルヘシ。

然ルニ事實ハ反對論者ノ豫想ト全ク反對ニ出テタルハ嗚呼亦奇ナラスヤ、養老年金ヲ支給スル右ノ俱樂部ハ其創設以來凡ソ幾ケ年ヲ經過シタルカ、予ハ其詳ヲカナルコトヲ知ルコト能ハサルナリ、然レトモ如何ニ少ナク計算シテモ其創立以來四十年ヲ經過シタルコトハ極メテ慥カナル事實ナリ、予ハ其俱樂部ニ屬スル人ニシテ予ノ住宅ノ近所ニ住メルモノ三四名ヲ久シク相知レリ、此等ノ俱樂部員ハ會費ヲ納ムルトテ善ク俱樂部ヘ出掛ケタルコトヲ記憶シ居レリ、又タ此等ノ俱樂部員ノ兩三名ノ俱樂部ヨリ歸リ來ル有様ヲ見ルニ一杯機嫌ノ悅ハシキヲ見ルコト珍ラシカラス、是レ其俱樂部ノ會合カ料理店ニ於テ開催セラレタルヲ證スルニ足ルヘシ、サレハ反對論者ノ唱フルカ如キ結果ナキコト得テ知ルヘキノミ、右ノ俱樂部ハ管ニ維持シ得ラル、ノミナラス、俱樂部員モ大ニ増加シ從ツテ其資金モ大ニ増殖シ漸次隆昌ニ赴ケリ、予カ親シク實驗シタル事柄ヲ掲ケテ以テ予ノ説ノ最モ確實ナルコトヲ證サント欲ス、予カ尙ホ幼少ノ時ノ事ナリシカ、予ノ居村ノ人ニシテ此俱樂部員トナレルモノ三人ヲ知レリ、共ニ是レ村内ノ労働者ナレトモ、皆ナ萬事ニ注意深クシテ自重心厚キモノナリ、内兩人ハ共ニ數多ノ家族アレトモ尙ホ且ツ幾干ツ、カノ貯金ヲ爲シ、年齢六十五歳ニ達シタル時ハ、何程カノ財産ヲ有スルニ至レリ、予ノ知ル所ヲ以テスレハ此等三人ノ内一人トシテ其俱樂部ヨリ養老年金ヲ受ケタルモノハアラサリシナリ、而シ其内ノ一人ハ今マ尙ホ生存シ居リ

テ、其年齢既ニ七十歳以上ナレトモ或ル工場ニ雇ハレテ労働シ居レリ、此等ノ家族ハ何レモ衣食住ニ左マテ不自由ナク、普通労働者ヨリ一層安樂ニ暮シ居レリ、但シ其内最後ノ一人ハ其親戚中ノ頼ルヘナキノモヲ扶助スルカ爲メニ家計豊カナラサレトモ、獨立自尊ノ氣象熾ンニシテ彼ノ俱樂部ヨリ養老年金ヲ受クヘキ資格アルニモ拘ラス、之ヲ受ルコトヲ潔シトセス、殆ント八十歳マテ労働ニ從事シ、生涯養老年金ヲ受ケサリシトソ。

右ニ述ヘタル三人ハ其俱樂部員中一頭地ヲ抜キタルモノナルヤ否ナヤハ今更云フノ必要ナキナリ、只タ此事實ニ照ラシテ之ヲ觀レハ前途養老年金ヲ受クヘキ望ミハ、人ノ平生ノ労働ヲ鈍ラスモノニアラサルコトヲ證スルニ足ルヘキノミ、否ナ反動力ヲ起シテ尋常人ヨリ一層強健ナル奮闘力ヲ呼ヒ起シテ世務ニ當ル好結果ナルヘキナリ。

現時右ノ俱樂部ヨリ其俱樂部員ノ老年者ニ對シテハ、一週間ニ就テ六疋ツ、ノ養老年金ヲ給與セスシテ五疋フ、ヲ給與シ居レリ、是レ他ナシ從前ノ如ク尙ホ繼續シテ六疋ツ、給與シタランニハ、俱樂部ノ會計上缺損ヲ生スルノ恐レアレハナリ、予ハ曾テ此俱樂部ノ一員ト會談シタルコトアリシカ、其際彼レハ予ニ向ツ左ノ如ク述ヘシコトアリ、曰ク養老年金モ誤用セラル、コトナキ能ハス、然レトモ斯ル場合ハ極メテ稀レナルノミ、而シテ其誤用セラル、場合ト云フハ、自カラ酒ノ犠牲トナリテ身ヲ持チ崩シタル愚者ニ年金ヲ給與スルカ如キ場合はレナリ。

扱テ養老年給與ノ事之ヲ三十年間乃至四十年間ノ實驗ニ徴スルニ、左ノ如ク斷言シテ毫モ妨ケナカルヘキ



ナリ、曰ク養老年金給與ノ結果ハ、嘗ニ人ヲシテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ失ハシメサルノミナラス、反ツテ之ヲ守ルノ徳ヲ一層増加セシムルモノト云ハサルヘカラス、且ツ其節儉ヲ守リテ金錢ヲ貯フルノ有様所謂ル守錢奴ノ如ク諸事切リ詰メテ窮屈ナル思ヒヲ爲スモノニアラス、相當ノ食物ヲ取りテ體力氣力ヲ充分ニ養成シ、困難ナル仕事ニ從フモ之カ爲メニ其健康ヲ害スルコトナク又タ疲勞スルコトナク、同一ノ仕事ヲ爲セル通常人ヨリハ一層多クノ賃銀ヲ得ルモノト知ルヘシ、事實既ニ然リ、反對論者ノ唱フル所ハ毫モ憂フヘキモノニアラサルナリ。

#### 節儉ノ原理

予ハ茲ニ再ヒ節儉ト云ヘル問題ニ就テ述フル所アラントス、予ハ此問題ニ就テトウマス、カーライルカ若クハハーバート、スベンサーノ如キ廣大ナル心志アランコトヲ望ンテ止マサルモノナリ、蓋シ此等ノ人モ節儉ノ意義ヲ分析説明スルニ就テ磐石ノ如ク動カスヘカラサル定義ヲ有スレハナリ、今マ此定義ニ從ハンカ、彼ノ養老年金給與ノ結果トシテ我カ英國人カ幾分カ有シ居レリト自カラ信スル節儉ノ徳ヲ毀傷スルコトナカルヘキナリ、予ハ此事ヲ切ニ我カ國民ニ知ラシメント欲スルモノナリ、予ハ親シク實驗シタレハ之カ確證ヲ示スコト極メテ容易ナリ、今マ英國人ニシテ自カラ養老年金ノ事ニ關シテ充分ニ觀察スル所アラシカ、養老年金制度ハ嘗ニ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ害セサルノミナラス、反ツテ其習慣ヲ助長セシムルノ結果アルコトヲ知了スルニ至ラン、然レトモ如何セハ彼等ヲシテ養老年金ノ事ヲ充分ニ知ラシムヘキカハ予ノ困難トスル問題ナリ。

今マ予ハ金錢ヲ貯蓄スルノ行動即チ節儉ノ原理如何ノ問題ノ解決ヨリ説キ起サント欲ス、抑モ勤儉貯蓄ノ意義ヲ譬ヘテ言ハンカ、茲ニ難ノ巢中ニ少ナクモ一顆ノ卵アランニハ、尙ホ其上ニ雞ヲシテ卵子ヲ産マシメントスルト全ク同一ノモノニアラスヤ、吾人カ善ク知ル如ク少年ハ其父母ノ勸誘ニ從ツテ一錢二錢ノ少細ナル金錢ヲ貯フルコトヲ教ヘラル、ハ珍ラシカラサルナリ、而シテ其之ヲ貯フル方法ハ其親達カ一層多額ノ金錢ヲ預ケ置ケル貯蓄銀行ヘ預ケルコト通常ナリ、然レトモ其年齡結婚時期ニ到達スレハ斯ル少額ノ貯金ハ往々ニシテ消失セラル、モノナリ、試ミニ見ヨ通常一般ノ勞働者ニシテ其賃銀ノ幾分カヲ割イテ、凡テ期日ヲ定メテ貯蓄貯金ヲ爲スモノ果シテ幾人カアル、極メテ稀レナリト云ハサルヘカラス、或ハ共同社若クハ殆ント同一ノ團體アリテ、勞働者カ自カラ其會員トナリテ貯金ヲ爲スコトアリ、此等ノ勞働者ハ個人トシテハ到底何程カノ貯金ヲ爲スコト能ハサルモ、斯ル團體ニ加入シ居ルノ故ヲ以テ其規約ニ餘議ナクセラレテ貯金ヲ爲スモノト云ハサルヘカラス、是レ寧ロ貯蓄心ノ缺乏セルコトヲ證明スルモノニアラスヤ、節儉ヲ守ルノ徳ハ人ニ取リテ最トモ大切ナルモノナルニ、サリトハ實ニ歎スヘキノ至リナラスヤ、右ニ掲ケタルカ如キ團體ニ加入シタルモノハ之ヲ特別トシテ、其他貯金センコトヲ心掛ケルモノハ果シテ何人ソヤ、予カ親シク實見シタル事柄ニ徴シテ之ヲ言ハンニ、左ニ記載スルカ如キ人往々ニシテ之レアリ曰ク茲ニ人アリ當初恐クハ一百封度ノ金圓若クハ一軒ノサ、ヤカナル家屋乃至二軒ノ家屋ヲ得タリトセンカ、此時ニ當リテ此人此金圓ヲ其儘僅カニ一仙タモ手ヲ着ケスシテ之ヲ貯ヘ、若クハ其家屋ヲ大切ニ保存センカ爲メニ非常ノ氣力ト注意力ヲ呼ヒ起シタリ、而シテ其氣力ト注意力ノ實ニ熾ンナルコト其儕輩ノ遠



ク企テ及ハサル所ナリ、即チ其年齢、職業及日々ノ得ル所ノ賃銀全ク同一タル其仲間ノ遠ク及ハサル所ナリ、斯ル人ハ久シキヲ出テスシテ富有家トナラスンハアラス、又タ予ハ曾テ一ノ労働者ヲ知レリ、此労働者ハ一週間ニ就テ相當ノ賃銀ヲ得ルモ、皆ナ是レ其週間ニ使ヒ果シテ毫モ之ヲ貯フルコトヲ爲サ、リシカ其父死亡シタル爲メ幾干カノ遺産ヲ受ケタルカ、或ハ其他ノ手段ニテ儲ケ得タルカ、兎ニ角何程カノ財産アル身トナリタリ、既ニシテ此労働者ハ此財産ヲ如何ニ處分シタルカト云フニ、彼レハ取リ敢ヘス先ツ之ヲ銀行ニ預ケタリ、斯クテ此労働者ハ此時ヨリ此預金ニ對シテハ年ニ幾干ノ利子ヲ生スルカヲ計算シ、次ニハ之ヲ數年間据ヘ置キニ預ケ置キタランニハ、終ニハ元利合計如何程ニナルヘキカヲ計上スルニ至リタリ、既ニ斯ル計算其胸間ニ浮ミ來リシヨリ金銭ヲ貯フルコトニ就テ大ナル趣味ヲ生シ、益々節儉ヲ重ンスルノ習慣ヲ養成シ、子母錢累積シテ終ニ大富豪家トナリタルナリ。

既ニ右ノ如ク財産家トナリタル以上ハ其以前辛酸若楚人生ノ行路難ニ呻吟シタル時トハ大ニ其趣ヲ異ニセスンハアラス、何事ヲ爲スニモ輕舉ニ出テス慎重ノ態度ヲ取リテ、苟クモ再ヒ貧苦ノ窮境ニ陥ルカ如キ危険ナルコトヲ爲サス、注意周到以テ事ヲ處スルニ至レリ、而シテ其此ニ至レル所以如何ト云フニ、其當初幾干ノ遺産ヲ得タルヨリ貯金ヲ爲スノ導火線トナリ、從ツテ節儉ヲ守リテ金銭ヲ貯フルコトニ就テ次第ニ興味ヲ生スルニ至リ、サテコソ終ニ富豪家トナリタルモノト云ハサルヘカラス、尙ホ之ヲ換言スレハ一朝幾干カ金圓ヲ得ルコトハ、人ヲシテ勤儉貯蓄ノ習慣ヲ養成セシムル獎勵法ト云フモ敢テ妨ケナカルヘキナリ。

右ノ如キ事實ニ據リテ之ヲ推ス時ハ養老年金給與ノ事モ、亦タ是レ勤儉貯蓄ノ獎勵法ト云ツテ敢テ妨ケナカルヘキナリ、人其年齢六十五歳ニ達シタランニハ毎週六昧ツ、ノ養老金カ錠カニ得ラル、トセンカ、是レ取リモ直サス一二軒ノ借家ヲ所有シ之ヲ他ニ貸與シテ毎週六昧ツ、ノ家賃ヲ取リ立テルト同一ノ結果ナラスヤ、好ラスヤ、或ハ圖ラスモ二百封度ノ金銭ヲ得テ之ヲ銀行ヘ預ケテ、其利子ヲ得ルト同一ノ結果ナラスヤ、好シ目ニ觸ル、借家ナシト雖モ、銀行ノ預證書ナシト雖モ、規定ノ年齢ニ達シタランニハ毎週六昧ツ、得ラル、コトハ國家ノ保證スル所タリ。

後年ニ至リテ養老年金ヲ受クヘキ見込ノアルモノカ果シテ如何ナル觀念ヲカ生スヘキ、彼等自カラ以爲ラク六十五歳後毎週六昧ツ、ノ収入アリタランニハ、或ル食物若クハ或ル衣服ヲ買ヒ入ル、コトヲ得ヘシト雖モ、其他種々好ミノ物ヲ皆ナ悉ク買ヒ入ル、コトハ到底望ムヘカラサルモノナリ、彼ノ驢鼠スラ尙ホ且ツ物ヲ貯ヘ置クコトヲ知レリ、我々貯蓄スルノ心ナカルヘカラス、我々養老年金ヲ受ケ得ヘキ年齢ニ達シタラン場合、老衰ノ餘不幸ニシテ労働ニ従事スルコト能ハサランカ、此際養老年金ノ外ニ尙ホ何等カノ餘財アリ、併セ得テ餘生ヲ安ラカニ送ルヘキ覺悟ナカルヘカラストテ、其得ル所ノ賃銀中ヨリ好シ少額ナリトモ幾干ツ、カ之ヲ割キテ、之ヲ貯ヘ置クノ決心ヲ生スルニ至ルヘキナリ。

然レトモ右ハ然カアルヘキ實例ヲ示シタルマデニシテ、勿論世間皆ナ然リト云フコトヲ得サルナリ、世間男女ノ數得テ數フヘカラス、而シテ此無數ノ男女ノ性質皆ナ一樣ナラス、前途養老年金ヲ得ルノ望ミアルノ故ヲ以テ、之ヲシテ平生皆ナ節儉ヲ守ラシムルコトハ、到底不可能ノ事ト云ハサルヘカラス、養老年金



ノ事ヲ研究シ且ツ諸ロノ地方ニ住居シタラン人ハ、左ノ如キ事實ヲ證言スルナルヘシ、曰ク節儉ヲ守ルノ習慣地方ノニ從ツテ著シク異ナル所ナクンハアルヘカラス、即チ或ル地方ニ於テハ節儉ヲ守ルノ習慣一般ニ善ク行キ亘リ居レトモ、此地方ヲ距ルコトサマデ遠カラサル他ノ地方ニ至リテハ然ラズ、其男性タルト女性タルトヲ問ハス、平生節儉ヲ守リ居ルモノ極メテ稀レナルカ如キ是レナリト、又タ節儉ヲ守リ其他家計上諸事注意ノ行キ届クモノト、諸事不注意ニシテ一寸先ノ事ヲ慮ハカラサルモノトカ、其後生子孫ニ及ホス感化力如何ハ、今マ精密ニ之ヲ明言スルコト能ハサルナリ、現在ノ個人、家族及人種ノ生計法及其他ノ習慣ヲ養成スルニ就テ、大ニ與カリテ力アルモノト言ハサルヘカラス、サレハ今マ前途養成老年金ヲ得ルノ望ミアルヲ以テ勤儉貯蓄ノ必要ヲ感シテ、之ヲ實行スルモノ玆ニ一人アランカ、之ニ感化サル、モノアランハ予ノ深ク信シテ疑ハサル所ナリ。

以上掲ケタル所ハ勤儉貯蓄ノ原理ヲ説明シタルモノ是レナリ、今マ之ヲ概括シテ云ヘハ左ノ如シ、曰譬ヘハ雞巢中ニ尙ホ未タ一顆ノ卵子タモ見サル場合ニ於テ、雞ヲシラ卵子ヲ産マシメントスルカ如キモノニアラス、既ニ巢中ニ一顆ノ卵子アリ、卵子ヲ産マシメテ之ニ加ヘント欲スルカ如キモノ是レナリ、貯蓄ノ素因ナキモノニ對シテ安リニ貯蓄セヨト勸ムヘキモノニアラス、既ニ何等カノ貯蓄ノ方法立チタルモノニ對シテ貯蓄シテ尙ホ之ニ加ヘヨト勸ムヘキモノナリ、反對論者ハ養老年金給與ノ結果ハ勤儉貯蓄ノ徳ヲ傷フモノナリト云ヘリ、然レトモ予ノ意見ニテハ却ツテ之ヲ獎勵スルモノト云ハサルヘカラス、抑モ養老年金ナルモノハ一顆ノ卵子既ニ巢中ニアルカ如シ、我英國ノ職工及勞働者タランモノハ尙ホ此上ニ他ノ卵子ヲ

加フルノ心ヲ以テ、其得ル所ノ賃銀中ヨリ幾干ツ、カヲ割キテ貯ヘンコトコソ望マシケレ、

#### 佛蘭西人及其農夫都人士

養老年金ノ節儉ノ習慣ニ及ホス影響如何ノ問題ニ於テハ、予ハ既ニ上來長ク論述シタル所アルモ尙ホ且ツ之ヲ論述スルコトヲ止メス、引キ續キテ之ヲ論述セント欲ス、蓋シ是レ予自カラ此問題ニ就テ疑團ヲ挾ム所アリテ然ルニアラス、其他ニ理由アリテ存スレハナリ、所謂ル其理由トハ何ゾヤ一般ニ左ノ如キ想像說ヲ抱ケハナリ、曰ク平生自カラ節儉ヲ守リタル結果ニアラスシテ、他ヨリ養老年金ヲ給與セラル、コトアランカ、其影響トシテ節儉ヲ守ルノ習慣ヲ害スルコトナクンハアラス、又タ此養老年金ヲ政府ニ屬スル貧民救助委員ノ手ヨリカ若クハ其他ノ團體ノ手ヨリ給與セラル、コト、センカ、或ル壓制手段ヲ施コスニアラサル以上ハ、之ヲ受ルモノヲシテ空シク浪費セシムルノ恐レナクンハアラスト、是レ則チ廣ク一般ニ想像セラル、所ノ說ナリ、斯ク一般ニ流布セラル、想像說アルヨリ予カ此問題ヲ論述スルコトヲ止ムルコト能ハサル所以ナリ、而シテ今マ斯ル一般ノ想像說ヲ打破スルノ方法ハ僅カニ一アルノミ、即チ英吉利瀬戸ヲ踰ヘテ彼方ナル一大國民タル佛蘭西國民ノ習慣ニ就テ人ノ注意ヲ呼ヒ起シ、以テ此問題ヲ解決スルコト是レナリ。

然レトモ佛國農民ノ情態ト我英國通常ノ勞働者ノ情態トカ極メテ善ク相類似シ居レリトノ說ヲ予ハ抱クモノニアラザルナリ、然レドモ試ミニ佛國農民ノ有様ヲ見ヨ、世界ニ於テ我英國人ノミカ節儉ヲ守ルノ國民タラザルコトカ分リ、且ツ最近一百年間佛國人民ハ既ニ巢中ニ一顆ノ卵子アルニ加ヘテ、尙ホ其他ノ卵子



ヲ産マシメントスルノ主義ヲ實行シ居レルコトヲ知了スルニ至ラン。

我カ隣邦佛蘭西國ノ人民ハ或ル期間殊ニ吾人カ長ク記憶シテ忘ル、ヘカラサル普佛戰爭ノアリシ年ナル一千八百七十一年ニ於テハ、驚クヘキ節儉ノ結果ヲ現ハシタルニアラスヤ、吾人ハ之ヲ見テ實ニ感賞措ク能ハサリシナリ、蓋シ此戰爭ハ佛軍全數ノ餘戦局ヲ結ヒ其償金トシテ五十億「フラン」ヲ日耳曼國ニ取ラレタリ、斯クテ此莫大ナル償金カ佛國ヨリ日耳曼國ヘ拂ヒ込マル、ノ有様ノ廣大無邊ナルコトハ、如何ニモ神變不思議ナル大魔術使カアリテ、無盡藏ナル大寶庫ヨリ續々金銀ヲ山ノ如ク積ミ出スカト思ハル、ハカリナリ、而シテ斯ル無數ノ大金ハ實際何レノ所ヨリ出テ來リシヤト云フニ、概シテ佛國農民ノ勤儉貯蓄ヨリ湧出シタモノニ外ナラサルナリ、是レ世間何人ト雖モ異論ナキ所ナルヘシ、佛國ハ既ニ敗軍ノ餘斯ル莫大ナル償金ヲ敵國ニ取ラレタル以來大ニ奮發スル所アリテ、其子弟教育ノ爲メ費ヤシタル所ノ金圓ハ實ニ驚クヘキ多額ニ登ラスンハアラス、斯ク子弟教育費トシテ莫大ナル金圓ヲ擲テ顧リミサル所以ノモノハ他ナシ、其子弟ヲ充分ニ訓練教育シテ將來起リ得ヘキ大戰爭ノ用ニ立タシメンカ爲メナリ、既ニ莫大ノ償金ヲ支拂ヒ復タ之ニ加フルニ多額ナル子弟教育費ヲ支出ス、其耐忍力强クシテ勤儉貯蓄ノ氣象ニ富メルコト推シテ知ルヘキノミ、佛國農民ハ何ハ又手措キ先ツ第一ニ勤儉貯蓄ヲ專ラトシ、勤儉貯蓄ハ佛國農民ノ特有性ト信スヘキ理由ナクンハアラス、是レ予一個ノ私論ニアラス、輿論ノ歸着スル所皆自然ラスンハアラス勤儉貯蓄ハ佛國西人生來固有ノ性質ナルカ、佛蘭西人ハ一ハ人種ヨリ成レルカ或ハ之ヲ分テハ數個ノ人種トナルヘキカ今マ佛蘭西人ハ數人種ヨリ成リ立テルモノトセンカ、勤儉貯蓄ハ其内如何ナル人種ノ生來固有

ノ性質ナルカトノ疑問起ランカ、吾人ハ斯ル疑問ニ對シテ抑モ勤儉貯蓄ナルモノハ生來固有ノ性質タルヘキモノニアラスト答ヘンノミ、試ミニ見ヨ剛情我慢ノ心ニ富メル我カ不列顛人種スラ、尙ホ且ツ節儉ヲ守ル國民ノ基礎トナルヘキ注意力ヲ耐忍力ノ強キモノナキニアラスヤ、殊ニ南方ニ向ヘハ向フ程人氣益々輕跳浮薄ニ傾クニアラスヤ、勤儉貯蓄ノ習慣アルヲ佛蘭西人ノ生來固有ノ性質ニ歸スルコト能ハサルナリサレハ佛蘭西人ノ勤儉貯蓄ノ心ニ富メルハ果シテ何ニ原因スルカ、其生活ノ狀態然ラシムルカ、或ハ其周邊ノ情勢然ラシムルカ。

佛蘭西國ハ吾人ノ善ク知レルカ如ク彼ノ大革命以來地方ノ生活狀態大ニ一變シタリ、即チ概シテ農本主義トナリ専ラ農業ニ重キヲ置クコト、ナレリ、今茲ニ一ノ農夫アリ幾干ノ土地ヲ所有スルトセンカ、自分ハ云フマテモナク其妻子眷族ヲシテ其土地耕耘ニ從事セシメサルハナク、而シテ年所ヲ經過スル中ニ此等ノ土地ヲ子供等ニ分配シ、勤勉力行益々農業ヲ發達セシムルコト、ナレリ、是レ佛國農業ノ今日隆盛ナル所以ナリ。

又タ讀者諸君ヨ、眼ヲ轉シテ佛國農夫カ勤儉貯蓄ノ事ニ關シテ、用意周到ナル習慣ヲ養成シ來リタルコト如何ナルカヲ見ヨ。

農夫カ平生耕耘ニ勤メタルノ結果ヲ以テ一小區域ノ土地ヲ新タル我所有ニ歸セシメンニハ、其困難ナルコトヲ得テ想像スヘキノミ、若シ斯ル農夫カ都會ニ出テ何等カノ手工ニ從事シ、ケ程ノ勞苦ヲ積ミタランニハ、尙ホ幾倍ノ收益アルヘキハ亦タ疑フヘキニアラサルナリ、然レトモ小區域ノ土地モ既ニ我有トシタラ



ンハ極メテ駢カナルモノニシテ、復タ動カスヘカラサル財産ト謂ツヘキナリ、且ツ此等ノ土地ハ一旦我所  
有トナリタルカラトテ、其儘等閑ニ附シ置クヘキモノニアラス、之ヲ維持センカ爲メニハ非常ノ勞苦ヲ積  
マサルヘカラス、又タ此等ノ土地ヨリ上ル所ノ物成ノ幾分ヲ貯ヘンカ爲メニハ出來得ヘキ丈ケ節儉ヲ守ラ  
サルヘカラス、而シテ其節儉ヲ守ルヤ一朝一夕ニアラス、久シキ年月ニ亘リテ毫モ油斷スヘキモノニアラ  
サルナリ、一攫千金ハ決シテ彼等ノ望ム所ニアラス、所謂ル粒々皆ナ辛苦ナルモノ是レナリ、斯クノ如ク  
シテ得タル富ハ其基礎實ニ鞏固ナリト云ハサルヘカラス。

佛國農夫ノ状態ハ概テ右ニ述ヘタルカ如シ、然レトモ都人士ノ有様ニ至リテハ大ニ其趣ヲ異ニスル所ナク  
ンハアラス、即チ佛國ノ巴里、里昂若クハ馬爾西ノ如キ大都會ニ居住スルモノ、状態ハ右ノ如キ農夫ノ有  
様ト大ニ異ナル所ナクンハアラス、然レトモ此等ノ都人士モ尙ホ且ツ節儉ヲ守ルノ心ナキ能ハス、均シク  
是レ節儉ノ名アレトモ農夫ノ節儉ト都人士ノ節儉トハ其趣自カラ異ナル所ナキ能ハス、斯ク其節儉ノ趣異  
ナル所アリト雖モ、恐ラクハ是レ地方ヨリ農夫都會ニ移住シ來リテ其感化ヲ及ホシタルノ結果ナルヘシ、  
農夫中年ニシテ地方ヨリ都會ニ移住シ來リテ都人士ノ風ニ化スル所アルモ、其幼少ノ時節儉ヲ守リタル習  
慣ノ忘レヤラスシテ、サテコソ都人士ヲ感化シタルモノト謂ツヘキナリ、然レトモ斯クノ如キコトハ全ク例  
外ニ屬スルモノニシテ、一般ニ然リト證言スルコトヲ得サルナリ、旅行シテ佛國ヘ入りタルモノハ皆ナ是  
レ農夫ト都人士トノ間ニ著シキ差異アルコトヲ實見セシムルハアラス、試ミニ見ヨ、農夫ハ實ニ僅些ノ土地  
ニテモ苟クモ之ヲ所有シタランニハ、我所有ナリトテ之ヲ重ニスルコト甚タシク、之ヲ所有スルノ一事以

テ節儉ヲ守ルノ動機獎勵タラスンハアラス、此等ノ農夫カ一タヒ其所有トナシタル土地ハ決シテ再ヒ之ヲ  
賣却スルノ意ナク飽クマテ其所有ニ歸セシメシムルハアラス、其土地ヲ所有スルコトハ其誇揚スル所タリ其  
榮譽トスル所タリ、何等カノ事情アリテ身ヲ持チ崩スヘキ惡道ニ誘引セラレントスルノ際、之ヲ避ケテ安全  
ナラシム所以ノモノハ、我レハ土地ヲ所有シ居レルモノニアラスヤトノ觀念是レナリ、此觀念ハ恰カモ是  
レ世海ノ暴風怒濤ヲ避ケテ安全ナラシムヘキ船ノ碇若クハ底荷トモ謂ツヘキモノナリ、概シテ之ヲ言ヘハ  
佛國ノ農夫ハ儉素ニシテ勤勉力行孳々倦マサルモノ是レナリ、然ルニ穢ツテ佛國都人士ノ有様如何ヲ顧リ  
ミルニ、其間甚ハタシキ大差ナクンハアラス、佛國ノ都人士ハ每週得ル所ノ賃銀ノ外曾テ何モノヲモ所有  
セサルナリ、而シテ其儲ケ得ル所ノ金額如何ト云フニ、此等ノ都人士ノ同胞兄弟タル地方ノ農夫ノ所得ニ  
倍スルコト往々之レアリト雖モ、殆ント節儉ノ何モノタルヲ知ラサルモノ、如シ、此等ノ都人士ハ彼ノ農  
夫ノ如キ節儉ヲ守ルノ動機獎勵トナルヘキ土地ヲ有セス、從ツテ往々農夫ト全ク反對ノ有様ヲ現セサルヲ  
得ス、佛國ノ都人士ノ社交上、政事上及經濟上ニ於テ其爲ス所ヲ見テ以テ外國人カ果シテ如何ノ觀  
念ヲ生シ來ルヤト云フニ、左ノ如キ觀念ヲ生シ來レリト云ハサルヘカラス、曰ク佛國人ハ不注意ナリ輕浮  
ナリ、虛榮ヲ好ムモノナリ、氣質躁急ニシテ移リ易キナリ、只タ今日ノミヲ知リテ明日アルヲ知ラサルモ  
ノナリ、何事カニ激セラレテ一時靜着スルニアラスンハ平和ナルコト能ハサルモノナリ。

若シ佛國ノ都人士カ自然ノ自由ニ放任セラレタランニハ、其噪狂輕浮ノ氣質ニ驅ラレテ如何ナル事ヲ仕出  
來サンモ測リ知ルヘカラサルナリ、然ルニ地方ノ農民ニ至リテハ然ラス、諸事着實穩當ニシテ常ニ質素儉



約ヲ守ラサルハナク、都人士トハ全ク正反對ニ出ツルモノト云ハサルヘラカス。

佛國ノ農夫カ若干ノ土地若クハ屋敷地ヲ其所有ト爲シタラン場合ニハ、痛ク之ヲ貴重シ節儉ヲ守ルノ動機獎勵法タラスンハアラストハ、既ニ前述セル所ナルカ、人其年齢六十五歳ニ達シテハ養老年金ヲ給與スルコト、ナリタランニハ右ト同一ノ結果アルヘシト云フモ敢テ不可ナカルヘシ、斯ク養老年金ヲ給與スルコトハ何人ノ耳目ニモ觸レ易キカ故ニ、前者ト均シク節儉ヲ守ルノ動機獎勵法タラスンハアラス、斯クテコソ養老年金ハ其効用アルヘケレ、即チ人ハ養老年金ト平生節儉ヲ守リタル結果トヲ併セ得テ以テ其老後ヲ安穩ニ送ルコトヲ得ヘキナリ、只タ養老年金ノミニ依頼シテ毫モ其他ヲ顧リミサリシモノ、老後ト、之ト併セテ平生節儉ノ道ヲ守リテ若干ノ餘財アルモノ、老後トヲ比較シテ、其間如何ニ差アルヘキヤハ、今更予ノ喋々スルヲ要セス、人々ノ得テ想像スルニ任センノミ、之ヲ要スルニ養老年金ハ之ヲ受クヘモノヲシテ、節儉ヲ守ラシムヘキ動機獎勵法トナランコト、恰カモ是レ佛國ノ農夫カ其所有スル土地ト同一ナランコトコソ望マシケレ。

養老年金ニ關スル反對論者稍モスレハ即チ曰ク養老年金ハ節儉ヲ守ルノ徳ヲ減殺セシムルモノナリ、我カ國民ノ工業上ニ於ル勞力ヲ損耗セシムルモノナリト、是レ固ヨリ一種ノ想像說ニシテ正確ナル論據アルモノニアラス、一ノ謬見ニ過キサルモ頑乎トシテ其說ヲ主張シ、容易ニ其謬見タルコトヲ悟リセシムルコト能ハス、然ルニ斯ル反對論者ト雖モ尙ホ且ツ左ノ如キ事實ニ就テハ敢テ異論ヲ挾マサルナリ、曰ク佛國農夫ノ眞面目ニシテ怠リナク善ク働クコトハ、恐クハ歐羅巴大陸中曾テ匹敵スルモノナカルヘキナリト、佛國

ノ農夫ハ種々ノ點ニ於テ我英國ノ土方及勞働者ニ劣レル所アリト雖モ、復タ大ニ優ル所ナクンハアラス、年カ年中日出ヨリ日没マテ監督ナキモ陰日向ナク善ク勞働スルノ結果、日用品ニ缺クルコトナク又タ救貧院ニ入ルノ必要ナキコト是レナリ、將來養老年金ヲ受クヘキ望ミアルハ、恰モ佛國農夫カ土地ヲ所スルト同一ノ觀念ヲ抱キテ、勤勉力行以テ財ヲ貯フルノ動機トナサンコトヲ予ハ切望シテ止マサルモノナリ。

現行制度ノ心身ニ及ホス影響

予ハ是レヨリ現行ノ制度カ人ノ心身ニ如何ナル影響ヲ及ホスカノ問題ニ就キテ聊カ論述スル所アラントス試ミニ思ヘ、世人カ今日活計ヲ營ム上ニ就テ將來老後ノ殘年ヲ如何ニシテ送ルヘキカヲ豫想セサルモノハナカルヘシ、若シ斯ク豫想スルノ際老後ノ手當ヲ得ヘキ望ミ全ク之レナシトセンカ、斯ル場合ニ於テ落膽ノ餘其生計上ノ活動力ヲ失フコト果シテ如何ソヤ、先ツ其氣力ヲ落シ次ニ其體力ヲ失フヘキナリ、老後安カニ其殘年ヲ送ルヘキ見込ナキヨリ其身心ヲ害スヘシト雖モ、當面危急ノ事ニアラサルカ故ニ、其男タルト女タルトヲ問ハス、左マテ著シキ事ト思惟セサルヲ以テ覺ヘス知ラス等閑ニ附シ去ルヲ常トセリ、然レトモ其老後ノ事ハ全ク之ヲ忘ル、コト能ハス、時ニ或ハ心ヲ痛ムルコトナクンハアラス。

吾人ハ今マ宗教上ノ立場ヨリ之ヲ言ハス、普通一般ノ意見ヨリ之ヲ言ハンニ、今日ヲ最モ快活ニ最モ怡樂ニ送ラシメントスルニ與カリテ大ニ力アルモノハ果シテ何ソヤトノ問題起ランカ、之ニ對シテ種々ノ答案アルヘシト雖モ、予ハ之ニ答フルニ左ノ數語ヲ以テセント欲ス、曰ク將來老後ノ殘年ヲ安穩ニ送ルヘキ望ミアルコト是レナリ、所謂ル養老年金ヲ受クヘキ望ミハ取りモ直サス今日ヲ最モ快活ニ最モ怡樂ニ送ラシ



ムルニ與カリテ大ニ力アルモノト謂ツヘキナリ、養老年金ハ人生行路ノ首途トモ謂ツヘキ少壯時代ヲ活潑愉快ニ過サシムヘキ力アルモノト謂ツヘキナリ、試ミニ見ヨ人生ノ一寸先ハ闇ナラスヤ、將來老後ノ事ヲ想ヒ回セハ何タル望ミモナク何タル怡樂モナク只タ暗愴迷悶トシテ空シク懊惱スルノミ、今マ我國ニ於テ斯ル悲惨ノ中ニアリテ沈吟セルモノ幾千萬ナルヤ得テ知ルヘカラス、既ニ斯ル悲境ニ陥キレルモノハ人ヲ見ルヲ欲セス、空シク昨日ヲ憶ヒ今日ヲ送ルモ將タ又タ何ヲカ爲サン、只タ見ル自分ヨリ年二十モ超ヘタラント思フ隣人ハ見ス、養育院ニ送ラル、向ホ幼少ナル男女ハ其父母カ一家團樂ノ愛ヲ割レテ山ヲ越ヘ谷ヲ踰ヘテ救貧院ニ送ラル、ヲ見ルノミ、其慘狀得テ想像スヘシ。

我々多數ノ人民表面ハ愉快ニ其日ヲ送ルモノ、如シト雖モ、其實右ノ如キ慘狀悲境ニ陥ルモノナクンハアラス、我國民ノ大多數ハ其前途ニ斯ル慘狀悲境ノ横ハリ居ルモノト謂ツヘキナリ、而シテ之カ爲メニ懊惱憂苦ノ念ヲ生スルハ亦タ已ヲ得サル次第ナラスヤ、勿論既ニ成年ニ達シタル男子及女子カ其前途ヲ悲觀スル爲メ、其健康肉體上ニ果シテ如何ノ影響ヲ及ホスヘキカハ今マ遽カニ判定シ難シト雖モ、其惡影響ヲ及ホスコトニ至リテハ何人モ異論ナカルヘキナリ、只タ惘然トシテ何タル思慮モナキモノハ其前途ヲ悲觀スルコトナキハ云フマテモナク、差シ當リ眼前ノ事スラ憂フル所ナカルヘキナリ、然レトモ物ノ前後左右ヲ考ヘ事ノ緩急輕重ヲ知レルモノハ、其前途老後ノ事ニ至リテハ、最モ憂慮シテ措カサル所ナリ、殊ニ老後ノ最モ深ク憂慮スルモノハ労働社會是レナリ、労働者ハ年ヲ重ヌルト共ニ漸次其活動期間ノ終末ニ近ヨリタランニハ、其氣力體力共ニ大ニ減退シ終ニハ労働ニ從事スルコト能ハサルニ至ルヘキナリ、是レ通常

労働者ノ踏ムヘキ往路ニシテ中ニ就テ知覺鋭ク思慮深キ労働者ハ只タ恐ル結局我々ハ救貧院ニ收容セララル、ノ一法アルノミト、近年發狂者及自殺者ノ割合大ニ増加シタルハ、蓋シ労働者中斯ク前途ヲ悲觀スルモノ多キニ基カسنハアラス、是レ事實ノ證明スル所ニシテ亦疑フヘカラサルナリ、恐ラクハ我英國人モ亦是レ同一ノ原因ヨリ發狂者ノ數ヲ増加シタルコトヲ證スルニ足ルヘシ。

前途ノ悲觀ノ精神上ニ及ホス影響如何ハ姑ラク之ヲ擱キ、請フ其肉體上ニ及ホス、影響如何ニ論及セント欲ス、即チ労働社會中知覺鋭ク思慮深キモノハ、老後ノ慘狀ヲ思ヒ煩フノ結果其身體ヲ傷ヒ其健康ヲ害スルノ甚タシキコト得テ想像スヘキノミ、然レトモ茲ニ斯ル前途ノ悲觀ヲ除却セシムルノ一法アリ、養老年金ヲ給與スルコト是レナリ、遙カニ地平線上ヲ望メハ暗雲慘愴トシテ縁ルニ途ナク耐ヘ難キ重荷ハ双肩ニ懸リテ歩々移スニ惱ミ日暮レ途遠シ、是レ労働者ノ前途老後ノ悲觀ニアラスヤ、此際養老年金給與ノ一事アランカ、恰カモ是レ近クハ双肩ノ重荷ノ幾分カヲ減シ遠クハ暗愴タル地平線上ニ粲然タル星光ノ現ハレタルカ如クナラスンハアラス、其喜ヒ果シテ如何ソヤ。

予ハ上來前途ノ悲觀ヲ豫想シテ其心身ヲ害スル労働者ノ事ニ就テ論述スル所アリシカ、所謂ル其労働者トハ普通一般ノ労働社會、農事労働者、其他概シテ熟練ヲ要セサル單純ナル労働ニ從事スル者ヲ包括スルノ意義ト知ルヘシ、然レトモ此等ノ労働者中ノ或ルモノハ自分達ヨリ一層地位ノ高キ職工ノ有様ヲ實見シテ以テ、自分ノ前途ノ悲觀ヲ慰ムル所ナクンハアラス、勿論此等ノ労働者ノ中ニハ前途ノ甚タシキ暗愴タルヲ思ヒ惱ミテ其心身ヲ害スルモノアリト雖モ、概括シテ之ヲ言ヘハ他ノ者ノ有様ヲ實見シテ自分ノ前途ノ



悲觀ナルヲ大ニ慰ムル所ナクシテハアラス、乃チ其實見シタル有様トハ概ネ左ノ如シ、曰ク茲ニ一ノ隣人アリ平生善ク節儉ヲ守リテ若干ノ金圓ヲ貯ヘタリシカ、或ル事業ニ手ヲ出シテ忽チノ中ニ元ノ無一物トナリ今マ一人モ亦タ幾千カノ貯金アリシカ老後瞬ク間ニ遣ヒ盡シテ、共ニ落魄究困ヲ免カル、コト能ハサリシナリ、又タ曾テ數人ノ老婦人アリ皆ナ社會ニ有用ナル人トシテ他ヨリ最モ善ク尊敬ヲ受ケ、慈善事業ヲ好ミ人ヲ救恤スルコト多カリシカ、自家ノ事ヲ慮カルノ念厚カラサリシニヤ、終ニ皆ナ見ル影モナキ貧困ニ陥井リタリ、此等ノ老婦人ハ世ノ爲メ人ノ爲メ盡シタル所少ナカラサレハ世人ハ爲メニ感謝ノ意ヲ表スヘキモ、自家老後ノ計ヲ爲シ置カサリシカ故ニ、終ニ救貧院ニ收容セラル、ノ己ムヲ得サルニ立チ至リタリ又其居村ニ清潔秀麗愉快幸福ナル良家庭ノ模範トモ謂ツヘキ數個ノ家庭アリシカ、一朝皆ナ其家産蕩盡シテ年老イタル夫婦等悄然トシテ住ミ馴レシ村ヲ立チ去リテ其行ク所ヲ知ラスナリタリ、又タ今日勢ヒ如何ニ盛シナル職工ト雖モ明日ノ衰頹ハ測リ知ルヘカラス、老後ヲ安樂ニ送ラントテ平生其準備ニヨサシク怠ラサルモ事齟齬スルコトナキ能ハス、實ニ人生ノ榮枯盛衰ハ悉ク人爲ノ左右シ得ヘキ所ニアラスト觀念シテ、老後ノ悲觀ヲ思ヒ惱シテ身心ヲ害スルカ如キハ謂レナキモノナリト諦ラムルヨリ他ニ途アラサルナリ。或ル人曰ク希望ナルモノハ永遠ニ人ノ胸間ニ湧出シテ止マサルモノナリ、希望ナシトハ是レ何人ノ言ニヤ我國民ノ勞働者中絶對的ニ失望セルモノ果シテ幾人カアル、其極メテ少ナキハ得テ知ルヘキノミト、然レトモ今マ予ノ考フル所ヲ以テスレハ、事實ハ決シテ或ル人ノ言ノ如クナラサルヘシ、吾人ノ同胞タル良民中前途ニ就テ失望セルモノ、多キコト、吾人カ一般ニ知リシ居ルヨリモ一層多カルヘキナリ、試ミニ見ヨ

救貧院ニ收容セラル、モノ如何ニ多キカ、種々ノ手段ニ依リテ自殺ヲ遂クルモノ如何ニ多キカヲ、恐ラクハ是レ皆ナ失望ノ結果ニ外ナラサルヘキナリ、然レトモ斯ク失望ノ結果自殺ヲ遂クルモノ、或ハ救貧院ニ收容セラル、モノト雖モ、平生何事ヲモ爲サス手ヲ空シクシテ終ニ其生ヲ捐テ或ハ世ノ厄介物トナリタルニアラス、隨分相當ノ勞働ヲ爲シ或ハ刻苦勵精粉骨碎身以テ世務ト奮闘セサルニハアラサレトモ、如何セシ一家眷族ハ云フモ更ナリ、其身スラ支フルコト能ハサルノ悲境ニ陥レルヲ、事此ニ至リテ失望ノ極死シテ憂世ノ苦患ヲ免ル、カ、救貧院ニ入りテ世ノ厄介物トナルカ、二者其一ニ居ラサルヘカラス、嗚呼是レ老年ニ達シ最早世務ニ耐ヘサル勞働者ノ有様ニアラスヤ。予ノ言フ所果シテ真ナランカ、之ヲ救濟スルノ途ナカルヘカラス、其救濟ノ途トハ何ソヤ、所謂ル國家事業トシテ養老年金制度ヲ設クルコト是レナリ。

#### 貧民ノ家庭生活上ニ及ボス影響

凡ソ人民ノ家庭生活ノ有様ハ種々様々ニシテ一定シ居ラサルカ故ニ、今マ養老年金カ此等ノ家庭生活上ニ如何ナル影響ヲ及ボスヘキカラ一々精密ニ論斷スルコトハ容易ナラサルナリ、然レトモ之ヲ概括シテ其影響如何ヲ論定スルハ亦タ難キニアラサルナリ。

今マ茲ニ一ノ家族アリ、其中父ナルモノハ既ニ老衰シテ物ノ用ニ立タス、從來ハ相當ノ勞働ヲ爲シテ可成リニ一家ヲ支ヘタルモノナレトモ、今日ニ至リテハ既ニ年老イテ自カラ衣食ノ資ヲ得ルコト能ハス、己ムヲ得ス救貧院ニ送ラレテ殘年ヲ終ルアランノミ、嗚呼是レ悲慘ノ事ナラスヤ、然ルニ此際養老年金制度ナ



ルモノアリテ、毎週六日、セラル、アリトセンカ、救貧院ニ收容セラル、ノ必要ナク尙ホ其家庭ニ留マ  
 リテ其男兒若クハ女兒ト共ニ一家團樂ノ樂シミヲ受クヘキナリ、好ク又タ其男兒若クハ女兒ナシトスルモ、  
 尙ホ其朋友ノ許ニ寄ルコトヲ得ヘキナリ、苟クモ斯クノ如クハ既ニ年老イタリト雖モ、無用ノ長物タラス  
 家族ノ厄介物タラス、當ニ家族ノ厄介物タラザルノミナラス、家族ノ幫助ヲ爲スノ場合少ナカラルナリ、  
 例之ヘハ其息子若クハ養子杯カ晩天ニ臨ンテ工場ヨリ家ニ歸リ來ルノ場合、食事其他ノ事ニ就テ幫助ヲ爲  
 スカ如キコト是レナリ、或ハ雞豚ヲ飼育スルカ如キ幾干カノ生産事業ニ身ヲ委ヌルコトアランカ、老人ノ  
 業務家計上必要視セラル、ノ場合決シテ少ナカラサルナリ、斯ル老人ノ家庭ニ最モ多大ノ利益アルモノト  
 謂ツヘキナリ、但シ頑固一點張りニシテ毫モ人言ヲ容レス、剛情我慢ノモノハ此限ニアラス、如何ニ年老  
 イタリト雖モ、從來世務ト奮闘シテ敗戦シタルコトアルモ之カ爲メニ失望落膽ノ餘意氣銷沈シタルコトナ  
 ク、精神氣力共ニ駭カナランカ、其年來積ミ蓄ヘタル智慧經驗アリ、好シ幼少ニシテ教育ヲ受ケタル人ナ  
 ラストスルモ、年若キ其息子若クハ養子ニ取リテ善キ訓誨ヲ受クルノ益アルヘキナリ、且ツ斯ク年老イタ  
 ル父若クハ繼父タルモノカ一家ノ中ニアリタランニハ、家事取扱上ニ就テ婦人杯ノ失錯不始末自カラ少ナ  
 カルヘキナリ、即チ一家取締上有益ナルモノ是レナリ、是レ養老年金ノ男子ニ及ホス好影響ナラスヤ。

#### 女子部ニ及ホス影響

養老年金ノ男子ニ及ホス所ノ影響ハ右ニ述べタルカ如クナルカ、女子ノ部分ニモ亦タ影響スル所ナクンハ  
 アラス、養老年金ノ男子ニ影響スル所ヲ概言スレハ之カ爲メニ人民ノ生産力ヲ増加スルノ手段トナルモノ

是レナリ、而シテ今マ女子ニ影響スル所如何ト云フニ、均シク是レ其生産力ヲ増加スル上ニ於テ女子與カ  
 リテ力アリト謂ツヘキナリ、但シ兩者ノ間幾干カ差異ナクンハアラス、即チ男子ノ方ハ直接ニ生産力ヲ増  
 加スルノ効果ヲ見ルヘシト雖モ女子ノ方ニ至リテハ然ラス、其生産力ヲ増加スルコト間接ニシテ著シカラ  
 サルノ點是レナリ、試ミニ下層社會ノ有様ヲ見ヨ、既ニ年老イタル女子ニシテ相當ノ勞働ニ服スルコト能  
 ハサルモノハ、空シク其家庭内ニ留マルコトヲ得ス、養育院ニ送致シテ其餘生ヲ保タシムルヨリ外ニ途ナ  
 キナリ、然レトモ此女子既ニ六十五歳ニ達シテ養老年金ヲ給與セラル、モノナリトセンカ、既ニ生活費丈  
 ケハ差シ支ヘナク支出シ得ヘキカ故ニ、其相知レル範圍内ニ於テ到ル所歡迎セラレスンハアラス、其歡迎  
 セラル、所以ハ他ニアラス、子弟養育ノ事及家事取扱上ノ事ニ關シテ既ニ實驗アリ、而シテ養老年金ノ給  
 與ヲ受ケテ其生計費ニ差支ヘナケレハナリ。

今日熟ラ勞働社會ノ有様ヲ見ルニ一家ヲ維持センカ爲メニハ家長一人勞働スルノミニテハ事足ラス、家族  
 中苟クモ勞働シ得ラル、モノアレハ皆ナ共ニ勞働シテ一家ヲ維持セサルヘカラス、當今婦女子ノ従事スヘ  
 キ職業少ナカラス、而シテ此等ノ勞働社會中人ノ妻タリ母タルモノニシテ何等カノ職業ニ就テ賃錢ヲ得ン  
 ト欲スルモ取リ扱フヘキ家事ノアルアリ、或ハ其子ノ養育等ノ事アリテ其意ヲ果スコト能ハス、サリトテ之  
 カ爲メニ留守番ヲ頼ミ又タ子守ヲ雇ヒ入ル、程ノ資力ナク、空シク苦境ニ呻吟セサルヲ得ス、然ルニ彼ノ  
 養老年金ヲ給與セラル、女子アリテ、少額ノ報酬ニテモ留守番ヲ爲シ或ハ子守ニ雇ハル、コトヲ得ルトセ  
 ンカ、是レ一舉兩得ト謂ツヘキモノニアラスヤ、女子タルモノカ養老年金ヲ受クルヨリ間接ニ人民ノ生産



力ヲ増加セシムルニアラスヤ、婦人ニシテ養老年金ヲ受クルコト、ナリタランニハ、單ニ右ノ如キ利益アルノミナラス尙ホ其他ニモ利益アルコト一ニシテ足ラサルナリ、今マ養老年金ノ結果中最モ喜ハシキモノ、一ニ就テ言ハシカ從來孤居獨住諸事不自由ニシテ寂寞無聊ニ苦シミタリシモノモ、其養老年金ヲ受クルコト、ナリシヨリ、或ハ相當ノ配偶者ヲ得テ愉快ニ其日ヲ送ルモノ往々ニシテ之レアリ、婦人年老イテ貧困ナランニハ殆ント願リミルモノナカルヘキナリ、好シ其體質ハ健全ニシテ同齡位ノ男子ノ幫助ヲ爲スニ足ルヘシト雖モ、貧困者タランニハ其配偶者ヲ見出スコト容易ナラサルナリ、然ルニ年老イタル婦人ニシテ養老年金ヲ受ルコトヲ得タランニハ、或ハ相當ナル配偶者ヲ得ルノ機會ナクンハアラス、尙ホ之ヲ細言センカ、年老イテ養老年金ヲ受クヘキ男子ト結婚シテ共ニ樂シク殘年ヲ送り得ヘキカ如キコト是レナリ、是レ獨リ女子ノ幸福タルノミナラス、男子モ亦均シク之カ幸福ヲ受ケスンハアラス、養老年金給與ハ男女兩性ヲ通シテ利益アルコトヲ知ルヘキノミ。

#### 貧困及飲酒ノ事

新聞社カ時々禁酒獎勵者ノ爲メニ其紙面ノ幾分ヲ割愛シテ飲酒ノ害アルコトヲ記載セシムルハ、既ニ世人ノ能ク知ル所ナラスヤ、飲酒ノ人ヲ害スルコトノ甚タシクシテ恐ルヘキハ、今更吾人ノ喋々スルマテモナク何人ト雖モ寒心セスンハアラス、如何ナル人ト雖モ之ニ對シテ異論ヲ唱フルモノナカルヘシ、料理店ノ主人若クハ酒造家ト雖モ飲酒ノ害アルコトニ就テハ異論ヲ立ツルコト能ハサルヘシ、試ミニ見ヨ造酒ノ爲メニ穀類ノ費消セラル、高ノ莫大ナルコトヲ、若シ之カ爲メニ穀類ノ費消セラル、コト之レナシトセンカ

幾多ノ餓者ヲ救フノ糧トナリタルヤ測リ知ヘカラス、然ルニ斯ル穀類ヲ潰シテ酒トナシタルノ結果果シテ如何ソヤ、人ヲシテ戰慄恐怖セシムヘキ罪惡、不衛生及貧困等ノ如キ人生ヲ荼毒スルノ結果ヲ生セスンハアラス、斯ル惡結果ノ原因飲酒ニアルニモ拘ラス、尙ホ且ツ酒ニ醜溺スルモノ多キハ嗚呼亦タ歎スヘキノ至リナラスヤ。

斯クテ茲ニ一ノ問題アリ、曰ク飲酒ノ害右ノ如ク甚タシキニモ拘ラス、酒ヲ愛シ酒ヲ好ムモノ世間ニ甚タ多シ、其酒客トナルノ徑路果シテ如何ト、予輩ハ此問題ニ對シテ左ノ如ク答ヘント欲ス、曰ク或ハ遺傳的ニシテ生來之ヲ好メルモノアルヘク、或ハ飲ミ覺ヘテヨリ時月ヲ經ルニ從ヒ終ニ習慣トナリタルモノモアルヘシ、兎ニ角飲酒仲間ナルモノ何時シカ出來テ終ニ止ム能ハサル習慣トナリタルモノ多カルヘシ、蓋シ酒客トナリカ、リタル當時ハ皆ナ是レ無邪氣ニシテ強イテ咎ムヘキモノニアラサリシカ、年月ヲ經ルニ從ツテ終ニ改ムルコト能ハサル習慣性ヲ馴致スルニ至ルヘキナリ、而シテ下層社會ノモノ斯ク酒ヲ好ムノ習慣ヲ養成スルノ原因ハ果シテ何所ニアリヤト云フニ、概ネ左ノ如キ事情ニ基因スルモノト謂ツヘキナリ曰ク斯ル下層ノ人民カ一日ノ勞働ヲ終ヘテ晩天ニ際シテ我家ニ立チ歸ラントスルニ、其家ト云ヘルハ極メテ不潔汚穢ナル陋巷中ニアリテ、殊ニ其家庭ノ有様ハ諸事不自由勝ニシテムサクロシク、終日勞働シタル身體ヲ休養シ其心志ヲ慰サマシムルノ餘地ナキナリ、此ニ於テカ其歸路居酒屋或ハ下等料理店等ニ飛ヒ込んテ一時ノ愉快ヲ貪ホルコトナレリ、若シ不潔汚穢ナル陋巷ノ有様ヲ改良シ、且ツ勞働者ノ妻女ヲシテ懶惰ニ陥キラシメス、甲斐々々シク立チ働キテ家庭内ノ諸事ニ能ク注意シ晩天家ニ歸リ來ル主人ノ身心ヲ慰



サマシムルコトニ勉ムルコト、センカ、歸路居酒屋等ニ立チ寄ルコトモ自カラ減少スルニ至ルヘキナリ、否ラスンハ此弊ハ到底矯正シ得ヘカラサルナリ、是レ即チ下層人民中ニ飲酒ノ習慣ヲ養成スルノ原因ト謂ツヘキナリ。

飲酒ノ原因管ニ右ニ述ヘタルカ如キ事ノミニ止マラス、尙ホ其他ニモ原因ナクンハアラス、即チ貧困ナルコト其原因ノ一ト謂ツヘキナリ、社會黨ノ唱フル程激甚ナラスト雖モ兎ニ角貧困ハ飲酒ヲ鼓舞獎勵スルニ就テ與カリテ力アルモノト謂ツヘキナリ、又タ一方ヨリ見レハ飲酒ハ人ヲ貧困ナラシムルモノト謂ツヘキナリ、何レニシテモ飲酒ト貧困トハ其間最モ親密ナル關係ヲ有スルモノト謂ハサルヘカラス、今マ其レ貧困者ニシテ酒ニ耽リタランニハ其前途毫モ望ミナキコト得テ想像スヘキノミ、去リナカラ如何ニ下層人民ト雖モ心眼皆ナ盲スルモノ、ミニアラサルヘシ、幸ヒニシテ心眼開キテ微カニ其光明ヲ放チ來ランカ、飲酒ノ結果ノ果シテ如何ナルヤヲ見ルコト決シテ難カラサルヘシ、然レトモ多クハ是レ其心眼ヲ堅ク閉サスカ故ニ、恰カモ暗夜ニ亂聞スルカ如ク其周邊ハ無論其前途如何ヲ見ルコト能ハス、其前途更ニ望ミナク歡樂ナク愉快ナク全ク失望落膽スルカ或ハ酒ヲ飲ムカ二者其一ニ居ラサルヘカラス、實ニ慨歎スヘキコトナラスヤ、

今マ假リニ吾人カ皆ナ哲學者ナリトセンカ、果シテ然ランニハ吾人ハ左ノ如ク明言スルコトヲ得ヘシ、曰ク吾人ニシテ酒ヲ飲ンカ貧困ニシテ艱難痛苦ノ生涯ヲ送ルノ外毫モ得ル所ナク、其身ハ墮落シテ終ルアルノミ、尙ホ常ニ酒ヲ飲ミ續ケタランニハ益々不善ヲ重ネ害毒ヲ招クニ過キサルヘシ、故ニ吾人ハ之ヲ避ケ

テ善道ニ就カント欲スト、然レトモ下層人民中斯ル道理ヲ辨ヘ居ルモノ果シテ幾人カアル、恐ラクハ千萬人中僅カニ一人アルニ過キサルヘシ、酒ノ力ヲ借リテ浮世ノ艱苦ヲ忘レント欲スルモノ酒々皆ナ然ラサルハナシ、此等ノ人ニシテ苟クモ浮世ノ艱難辛苦ニ遭遇センカ、其目ヲ閉チ其ノ耳ヲ蔽ヒ且ツ之ニ對スル志念ヲ杜絶シ、而シテ直チニ酒ノ力ヲ借リテ之ヲ忘却センコトヲ力メサルハナシ、然レトモ畢竟スルニ酒ニ依リテ一時之ヲ忘却スルニ過キス、之カ爲メニ全ク忘却シ得ラル、モノニアラス、而シテ此等ノ輩ハ何カ爲メニ酒盃ニ向フヤヲ人ニ語ルコトヲ爲サス、又タ自カラモ常ニ可シテ許スモノニアラス、好シ又タ自カラ許ストスルモ尙ホ之ヲ繼續セントハ思ハサルニ相違ナカルヘシ、然レトモ醒メ來リテ眞面目トナリ知覺精神常ニ復シタランニハ、悲歎心痛ノ餘殆ント身ノ措ク所ヲ知ラス、故ニ又シテモ又シテモ酒ノ力ヲ借リテ之ヲ忘レントスルヨリ、終ニ習慣トナリテ止ムコト能ハサルニ至レルナリ、斯クノ如キ徑路ニテ終ニ酒客トナリ前途全ク望ミナキ貧困ニ陥キラスンハアラス、尙ホ之ヲ細言スレハ貧困ニ迫リテ前途全ク望ミナキヨリ自暴自棄狂憤ヲ起シテ世ニ持テ餘サル、酒客トナルモノ是レナリ。

然ルニ其年齡六十五歳ニ達シタランニハ養老年金ヲ給與セラル、コト、ナリタリトセンカ、是レ下層人民ノ前途ニ現ハレタル一道ノ光明ト謂ツヘキノナリ、從來斯ル光明ヲ認ムルコト能ハサルヨリ自カラ狂憤ヲ起シテ酒客トハナリタルナリ、然レトモ六十五歳以上ハ養老年金ヲ給與セラル、コト、ナリタランニハ前途有望ナルカ故ニ狂憤ヲ起シテ酒客トナルノ必要ナク、從ツテ日々ノ勞苦ヲモ厭ハス專ラ渡世ニ注意スルニ至ルヘキハ亦タ疑フヘカラサルナリ、吾人カ六十五歳以上ノ老人ニ養老年金ヲ給與スルノ結果トシテ



下層社會ノ酒客ヲ減少スヘシヘ云ヘルハ蓋シ此意ニ外ナラサルナリ。

浮世ノ煩悶幽鬱ヲ消散センカ爲メニ酒ノ力ヲ借ルモノ多キモ、實際酒ノ力ヲ借リテ此煩悶幽鬱ヲ消散シ得ヘキモノニアラス、其實酒ノ力ヲ借リテホンノ僅カニ一時幽鬱煩悶ヲ忘ル、ニ過キサルナリ、醒メ來レハ其幽鬱煩悶復ヒ其胸間ニ蟠マラサルヲ得ス、斯クノ如キノ輩酒客中ニ果シテ幾評アルカヲ斷定スルノ必要之レナキナリ、然レトモ過度ニ酒ヲ飲ムノ習慣ヲ養成スル大原因中ノ一ハ、彼ノ煩悶幽鬱ヲ忘レント欲スルニ歸セスンハアラス。

抑モ下層社會ノ人民ノ煩悶幽鬱ヲ惹キ起スハ畢竟スルニ將來老後ヲ如何シテ暮スヘキヤヲ豫想スルニ起因セスンハアラス、故ニ六十五歳以上ノモノニ養老年金ヲ給與スルコト、ナリタランニハ、斯ル煩悶幽鬱モ自カラ消散スヘク從ツテ酒ノ力ヲ借ルノ必要モ之レナカルヘシ、所謂養老年金給與ハ酒客ヲ減少スルノ効力アルモノ是レナリ。

#### 慈善事業ニ影響ヲ及ボス事

下層社會ノ酒客ニ對シテ養老年金ノ影響ヲ及ボスコト概ネ右ニ述ヘタルカ如クナルカ、養老年金ノ影響スル所當ニ此等ノ事ノミニ止マス、尙ホ此外影響スル所ナクンハアルヘカラス、廣ク一般ノ慈善心ヲ喚起シ從ツテ慈善救濟事業ヲ發達セシムルカ如キ影響ヲ及ボスコト是レナリ、然ルニ茲ニ一ノ反對論者アリ、曰ク抑モ養老年金ナルモノハ其性質富者ヲ強迫シテ其自カラ好ムト否ラサルコトニ論ナク慈善事業ヲ行ハシムルモノト謂ツヘキナリ、此強迫的慈善事業ハ隨意的慈善事業ヲ發達セシムヘキモノニアラスト、

此反對論早々之ヲ見レハ一理アルカ如シト雖モ畢竟スルニ全ク皮相ノ見解タルニ過キス、一種ノ誤解ト云ハサルヘカラス、一タヒ養老年金給與ノ制度定メラレタランニハ、自ラ慈善事業幾干ノ發達セスンハアルヘカラス、今マ其理由ノアル所ヲ簡短ニ述ヘント欲ス、曰ク實際養老年金ヲ給與セラル、コト、ナリタランニハ、下層ノ人民カ老後ノ有様ヲ憂懼悲觀スルコトナキノミナラス、節儉ヲ守ルノ習慣ヲ養成シ從ツテ生計ノ有様自カラ改良シ、男性ト女性トヲ問ハス其地位從來ニ比シテ一層向上セルコトヲ自覺スルニ至ルヘキナリ、既ニ節儉ノ習慣ヲ養成セルカ故ニ日々ノ生計上ニ左マテノ困難ヲ感スルコトナク、且ツ追々老年ニ向ヘハ各種ノ慾望モ自カラ減少シ、從ツテ其生計ノ費用モ減少セスンハアラス、此ニ於テカ幾干ノ貯金ヲ爲スコトヲ得ヘク、又タ之ニ加フルニ養老年金ヲ受クルコトナレハ、其際救濟慈善ノ事ヲ爲スノ餘地アルヘキナリ、小ヲ積ンテ大ヲ成ス、如何ニ細民ト雖モ如何ニ下層ノ人民ト雖モ、互ニ協力一致シタランニハ隨分著シキ事業ヲ成シ遂クルコト決シテ難カラサルナリ、試ミニ見ヨ我々職人社會若クハ小商人ノ一階級カ宗教上各種ノ團體ヲ組織シテ、努力ト金錢トヲ費シテ以テ慈善事業ヲ成シ遂クルコトハ決シテ珍ラシカラサルニアラスヤ、此ニ於テカ養老年金ナルモノハ此等ノ慈善事業ヲシテ一層擴張セシムルノ効用アルモノト云ツキナリ。

既ニ養老年金ヲ給與セラル、コトトナリタランニハ、下層社會ノモノスラ尙ホ且ツ慈善事業ニ心ヲ寄スルノ餘裕アルコト斯クノ如シ、況ンヤ一層富有ナルモノニ於テヤ、斯ク一層富有ナルモノカ其少壯血氣ノ時ニ際シテ、養老年金制度ノ定メラレタル爲メニ其納稅額一層増加シタルカラトテ、之カ爲メニ左マテ痛



苦ヲ感スヘキモノニアラス、而シテ自分カ六十五歳ニ達シテ養老年金ヲ給與セラレタル場合ニハ、決シテ之ヲ自家ノ用ニ供スヘキモノニアラス、自カラ好シテ慈善事業ニ充テスンハアラス、彼等カ之ヲ慈善事業ニ充テンハ法律上然カセシムルモノニアラス、又タ他ヨリ強迫セラレタルカ爲メ心ナラスモ然カスルモノニアラス、眞ニ是レ自家ノ衷心ヨリ出テ然カスルモノ許多ナルハ予輩ノ堅ク信シテ疑ハサル所ナリ。右ノ如ク幾干カノ資産アリテ生計上些カノ困難ヲ感セサルモノニシテ、老年ニ達シタルノ故ヲ以テ養老年金ヲ給與セラレタル場合アランニハ、固ヨリ自家ノ用ニ供スヘキモノニアラス、必ラスヤ慈善事業ノ資ニ投スヘキハ復タ疑フヘキ所ニアラス、斯クテ慈善事業ノ資金ノ増殖スルハ最モ明カナル事實ナリ、是レ養老年金ノ慈善事業ニ及ホス所ノ影響ナリ、然レトモ養老年金ノ慈善事業ニ影響スルコト之レヨリ尙ホ一層切實ナルモノアリ、生計上平生餘裕アラサル下層社會ノモノカ養老年金ヲ給與セラル、コトトナリシヨリ、前途大ニ望ミヲ屬シテ勤儉主義ヲ守リ終ニ養老年金ヲ受ケテ、之ヲ慈善事業ニ投スルコト是レナリ、而シテ純粹ナル慈善ノ意義如何ト云フニ、均シク是レ人類ノ中ニアリナカラ其中ノ不幸薄命者ヲ見ルニ忍ヒス、同情ノ涙ヲ以テ之ヲ救恤スルノ意ニ外ナラス、然ルニ資産アルモノ、慈善事業ニ金錢ヲ投スルヤ概シテ其結果如何ヲ見ント欲スルモノナリ、成ルヘク効果著シキ慈善事業ヲ擇ンテ其金圓ヲ投セント欲スルモノナリ、然レトモ純正ナル慈善ハ人ノ窮苦ヲ救恤セントスル同情ヨリ出ルモノ是レナリ、今マ此等ノ點ヨリ考フル時ハ下層人民ノ慈善事業ニ對シテ應分ノ金圓ヲ投スルハ、慈善ノ意義ニモ能ク適ヒ且ツ一層切實ナリト謂ツヘキナリ。

今マ茲ニ人アリ其資産甚ハタ豊カナリトセンカ、斯ル人ハ其金圓ヲ投シテ數多ノ事ヲ爲スコトヲ得ヘシ、救貧院ヲ設立シテ貧民ヲ救助スルコトヲ得ヘク、或ハ其屋敷ノ周邊ナル村民中ノ高年者ニ對シテ養老年金ヲ給與スルコトヲ得ヘシ、然レトモ資産豊カナラサル普通一般ノ人ニアリテハ、斯ル高年者若クハ貧民ニ對シテ好シ同情ヲ有スルトモ、資産家ノ爲スカ如キコトハ到底望ミ得ヘカラサルナリ、但シ其身代相當ノ事ヲ爲シ得ヘカラサルニアラス、縱令ヘ充分ナルコトヲ爲シ得ヘカラサルモセヨ、老者ヲ救恤スル等ノ事ヲ爲シ得ヘキナリ、然レトモ老者ヲ救恤シテ之ヲ喜ハシムレハ其レマテナリ、均シク金圓ヲ費スニモ此方面ニ於テセスシテ其他ノ方面ニ向ケタランニハ尙ホ一層多クノ効果アルヘキナリ、例之ヘハ不意ノ變災ニ罹リテ不具者トナリ自分及其家族ヲ支フルコト能ハサル職工杯ヲ救助スルカ如キ、或ハ孤兒ヲ扶持養育スルカ如キコト是レナリ、普通一般ノ人ニシテ斯ル慈善ノ事ヲ爲スヲ得ルハ是レ亦養老年金給與ノ影響ト云ツヘキナリ。

今日慈善團體カ老者ヲ救恤スルカ爲メニ費ス所ノ金圓ハ實ニ莫大ナルモノト云ハサルヘカラス、然ルニ法律上一般ニ養老年金ヲ給與セラル、コト、ナリタランニハ、斯ル莫大ナル金圓ノ大部分ヲ取リテ他ノ方面ニ利用スルコトヲ得ヘキナリ、例之ヘハ寡婦孤兒若クハ其他一時ノ生活難ニ罹レルモノヲ救助シ得ルコト從前ヨリ尙ホ一層増加シテ妨ケナカルヘキナリ、之ヲ換言スレハ養老年金制度一タヒ定メラレタランニハ從來ノ慈善事業之レガ爲メニ一層發達スヘシト云フモ決シテ妨ケナカルヘキナリ、試ミニ彼ノ親愛協會ナルモノ、行動ニ就テ之ヲ言ハンカ、抑モ此親愛協會ナルモノハ基督教主義ヲ基礎トシテ組織セラレタルモ



ノニシテ、其目的トスル所主トシテ慈善事業ヲ爲スニアリ、彼ノ寡婦孤兒救恤資金ノ如キハ此協會ノ計畫スル所ニ係リ、其他施療院、病院及回復期患者收容所等ト聯絡シテ下層社會ノモノヲ此等ノ箇所ヘ收容セシムコトナルカ、其事業中支出金額ノ最モ多キモノハ老人ニ給與スル養老年金様ノモノ是レナリ、即チ此協會ノ資金ノ大半ハ養老年金給與ノ爲メニ費ヤサル、モノト謂ツヘキナリ、故ニ寡婦孤兒等ヲ救恤スル資金自ラ減少セサルヲ得ス、然ルニ此際國法ヲ以テ養老年金ヲ給與セラル、ノ制度カ定メラレタランニハ、此方面ニ向ツテ支出セラレタル金圓ハ他ノ方面ニ向ツテ利用セラルヘキモノナリ、是レ亦タ養老年金ノ慈善事業ニ影響スル所ナリ。

#### 養老年金及乞食ノ事

予輩思フニ各所ニ徘徊スル乞食カ如何ニ煩累ヲ吾人ニ及ホスカハ何人モ知ラサルモノナカルヘク、又我國ノ名聲ノ如何ナルヤニ注意シ、我家ニ殘シ置ケル妻女ノ怡樂如何ニ心ヲ留メ、或ハ吾人カ日々此世ヲ渡リ行クニ際シテ生スル感想如何ニ思ヒヲ馳スルモノハ、乞食ノ減少シ行ケル有様ヲ見テ喜ハサルハナカルヘシ、又何時シカ乞食ノ跡ヲ絶ツニ至ルヲ豫想セサルハナカルヘシ、予カ裁判官トナリテ法廷ノ席ニ列ナリシコトハ日尙ホ淺キコトナルカ、均シク是レ裁判官ノ名アルモ裁判所ヘ引出タサル、乞食ヲ處分スル手段ハ區々ニシテ一定スル所アラサルナリ、其甚タシキニ至リテハ全ク反對ニ出ルコトサヘアリ、例之ヘハ或ル裁判官ノ意見ニ曰ク苟クモ裁判所ヘ引き出サル、乞食ハ悉ク之ヲ獄屋ニ繋カサルヘカラス、他ノ方法ニテハ到底乞食ノ煩累ヲ絶ツコト能ハス、之ヲ絶タンニ僅カニ之ヲ獄屋ニ投スルノ一法アルノミト、又タ他ノ

裁判官ノ爲ス所ヲ見ルニ乞食ノ年齢如何ニ從ツテ其處分法ヲ異ニスルアリ、即チ其乞食ノ男性タルト女性タルトヲ問ハス老年者ナランニハ、之ヲ放免シテ且ツ此地方ヲ立チ去ルコトヲ約サシム、而シテ裁判長ハ更ニ此等ノ乞食ニ注意シテ曰ク、汝等早ク此地方ヲ立チ去レヨ餘リニ愚圖ノ爲シ居タランニハ、再ヒ巡查ニ捕ヘラル、ノ憂ヒアルヘキナリト、又タ他ノ人ハ歎息シテ曰ク年老イタル乞食ハ其男性タルト女性タルトヲ問ハス、或ル方面ヨリ之カ觀察ヲ下セハ罪人ト見做スヘキモノニアラス、其徘徊セル有様實ニ悲惨ナリト云ハサルヘカラス、是レ畢竟スルニ老衰ノ餘自活ノ途ヲ立ツルコト能ハス、人ニ向ツテ食ヲ乞フノ止ヲ得サルニ出ルモノナリ、否ラスンハ養育院ニ收容セラル、ノ外ナキモノナリ、又タ此等ノ乞食ニ向ツテ『汝等ハ何等ノ仕事ヲモ爲スコト能ハサルカ』ト問フモノアラシカ、之ニ對スル彼等ノ返答ハ通常同一ニ出ルモノ、如シ曰ク是レト云フ定マリタル仕事ハ出來サルモ聊カノ手間仕事ハ出來マスレト、年老イタルモノトテ雇ヒ吳ル、モノハ絶エテ御坐リマセヌ故、止ヲ得ス斯クノ爲體テコサリマス、又タ重ネテ此等ノ乞食ニ向ツテ『去リナカラオ前達ハ養育院ニ收容セラレテ其殘年ヲ送ランヨリ、身ノ振り方ヲ付クルニ一層好キ方法ハナキモノト思ヒ回ラスコトハナキカ』トノ問ニ對シテ彼等ノ返答スル所如何ト云フニ、其健康状態ノ如何ニ依リ、若クハ其精神氣力ノ耽カナルト否ラサルトニ從ツテ多少異ナル所ナクンハアラス、例之ヘハ身體衰弱シテ氣力ナキ乞食ハ斯ル問ニ對シテ稍ヤ暫ラク其頭ヲウナタレテ答フル所ヲ知ラサルモノ、如クナルカ、頓カテ涙ト共ニ低聲ニ口籠リツ、云ヒケルヤウ、且那方ノ仰セラル、所ハ至極御尤モノコトテ御坐リマス、去リナカラ餘生ノ短カキ私共如何トモスルコトカ出來マセヌ、只タ何カナシニ其日